



System x3500 M4

Type 7383

インストールおよびサービスのガイド





System x3500 M4

Type 7383

インストールおよびサービスのガイド

— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、937 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、941 ページの『特記事項』、「保証情報」、および IBM Documentation CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System x3500 M4
Type 7383
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第7版第1刷 2013.10

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について	vii
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン	ix
安全点検ガイド	ix
電気機器の保守のためのガイドライン	x
安全に関する注意書き	xi

第 1 章 IBM System x3500 M4 Type

7383 サーバー	1
IBM Documentation CD	3
ハードウェアとソフトウェアの要件	3
Documentation Browser	4
関連資料	5
本書で使用する注記	6
サーバーの機能および仕様	7
サーバーが提供する機能	9
信頼性、可用性、および保守容易性	15
IBM Systems Director	17
サーバーのコントロール、LED、および電源	18
正面図	18
オペレーター情報パネル	20
Light Path 診断パネル	21
背面図	22
サーバーのパワー・サプライ	25
サーバーの電源をオンにする	25
サーバーの電源をオフにする	26

第 2 章 オプション装置の取り付け

IBM ビジネス・パートナー用の手順	30
IBM への DSA データの送信	30
サーバー・コンポーネント	31
システム・ボードの内部コネクタ	31
システム・ボードの外部コネクタ	33
システム・ボードのスイッチとジャンパー	33
システム・ボードの LED およびコントロール	35
ハード・ディスク・バックプレーン・コネクタ	36
取り付けのガイドライン	38
システムの信頼性に関するガイドライン	40
電源オンされているサーバー内部での作業	41
静電気に弱い装置の取り扱い	41
ベゼル・メディア・ドアのオープン	42
左サイド・カバーの取り外し	44
エアー・バッフルの取り外し	45
ファン・ケージ・アセンブリの取り外し	46
シンプル・スワップ・ファンの取り付け	48
ハード・ディスクの取り付け	50
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	57
3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	59

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	61
DVD ドライブの取り付け	62
オプションのテープ・ドライブの取り付け	65
メモリー・モジュールの取り付け	66
DIMM 取り付け順序	70
メモリー・ミラーリング・チャネル	71
メモリー・ランク・スペアリング	72
DIMM の取り付け	73
PCI-X ブラケットの取り付け	75
アダプターの取り付け	78
PCI-X ブラケットへのアダプターの取り付け	80
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け	82
サーバーへの RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け	83
マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け	86
マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け	91
熱伝導グリース	99
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け	100
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け	104
取り付けの完了	105
ファン・ケージ・アセンブリの再取り付け	106
エアー・バッフルの交換	107
左サイド・カバーの再取り付け	108
ケーブルの接続	109
サーバー構成の更新	111

第 3 章 構成情報と説明

ファームウェアの更新	113
サーバーの構成	114
ServerGuide Setup and Installation CD の使用	117
ServerGuide の機能	117
セットアップおよび構成の概要	118
標準的なオペレーティング・システムのインストール	118
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール	119
Setup ユーティリティの使用	119
Setup ユーティリティの開始	119
Setup ユーティリティのメニュー選択項目	120
パスワード	125
Boot Manager の使用	127
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始	128
UpdateXpress System Pack Installer	128
UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値への変更	128
統合管理モジュール II (IMM2) の使用	129

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	131	ハード・ディスクの問題	176
IMM2 ホスト名の取得	131	ハイパーバイザーの問題	176
IMM2 用の IP アドレスの取得	132	再現性の低い問題	177
Web インターフェースへのログオン	133	キーボード、マウス、または USB デバイスの問題	177
組み込みハイパーバイザーの使用	134	メモリーの問題	179
Ethernet コントローラーの構成	135	マイクロプロセッサ問題	181
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化	135	モニターの問題	182
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化	135	ネットワーク接続の問題	184
RAID アレイの構成	136	オプション装置の問題	184
IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム	136	電源問題	185
IBM Systems Director の更新	137	RAID/ストレージ・アダプターの問題	187
最新バージョンのインストール	137	シリアル・ポートの問題	188
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール	137	ServerGuide の問題	189
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール	138	ソフトウェアの問題	190
汎用固有 ID (UUID) の更新	138	USB ポートの問題	190
DMI/SMBIOS データの更新	141	電源の問題の解決	191
第 4 章 トラブルシューティング	147	イーサネット・コントローラーの問題の解決	191
ここから開始します	147	未解決問題の解決	193
問題の診断	147	問題判別のヒント	194
文書化されていない問題	150	サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)	195
Service Bulletin	150	インバンドの手動リカバリー方式	195
チェックアウト手順	151	インバンドの自動ブート・リカバリー方式	197
チェックアウト手順について	151	アウト・オブ・バンド方式	197
チェックアウト手順の実行	152	自動ブート・リカバリー (ABR)	197
診断ツール	153	Nx 回ブート失敗	198
Light Path 診断	156	第 5 章 部品リスト、IBM System	199
Light Path 診断 LED	158	x3500 M4 Type 7383	199
パワー・サプライ LED	163	交換可能なサーバー・コンポーネント	199
システム・パルス LED	164	構成部品	207
イベント・ログ	165	電源コード	208
Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示	166	第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換	211
サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する	167	装置またはコンポーネントの返却	211
イベント・ログの消去	168	ベゼル・メディア・ドアのオープン	212
UEFI/POST	169	ベゼルのメディア・ドアを閉じる	214
IBM Dynamic System Analysis	169	サーバー・コンポーネントの取り外しと交換	215
DSA のエディション	170	構成部品の取り外しと交換	215
DSA Preboot 診断プログラムの実行	171	左サイド・カバーの取り外し	215
診断テキスト・メッセージ	172	左サイド・カバーの取り付け	216
テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送	172	ベゼルの取り外し	217
自動サービス要求 (コール・ホーム)	173	ベゼルの取り付け	218
IBM Electronic Service Agent	173	安定化脚の回転	220
エラー・メッセージ	173	エアー・バッフルの取り外し	221
現象別トラブルシューティング	173	エアー・バッフルの取り付け	222
CD/DVD ドライブの問題	174	RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し	224
一般的な問題	175	RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け	226
GPU/VGA アダプターの問題	175	Tier 1 CRU の取り外しと交換	228
		ドライブの取り外しと取り付け	228
		追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り外し	250

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け	251
アダプターの取り外し	254
アダプターの取り付け	258
リモートに取り付けられた RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し	263
サーバーへの RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け	264
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し	267
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け	268
PCI-X ブラケットの取り外し	269
PCI-X ブラケットの取り付け	271
シンプル・スワップ・ファンの取り外し	274
シンプル・スワップ・ファンの取り付け	276
システム・バッテリーの取り外し	278
システム・バッテリーの取り付け	280
USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリの取り外し	282
USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリの取り付け	284
Light Path 診断アセンブリの取り外し	286
Light Path 診断アセンブリの取り付け	288
USB ケーブル・アセンブリの取り外し	290
USB ケーブル・アセンブリの取り付け	292
2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し	294
2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け	295
3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し	297
3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け	299
3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの取り外し	301
3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの取り付け	302
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し	304
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け	306
オペレーター情報パネル・アセンブリの取り外し	310
オペレーター情報パネル・アセンブリの取り付け	311
メモリー・モジュールの取り外し	313
メモリー・モジュールの取り付け	314
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し	324
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け	325
ファン・ケージ・アセンブリの取り外し	326
ファン・ケージ・アセンブリの取り付け	328

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリの取り外し	330
左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリの取り付け	331
Tier 2 の CRU の取り外しと交換	333
電源パドル・カードの取り外し	333
電源パドル・カードの取り付け	335
マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し	338
マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け	343
マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り外し	352
マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け	354
ヒートシンク保持モジュールの取り外し	360
ヒートシンク保持モジュールの取り付け	361
システム・ボードの取り外し	362
システム・ボードの取り付け	365
内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ	368
電源ケーブルの接続	368
オペレーター情報パネルのケーブル接続	369
Light Path 診断パネルのケーブル接続	369
テープ・ドライブのケーブル接続	370
DVD ドライブのケーブル接続	372
ハード・ディスクのケーブル接続	373
ファン・ケージ電源のケーブル接続	385
左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリのケーブル接続	386

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ 387

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード 815

付録 C. DSA 診断テスト結果 837

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	837
DSA Brocade テスト結果	843
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	848
DSA CPU ストレス・テスト結果	850
DSA Emulex アダプター・テスト結果	852
DSA EXA ポート ping テスト結果	855
DSA ハード・ディスク・テスト結果	856
DSA Intel ネットワーク・テスト結果	857
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果	861
DSA Mellanox アダプター・テスト結果	862
DSA メモリー分離テスト結果	864
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	912
DSA Nvidia GPU テスト結果	914
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	918
DSA システム管理テスト結果	922
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	932

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 937

依頼する前に	937
--------	-----

資料の使用	938
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	938
IBM への DSA データの送信方法	939
個別設定したサポート Web ページの作成	939
ソフトウェアのサービスとサポート	939
ハードウェアのサービスとサポート	940

特記事項 941

商標	942
重要事項	942
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意	943
粒子汚染	944
通信規制の注記	945
電波障害自主規制特記事項	945
Federal Communications Commission (FCC)	
statement	945
Industry Canada Class A emission compliance	
statement	946

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie	
Canada	946
Australia and New Zealand Class A statement	946
European Union EMC Directive conformance	
statement	946
Germany Class A statement	947
VCCI クラス A 情報技術装置	948
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示	948
Korea Communications Commission (KCC)	
statement	948
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A	
statement	948
People's Republic of China Class A electronic	
emission statement	949
Taiwan Class A compliance statement	949

索引 951

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφαλείας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

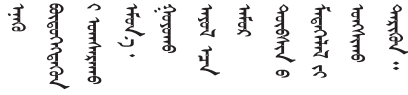
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་མེར་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員のための情報を示します。

安全点検ガイド

この情報は、ご使用の IBM® 製品の保守を行う場合に、潜在的に存在する危険な状況を見極めるために役立てていただくためのものです。

各 IBM 製品には、設計され組み立てられた時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションの情報は、こうした項目のみに言及します。このセクションの対象とならない IBM 以外の代替製品の使用または IBM 以外の機構やオプション装置の接続により起こりうる潜在的な危険を識別するには、適切な判断を行う必要があります。危険な状況が存在する場合、その危険がどの程度深刻なものであるか、この問題を解決せずに製品に対する作業を続行できるかどうかについて判断する必要があります。

次のような状況とそれがもたらす危険について検討します。

- 電氣的な危険。特に、1 次側電源（フレームの 1 次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。）
- 爆発の危険。例えば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。例えば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

製品を点検して潜在的に危険な状態の有無を調べるには、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった箇所の有無を調べます。
3. 以下について電源コードをチェックします。
 - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。計器を使用して、外部接地ピンと筐体接地間の 3 線式接地線の導通が、0.1 オーム以下であることを測定により確認します。
 - 電源コードのタイプは正しい。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
5. 明らかに IBM によるものではない改造箇所をチェックします。IBM 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具（ねじまたはリベット）が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器の保守のためのガイドライン

電気機器を扱うときは、以下のガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電氣的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、例えば、濡れたフロア、接地されていない電源延長ケーブル、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切斷 (EPO) スイッチ、切斷スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようにお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切斷されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電気回路がむき出しの機器で作業する必要がある場合、次の予防手段をとってください。
 - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらおう。
 - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
 - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、ブロー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。

- 電氣的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。この番号は、英語の **Caution** と **Danger** と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「IBM Safety Information」小冊子を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4



≥ 18 kg (39.7 lb)



≥ 32 kg (70.5 lb)



≥ 55 kg (121.2 lb)

注意:

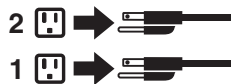
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全に関する注記 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:

もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 11



注意:

このラベルが貼られている近くには鋭利な先端の部品やジョイントが存在します。



安全 12



注意:

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 13



危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用の装置の電気仕様は装置に付属のマニュアルに記載されています。

安全 15



注意:

ラックからサーバーを引き出してもラックが転倒しないようになっていることを確認してください。

安全 17



注意:

このラベルが貼られている近くには動く部品が存在します。



安全 26



注意:

ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。



安全 27



注意:

近くに動く部品が存在します。



第 1 章 IBM System x3500 M4 Type 7383 サーバー

本「インストールおよびサービスのガイド」には、ご使用の IBM System x3500 M4 Type 7383 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

29 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3500 M4 Type 7383 サーバーは、高さ 5U¹ の高性能サーバーです。マイクロプロセッサのアップグレードにより、対称多重処理 (SMP) サーバーにアップグレードすることができます。優れたマイクロプロセッサ・パフォーマンス、効率的なメモリー管理、柔軟性、および信頼性の高い大量のデータ・ストレージを必要とするネットワーク環境に最適です。

パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能が、このサーバーの設計における重要な考慮事項でした。このような設計特性により、お客様が現在のニーズに合わせてシステムのハードウェアをカスタマイズできるだけでなく、将来に備えるための柔軟な拡張機能が提供されます。

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「IBM 保証情報」を参照してください。

このサーバーには、パフォーマンスおよび信頼性を高めるのに役立つ IBM 次世代テクノロジーが使用されています。詳しくは、9 ページの『サーバーが提供する機能』および 15 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> から入手できます。 <http://www.ibm.com/supportportal> では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、<http://www.ibm.com/ibm/clientreference/>を参照してください。

1. ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) ごとに区切られています。各区切りは「U」と表されます。1U の装置の高さは 4.45 cm (1.75 インチ) です。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードできます。サーバーには、その付属資料の中で説明されていない機能が装備されている場合があります。また、資料は、これらの機能に関する情報を収録するためにときどき更新されることがあり、サーバーの資料に収録されていない追加情報を記述するために、技術上の更新が行われることもあります。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

注: 本書の図は、お客様がご使用のモデルと多少異なる場合があります。

このサーバーに関する情報を、以下の表に記録してください。

製品名	IBM System x3500 M4 Type 7383 サーバー
マシン・タイプ	Type 7383
モデル番号	_____
シリアル番号	_____

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

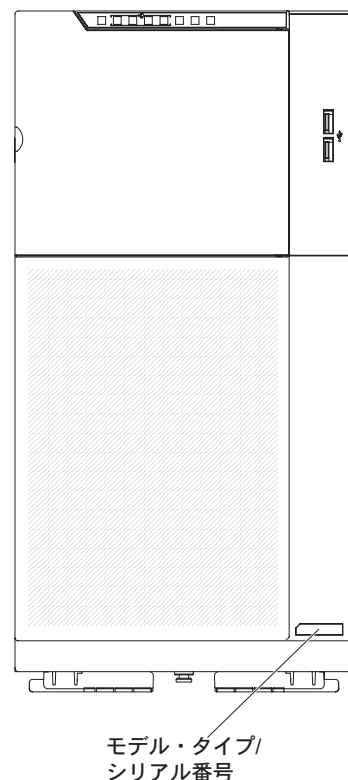


図1. サーバー前面の ID ラベル

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service

Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています (ibm.co/18TTU7U)。



図 2. QR コード

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「ラック搭載手順」を参照してください。

IBM Documentation CD

IBM *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM *Documentation Browser* も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

IBM *Documentation* CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

IBM *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサ
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser

Documentation Browser を利用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を表示したり、あるいは Adobe Acrobat Reader または xpdf を使用して資料を表示できます。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。 Documentation Browser を開始するには、次のいずれかの方法を使用してください。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。 Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはこの機能がユーザー全員に対しては使用可能でない場合は、以下のいずれかの手順を実行します。

- Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前」フィールドに次のように入力します。

```
e:¥win32.bat
```

ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「OK」をクリックします。

- Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「Product」メニューからサーバーを選択します。「Available Topics」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。 プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「Topic Description」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。選択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「View Book」をクリックします。複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「Search」フィールドに入力し、「Search」をクリックします。 そのワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。その資料をクリックして表示し、資料内で Ctrl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「Help」をクリックしてください。

関連資料

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *Environmental Notices and User Guide*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、環境に関する注記が翻訳されて収録されています。

- *IBM 機械コードのご使用条件*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「IBM 機械コードのご使用条件」が記載されています。

- *重要事項*

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Licenses and Attributions Documents*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *ラック搭載手順*

この印刷された資料は、サーバーをラックに取り付けるための手順を記載しており、ラック・キットに付属しています。

- *Rack Safety Information*

このマルチリンガルの資料には、ラックの資料で使用されている注意と危険の表記が記載されています。注意と危険の各表記には番号が割り当てられているため、その番号を使用して対応する日本語を見つけることができます。

- *Safety Information*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険項目についての注記が記載されています。この文書に記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「Safety Information」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

- *Safety Information ラベル*

この資料には、製品の安全ラベルの中国語 (簡体字)、モンゴル語、チベット語、ウィグル語、およびチワン語の翻訳バージョンが提供されています。

- *保証情報*

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *Documentation* CD で提供される場合もあります。

System x および BladeCenter の ToolsCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバ、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。

ToolsCenter for System x and BladeCenter は <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER> にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。これらの更新情報は、IBM Web サイトから入手できます。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。 ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

表 1. サーバーの機能および仕様

マイクロプロセッサ (モデルにより異なる): - 最大 2 個の Intel Xeon E5-2600 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサ (統合メモリー・コントローラーおよび Quick Path Interconnect (QPI) アーキテクチャーを搭載) をサポート - 最大 2.5M の Level-3 キャッシュ/コア 2 つの 最大速度 8.0 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク 注: - サーバーに使用されているマイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティを使用します。 - サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。 メモリー: - スロット: 12 個の DIMM コネクタ (マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが取り付けられている場合は、24 個の DIMM コネクタ) - 最小: 2 GB - 最大: 768 GB 32 GB (Unbuffered DIMM (UDIMM) 使用時) 384 GB (Registered DIMM (RDIMM) 使用時) 768 GB (Load Reduction DIMM (LRDIMM) 使用時) - タイプ: - PC3-8500 (DDR3-1066)、PC3-10600 (DDR3-1333)、PC3-12800 (DDR3-1600)、または PC3-14900 (DDR3-1866) - single-rank、dual-rank、または quad-rank - Registered DIMM (RDIMM)、Unbuffered DIMM (UDIMM)、または Load Reduced DIMM (LRDIMM)	- サポート (モデルによって異なります): 2 GB Unbuffered DIMM (UDIMM) 2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB Registered DIMM (RDIMM) 32 GB Load Reduction DIMM (LRDIMM) ドライブ: - SATA: - DVD-ROM - マルチバーナー 注: 最大 2 個のデバイスが取り付け可能です。 - ディスク: 外付け USB ハード・ディスク - サポートされるハード・ディスク: - Serial Attached SCSI (SAS) - シリアル ATA (SATA) 拡張ベイ (モデルによって異なる): - 最大 32 個の 2.5 型 HDD ベイ - 最大 8 個の 3.5 型 HDD ベイ - 最大 2 個のハーフハイト 5.25 型ベイ 注: フルハイトのデバイス (オプションのテープ・ドライブなど) は、2 個のハーフハイト 5.25 型ベイを占有します。 PCI および PCI-X 拡張スロット: - システム・ボード上に 6 つの PCI 拡張スロット: - スロット 1: PCI Express 2.0 x8 (オプションの PCI-X 変換コネクタ・カードをサポート) - スロット 2: PCI Express 3.0 x8 - スロット 3: PCI Express 3.0 x8 - スロット 4: PCI Express 3.0 x8 - スロット 5: PCI Express 3.0 x16 (225W GPU をサポート) - スロット 6: PCI Express 3.0 x8	- マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上の 2 個の PCI 拡張スロット: - スロット 7: PCI Express 3.0 x16 (225W GPU をサポート) - スロット 8: PCI Express 3.0 x16 - PCI-X 変換コネクタ・カード (オプション): 1 個の PCI-X 64-bit/133 MHz ビデオ・コントローラー (IMM2 に内蔵): - Matrox G200eR2 注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。 - SVGA 互換ビデオ・コントローラー - DDR3 528 MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー - Avocent デジタル・ビデオ圧縮 16 MB のビデオ・メモリー (拡張不可) パワー・サブライ: - 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サブライ (冗長性サポート用) 550 ワット AC - 最大 95 ワットのプロセッサをサポート - 最大 8 個の HDD をサポート - GPU はサポートされません - 最大 16 個の 1R/2R RDIMM または UDIMM をサポート。4R RDIMM および LRDIMM はサポートされません。
--	---	---

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

- 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サプライ (冗長性サポート用) 750 ワット AC - 最大 16 個の HDD をサポート - GPU はサポートされません - 最大 16 個の LRDIMM か UDIMM、または 24 個の RDIMM をサポート 900 ワット AC - GPU が取り付けられていない場合: - ハード・ディスク: - 最大 32 個の HDD をサポート。または、 16 個を超える LRDIMM が取り付けられている場合、最大 16 個の HDD をサポート - メモリー: - 最大 16 個の UDIMM をサポート。または、 - 最大 24 個の RDIMM/LRDIMM をサポート。または、 16 個を超える HDD が取り付けられている場合、最大 16 個の LRDIMM をサポート 1 個の GPU が取り付けられている場合: - ハード・ディスク: - 最大 8 個の HDD をサポート - メモリー: - 最大 16 個の LRDIMM/UDIMM をサポート。または、 - 最大 24 個の RDIMM をサポート	以下のシナリオでは、2 つの 900 ワット AC 電源が必要であり、非冗長モードで使用されます。 2 個の GPU が取り付けられている 1 個の GPU が取り付けられており、8 個を超える HDD が取り付けられている 1 個の GPU が取り付けられており、16 個を超える LRDIMM が取り付けられている 16 個を超える HDD が取り付けられており、16 個を超える LRDIMM が取り付けられている 注: サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。 シンプル・スワップ・ファン: 2 個 (1 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合) 3 個 (2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合) 3 個の追加ファン (オプションの冗長冷却用) サイズ: - タワー - 高さ: 440 mm - 奥行き: 750 mm - 幅: 218 mm - 質量: 最大構成で約 39.8 kg、最小構成で約 25.0 kg - ラック 5 U - 高さ: 218 mm - 奥行き: 702 mm - 幅: 424 mm - 質量: 最大構成で約 39.3 kg、最小構成で約 24.5 kg ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) 毎にマークされています。この区切りをユニットと呼び、「U」で表します。1 U の高さの装置は、4.45 cm (1.75 インチ) の高さになります。	内蔵機能: - 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合) - Intel I350AM4 4 ポート Gigabit Ethernet コントローラー (Wake on LAN サポート付き) - Serial over LAN (SOL) および Telnet または Secure Shell (SSH) を介したシリアル・リダイレクト - システム管理専用ネットワークへの接続用に 1 個のシステム管理 1 Gb イーサネット・ポート。このシステム管理コネクタは IMM2 機能専用です。 - Light Path 診断 6 個の USB ポート 2 個はサーバーの前面 4 個はサーバーの背面 - 組み込みハイパーバイザー付き USB フラッシュ・デバイス用に 1 個の内部 USB ポート 1 個の内部 USB テープ・コネクタ 1 個のシリアル・コネクタ RAID コントローラー (モデルによって異なる): - RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M1115 SAS/SATA アダプター (オプションで FoD RAID 5/50 および SED (自己暗号化ドライブ) アップグレード可能)。 - RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M5110 SAS/SATA アダプター。オプションのアップグレード: - RAID 5/50 (512 MB キャッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) - RAID 5/50 (512 MB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) - RAID 5/50 (1 GB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き) - RAID 5/50 および SED (ゼロ・キャッシュ)
--	---	--

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

放出音響ノイズ: - 音響出力、アイドリング時: 6.0 ベル - 音響出力、動作時: 6.0 ベル 環境: - 室温: - サーバー電源オン時: 10°C から 35°C、許容高度: 0 m から 915 m - サーバー電源オン時: 10°C から 32°C、許容高度: 915 m から 2134 m - サーバー電源オン時: 10°C から 28°C、許容高度: 2134 m から 3050 m - サーバー電源オフ時 (スタンバイ電源あり): 5°C から 45°C - 出荷時: -40°C から 60°C - 湿度: - サーバー電源オフ時: 20% から 80%、最大露点: 21°C、最大変化率: 5°C/時間 - サーバー電源オフ時 (スタンバイ電源あり): 8% から 80%、最大露点: 27°C - 粒子汚染: 重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、944 ページの『粒子汚染』を参照してください。	発熱量 (消費電力): - 最小構成: 590 ワット - 最大構成: 1058 ワット 電源入力: - 正弦波入力 (50-60 Hz) 必須 - 低電圧入力レンジ: - 最小: 100 V AC - 最大: 127 V AC - 高電圧入力レンジ: - 最小: 200 V AC - 最大: 240 V AC - 入力電力 (kVA) (近似値): - 最小: 0.60 kVA - 最大: 1.10 kVA 注: - 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。 - 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。	
--	---	--

サーバーが提供する機能

このサーバーでは、次の機能およびテクノロジーが使用されています。

• Active Energy Manager

IBM Active Energy Manager ソリューションは、サーバーの電力消費量をその発生に合わせて測定し、レポートする IBM Systems Director 拡張機能です。この機能を使用すると、特定のソフトウェア・アプリケーション・プログラムやハードウェア構成と相関させて、電力消費量をモニターすることができます。システム管理インターフェースを通じて測定値を取得し、IBM Systems Director を使用してそれらの測定値を表示できます。IBM Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、IBM Systems Director インフォメーション・センター (<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp>) または <http://www.ibm.com/systems/software/director/resources.html> を参照してください。

• Dynamic System Analysis (DSA)

このサーバーには、サーバー上の内蔵 USB メモリーに IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが格納されています。DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ロ

グを作成します。DSA ログは、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

Dynamic System Analysis には、2 つのエディション (DSA Portable と DSA Preboot) が使用可能です。両方のエディションについて詳しくは、170 ページの『DSA のエディション』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポート**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。内蔵イーサネット・コントローラーにより提供される、Fiber Channel over Ethernet および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・アクティベーション・キーを購入できます。詳しくは、135 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID サポート**

このサーバーは、RAID レベル 5、6、50、および 60 アップグレードに対する Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。Features on Demand ソフトウェアの RAID アップグレードは、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれています。詳しくは、135 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation CD* には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、インストール済みのオプション・ハードウェアを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバを提供します。*ServerGuide Setup and Installation CD* について詳しくは、117 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM Systems Director**

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、IBM Systems Director インフォメーション・センター (<http://www.ibm.com/systems/software/director/resources.html> and 17 ページの『IBM Systems Director』) を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM2 は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条

件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生すると、IMM2 は問題の診断に役立つ LED を点灯し、IMM2 イベント・ログにエラーを記録し、さらにユーザーに対してアラートを発行します。オプションで、IMM2 はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM2 は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

追加情報については、129 ページの『統合管理モジュール II (IMM2) の使用』および *Integrated Management Module II User's Guide* (<http://www.ibm.com/supportportal>) を参照してください。

• 内蔵ネットワーク・サポート

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。詳しくは、135 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

• 内蔵 Trusted Platform Module (TPM)

この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。TPM の実装について詳しくは、<http://www.ibm.com/systems/x/hardware/enterprise/index.html> を参照してください。Setup ユーティリティの「**System Security**」メニュー選択で TPM サポートを使用可能にすることができます (119 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。

• 大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能

サポートされている SAS/SATA バックプレーン構成を使用する場合、このサーバーは、最大 16 個の 2.5 型ドライブ、32 個の 1.8 型ドライブ、または 2.5 型と 1.8 型の両方のドライブの組み合わせをサポートできます。このサーバーは、2.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハード・ディスクまたはホット・スワップ Serial ATA (SATA) ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ (SSD)、あるいは 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。

ホット・スワップ機能を使用すると、サーバーの電源をオフにせずに、ハード・ディスクの追加、取り外し、または置き換えを行うことができます。

• 大容量のシステム・メモリー

このメモリー・バスは、registered DIMM が取り付けられている場合、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。unbuffered DIMM が取り付けられている場合は、サーバーは、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、最大 24 個の業界標準 PC3-8500

(DDR3-1066)、PC3-10600 (DDR3-1333)、または PC3-12800 (DDR3-1600)、DDR3 (第 3 世代 double data rate)、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

- **Light Path 診断**

Light Path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、158 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。

- **メモリー・ミラーリング**

メモリー・ミラーリングは、構成済みのメモリー・マップ内でアドレス可能なすべてのコードおよびデータの冗長コピーを提供します。マイクロプロセッサ・メモリー・コントローラー・チップ・セットを介して、メモリー・ミラーリングは 2 つまたは 4 つのメモリー・チャンネルの DIMM 全体でデータを同時に複製して保管します。障害が起こると、メモリー・コントローラーは、1 次チャンネルの DIMM から、バックアップ・チャンネルの DIMM に切り替えます。Setup ユーティリティを使ってメモリー・ミラーリングを使用可能にするには、

「**System Settings**」→「**Memory**」→「**Memory Mode**」→「**Mirroring**」の順に選択します。メモリー・ミラーリングのための DIMM の取り付けについては、66 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。

- **メモリー・スペアリング**

このサーバーは、メモリー・スペアリングをサポートします。メモリー・スペアリングは、DIMM 障害のイベントが発生した場合のフェイルオーバー用にメモリー容量を予約します。予約された容量は使用可能メモリーの合計から減算されます。メモリー・スペアリングでは、メモリー・ミラーリングの場合よりも冗長性が低くなります。事前に決められた訂正可能エラーのしきい値に達すると、障害のある DIMM の内容がスペア・メモリーにコピーされ、障害のある DIMM またはランクは使用不可になります。Setup ユーティリティを使ってメモリー・スペアリングを使用可能にするには、「**System Settings**」→「**Memory**」→「**Memory Mode**」→「**Sparing**」の順に選択します。メモリー・スペアリングのための DIMM の取り付けについては、66 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。

- **IBM Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、1 ページの『第 1 章 IBM System x3500 M4 Type 7383 サーバー』のページにある QR コード情報を参照してください。

- **マルチコア・プロセッサ**

このサーバーは、最大 2 つの Intel Xeon™ E5-2600 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。ご使用のサーバーには、1 個のマイクロプロセッサのみが取り付けられています。

• PCI アダプター機能

このサーバーには、6 個の PCI インターフェース・スロットがあります。スロット 1 は、PCI-X 変換コネクタ・カードを介して、PCI Express または PCI-X アダプターをサポートすることができます。詳しくは、258 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。

• 冗長接続

オプションのイーサネット・ドーター・カードを追加し、適切なアプリケーションをインストールすることで、冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能を提供することができます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、オプションのイーサネット・ドーター・カードがサーバーに取り付けられている場合、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、自動的にオプションの冗長イーサネット・ドーター・カードの接続に切り替えられます。適切なデバイス・ドライバをインストールすると、この切り替えはデータ損失なく、ユーザーの介入なしで実行されます。

• 冗長冷却およびオプションの電源機能

このサーバーは、最大 2 個の 750 ワットまたは 900 ワットのパワー・サプライ・パワー・サプライ、および 6 個のシンプル・スワップ・ファンをサポートし、標準的な構成に対して冗長性とホット・スワップ機能を提供します。サーバー内のファンの冗長冷却により、ファンの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。サーバーには、1 個の 750 ワットまたは 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと 2 個のファンが標準で搭載されています。

サーバーに 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、ファン 2 を取り付ける必要があります。冷却装置の冗長性を得るために、オプションでファン 4、5、および 6 を注文することができます。電源の冗長性を得るために、オプションで 2 個目のパワー・サプライを注文することができます。

注:

1. サーバー内で 750 ワットと 900 ワットのパワー・サプライを混用することはできません。
2. 2 個の 225W GPU が取り付けられている場合は、サーバーは電源冗長モードで稼働していません。2 個の 900 ワットのパワー・サプライが必要です。

• リモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーでできるようにします。

- ディスケット・イメージを IMM2 メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM2 がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM2 がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。

詳しくは、131 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

• ServeRAID サポート

ServeRAID アダプターは、構成を作成するためのハードウェア新磁気ディスク制御機構 (RAID) サポートを提供します。標準 RAID アダプターは、RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。オプションの RAID アダプターもオーダーできます。

• システム管理機能

このサーバーには、統合管理モジュール II (IMM2) が付属しています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM2 を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理することができます。IMM2 は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。サーバー背面にあるシステム管理コネクタは IMM2 専用です。専用のシステム管理コネクタは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup ユーティリティを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

• UEFI 準拠サーバー・ファームウェア

UEFI ファームウェアには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) バージョン 2.1 準拠、Active Energy Management (AEM) テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、基本入出力システム (BIOS) 互換性サポートなどの機能が備わっています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。UEFI 準拠ファームウェアについて詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5083207> にアクセスしてください。

注: このサーバーは、DOS をサポートしません。

• VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。システム・ボードの USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクタに USB フラッシュ・デバ

イスを取り付けてください (31 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。詳しくは、134 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品および作業ともに 3 年間の限定保証 (マシン・Type 7383)
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- マスク不能割り込み (NMI) 時の自動再始動
- 電源障害後の自動再始動
- 統合管理モジュール II (IMM2) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター
- ほとんどのコネクターに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護
- x4 DRAM テクノロジー DIMM のための SDDC (Single Device Data Correction) (16 GB の DIMM でのみ使用可能)。これにより、ハード障害の後に、最大 2 つの DRAM DIMM のうち単一の x4 DRAM DIMM でデータが使用可能になります。各ランクにある 1 つの x4 DRAM DIMM は、スペース・デバイスとして予約されています。
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- エラー・コードとメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- フル・アレイ・メモリー・ミラーリング (FAMM) 冗長性
- 速度感知機能付きのホット・スワップ冷却ファン
- ホット・スワップ・ハード・ディスク
- ホット・スワップ・パワー・サプライ
- 通知および Light Path 診断 LED パネル
- 統合管理モジュール II (IMM2)
- DIMM、マイクロプロセッサ、ハード・ディスク、ソリッド・ステート・ドライブ、パワー・サプライ、およびファンの Light Path 診断 LED
- メモリー・ミラーリングおよびメモリー・スペアリングのサポート
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティ・テスト
- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。ミラーリングされていない訂正不能エラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再始動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM2 は訂正不能エラーをログに記録して POST に通知します。POST は、訂正不能エラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再始動します。
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム

- マイクロプロセッサの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル・モニター、内部サーマル・トリップ・シグナル・モニター、構成検査、および Light Path 診断によるマイクロプロセッサと電圧調節モジュールの障害識別
- マスク不可能割り込み (NMI) ボタン
- PCIe バスのパリティ・チェック
- 電源管理: 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- メモリー、SAS/SATA ハード・ディスク、またはソリッド・ステート・ドライブの障害予知機能 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポートのある冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライおよび冗長ホット・スワップ・ファン
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- システム・エラー LED を一時的にオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベースの診断
- ROM チェックサム
- メモリー上の Serial Presence Detection (SPD)、システム・ボード上の VPD、パワー・サプライ、およびハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサおよびメモリー拡張トレイ、ならびにイーサネット・アダプター
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの単一 DIMM 分離
- ソリッド・ステート・ドライブ
- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成
- システム・エラー・ログ (POST および IMM2)
- Inter-Integrated Circuit (I2C) プロトコル・バスを通じたシステム管理モニター
- 訂正不能エラー (UE) の検出
- POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM2 ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード (ローカルで、または LAN 経由でアップグレード可能)
- マイクロプロセッサ、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハード・ディスクおよびソリッド・ステート・ドライブ) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director では、単一のユーザー・インターフェースによって管理対象システムを一貫性のある形で表示し、それらのシステムの相互関係を判別し、それぞれの状況を識別することができます。したがって、技術的リソースとビジネス・ニーズの相関関係を把握しやすくなります。IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。一般タスクには、管理対象システム、ハードウェア・ログ、電源、および Light Path の検出、インベントリー、構成、システム・ヘルス、モニター、更新、イベント通知、自動化などがあります。

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、IBM Systems Director Information Center (<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp>) および Systems Management Web ページ (<http://www.ibm.com/systems/management>) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、35 ページの『システム・ボードの LED およびコントロール』を参照してください。

正面図

次の図は、サーバーの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。

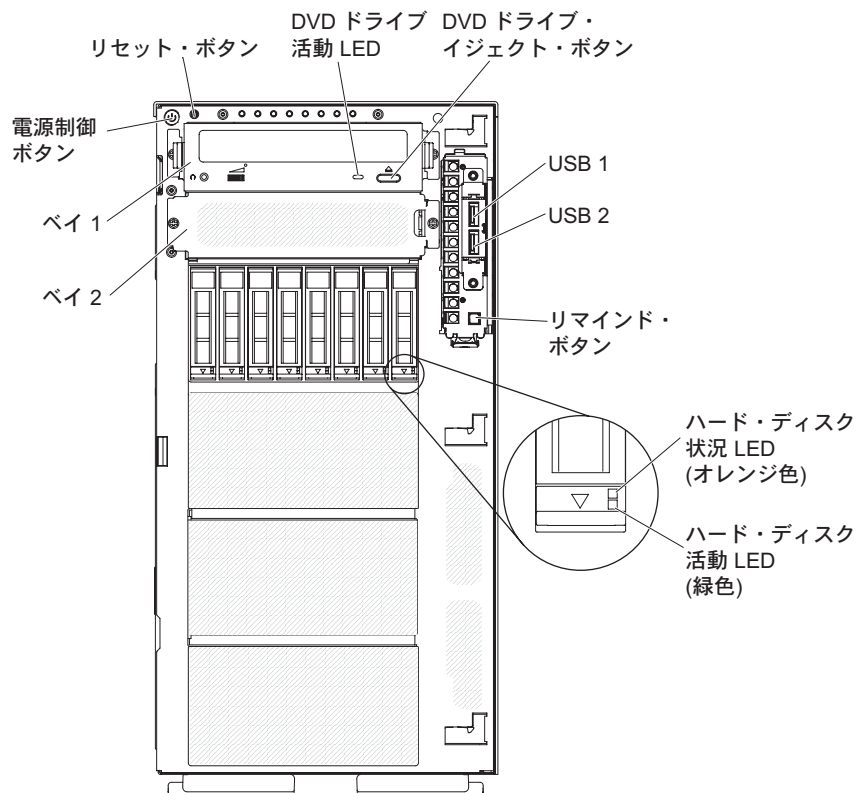


図 3. サーバーの前面図

注: 前面ベゼルは図示されていないため、ドライブ・ベイが見えています。

• 電源制御ボタン:

このボタンを押すと、サーバーの電源を手動でオンまたはオフにできます。

• ハード・ディスク活動 LED:

この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。

• ハード・ディスク状況 LED:

この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。この LED が点灯したままになっているときは、ドライブに障害が発生したことを示します。オプションの IBM ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられている場合、この LED がゆっくりと (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構成されていることを示します。LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。

- **DVD ドライブ活動 LED:**

この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示します。

- **DVD イジェクト・ボタン:**

DVD または CD を DVD ドライブから取り出すには、このボタンを押します。

- **Light Path 診断パネル:**

Light Path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムです。エラーが発生すると、サーバー全体で LED が点灯します。多くの場合、特定の順序で LED を確認することで、エラーの発生源を識別することができます。Light Path 診断について詳しくは、21 ページの『Light Path 診断パネル』を参照してください。

- **オペレーター情報パネル:**

このパネルには、コントロールと、サーバーの状況を示す LED が装備されています。オペレーター情報パネルのコントロールと LED については、20 ページの『オペレーター情報パネル』を参照してください。

- **リマインド・ボタン:**

このボタンを押すと、オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED/チェック・ログ LED をリマインド・モードにします。リマインド・モードでは、問題が修正されるか、サーバーが再始動されるか、新しい問題が発生するまで、システム・エラー LED が 2 秒に 1 回点滅します。

システム・エラー LED インディケーターをリマインド・モードに入れることにより、ユーザーは、最後の障害を認識しているが、問題を訂正するための即時アクションは取らないということを確認します。リマインド機能は IMM2 によって制御されます。

- **リセット・ボタン:**

このボタンを押すと、サーバーがリセットされ、パワーオン・セルフテスト (POST) が実行されます。ボタンを押すには、ペンまたは真つすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。

- **USB コネクタ:**

USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクタのいずれかに接続します。

オペレーター情報パネル

次の図は、オペレーター情報パネル上のコントロールと LED を示しています。

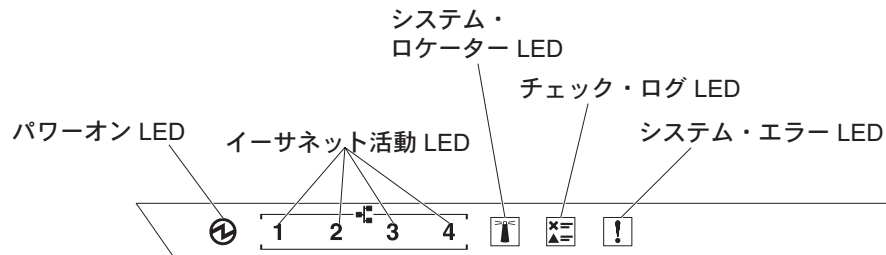


図 4. オペレーター情報パネル

• パワーオン LED:

この LED が点灯しており、点滅していない場合は、サーバーがオンになっていることを示します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。

– オフ:

電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。

– 高速で点滅 (1 秒あたり 4 回):

サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていません。電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。

– 低速で点滅 (1 秒間に 1 回):

サーバーの電源がオフですが、すぐにオンにできる状態です。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

– Lit:

サーバーの電源がオンになっている。

• イーサネット活動 LED:

これらのいずれかの LED が点滅している場合、その LED に対応するイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間でサーバーが信号の送信または受信を行っていることを示します。

• システム・ロケーター LED:

この青色の LED は、複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために使用します。IBM Systems Director を使用して、この LED をリモート側で点灯させることができます。この LED は IMM2 によって制御されます。システム・ロケーター LED をオンにすると、LED が点滅し、オフにするまで点滅が続きます。

• チェック・ログ LED:

この黄色の LED が点灯しているときは、さらに診断が必要なエラーがあることを示します。 IMM2 イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してください。イベント・ログについての詳細は、165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

• **システム・エラー LED:**

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。Light Path 診断パネル上の LED を点灯して、エラーを特定するのに役立ちます。この LED は IMM2 によって制御されます。

次の表では、オペレーター情報パネル上の LED および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

表 2. オペレーター情報パネル LED

LED	説明	処置
システム・ロケーター (青色)	この LED は、複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。IBM Systems Director または IMM2 を使用して、この LED をリモートで点灯させることができます。	
チェック・ログ (黄色)	エラーが発生しており、特定の手順を実行しなければ切り分けることができません。	1. IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。 2. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。
システム・エラー (黄色)	エラーが発生しました。	1. Light Path 診断 LED を確認し、指示に従います。 2. IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。 3. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。

Light Path 診断パネル

次の図は Light Path 診断パネルの前面にある LED を示しています。Light Path 診断パネルは前面ベゼルから確認することができます。

注: サーバーが電源に接続されている間のみ、Light Path 診断 LED が点灯し続けます。

Light Path 診断パネル上の LED について詳しくは、158 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。

次の図は、Light Path 診断パネル上の LED を示しています。

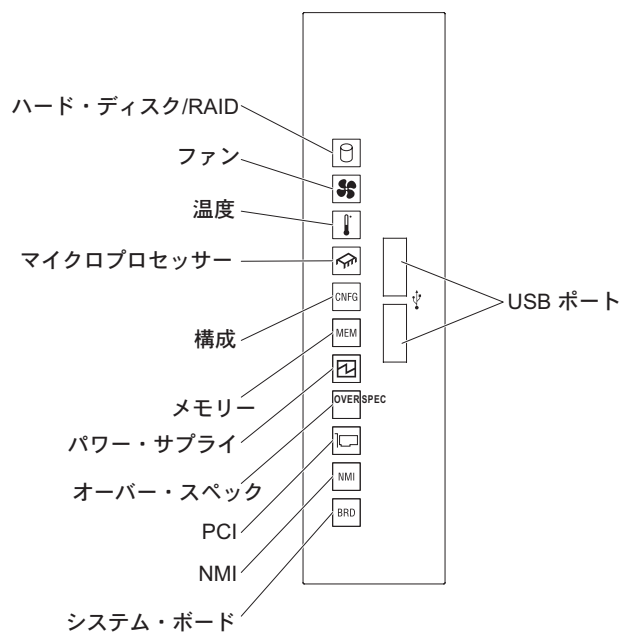


図 5. Light Path 診断パネル

背面図

次の図は、サーバーの背面にあるコネクタおよび LED を示しています。

次の図は、サーバー背面にあるコネクタを示しています。

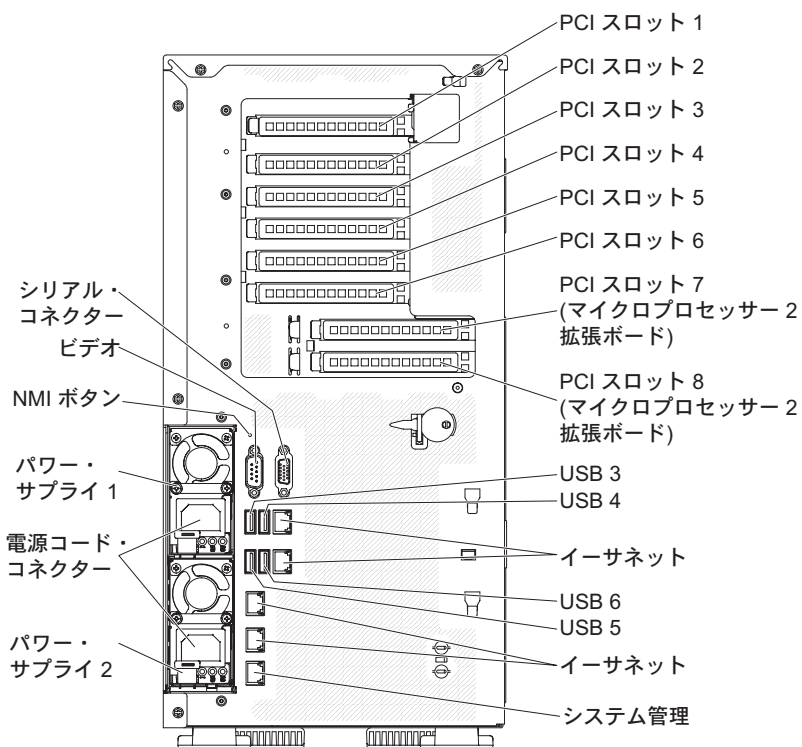


図 6. サーバーの背面図

- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。 ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。
- **PCI スロット 1:** このスロットには、ハーフサイズ、フルハイト PCI Express アダプターまたは PCI-X 変換コネクター・カードを挿入します。
- **PCI スロット 2:** このスロットには、ハーフサイズ、フルハイト PCI Express アダプターを挿入します。
- **PCI スロット 3:** このスロットには、フルサイズ、フルハイト PCI Express アダプターを挿入します。
- **PCI スロット 4:** このスロットには、フルサイズ、フルハイト PCI Express アダプターを挿入します。
- **PCI スロット 5:** このスロットには、フルサイズ、フルハイト PCI Express アダプターを挿入します (225W GPU をサポート)。
- **PCI スロット 6:** このスロットには、フルサイズ、フルハイト PCI Express アダプターを挿入します。
- **PCI スロット 7:** このスロットには、フルサイズ、フルハイト PCI Express アダプターを挿入します (225W GPU をサポート)。
- **PCI スロット 8:** このスロットには、フルサイズ、フルハイト PCI Express アダプターを挿入します。
- **電源コネクター:** 電源コードは、このコネクターに接続します。

注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。 パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。

- **ビデオ・コネクター:** モニターは、このコネクターに接続します。

注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。

- **シリアル・コネクター:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクターに接続します。シリアル・ポートは統合管理モジュール II (IMM2) と共有されます。 IMM2 は、Serial over LAN (SOL) を使用して、共用シリアル・ポートを制御してシリアル・トラフィックのリダイレクトを行うことができます。
- **USB コネクター:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。
- **システム管理イーサネット・コネクター:** サーバーをネットワークに接続してシステム管理情報を完全に制御するには、このコネクターを使用します。 このコネクターは、統合管理モジュール II (IMM2) 専用です。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。 Setup ユーティリティを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。 Setup ユーティリティで IMM2 用の共有イー

イーサネットを使用可能にすると、イーサネット 1 またはシステム管理イーサネット・コネクタのいずれかを使用して IMM2 にアクセスすることができるようになります。

次の図は、サーバー背面にある LED を示しています。

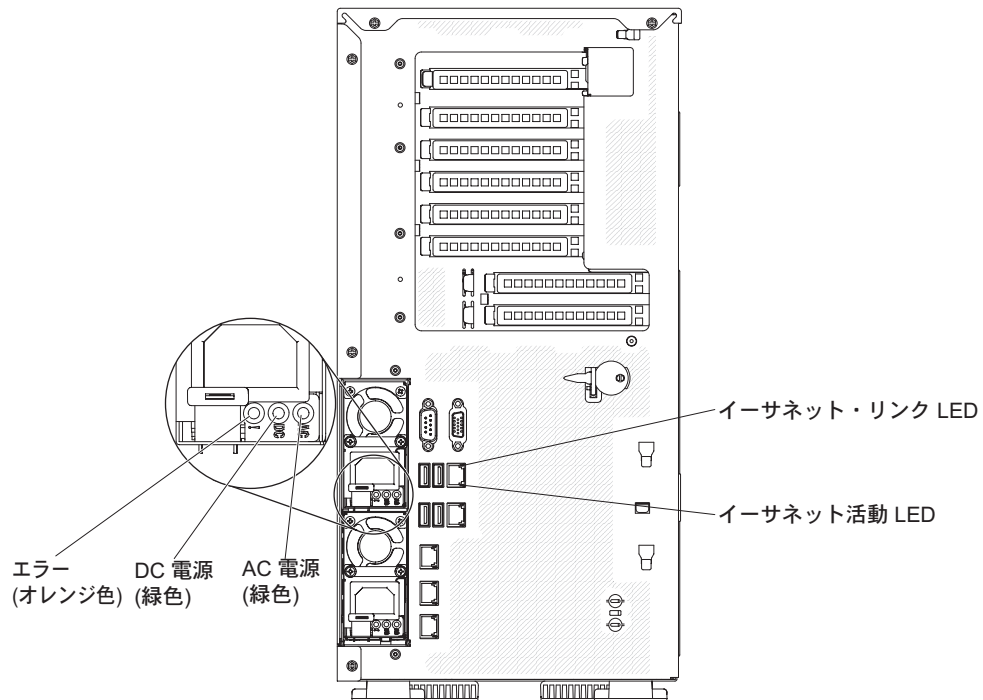


図 7. サーバー背面にある LED

- **イーサネット活動 LED:** この LED が点灯している場合、サーバーが、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号の送受信を行っていることを示します。
- **イーサネット・リンク LED:** これらの LED が点灯している場合、イーサネット・ポートにアクティブなリンク接続があることを示します。
- **AC 電源 LED:** 各ホット・スワップ・パワー・サプライには、AC 電源 LED が備わっています。AC 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。通常の動作時には、AC 電源 LED が点灯します。
- **DC 電源 LED:** 各ホット・スワップ・パワー・サプライには DC 電源 LED と AC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生したことを示します。

注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを適切な入力ソースに接続しても、電源がオンにならない場合、オペレーティング・システムは実行されず、サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) 以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。

ただし、サーバーは、サービス・プロセッサへの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) に応答できます。パワーオン LED が点滅することにより、サーバーが入力電力に接続されているものの、オンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが入力電力に接続されてから約 5 秒すると、1 つ以上のファンが稼働し始め、パワーオン LED が高速で点滅します。サーバーが入力電力に接続されてから約 10 秒後に、パワーオン・ボタンがアクティブになります。パワーオン・ボタンがアクティブになった後、パワーオン LED はゆっくり点滅します。パワーオン・ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

手順

1. パワーオン・ボタンを押して、サーバーの電源をオンにします。
2. 次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオンにすることもできます。
 - サーバーの電源がオンのときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
 - 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

次のタスク

1. 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。
2. 外部グラフィック・アダプターを取り付けた状態でサーバーの電源をオンにすると、IBM ロゴは、約 3 分後に画面に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。
3. 左サイド・カバーが閉じていることを確認します。

サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーの電源をオフにしても、入力電力に接続したままにしておくと、リモートからのサーバー電源オン要求など、サービス・プロセッサ (統合管理モジュール II (IMM2)) に対する要求にサーバーが応答することができます。サーバーが入力電力に接続されたままになっていると、1 つ以上のファンが回転を続行することがあります。サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

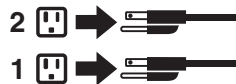
オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に、正常シャットダウンが必要な場合があります。オペレーティング・システムのシャットダウンについての詳細は、オペレーティング・システム関係の資料をお読みください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置内の電流を完全にカットするには給電部からすべての電源コードを取り外してください。



手順

サーバーは、次のいずれの方法でも電源をオフにできます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムが、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムを正常シャットダウンし、サーバーをオフにする機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始しサーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。

注: PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express アセンブリーおよび PCI-X アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。

- 統合管理モジュール II (IMM2) は、クリティカルなシステム障害に対する自動応答として、サーバーの電源をオフにすることができます。
- 左サイド・カバーが開くと、サーバーの電源がオフになります。

第 2 章 オプション装置の取り付け

この章では、オプションのハードウェア・デバイスをサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

始める前に

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

手順

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。必要に応じて、UEFI および IMM2 ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、113 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
2. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を適用します。 *Firmware Update Guides* 資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。追加のヒントは、以下の Web サイトから入手可能です。
 - System x 構成ツール: <http://www.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html>
3. オプションのハードウェア・デバイスを取り付けの前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
4. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクタのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

IBM ビジネス・パートナー用の手順

Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによって、新規に取り付けたデバイスを検証する、IBM ビジネス・パートナー用の手順。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。DSA の使用については、169 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを IBM に送信します。データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/>で入手できます。

IBM への DSA データの送信

IBM に DSA データを送信するには、標準アップロード、システムのシリアル番号を使用した標準アップロード、セキュア・アップロード、およびシステムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロードを使用できます。

始める前に

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html>の利用条件をお読みください。

手順

以下のいずれかの方法を使用して、IBM に診断データを送信することができます。

- 標準アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

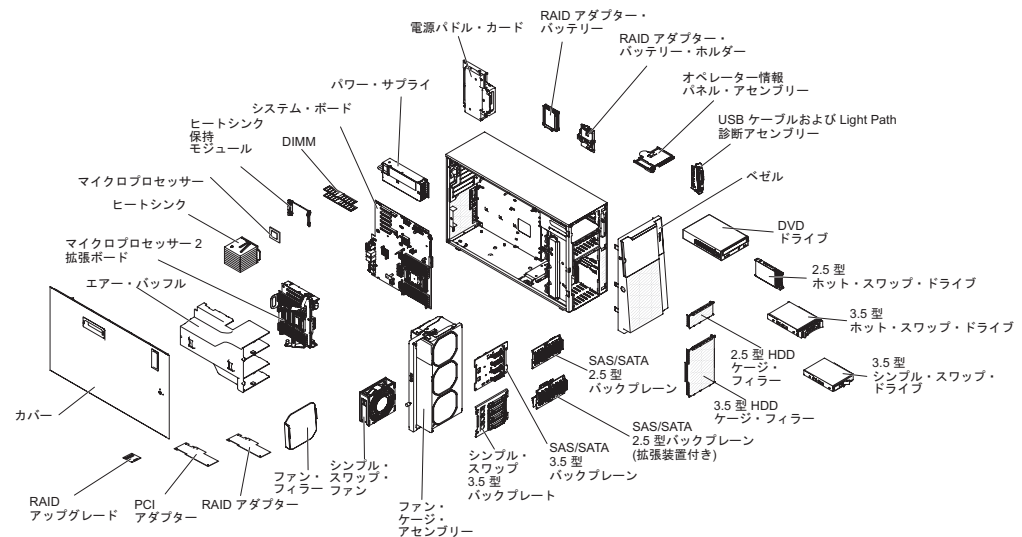


図 8. サーバー・コンポーネント

システム・ボードの内部コネクタ

次の図は、システム・ボードおよびマイクロプロセッサ 2 拡張ボード上の内部コネクタを示しています。

次の図は、システム・ボード上の内部コネクタを示しています。

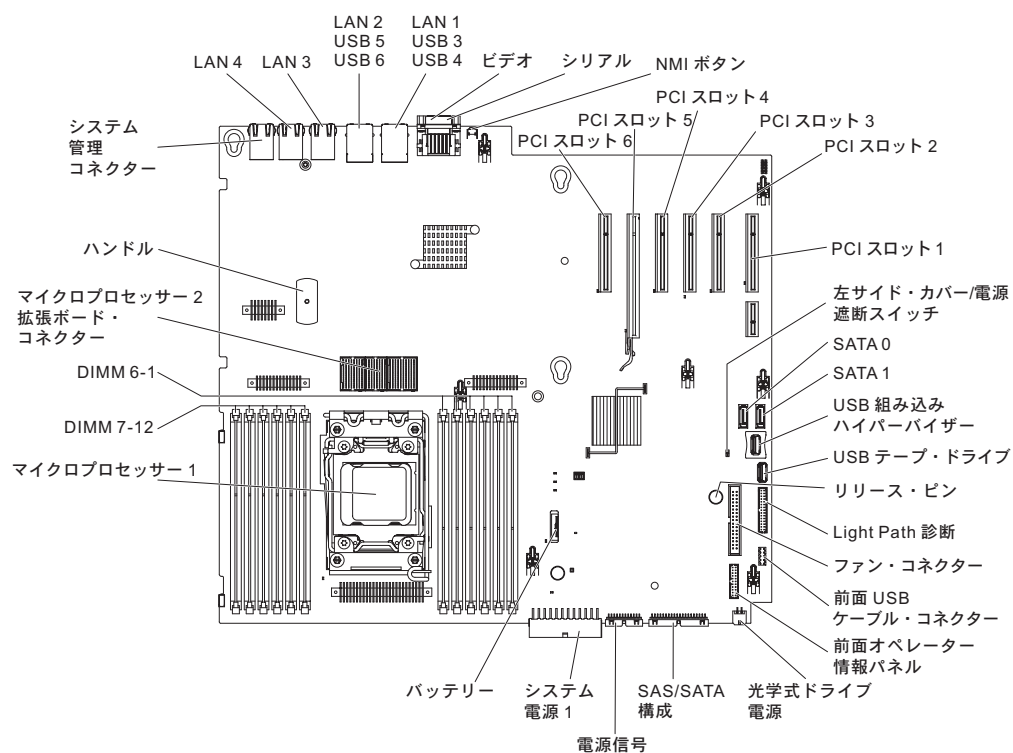


図 9. システム・ボード上の内部コネクタ

次の図は、マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上の内部コネクタを示しています。

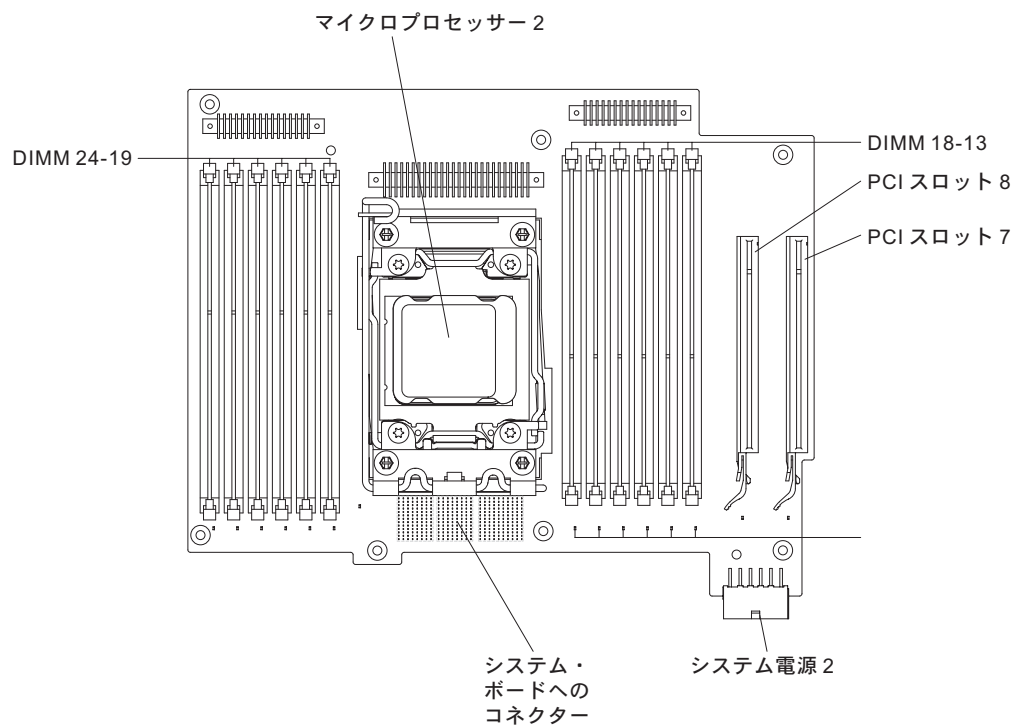


図 10. マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上の内部コネクタ

システム・ボードの外部コネクタ

次の図に、システム・ボード上の外部コネクタを示します。

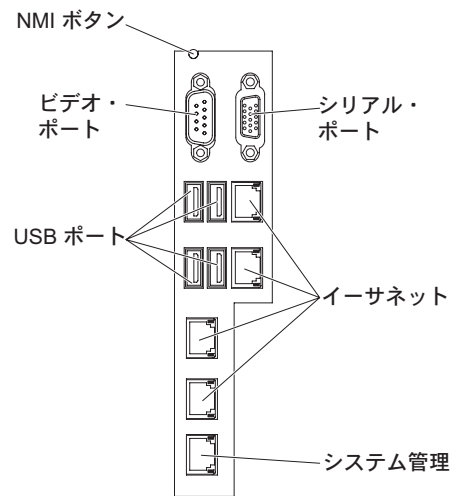


図 11. システム・ボード上の外部コネクタ

システム・ボードのスイッチとジャンパー

以下の図でスイッチとジャンパーについての位置と説明を示します。

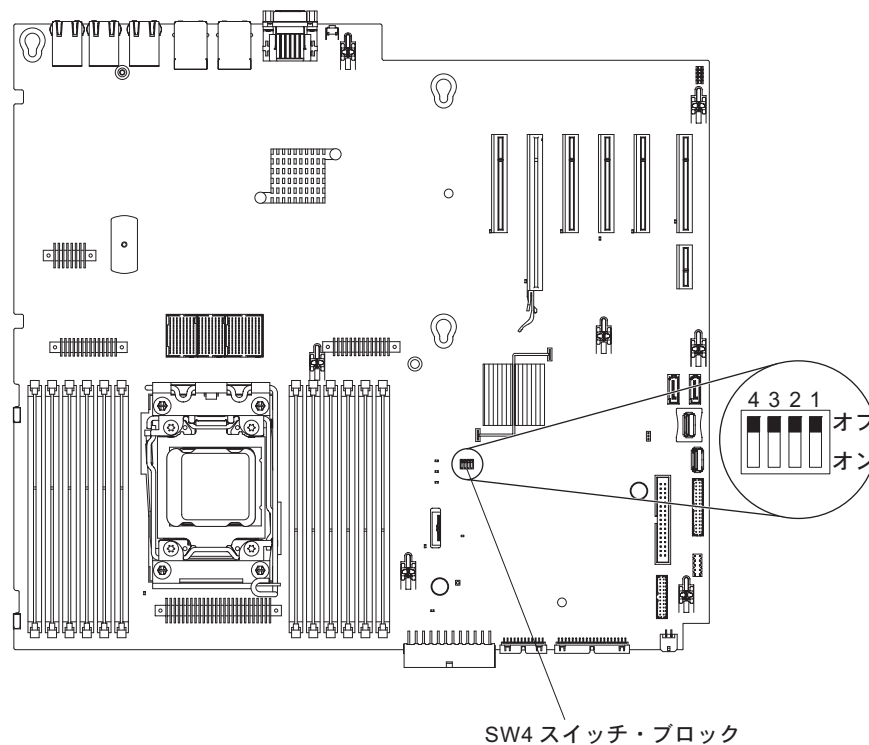


図 12. スイッチおよびジャンパーの位置と説明

注: スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

以下の表は、システム・ボード上にある SW4 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 3. システム・ボードの SW4 スイッチ・ブロック定義

スイッチ 番号	スイッチ名	デフォルトの位 置	説明
1	UEFI ブート・バックア ップ	オフ	このスイッチがオフである場合、プライマリー・ファームウ ェア ROM ページがロードされます。このスイッチがオンの ときは、2 次 (バックアップ) ファームウェア ROM ページが ロードされます。 注: サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バック アップ・スイッチの位置を変更すると、ロードされるフラッシュ ROM ページが変更されます。サーバーの電源をオンにした後 は、スイッチを移動させないでください。これを行うと、予 測不能な問題が発生する可能性があります。
2	システム TPM 物理プレ ゼンス	オフ	オンにすると、システム TPM に対して物理プレゼンスを示 します。
3	始動パスワードのオー バーライド	オフ	オンにすると、次回にサーバーの電源をオンにしたときに始 動パスワード検査をバイパスして Setup ユーティリティーが 開始されるため、始動パスワードの変更または削除を行うこ とができます。 注: 1. 始動パスワードが変更された後に、スイッチをデフォルト 位置に戻す必要はありません。 2. 管理者パスワードが設定されている場合には、このスイッ チの位置を変更しても、管理者パスワードは影響を受けま せん。パスワードに関する追加情報については、125 ペー ジの『パスワード』を参照してください。
4	CMOS クリア	オフ	オンにすると、CMOS メモリーをクリアします。

注:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにしてください。vii ページの『安全について』、38 ページの『取り付けのガイドライン』、41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 26 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

システム・ボードの LED およびコントロール

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

問題を切り分けるために、システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後エラー LED を点灯させることができます。システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後、最大 90 秒間は電力が残り、これらの LED を使用することができます。エラー LED を確認するには、システム・ボード上の Light Path ボタンを押したままにして、エラー LED を点灯します。システム・ボード・トレイの稼働中に点灯したエラー LED が、このボタンを押している間、再度点灯します。

次の図は、システム・ボード上の LED およびコントロールを示しています。

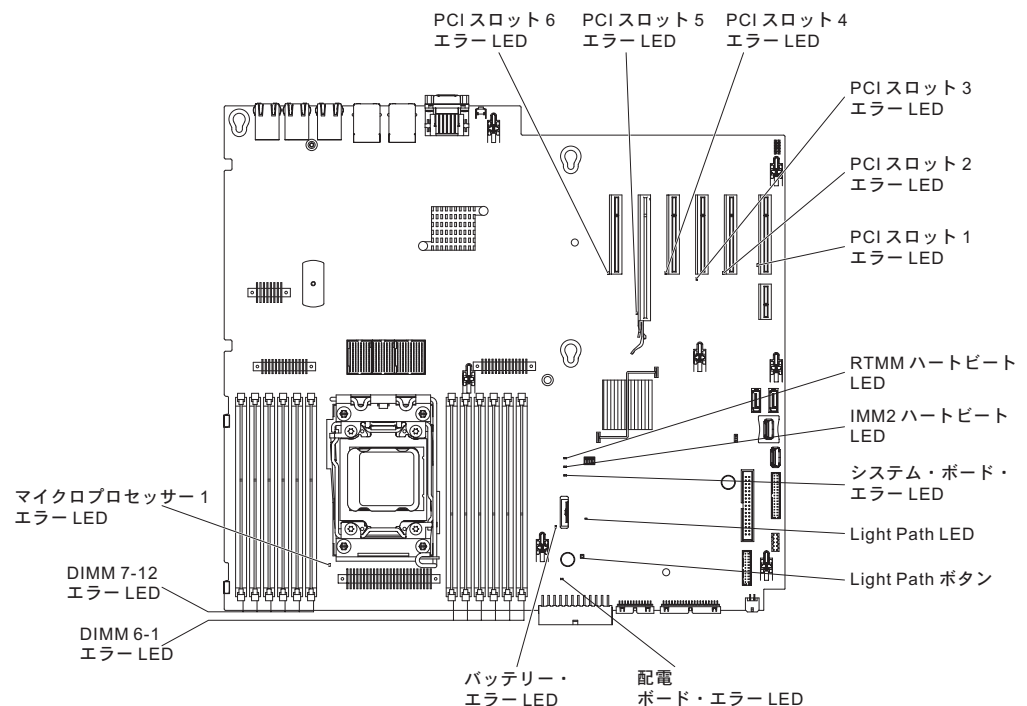


図 13. システム・ボード上の LED およびコントロール

次の図は、マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上の LED を示しています。

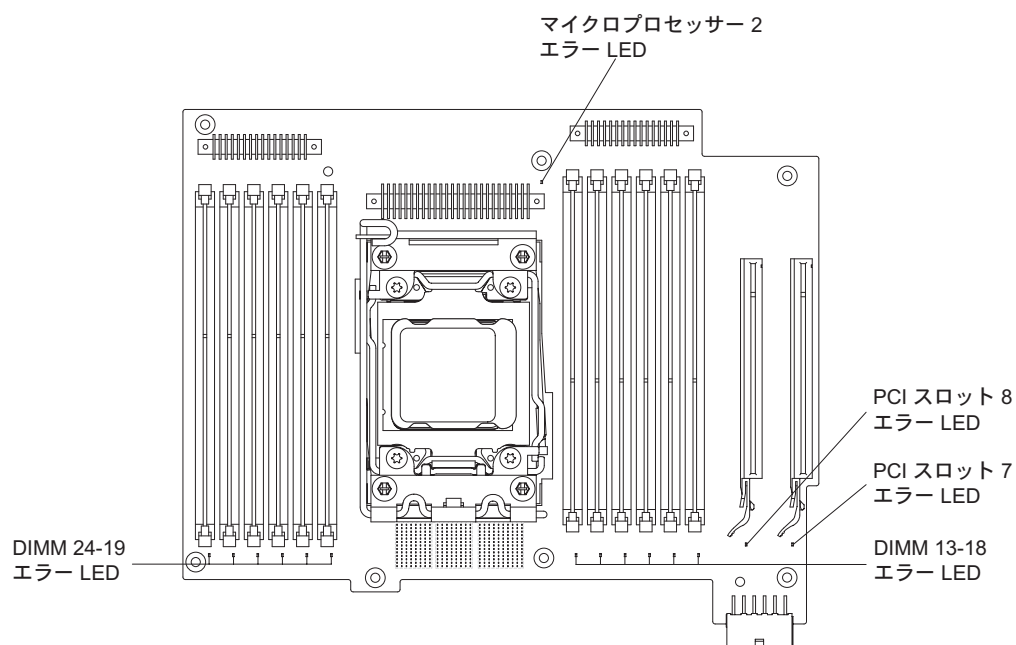


図 14. マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上の LED

ハード・ディスク・バックプレーン・コネクター

次の図は、2.5 型および 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンおよびバックプレート・アセンブリー上のコネクターを示しています。

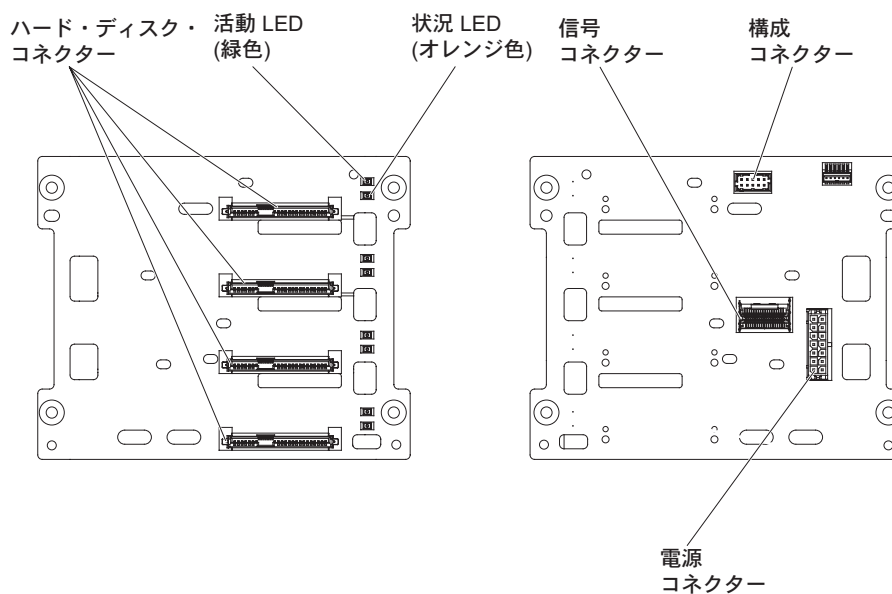


図 15. 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター

ハード・ディスク・
コネクター

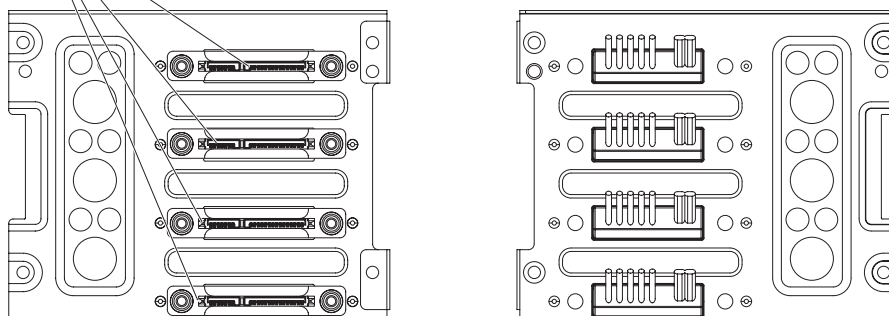


図 16. 3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー上のコネクター

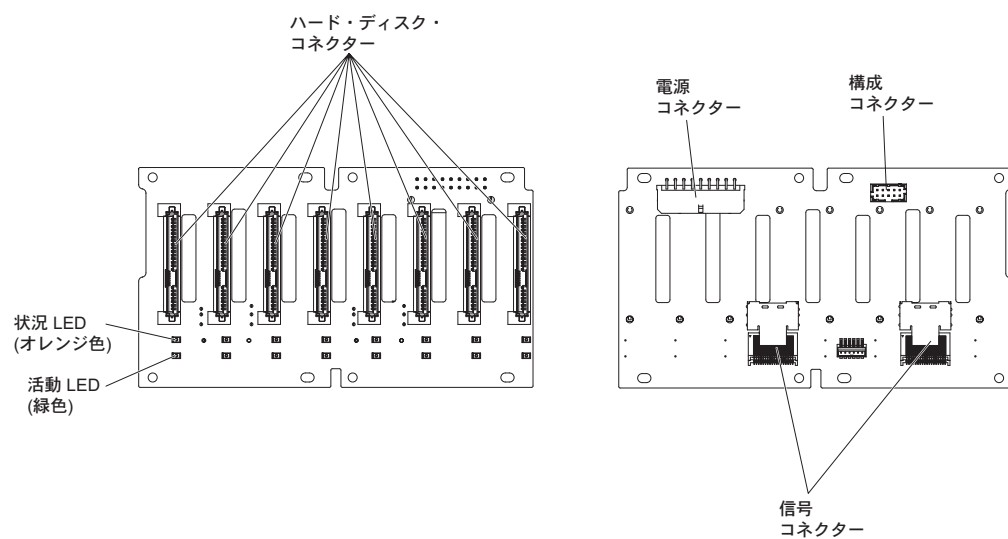


図 17. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター

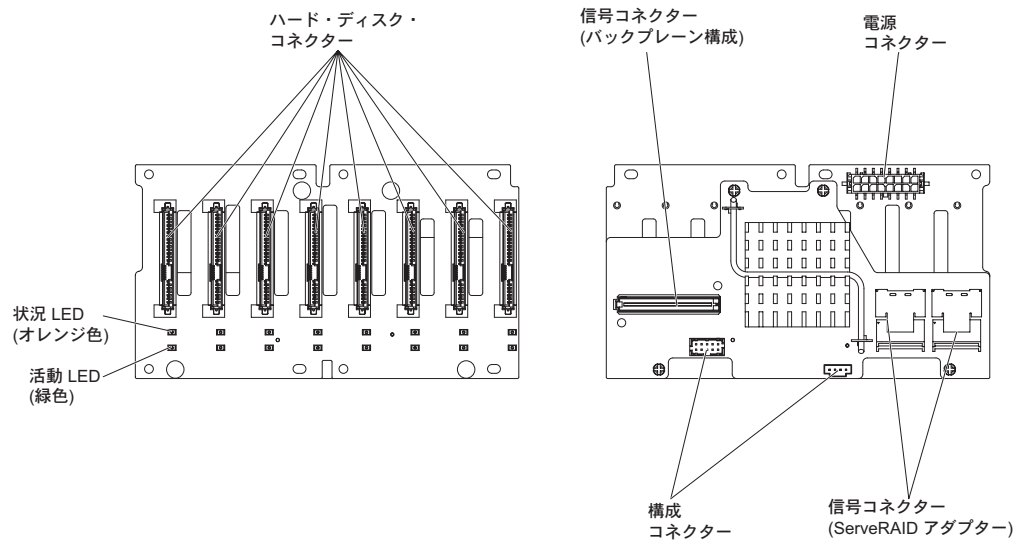


図 18. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン (拡張装置付き) 上のコネクタ

取り付けのガイドライン

IBM System x3500 M4 Type 7383 を取り付けるには、この取り付けのガイドラインを使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、41 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- 新規サーバーをインストールする場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし適用してください。この手順は、既知の問題に対処し、ご使用のサーバーを最高レベルの性能で作動可能にするために役立ちます。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正常に作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバーを用意してください。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青い表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉するときなどは、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上またはその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。(オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。) それぞれのホット・スワップ・コンポーネントの取り外しま

たは取り付け前に実行する必要がある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。

- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却を確保するためのシステムの信頼性に関するガイドライン。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーに冗長電源がある場合、それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられている。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換してある。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に再取り付けを行う。
- エアー・バッフルあるいはファン・フィラーを取り付けていない状態でサーバーを作動させないこと。エアー・バッフルあるいはファン・フィラーを取り付けずにサーバーを稼働させると、マイクロプロセッサがオーバーヒートを起こす可能性があります。

注: エアー・バッフルは、マイクロプロセッサ 2 拡張ボード・オプションに付属しています。

- マイクロプロセッサのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサとヒートシンクが常にある。
- マイクロプロセッサ 2 拡張ボード・オプションを取り付けた場合、エアー・バッフルおよびファン 2 が取り付け済みである。

注: 適切な冷却を確保するためには、ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプターをスロット 4、7、および 8 に取り付けないでください。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このサーバーは、ホット・プラグ、ホット・アド、およびホット・スワップの部品をサポートし、サーバーの電源をオンにして、サーバー・カバーを取り外した状態で安全に作動するように設計されています。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

注: 電源がオンのサーバー内部で作業を行うには、サーバー・カバーを取り外す前に電源遮断スイッチを使用不可にする必要があります。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- プレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気に弱い装置は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような場所に放置しないでください。

- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をパッケージから取り出して、下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

ベゼル・メディア・ドアのオープン

左サイド・カバーのロックを解除してベゼルを開くか取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

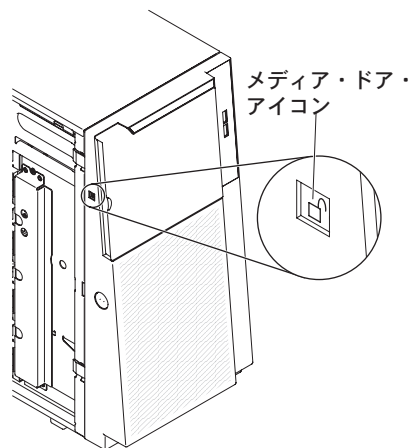
vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

メディア・ドアを開くには、次のステップを実行してください。

手順

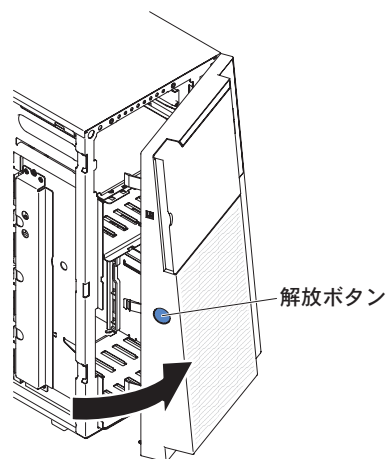
1. メディア・ドア・アイコンの状況を確認します。ベゼル側面のアイコンがロック解除位置にある場合は、ベゼル・メディア・ドアを直接開きます。



2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

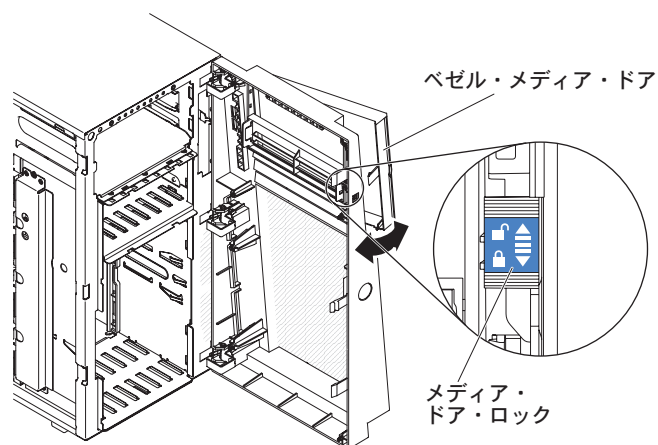
注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

3. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



解放ボタン

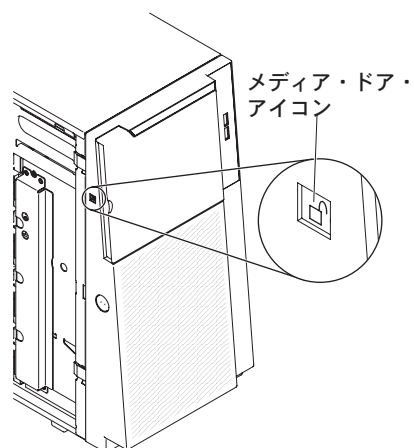
4. ベゼル・ドアの上部セクションの内側から、青色のタブを上スライドさせて、ベゼル・メディア・ドアのロックを解除します。次に、メディア・ドアのくぼんだ部分をつかんで、ドアを引っ張って開きます。



ベゼル・メディア・ドア

メディア・
ドア・ロック

5. メディア・ドアのロックが解除されたら、ベゼルの側面のアイコンが、ロック解除位置になります。



メディア・ドア・
アイコン

左サイド・カバーの取り外し

サーバーに付属のかぎを使用して、左サイド・カバーのロックを解除して取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

重要: オプションのハードウェア・デバイスを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

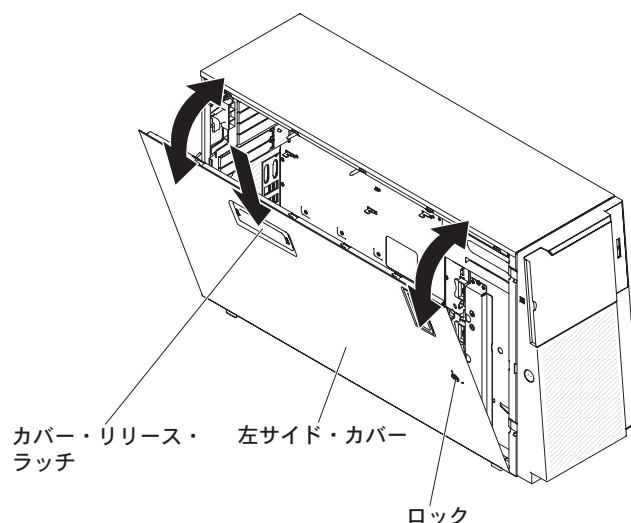
このタスクについて

重要: 左サイド・カバーが取り外されると、サーバーの電源が自動的にオフになります。

左サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーに付属のかぎを使用して、左サイド・カバーのロックを解除します。
2. カバー・リリース・ラッチを下に引きながら、カバーの上端を回転させてサーバーから引き離し、カバーを持ち上げてサーバーから取り外します。



エアー・バッフルの取り外し

サーバーからエアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

注: 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサ・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルも取り付ける必要があります。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

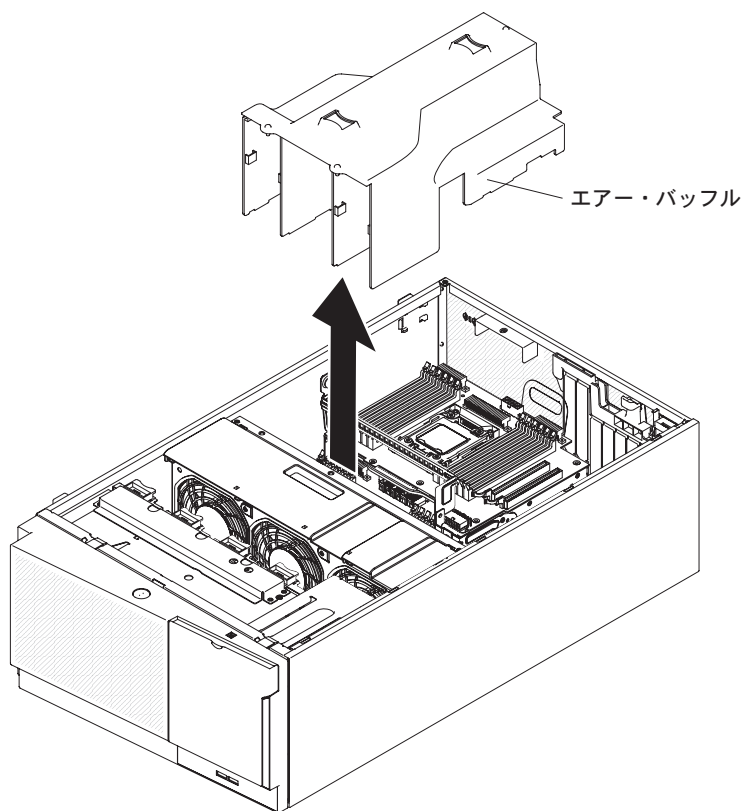
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルをサーバーから取り外して横に置きます。



重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。2 個のマイクロプロセッサを取り付けている場合、エアー・バッフルが取り外された状態でサーバー稼働させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し

サーバーからファン・ケージ・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

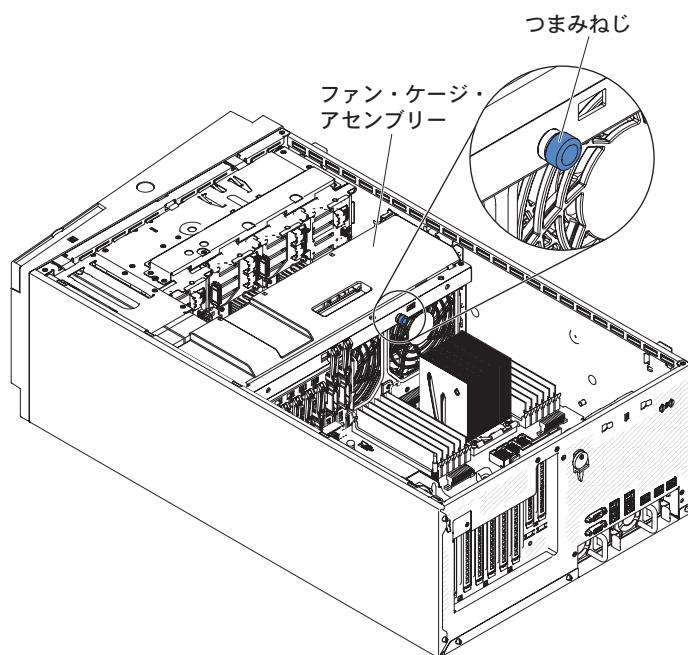
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

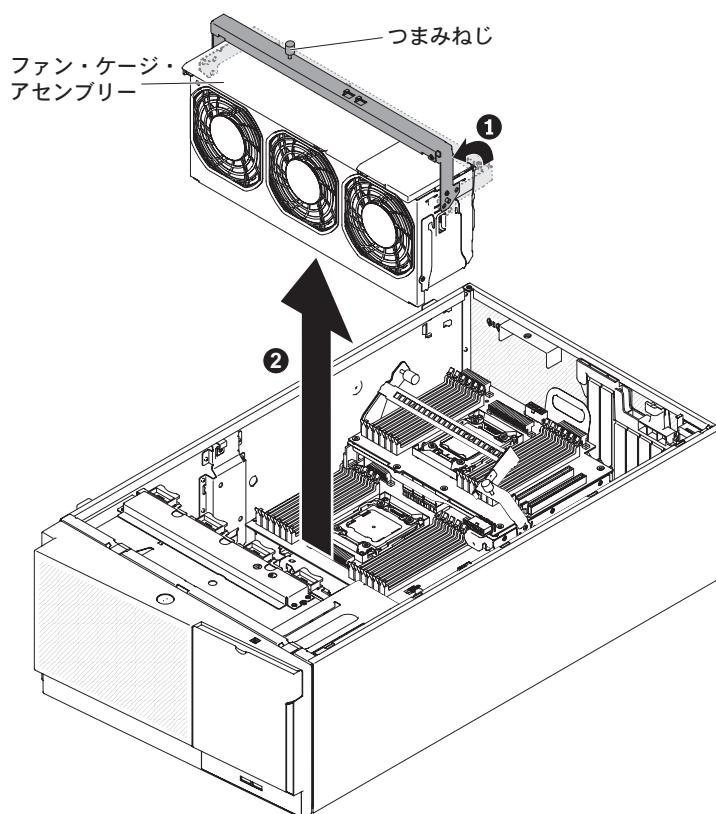
ファン・ケージ・アセンブリーを取り外すには、次の手順を実行します。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードからすべての長いカードを取り外します。
5. システム・ボードからファン・ケージ電源ケーブルを切り離します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
6. ファン・ケージ・リリース・ラッチのつまみねじを緩めます。



7. ファン・ケージ・リリース・ラッチを開いた位置に回転させます。リリース・ラッチが完全に開くと、ファン・ケージが少し持ち上がります。



8. ファン・ケージ・アセンブリーをつかんで持ち上げ、サーバーから取り出します。

シンプル・スワップ・ファンの取り付け

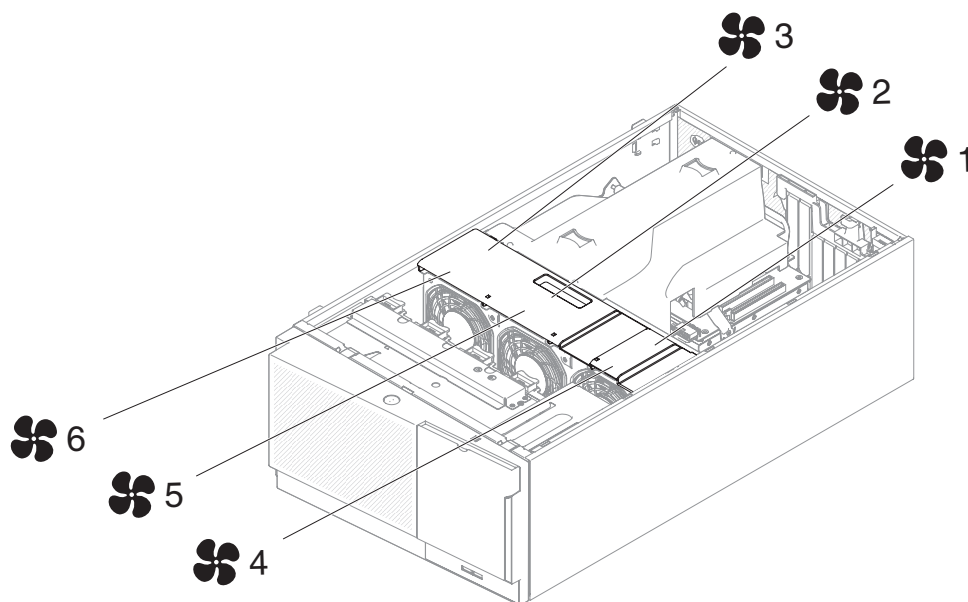
シンプル・スワップ・ファンをサーバーに取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

サーバーには、標準で 2 個の 120 mm x 38 mm シンプル・スワップ・ファンがファン・ケージ・アセンブリーに備わっています。サーバーにシンプル・スワップ・ファンを取り付ける場合は、次の手順を使用できます。

注:

1. 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサ・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルを取り付ける必要があります。ファン・フィルターを取り外すことができるのは、ファン 2 を取り付ける場合のみです。それ以外の場合は、適切な冷却を確保するためにファン・フィルターを取り付けておく必要があります。



2. 冗長冷却を得るために、3 個の追加ファンを注文することができます。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

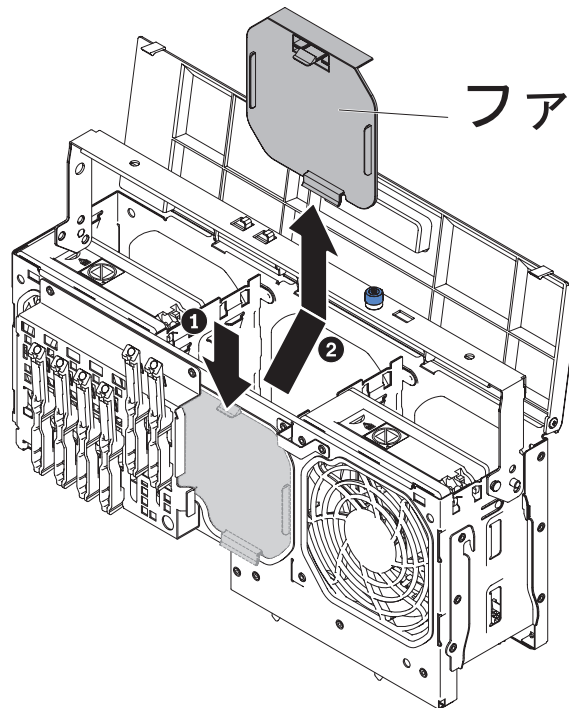
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

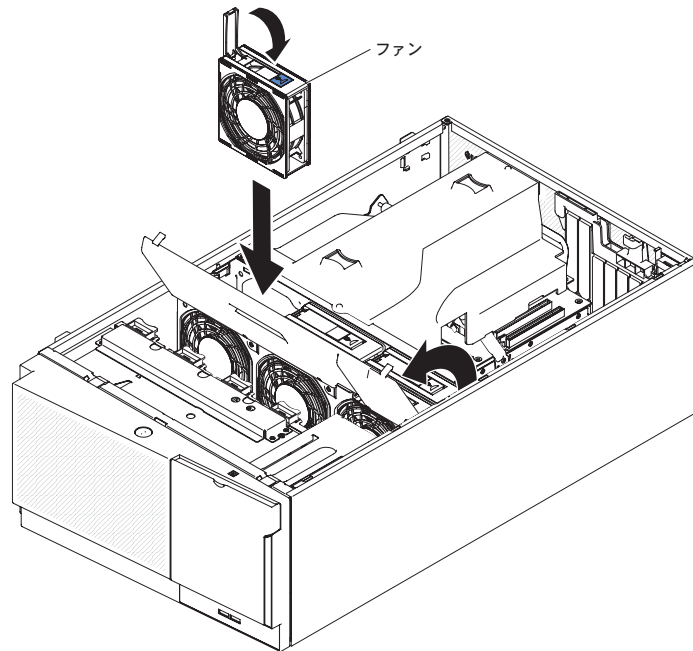
シンプル・スワップ・ファンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. シンプル・スワップ・ファンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからファンを取り出します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します（44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照）。
3. ファン・ケージ・カバーを開きます。
4. 以下のステップは、シンプル・スワップ・ファンをファン 2 コンパートメントに取り付ける場合にだけ実行してください。
 - a. リリース・レバーを解放し、開きます（326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照）。
 - b. ファン・フィラーのクリップを押して解放し、ファン・フィラーをサーバーから取り外します。



- c. リリース・レバーを閉じて、固定します。
5. 交換するファンのファン・ロック・ハンドルを開きます。
 6. ファンをソケットに挿入し、ハンドルをロック位置まで閉じます。



7. ファン・ケージ・カバーを閉じます。
8. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (108 ページの『左サイド・カバーの再取り付け』を参照)。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ハード・ディスクの取り付け

次の図は、サーバー内のドライブ・ベイの位置を示しています。ご使用のモデルによって、ハードウェアが少し異なる場合があります。

サーバーのモデルによって、ベイ 1 に SATA 接続 DVD-ROM が取り付けられている場合があります。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

次の図には、2.5 型ホット・スワップ SAS ハード・ディスクあるいは 2.5 型ホット・スワップ SATA ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

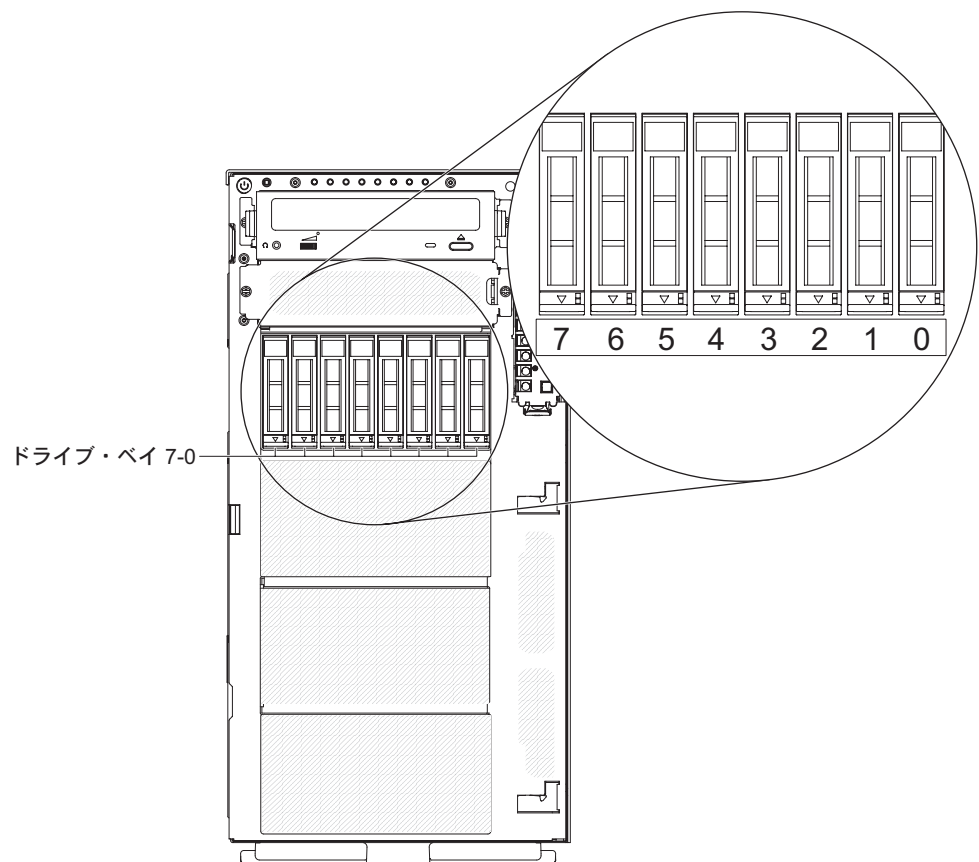


図 19. 8 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

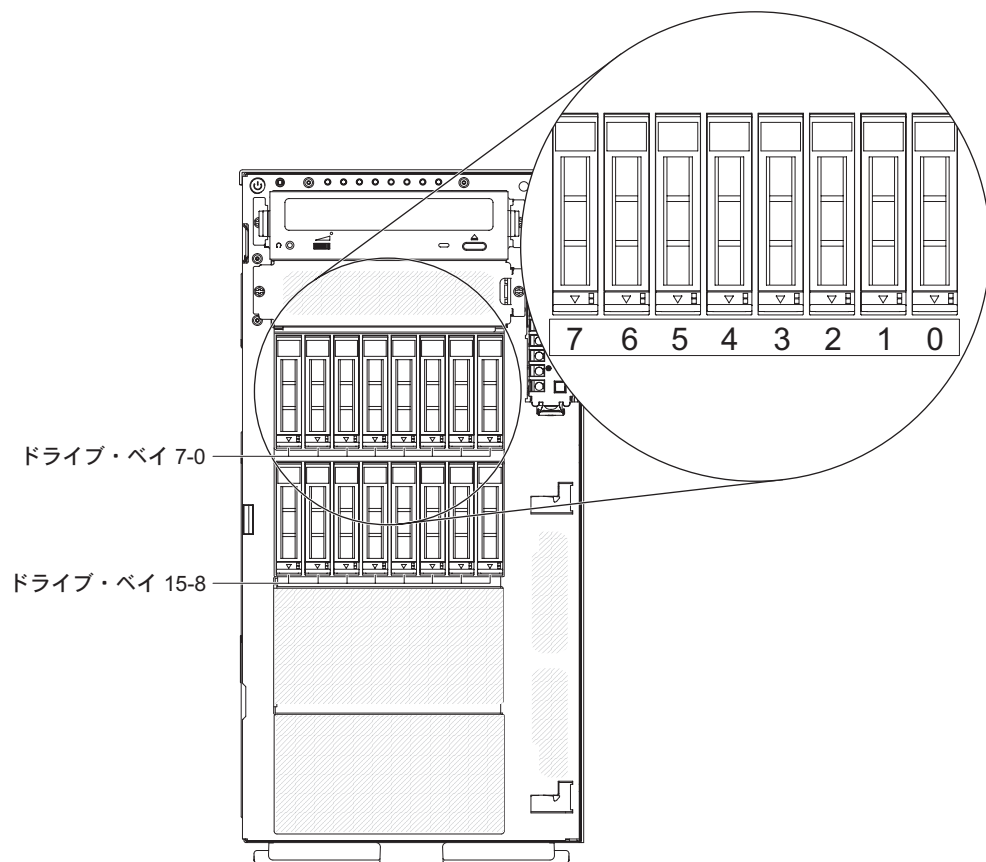


図 20. 16 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

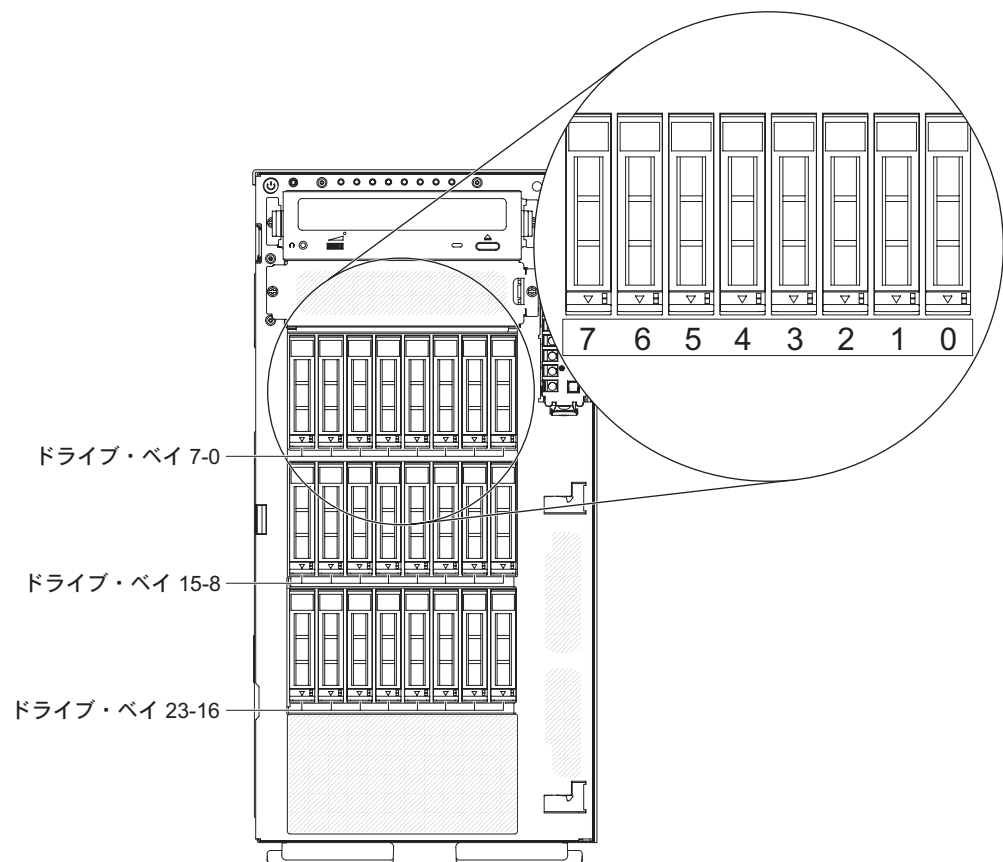


図 21. 20 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

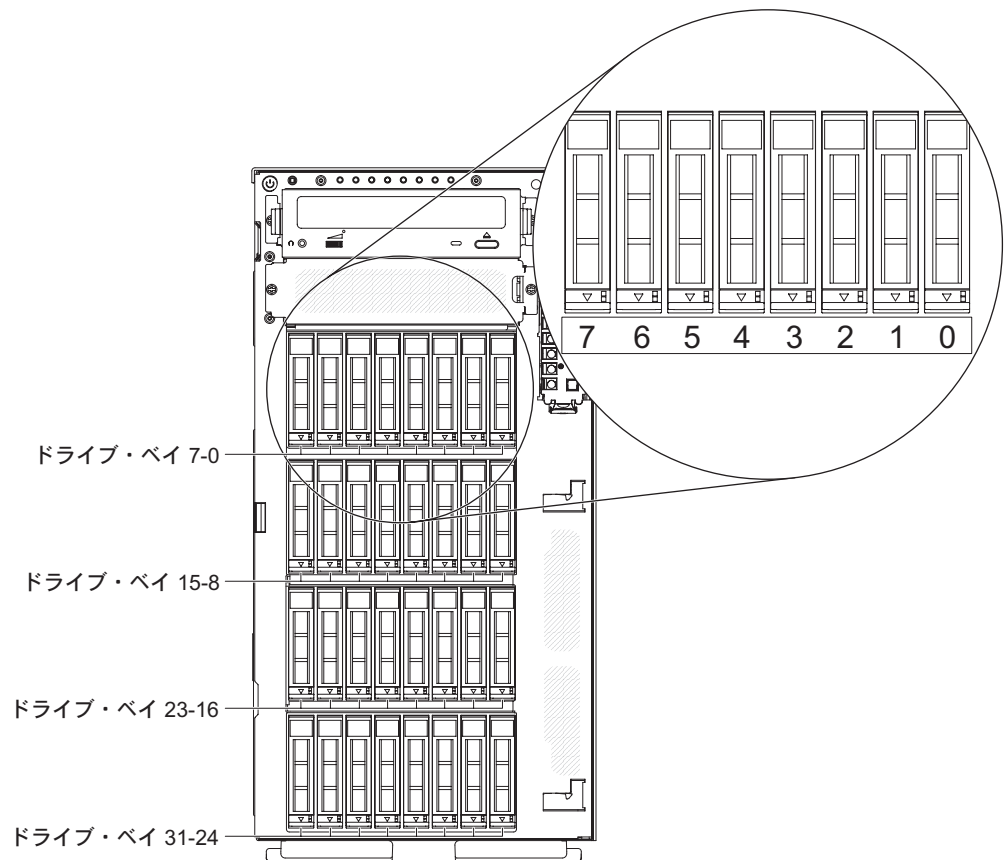


図 22. 32 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

次の図には、3.5 型ホット・スワップ SAS ハード・ディスクあるいは 3.5 型ホット・スワップ SATA ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

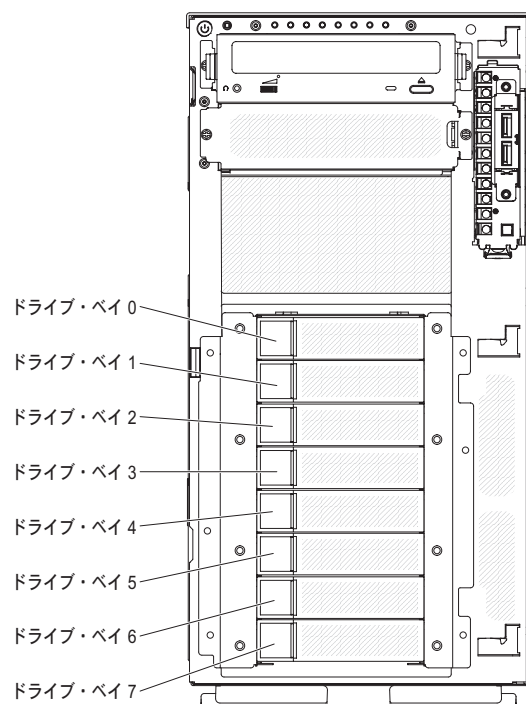


図 23. 8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

次の図には、2.5 型および 3.5 型ホット・スワップ SAS ハード・ディスクあるいはホット・スワップ SATA ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

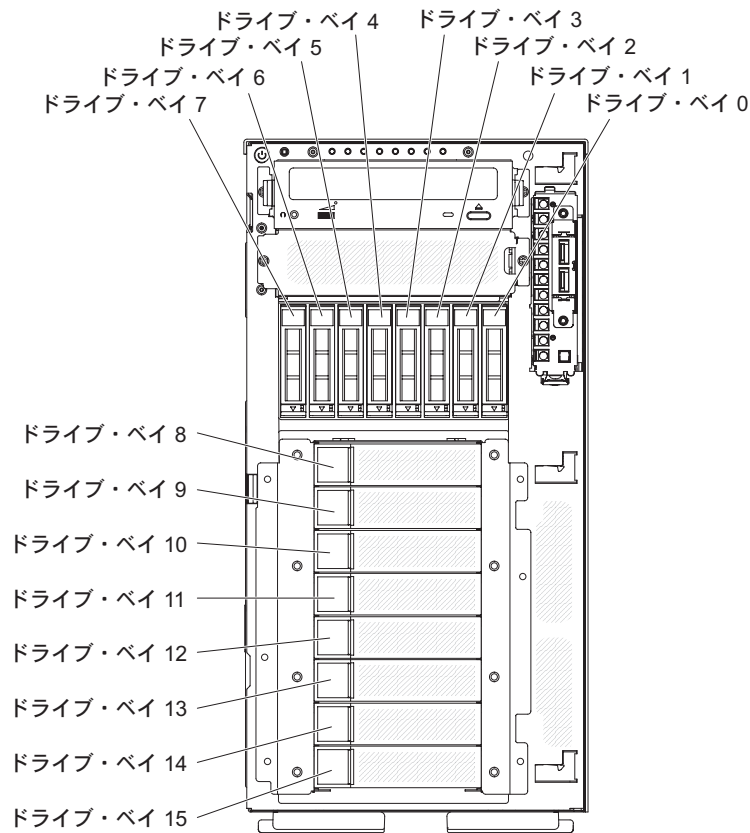


図 24. 8 個の 2.5 型ハード・ディスクおよび 8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

以下の注意書きは、このサーバーがサポートしているドライブのタイプ、およびドライブを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブに付属の説明を参照して、ドライブにジャンパーまたはスイッチの設定が必要かどうかを確認します。 SAS または SATA 装置を取り付ける場合は、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- オプションの外付けテープ・ドライブおよび DVD-ROM ドライブは、取り外し可能メディア・ドライブの例です。取り外し可能メディア・ドライブを取り付けることができるのは、8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したモデル、8 個、16 個、24 個、および 32 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したモデルのベイ 1 および 2 のみです。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイおよび PCI スロットをカバーするか、使用することによって保護されます。ドライブまたは PCI アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合のために、ベイあるいは PCI アダプター・スロット・カバーから外した、EMC シールドおよびフィルター・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプションの完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- このサーバーは、モデルに応じて最大 8 個あるいは最大 32 個の 2.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイでサポートします。

注: 17 個以上の 2.5 型ハード・ディスクに対応するために ServeRAID アダプター M1015 を使用する場合、RAID 対応ドライブの最大数は 16 です。その他のドライブはすべて、JBOD (このドライブは、RAID 構成を使用しないオペレーティング・システムに提供されます) のままです。

- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを検査して、損傷が発生した兆候がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット速度でなければならない、異なる定格速度のドライブを使用している場合は、すべてのドライブが最低の速度で作動することがあります。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるために、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、ケーブルを取り付けたり取り外したりする手順を実行する場合、サーバーは必ず電源をオフにします。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

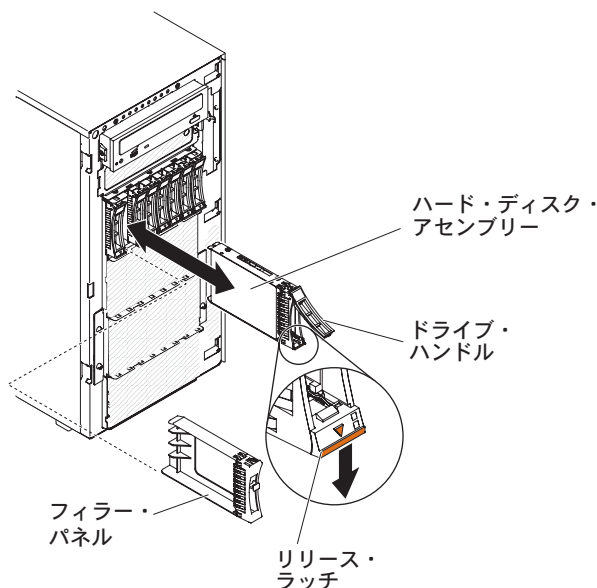
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
4. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
5. トレイのハンドルが開いていることを確認してから、ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
6. ホット・スワップ・ベイにドライブが装着され、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまで、ドライブ・ハンドルを下に回転させます。



注:

- a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。
 - b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*IBM ServeRAID Support CD* に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。
7. ベゼルを閉じます (214 ページの『ベゼルのメディア・ドアを閉じる』を参照)。

8. 左サイド・カバーをロックします。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィルター・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

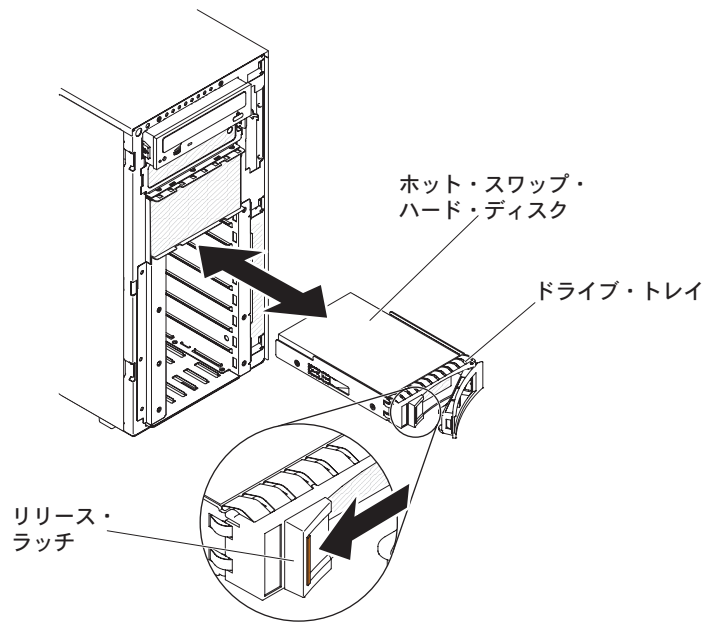
3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
4. ディスク・ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからディスク・ドライブを取り出して、帯電防止面に置きます。
5. ドライブ・トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
6. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに位置合わせし、ドライブが所定の位置にパチンとなるまでドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイに慎重にスライドさせます。



7. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
8. ハード・ディスク状況インディケータをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED はゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。黄色の LED が点灯し続ける場合、詳しくは 176 ページの『ハード・ディスクの問題』を参照してください。

注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。RAID アダプターについて詳しくは、IBM Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal>) の RAID 資料を参照してください。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィルター・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

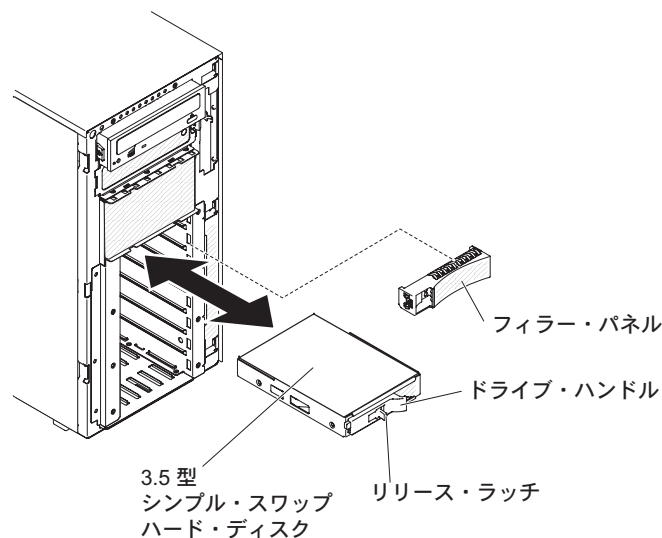
3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
4. ディスク・ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからディスク・ドライブを取り出して、帯電防止面に置きます。
5. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。



6. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

DVD ドライブの取り付け

DVD ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

始める前に

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- すべてのケーブル、および新しいドライブに付属する資料で指定されている他の装置が揃っていることを確認します。
- 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
- 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。

次のことに注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



クラス 1 レーザー製品

Laser Klasse 1

Laser Klass 1

Luokan 1 Laserlaite

Appareil À Laser de Classe 1

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

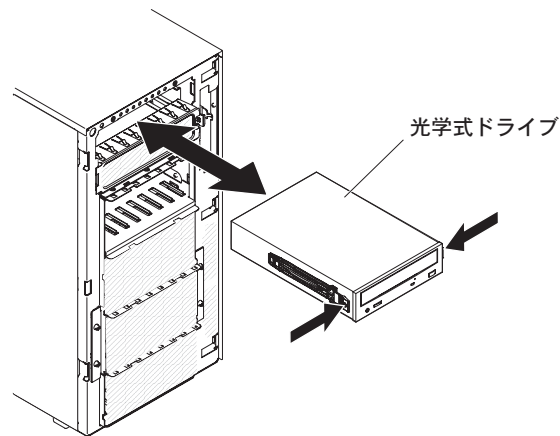
手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから DVD ドライブを取り出します。
6. ドライブ中央に最も近い穴を使用して、DVD ドライブに青色のレールを取り付けます。
7. ジャンパーあるいはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

8. DVD ドライブのレールをドライブ・ベイのガイドに位置合わせして、カチッと音がして所定の位置に収まるまでドライブをドライブ・ベイ内にスライドさせます。



9. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブおよびシステム・ボード上のコネクタに接続します (詳しくは、368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

オプションのテープ・ドライブの取り付け

オプションのテープ・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

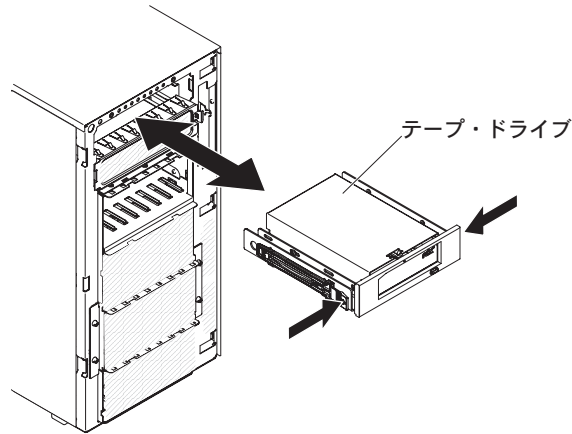
オプションのフルハイトのテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリの取り外し』を参照)。
5. EMC シールドがドライブ・ベイに取り付けられている場合は取り外します。
6. テープ・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからテープ・ドライブを取り出します。
7. 青色のレールをテープ・ドライブに取り付けます。
8. ジャンパーあるいはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

9. テープ・ドライブのレールをドライブ・ベイのガイドに位置合わせして、カチッと音がして所定の位置に収まるまでテープ・ドライブをドライブ・ベイ内にスライドさせます。



10. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをドライブとシステム・ボード上のコネクタに接続します (詳しくは、368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付けの際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)、800、1066、1333、1600、または 1866 MHz、PC3-6400、PC3-8500、PC3-10600、PC3-12800、または PC3-14900 registered または unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
 - DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。
 - *ggggg eRxff PC3v-wwwwwm-aa-bb-ccd*

ここで、

- *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
- *eR* はランク数です。
 - 1R = single-rank
 - 2R = dual-rank
 - 4R = quad-rank
- *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。

- x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
- x8 = x8 編成
- x16 = x16 編成
- v は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
 - ブランク = 1.5 V 指定
 - L = 1.35 V 指定、1.5 V 作動可能

注: 上記の電圧の値が「指定」となっているのは、タイミングなどの装置特性がこの電圧でサポートされていることを意味します。値が「作動可能」となっているのは、この電圧で装置が安全に作動可能であることを意味します。ただし、タイミングなどの装置特性は、保証されない場合があります。すべての装置は DDR3 の最高公称電圧である 1.5 V を「許容」するはずですが、これは、これらの装置が 1.5 V では作動しない場合があるが、その電圧で装置へ損傷を与えずに電力を供給可能であることを意味します。

- *www* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 6400 = 6.40 GBps (DDR3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)
 - R = Registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベルには、情報が xxxxx nRxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx の形式で示されています。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (n=1) であるか、dual-rank (n=2) であるか、quad-rank (n=4) であるかを示します。

- チャンネル内の RDIMM 数に応じて、DDR3 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
 - チャンネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けした場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。

- チャンネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けけた場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します
- チャンネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けけた場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します
- サーバー内のすべてのチャンネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
- registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けしないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサ、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャンネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャンネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、インテル Xeon™ E5-2600 シリーズのマイクロプロセッサを搭載したサーバーは、以下の条件が満たされている場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で稼働します。
 - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-rank、または quad-rank UDIMM、RDIMM、または LRDIMM が同じチャンネルに取り付けられている。 Setup ユーティリティで、「Memory speed」が「Max performance」モードに設定されており、「LV-DIMM power」が「Enhance performance」モードに設定されている。 1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- このサーバーは、最大 16 個の dual-rank UDIMM をサポートします。サーバーは、チャンネルごとに最大 2 個の UDIMM をサポートします。
- サーバーは、最大 24 個の single-rank、dual-rank、または 16 個の quad-rank RDIMM をサポートします。 このサーバーは、同じチャンネル内で 3 つの quad-rank RDIMM をサポートしません。
- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 4. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	single-rank UDIMM	2 GB	32 GB
24	single-rank RDIMM	2 GB	48 GB
24	single-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	dual-rank RDIMM	8 GB	192 GB
24	dual-rank RDIMM	16 GB	384 GB
16	quad-rank RDIMM	16 GB	256 GB
24	quad-rank LRDIMM	32 GB	768 GB

- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは 2 GB です。このサーバーは、UDIMM を使用した場合、最小 2 GB、最大 32 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 2 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。

- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。サーバーは、LRDIMM を使用して最小 32 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティを実行します。詳細は、114 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

- それぞれのマイクロプロセッサごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内の DIMM は同じタイプ (RDIMM、UDIMM、または LRDIMM) でなければなりません。
- チャンネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサから最も遠い DIMM コネクタに取り付けてください。
- UDIMM の場合、マイクロプロセッサ 1 用の DIMM コネクタ 3、6、7、および 10 と、マイクロプロセッサ 2 用の DIMM コネクタ 15、18、19、および 22 は使用されません。

注: マイクロプロセッサ 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクタの位置を示しています。

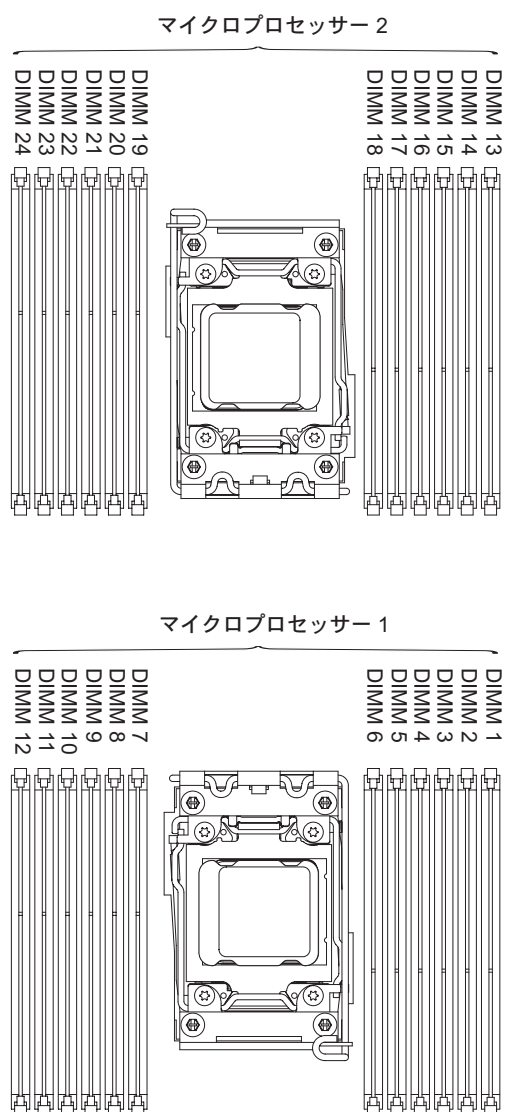


図 25. システム・ボード上の DIMM コネクタの位置

DIMM 取り付け順序

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 2 GB または 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサのメモリー・インターフェース上の 3 つのチャネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 5. 独立モードの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ 一数	DIMM コネクタ取り付け順序
マイクロプロセッサを 1 つ取り付 け済み	1、4、9、12、2、5、8、11、10、7、6、3

表 5. 独立モードの DIMM の取り付け順序 (続き)

取り付け済みのマイクロプロセッサ 数	DIMM コネクタ取り付け順序
マイクロプロセッサを 2 つ取り付 け済み	1、13、4、16、9、21、12、24、2、14、5、17、8、20、11、 23、22、10、19、7、18、6、15、3

メモリー・ミラーリング・チャンネル

メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでは、データが 2 つのチャンネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。

Setup ユーティリティーでメモリー・ミラーリングを使用可能にすることができます (119 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。

メモリー・ミラーリング・チャンネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャンネルは、すべてのチャンネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリングが使用可能になっている場合は、最大使用可能メモリーが取り付けられたメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して 64 GB のメモリーを取り付けた場合にメモリー・ミラーリング・チャンネルを使用すると、32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。

次の図には、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクタをリストしています。

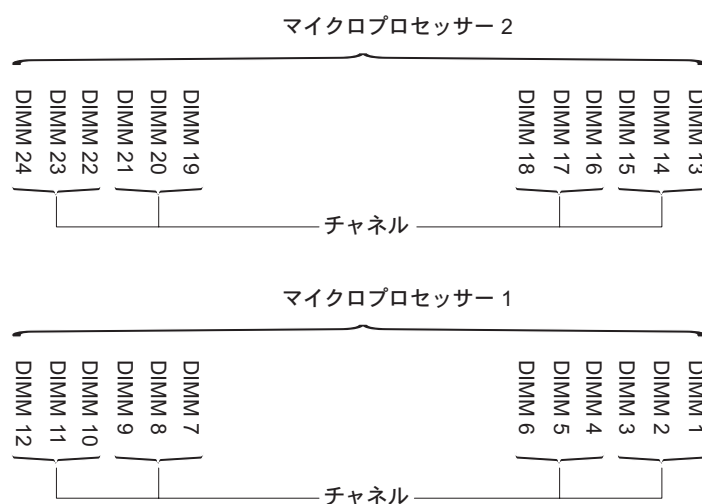


図 26. 各メモリー・チャンネルのコネクタ

注: マイクロプロセッサ 2 を取り付けるとただちに、マイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 の DIMM コネクターがすべて装着されるまで待つ必要はありません。

次の表は、メモリー・ミラーリング・モードでの取り付け順序を示しています。

表 6. メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの DIMM の装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	1, 4
2 番目の DIMM ペア	1	9, 12
3 番目の DIMM ペア	1	2, 5
4 番目の DIMM ペア	1	8, 11
5 番目の DIMM ペア	1	7, 10
6 番目の DIMM ペア	1	3, 6
7 番目の DIMM ペア	2	13, 16
8 番目の DIMM ペア	2	21, 24
9 番目の DIMM ペア	2	14, 17
10 番目の DIMM ペア	2	20, 23
11 番目の DIMM ペア	2	19, 22
12 番目の DIMM ペア	2	15, 18
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ミラーリング・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。

メモリー・ランク・スペアリング

スペアリングを使用すると、障害を起こしているランクを、未装着のスペースに取り付けたランクによって置き換えることができます。チャンネル上の未使用のスペア・ランクを使用して、そのチャンネル上で障害を起こしているランクの内容をコピーすることができます。

Setup ユーティリティでランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます (119 ページの『Setup ユーティリティの開始』を参照)。

次の図には、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクターをリストしています。

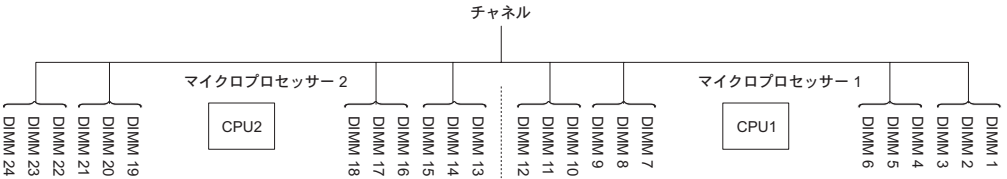


図 27. 各メモリー・チャンネルのコネクター

注: マイクロプロセッサ 2 を取り付けてあれば、マイクロプロセッサ 2 用の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 の DIMM コネクタがすべて装着されるまで待つ必要はありません。

次の表は、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの取り付け順序を示しています。

表 7. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクタ
最初の DIMM ペア	1	1、2
2 番目の DIMM ペア	1	4、5
3 番目の DIMM ペア	1	8、9
4 番目の DIMM ペア	1	11、12
5 番目の DIMM ペア	1	7、10
6 番目の DIMM ペア	1	3、6
7 番目の DIMM ペア	2	13、14
8 番目の DIMM ペア	2	16、17
9 番目の DIMM ペア	2	20、21
10 番目の DIMM ペア	2	23、24
11 番目の DIMM ペア	2	19、22
12 番目の DIMM ペア	2	15、18
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ランク・スペアリング・モードでは、DIMM コネクタ 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

DIMM の取り付け

DIMM を取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

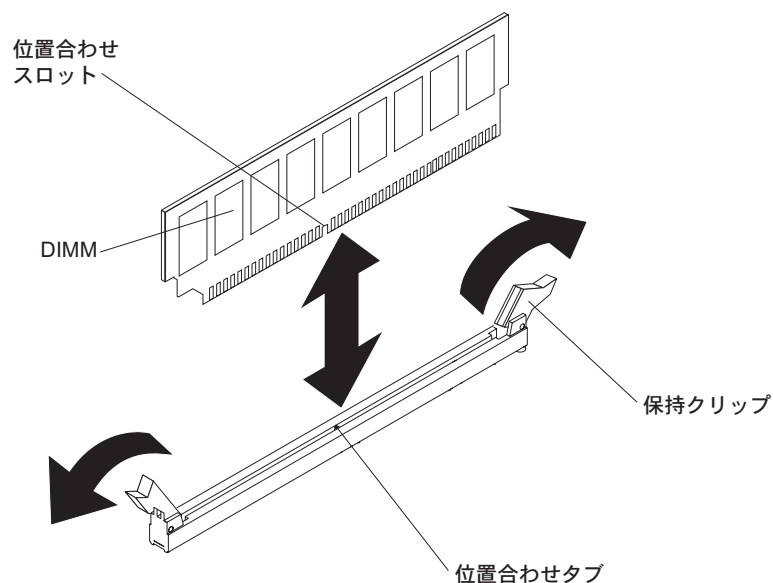
このタスクについて

DIMM を取り付けるには、次のステップに従ってください。

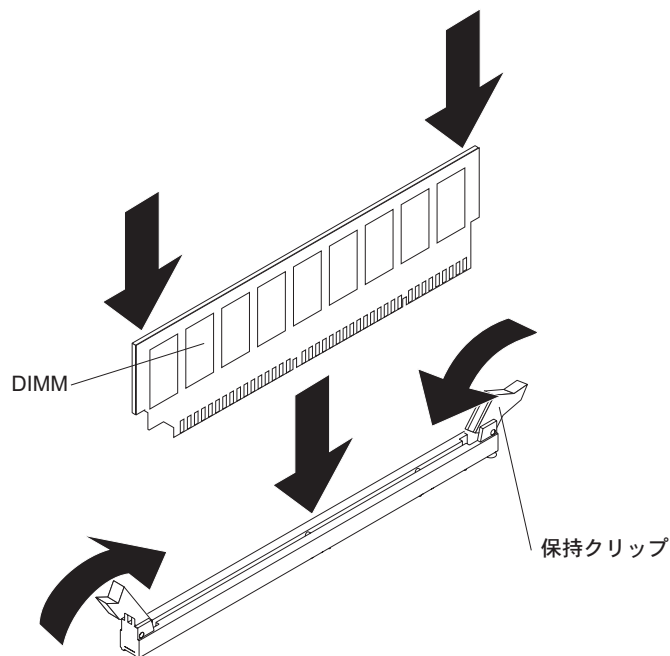
手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. DIMM コネクタのそれぞれの端にある保持クリップを開きます。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



4. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
5. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
6. DIMM の端を DIMM コネクタの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクタに差し込みます (DIMM コネクタの位置については、31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。



7. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

PCI-X ブラケットの取り付け

PCI-X ブラケットを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

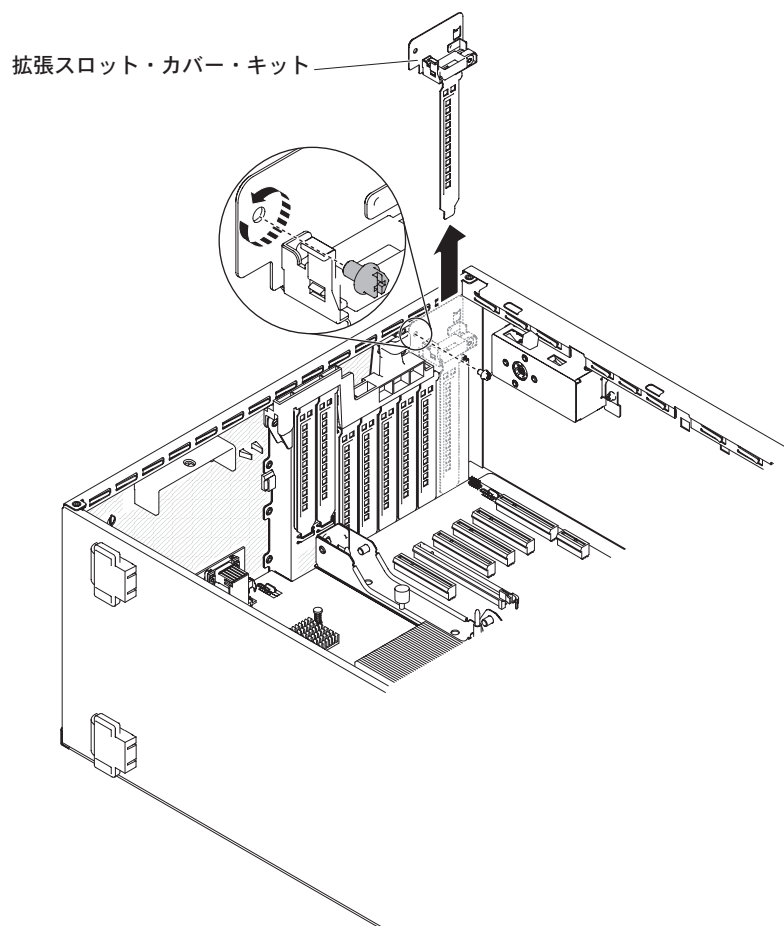
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

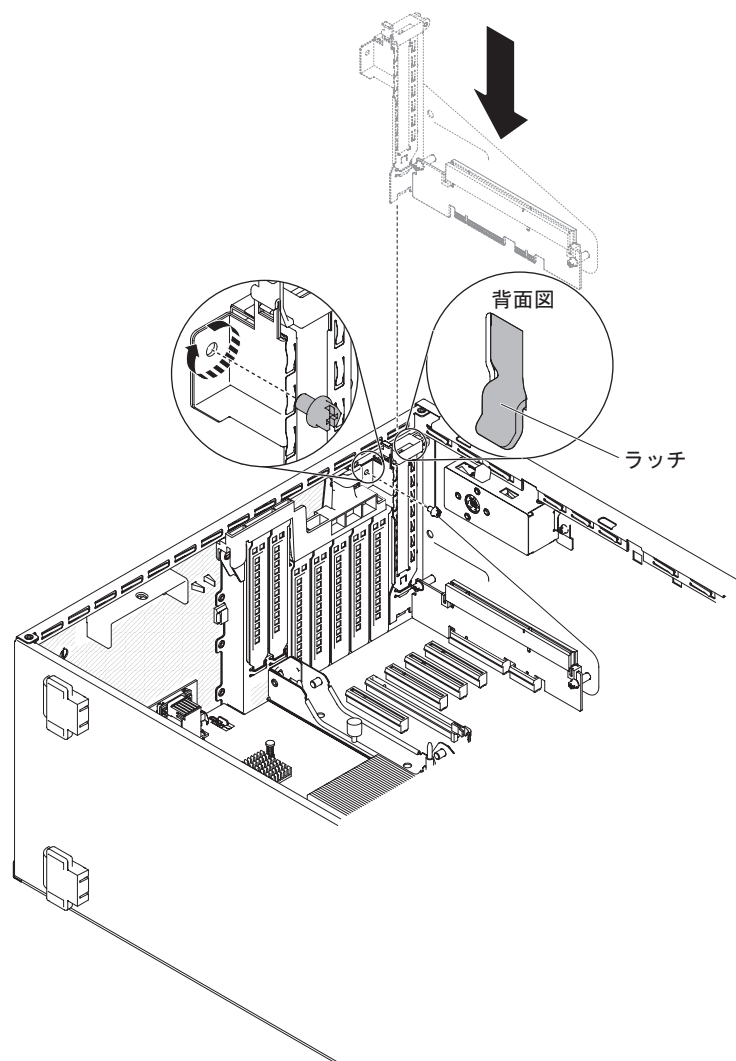
PCI-X ブラケットを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
4. PCI スロット 1 を見つけます (ここに、PCI-X ブラケットを取り付けます)。
5. 拡張スロット・カバーを固定しているねじを取り外します。



6. PCI スロット 1 の拡張スロット・カバー・キットを取り外し、将来の使用に備えて保管しておきます。
7. PCI-X ブラケットをしっかりと PCI スロット 1 に押し入れます。
重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。
8. PCI-X ブラケットの側面にあるラッチがサーバー・シャーシの背面に固定されていることを確認します。



9. ねじを取り付けて、PCI-X ブラケットをサーバーに固定します。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

アダプターの取り付け

以下の情報を使用して、アダプターを取り付けます。

始める前に

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- この説明のほかに、アダプターに付属の資料に記載されている説明に従います。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- アダプター上のコンポーネントおよび端が金色のコネクタには触れないようにしてください。
- サーバーは、循環割り込み技術を使用して PCI アダプターを構成するため、PCI 割り込みの共用をサポートしない PCI アダプターを取り付けることができます。
- 次の表は、ネットワーク・アダプターに関するオプション部品番号および CRU 部品番号をリストしています。

表 8. ネットワーク・アダプター

ネットワーク・アダプター		
説明	オプションの部品番号	CRU 部品番号
NetXtreme II 1000 Express イーサネット・アダプター	39Y6066	39Y6070
NetXtreme II 1000 Express デュアル・ポート・イーサネット・アダプター	42C1780	49Y7947
QLogic 10Gb CNA	42C1800	42C1802
QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0510	42D0516
NetXtreme II 1000 Express クアッド・ポート・イーサネット・アダプター	49Y4220	49Y7949
Intel イーサネット・デュアル・ポート・サーバー・アダプター I340-T2	49Y4230	49Y4232
Intel イーサネット・クアッド・ポート・サーバー・アダプター I340-T4	49Y4240	49Y4242
Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7910	49Y7912
Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10GbE SFP アダプター	49Y7960	49Y7962
Intel X540-T2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7970	49Y7972
Broadcom NetXtreme I クアッド・ポート GbE アダプター	90Y9352	90Y9355
Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9370	90Y9373
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3762	95Y3766
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III lite	95Y3768	95Y3766

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

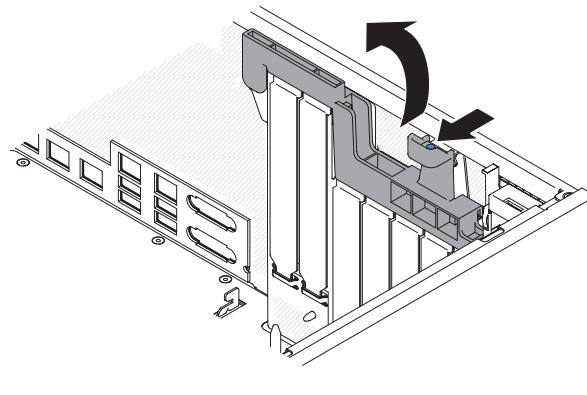
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

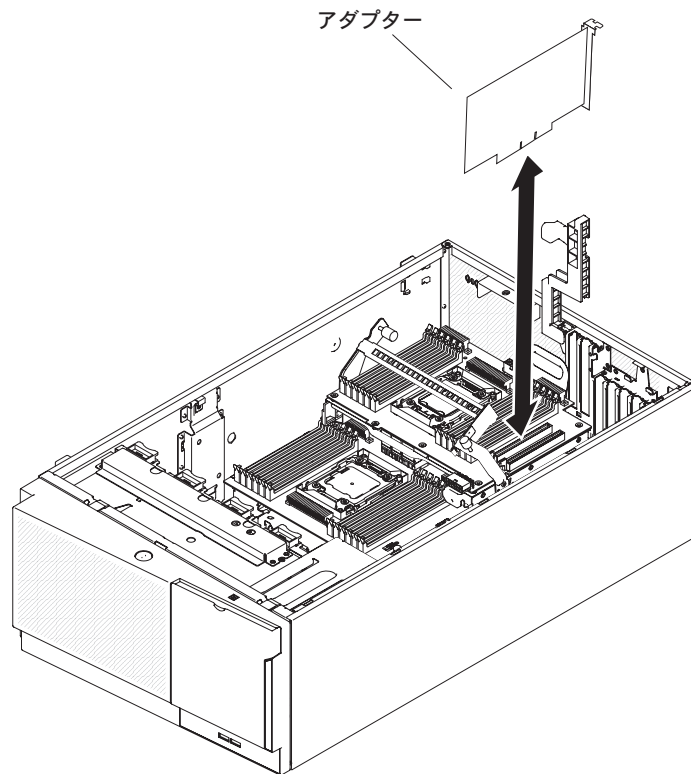
アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。(アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
5. アダプターを取り付ける PCI スロットを決定します。
6. アダプター保持ブラケットを開いた位置まで回転させます。



7. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
8. アダプターをしっかりと 拡張スロットに押し入れます。



重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。

9. アダプター保持ブラケットを閉じます。
10. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

PCI-X ブラケットへのアダプターの取り付け

PCI-X ブラケットにアダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

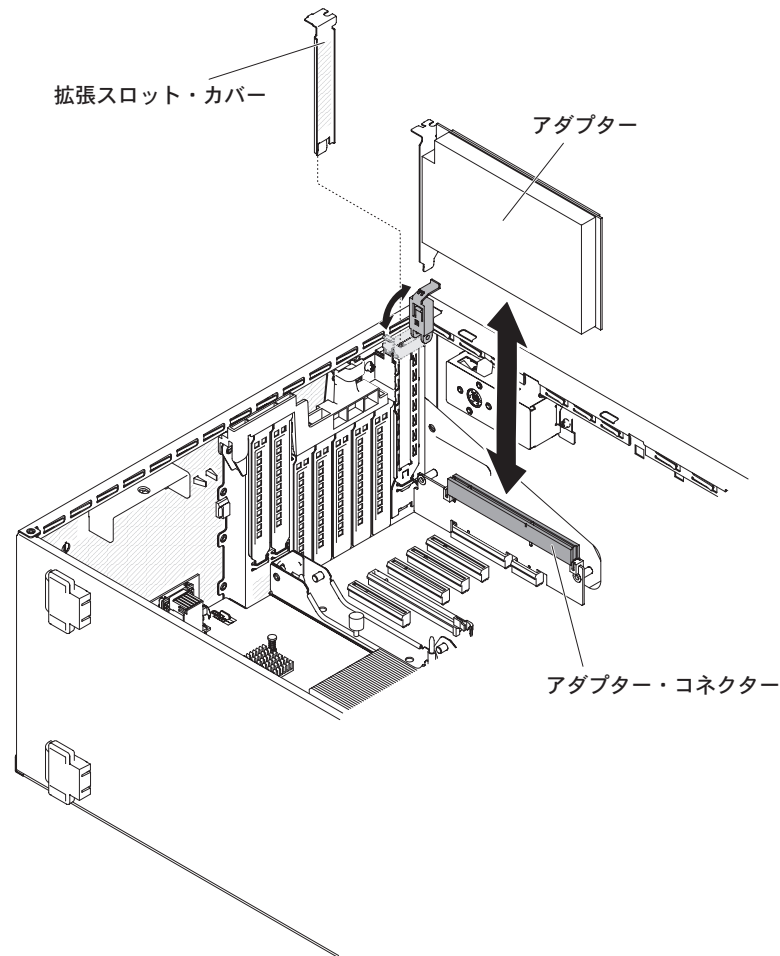
このタスクについて

PCI-X ブラケットにアダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します（44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照）。
3. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。（アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。）
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
5. PCI スロット 1 を見つけます（ここに、アダプターを取り付けます）。
6. PCI-X ブラケット上のアダプター保持ブラケットを、開いた位置まで回転させます。

注: PCI-X ブラケットに拡張スロット・カバーが取り付けられている場合は、それを取り外し、将来の使用に備えて保管しておきます。



7. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
8. アダプターをしっかりと 拡張スロットに押し入れます。

重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。

9. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け

以下の情報を使用して、オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けます。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

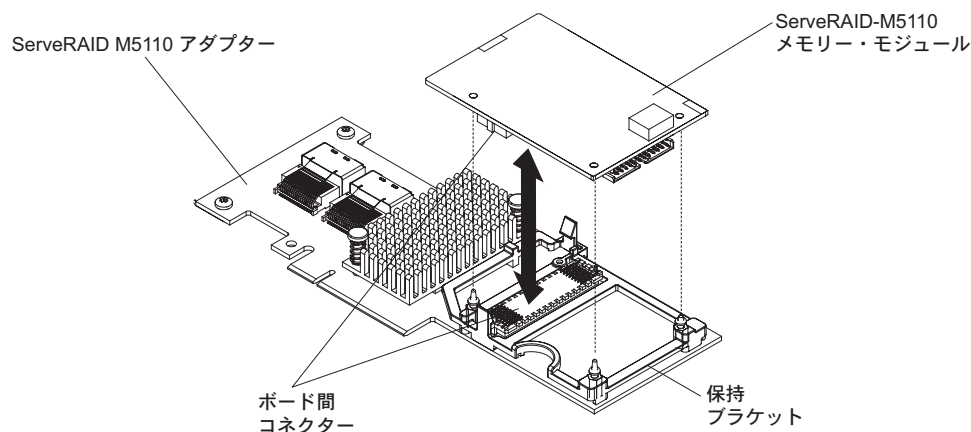
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. メモリー・モジュールを取り付ける ServeRAID アダプターを見つけます。必要に応じて ServeRAID アダプターを取り外します。
3. メモリー・カードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからメモリー・カードを取り出します。
4. メモリー・モジュールを ServeRAID アダプター上のコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクタに押し込みます。



次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

サーバーへの RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

サーバーに RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

注: バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

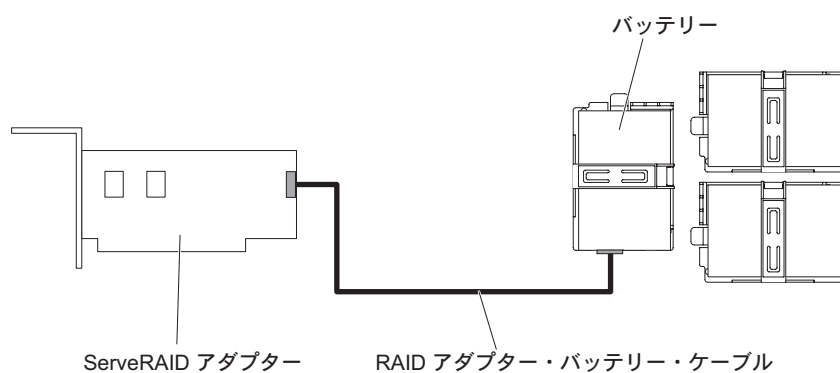
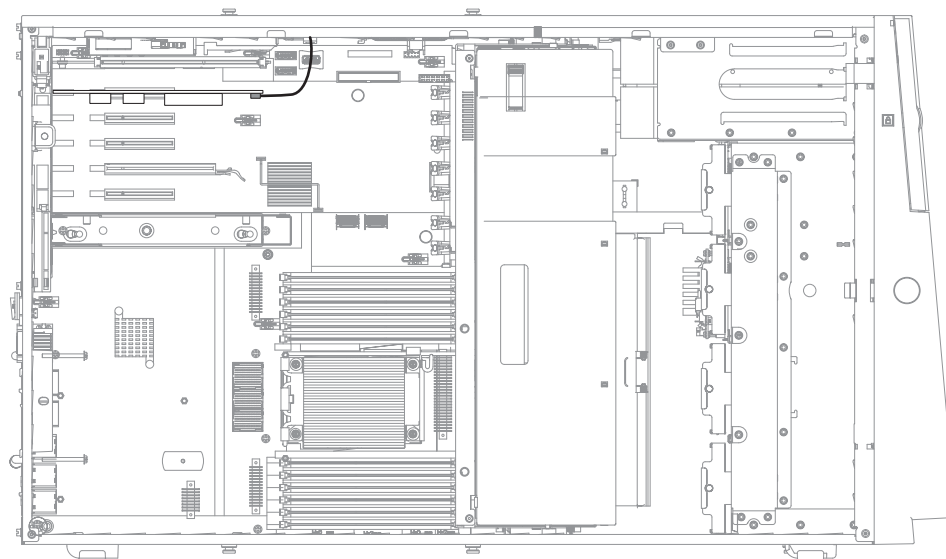
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバーに取り付けるには、以下の手順を実行します。

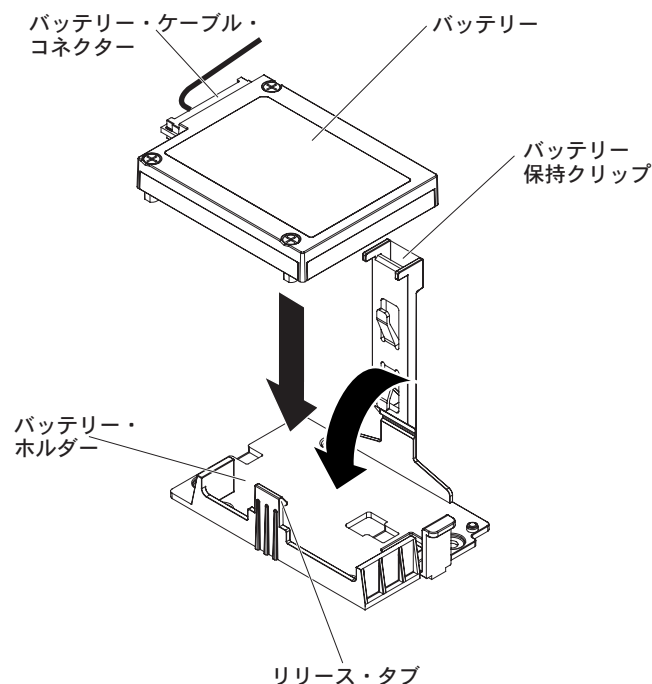
手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ServeRAID アダプターをシステム・ボードに取り付けます (258 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
3. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルの一方の端を、バッテリー/フラッシュ電源モジュール・コネクタに接続します。
4. 次の図に示されているように、リモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルを配線します。



重要: ケーブルが挟まっていないか、およびシステム・ボード上のコネクタを覆っていたり、コンポーネントの障害となっていないか確認してください。

5. バッテリー/フラッシュ電源モジュールを取り付けます。
 - a. バッテリー/フラッシュ電源モジュールのケーブル・コネクタをバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダー上のスロットに位置合わせします。バッテリー/フラッシュ電源モジュールをバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダー内に配置し、バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダーがバッテリー/フラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。



注: リモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるリモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

- b. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルのもう一方の端を、バッテリー/フラッシュ電源モジュールのバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブル・コネクターに接続します。
- c. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリー/フラッシュ電源モジュールが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け

マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

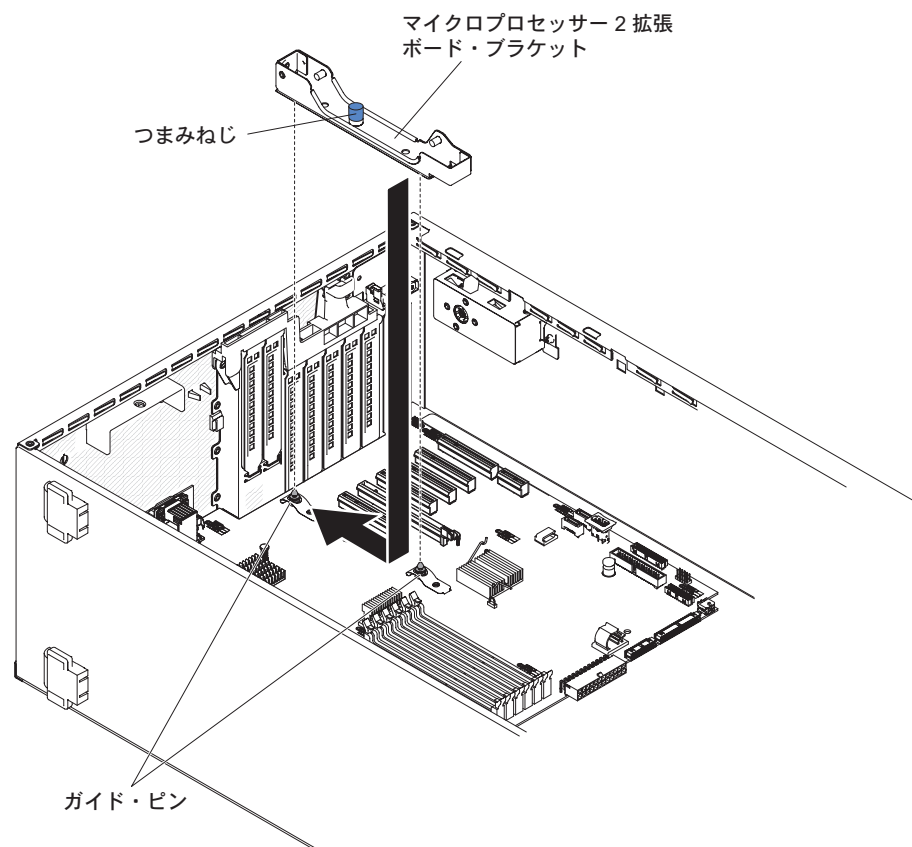
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

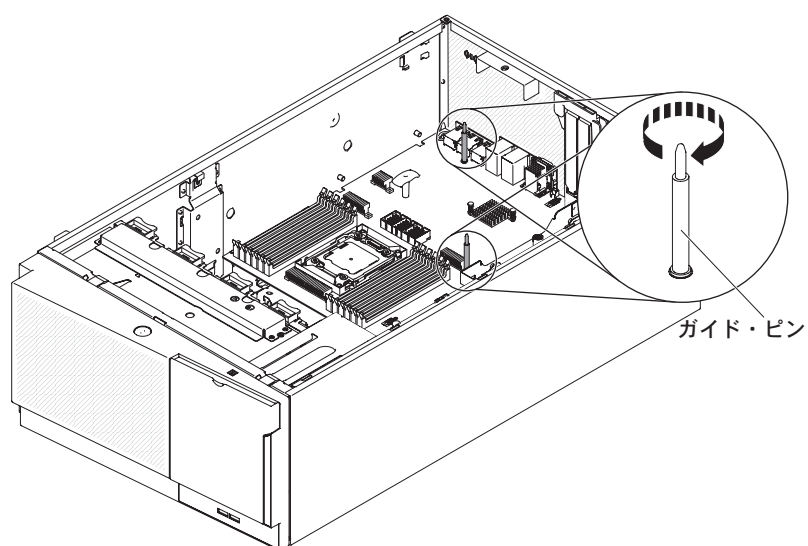
マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

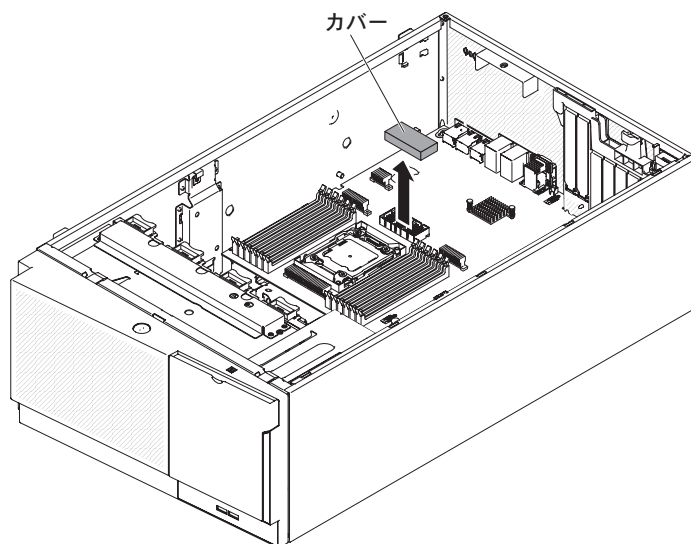
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
4. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからマイクロプロセッサ 2 拡張ボードを取り出します。
5. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードのサイド・ブラケットを取り付けます。
 - a. サイド・ブラケットをシャーシ上の穴に位置合わせし、サイド・ブラケットをシステム・ボードに取り付けます。



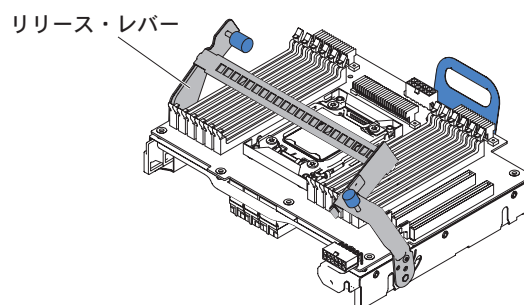
- b. サイド・ブラケットをサーバー背面に向けてスライドさせます。
 - c. サイド・ブラケットのつまみねじを締めます。
6. システム・ボードに 2 つのガイド・ピンを取り付けます。



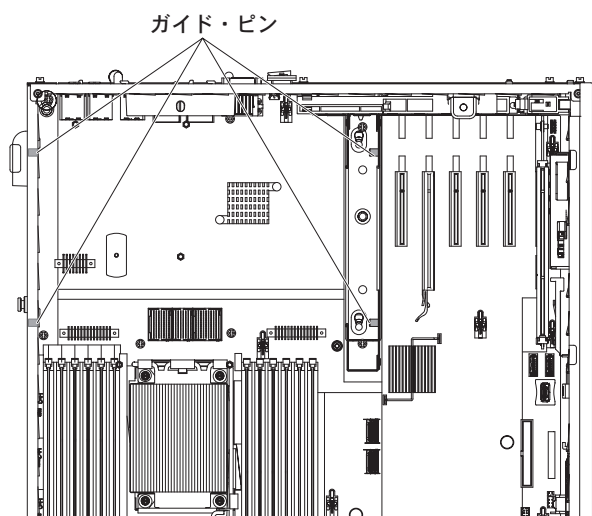
7. マイクロプロセッサ 2 拡張ボード・コネクタ上のカバーをシステム・ボードから取り外します。



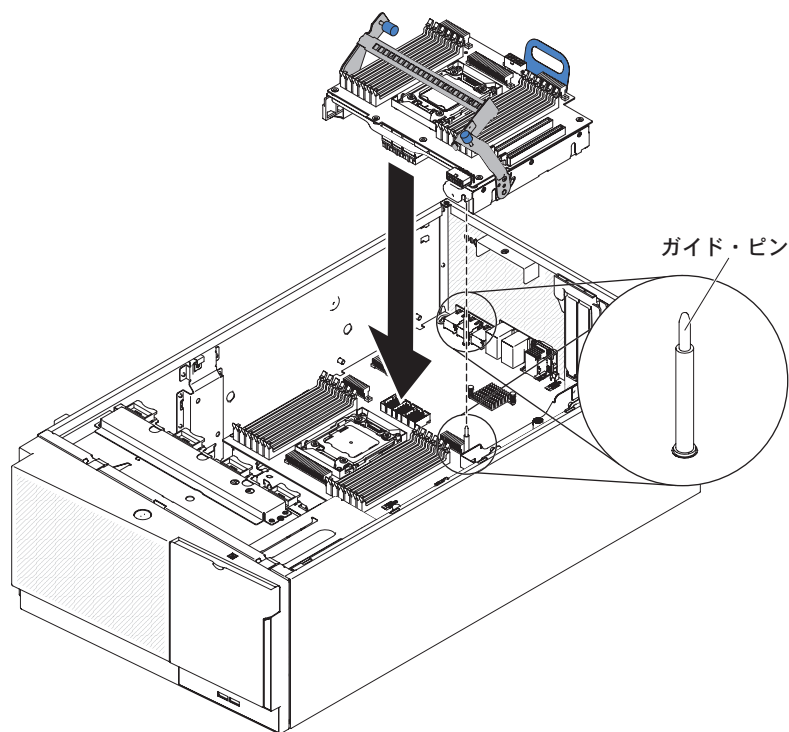
8. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードのリリース・レバーが開いた位置にあることを確認します。



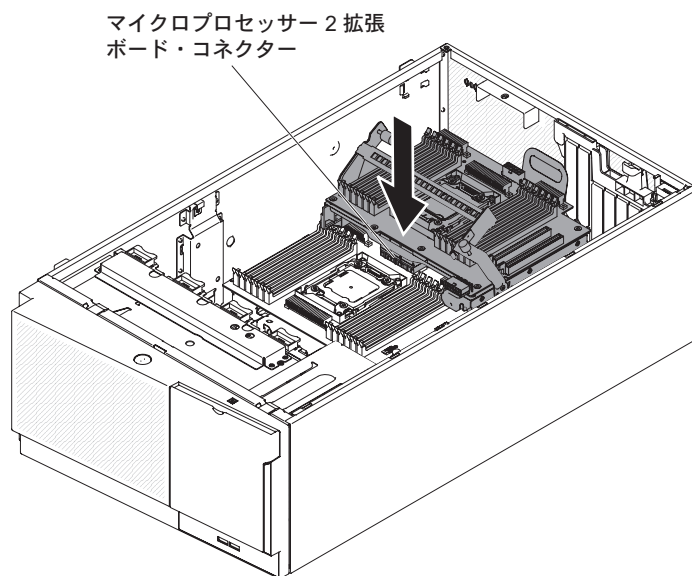
9. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを、シャーシ下部およびサイド・ブラケットのガイド・ピンに位置合わせします。



10. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの穴をシステム・ボード上のガイド・ピンに位置合わせします。マイクロプロセッサ 2 拡張ボードをシステム・ボードに取り付けます。



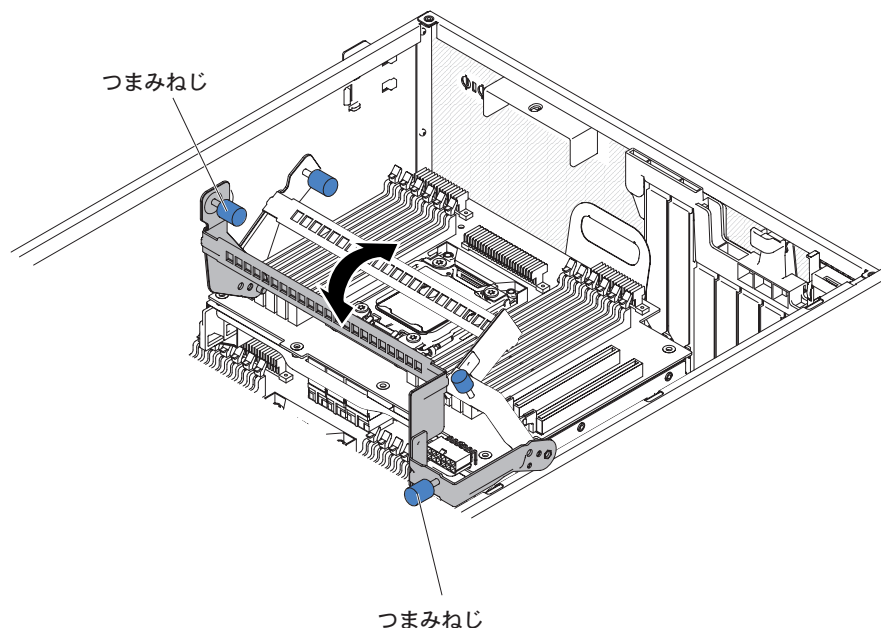
11. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードをシステム・ボードに水平にしっかりと押し込みます。



注:

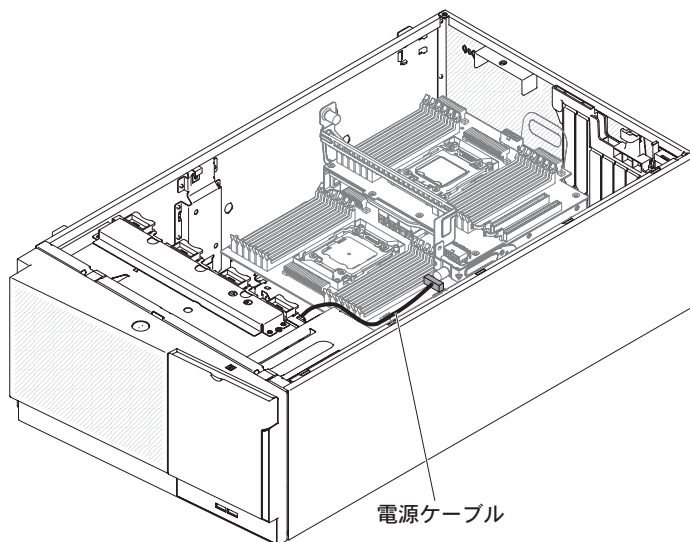
- a. 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

- b. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの下にサーバー・ケーブルが引っ掛か
っていないことを確認してください。
12. リリース・レバーをサーバーの前方に向けて回転させ、マイクロプロセッサー
2 拡張ボードを所定の位置に固定します。

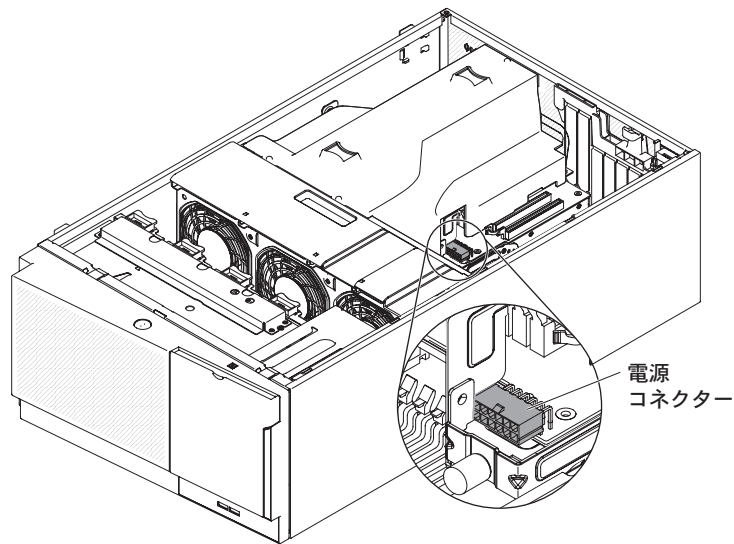


注: マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのコネクターを押し、確実にコネクタ
ーをシステム・ボードにしっかりと装着します。

13. リリース・レバーの 2 つのつまみねじを締めます。
14. 電源パドル・カードからマイクロプロセッサー 2 拡張ボードの電源コネクタ
ーに電源ケーブルを配線します。



15. 電源パドル・カードからマイクロプロセッサー 2 拡張ボードの電源コネクタ
ーに電源ケーブルを接続します。



注: 電源ケーブルを接続する前にエアー・バッフルを取り付ける必要がある場合があります。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

以下に、サーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプの説明と、マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。

- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- このサーバーは、LGA 2011 ソケット用に設計された、特定の Intel Xeon スケーラブル・マルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。これらのマイクロプロセッサは、内蔵メモリー・コントローラー、quick-path interconnect、最終キャッシュ共用を備えた、64 ビット・デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロセッサです。サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサを混用しないでください。
- このサーバーは、マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが取り付けられている場合、最大 2 個のマイクロプロセッサをサポートします。

注: マイクロプロセッサ 2 拡張ボードは、2 個目のマイクロプロセッサが取り付けられている場合にサポートされます。

- 2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するために、エアー・バッフルおよびファン 2 を取り付ける必要があります。
- 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、追加のメモリー、エアー・バッフル、およびファン 2 を取り付ける必要があります。取り付け順序について詳しくは、66 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 追加のマイクロプロセッサを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサの混用はサポートされています。
- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサを混用する場合、マイクロプロセッサ・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサを取り付ける必要はありません。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。サーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサ速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサ周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、99 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

注: ヒートシンクをマイクロプロセッサから取り外すと、熱伝導グリースの均等な分散が損なわれるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

- 2 番目のマイクロプロセッサを取り付けるために、最初のマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外さないでください。
- オプションの追加マイクロプロセッサを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

マイクロプロセッサ取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定がありま

す。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する『L』と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する『H』です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサ取り付けツール A および B を、次の図に示します。

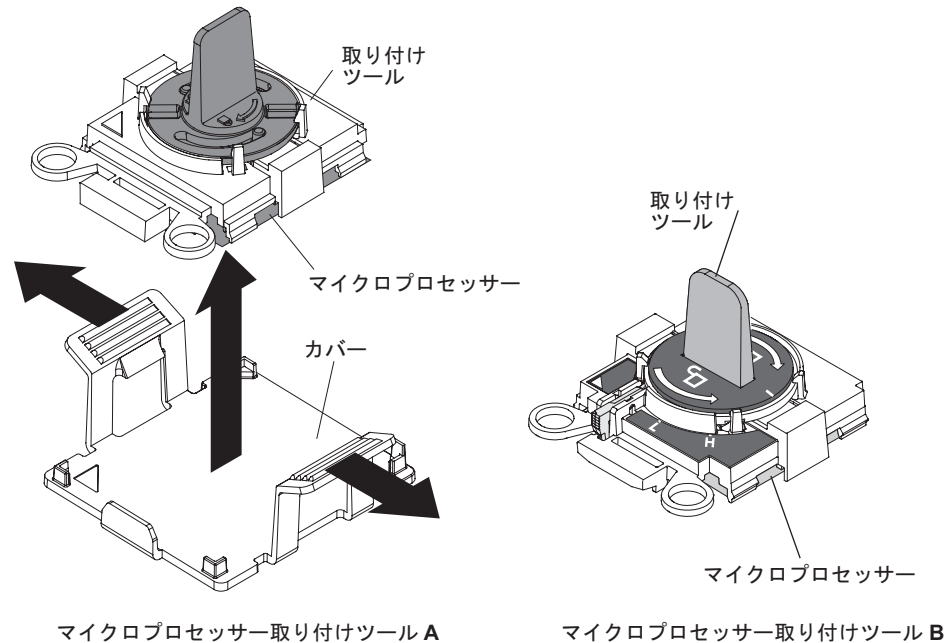


図 28. マイクロプロセッサ取り付けツール

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱いについて詳しくは、41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

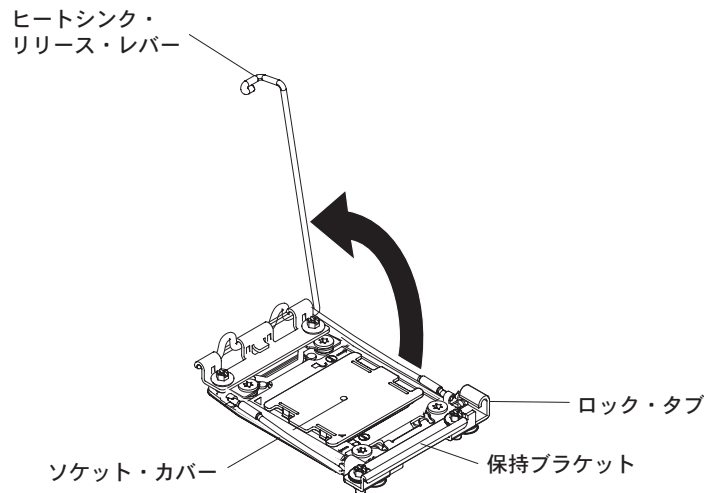
このタスクについて

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

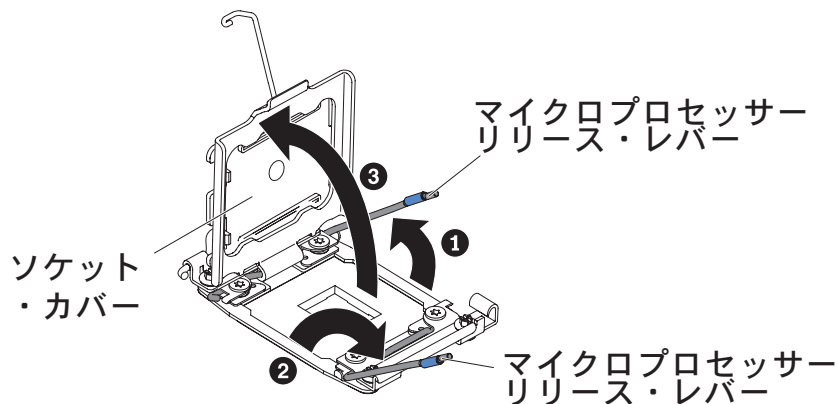
手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上のマイクロプロセッサ・ソケット 2 の位置を確認します。
4. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを開いた位置まで回転させます。

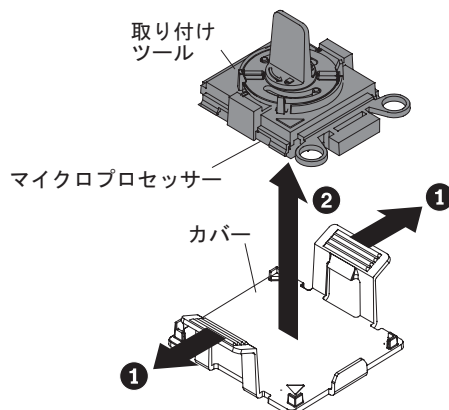


5. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。



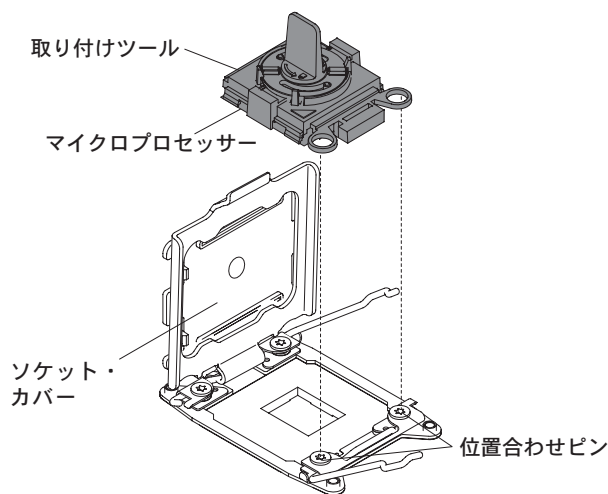
- a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
 - b. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
 - c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。
重要: マイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ・ソケット上のコネクタには触らないでください。
6. 次のように、マイクロプロセッサをマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。
 - a. 新規のマイクロプロセッサが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面またはその他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、マイクロプロセッサを慎重にパッケージから取り出します。

- b. カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサは、取り付けツールに事前に取り付けられています。



注: マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。 マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

- c. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



- d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサを取り付けます。
- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサ・ツール・アセンブリのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。
 - 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

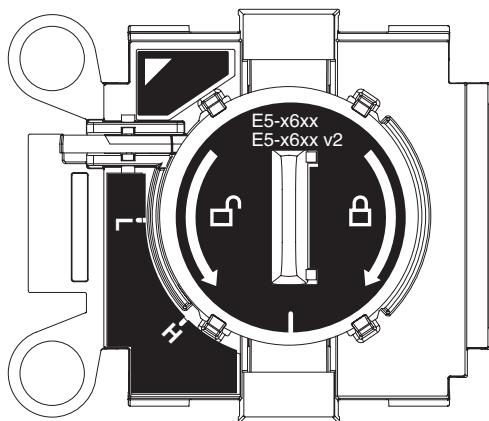


図 29. 取り付けツール B

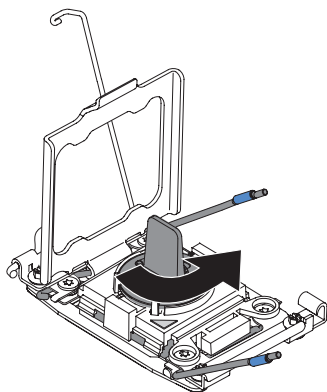
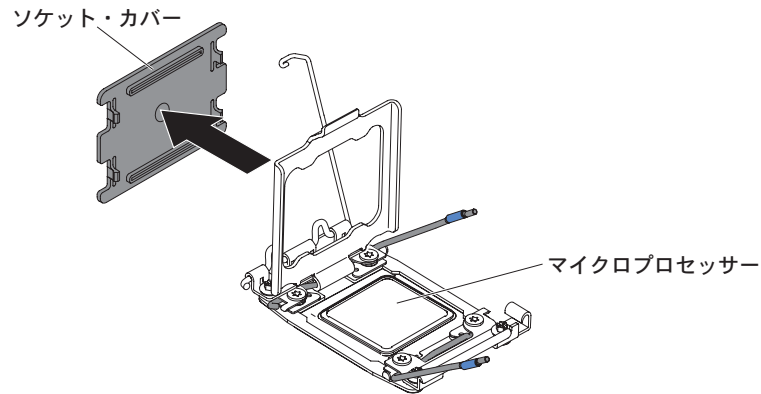


図 30. 取り付けツール・ハンドルの調整

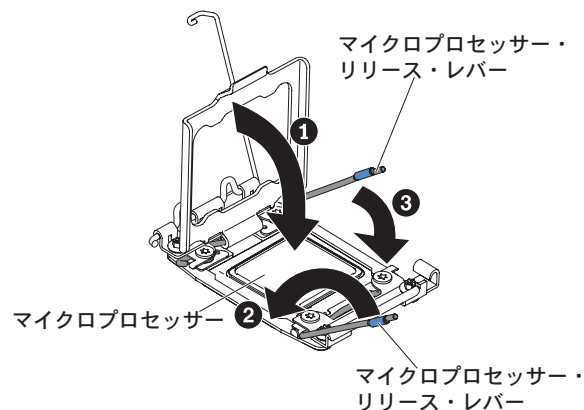
重要:

- マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。
 - マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
 - ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサの上部の熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。
7. マイクロプロセッサ・ソケットのダスト・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらをマイクロプロセッサ・ソケットの表面から取り外します。ソケット・カバーを安全な場所に保管します。



重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱いについて詳しくは、41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

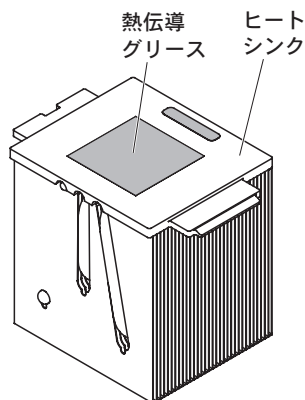
8. 次のように、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。
 - a. マイクロプロセッサ・ソケット上のマイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
 - b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
 - c. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。



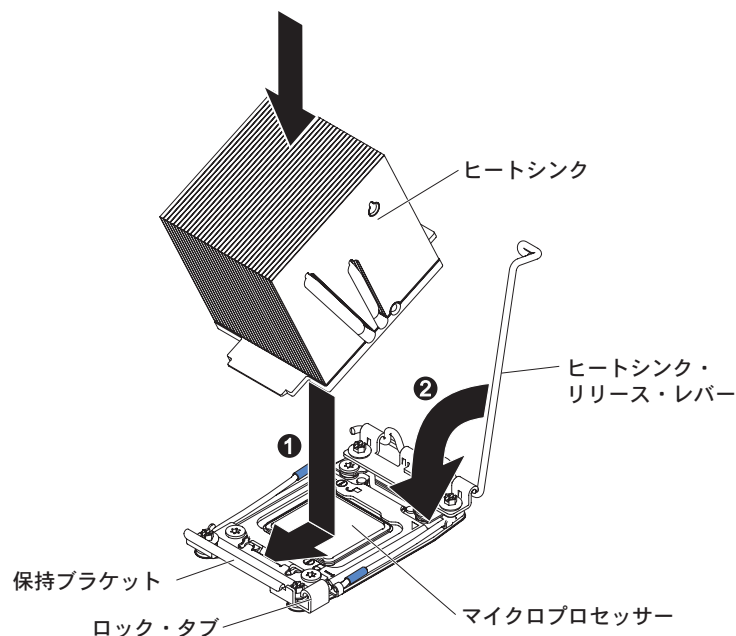
9. ヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触れると、熱伝導グリースが汚染されます。詳しくは、99 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。



- ヒートシンクの下部から、プラスチック製の保護カバーを取り外します。
- マイクロプロセッサの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。
- 熱伝導材側を下にして、ヒートシンクを保持ブラケット内のマイクロプロセッサの上に位置合わせして置きます。
- ヒートシンクをしっかりと押します。
- ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを閉じた位置に回転し、ロック・タブの下にフックさせます。



10. 2 個目のマイクロプロセッサを取り付けた場合は、エアー・バッフル (107 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照) およびファン 2 (276 ページの『シンプル・スワップ・ファンの取り付け』を参照) を取り付けます。

次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、105 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサ上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にゴミを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

始める前に

マイクロプロセッサから取り外したヒートシンクを、元のマイクロプロセッサに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』の『安全について』をお読みください。
- 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

このタスクについて

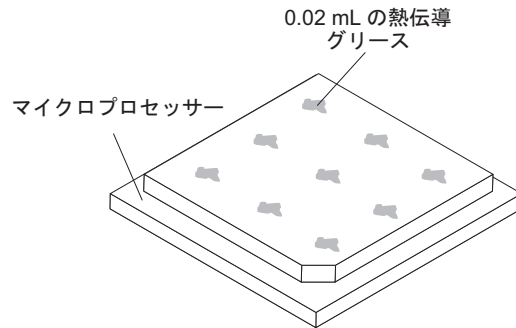
マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

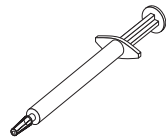
1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これを行うのは、グリースを均等に配置するためです。



注: 注射器の 1 目盛りが 0.01 mL です。グリースが適切に塗布されると、注射器には約半分 (0.02 mL) のグリースが残ります。

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます (343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けます。

始める前に

次に、サーバーがサポートする AC パワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべき事項について説明します。

- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティの詳細な説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、110 V AC または 220 V AC の自動検知です。
- サーバーが正しく稼働することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは定格 (ワット数) が同じでなければなりません。

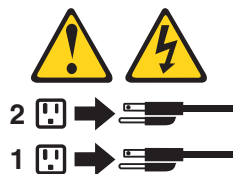
- ・ パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- ・ 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- ・ これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

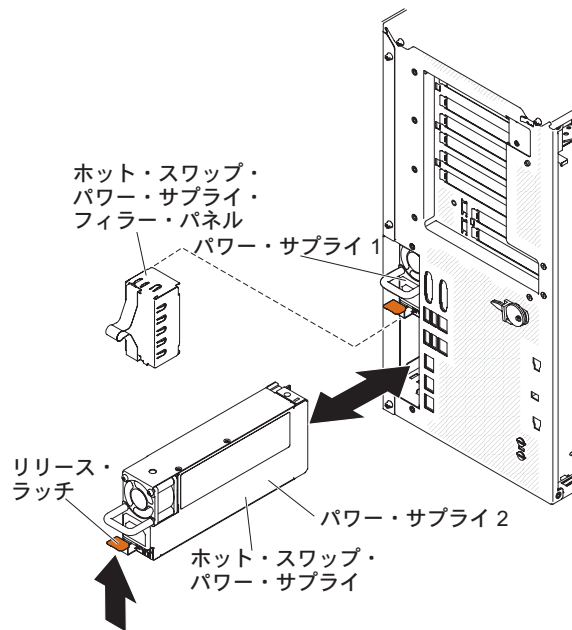
このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、以下のステップを実行してください。

注: パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う前に、ファン・ケージ・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
2. 電源ベイにパワー・サプライ・フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それを取り外します。



3. パワー・サプライを取り付け、所定の位置にロックされるまで押し入れます。

注:

- a. サーバーにホット・スワップ・パワー・サプライが 1 台しか取り付けられていない場合は、空のパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライ・フィラーを取り付ける必要があります。
 - b. サーバー内で異なるワット数のパワー・サプライを混用しないでください。
4. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。

- 新規パワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ後部のコネクタに接続した後、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。

注: サーバーの電源がオフになっている場合は、サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと電源制御ボタンがアクティブになりません。

- AC パワー・サプライ上の AC 電源 LED および DC 電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。この緑色の 2 つの LED は、電源コード・コネクタの右側にあります。
- パワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、新しいパワー・サプライに付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。

额定电压 xxx-xxx/xxx-xxx 额定电流 x.x/x.x 额定频率 xx/xx Hz	额定電壓 额定電流 额定頻率
---	----------------------

Product certified in Shenzhen, China
Made in China V 中国制造

Apparaten skall anslutas till jordat uttag
Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt
Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla
varustettuun pistorasiaan
This device complies with part 15 of FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

警告使用者:
這是甲類的資訊產品, 在居住的環境中使用時, 可能會造成射頻干擾, 在這種情況下, 使用者會被要求採取某些適當的對策。

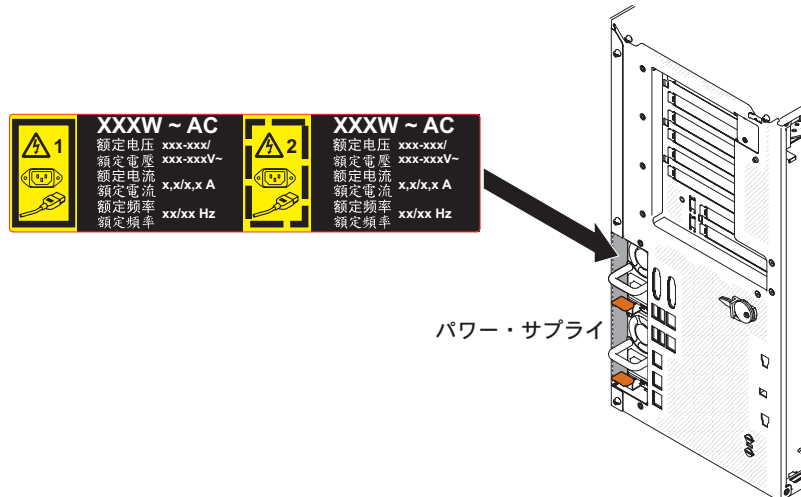
製造商 Manufacturer: IBM Corporation
Copyright Code and Parts Contained Herein.
©Copyright IBM Corp. 2012 All Rights Reserved
Canada ICES/NMB-003 Class/Classe A

廢電池請回收
EU Only
NOM
NYCE
GS
UL US
CE
PC
ME01
LISTED
I.T.E. Equip.
167G
KCC-REM-IBC-7915AR

R33026
伺服器 服务器
型号 MT: XXXX
Model: xxx
SN: SSSSSSS
MFG date: YYYYMMDD
Product ID:
PN:

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。V C C I - A

- サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。



USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

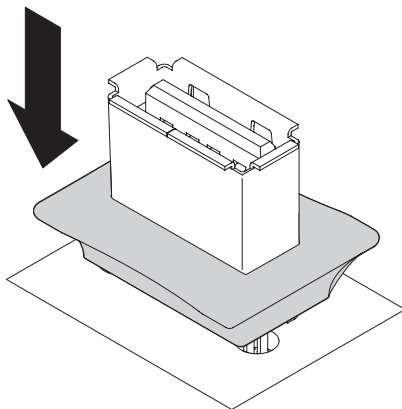
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

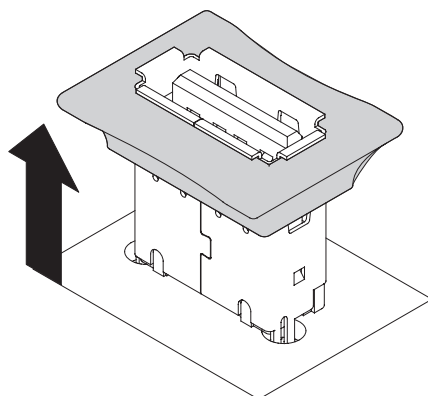
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. 保持ラッチをシステム・ボード側に押し下げで解除します。



3. フラッシュ装置をシステム・ボードの USB コネクタと位置合わせして、しっかり固定されるまで USB コネクタに押し込みます。
4. 保持ラッチをシステム・ボード側から引き離してロックされた位置に戻します。



次のタスク

他に取り付けまたは取り外しを行う装置がある場合は、この時点で行ってください。それ以外の場合は、『取り付けの完了』に進んでください。

取り付けの完了

取り付けを完了するには、この情報を使用します。

このタスクについて

取り付けを完了するには、次のステップを実行してください。

手順

1. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外した場合は、再取り付けします（106 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの再取り付け』を参照）。
2. エアー・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします（107 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照）。
3. サーバー・カバーを取り外した場合は、再取り付けします（108 ページの『左サイド・カバーの再取り付け』を参照）。
4. ケーブルおよび電源コードを再接続します（109 ページの『ケーブルの接続』を参照）。
5. サーバー構成を更新します（111 ページの『サーバー構成の更新』を参照）。
6. サーバーをラック・キャビネットに取り付けます（手順については、サーバーに付属の「*Tower to Rack Installation Instructions*」を参照）。
7. 必要に応じて、サーバーを元のラックの中にスライドさせます。
8. サーバーを始動します。サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
9. (IBM ビジネス・パートナーのみ) 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加ステップを実行します。

ファン・ケージ・アセンブリーの再取り付け

ファン・ケージ・アセンブリーを再取り付けするには、この情報を使用します。

始める前に

重要: ファン・ケージ・アセンブリーを取り付ける前に、サーバー内のすべてのワイヤーとケーブルが正しく配線されていることを確認してください。配線が正しく行われていないと、配線が損傷したり、ファン・ケージ・アセンブリーがサーバーに正しく装着されない可能性があります。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

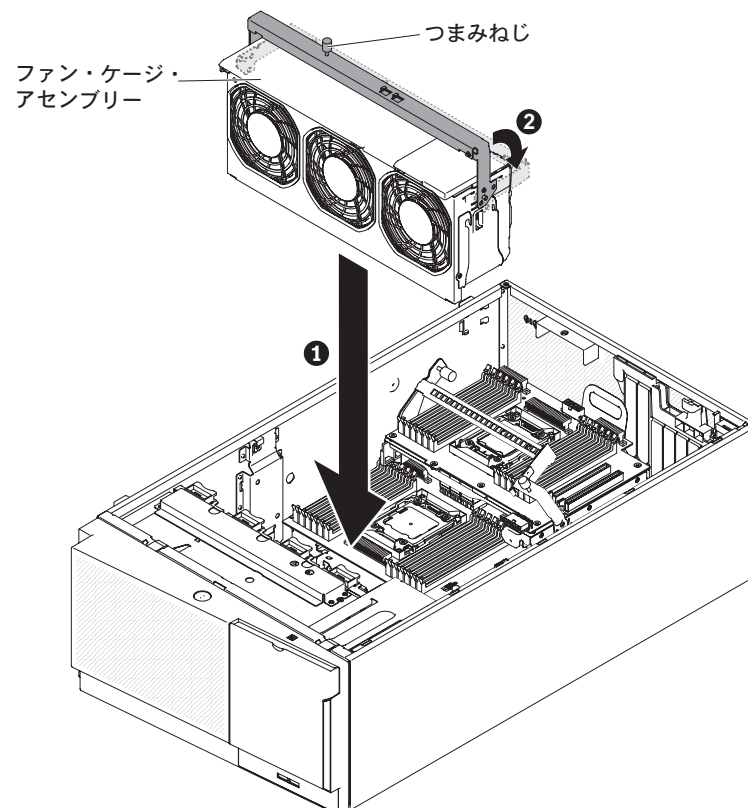
ファン・ケージ・アセンブリーを再取り付けするには、以下のステップを実行します。

手順

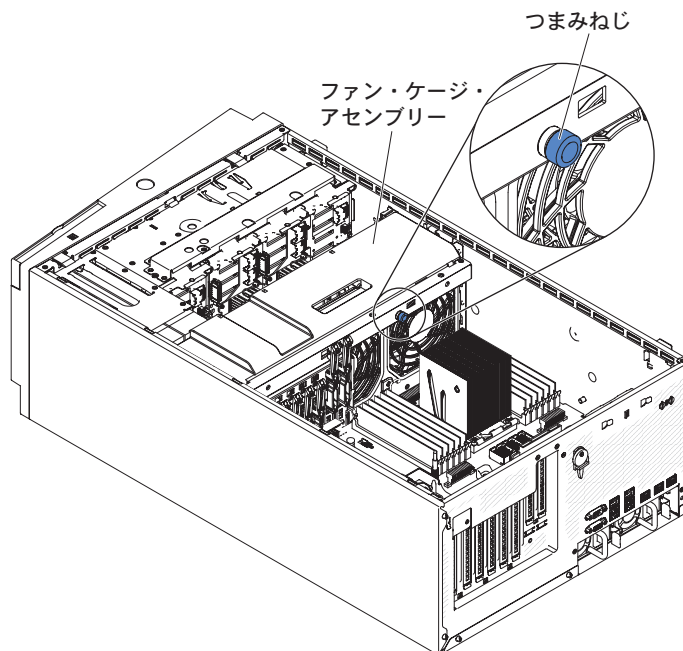
1. ファン・ケージ上のガイドをリリース・ラッチと位置合わせして、各サイドを開いた位置にします。
2. ファン・ケージ・アセンブリーをサーバー内に押し込みます。

注: ファン・ケージが完全に装着されたことを確認してください。

3. ファン・ケージ・リリース・ラッチを閉じた位置に回転させます。ファン・ケージは、固定されると完全に装着されます。



4. ファン・ケージ・リリース・ラッチのつまみねじを締めます。



5. ファン・ケージ・アセンブリの電源ケーブルをシステム・ボードに接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

始める前に

注: 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサ・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルを取り付ける必要があります。

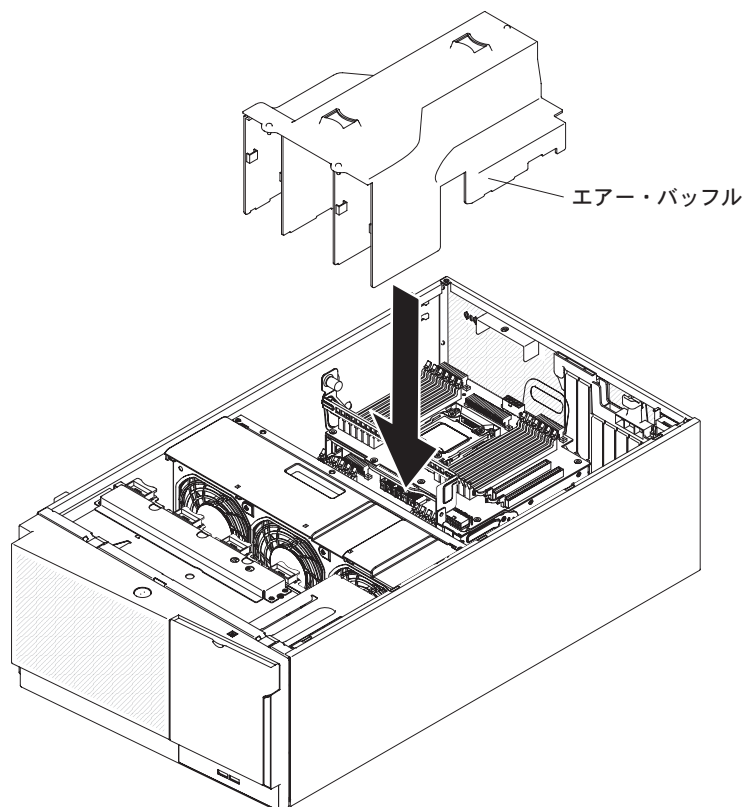
vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

エアー・バッフルを交換する (2 個のマイクロプロセッサが取り付け済み) には、次のステップを実行してください。

手順

エアー・バッフルを上からサーバー内に押し入れて、位置決めピンを位置決め穴に入れてから、エアー・バッフルを押し下げてピンチ・タブを定位置に収めます。



左サイド・カバーの再取り付け

左サイド・カバーの再取り付けを行うには、この情報を使用します。

始める前に

すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

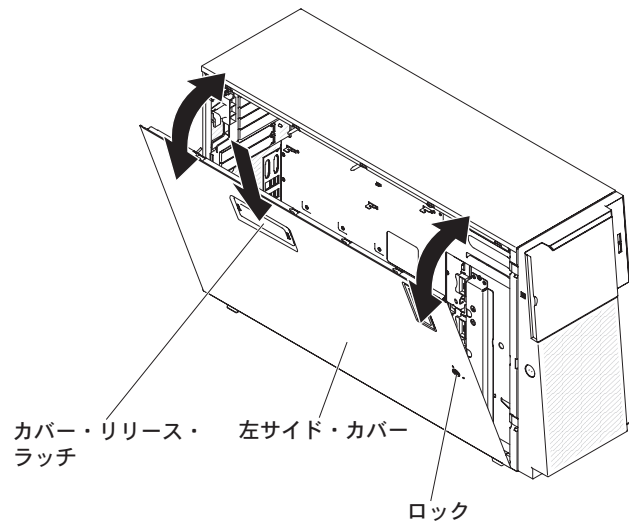
重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていない場合、後でカバーを取り外すのが非常に難しくなります。

このタスクについて

サーバーの左サイド・カバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーの下端をサーバー下部の出っ張りにセットします。



2. カバーの上端をサーバーに向かって回転させ、カチッと音がしてカバーが所定の位置に収まるまでカバーを内側に押し込みます。
3. サーバーに付属のかぎを使用して、カバーをロックします。

ケーブルの接続

ケーブルを接続するには、この情報を使用します。

このタスクについて

次の図は、サーバー前面の入出力コネクターの位置を示しています。

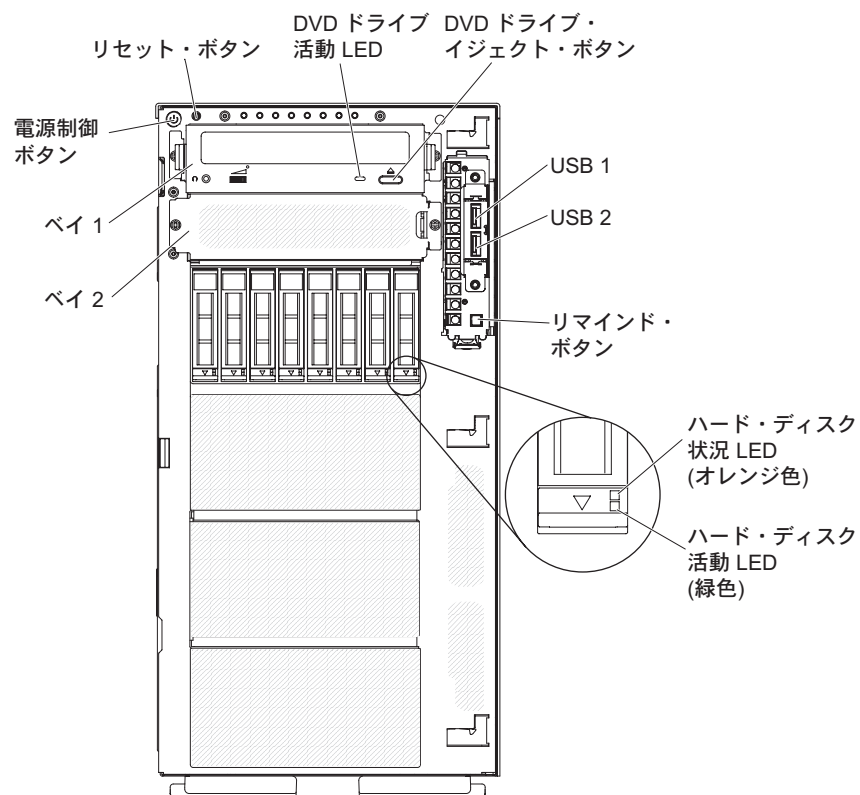


図 31. サーバー前面

次の図は、サーバーの背面にある入出力コネクタの位置を示しています。

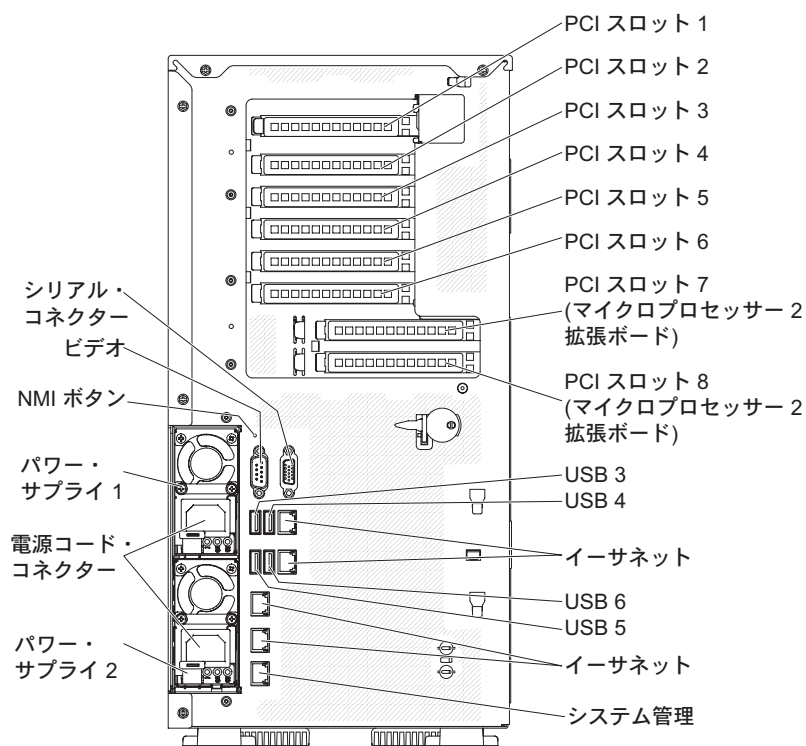


図 32. サーバー背面

手順

1. ケーブルの接続または取り外し時は、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。
2. 詳しいケーブル配線の手順については、外付けデバイスに付属の資料を参照してください。ケーブルの配線作業は、デバイスを取り付ける前に行ったほうが簡単な場合があります。

サーバー構成の更新

サーバー構成を更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように、**Setup ユーティリティ**が自動的に開始します。

オプション装置の中には、デバイス・ドライバーをインストールしなければならないものがあります。デバイス・ドライバーのインストールについては、その装置に付属の資料を参照してください。

サーバーにオプションの **RAID アダプター**が装備されていて、ハード・ディスクの取り付けまたは取り外しを行った場合は、**RAID アダプター**に付属の資料を参照して、ディスク・アレイの再構成に関する説明を確認してください。

イーサネット・コントローラーの構成については、135 ページの『**Ethernet コントローラーの構成**』を参照してください。

第 3 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

システム・ファームウェアを更新するには、以下の情報を使用します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更履歴・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。UpdateXpress システム・パック・インストーラーを使用して、UpdateXpress システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を獲得し、適用してください。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール II (IMM2) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティ**

Setup ユーティリティは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、119 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。このプログラムの使用法について詳しくは、127 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、117 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

統合管理モジュール II (IMM2) を構成に使用して、ファームウェアおよび SDR/FRU (センサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット) データを更新し、リモート側でネットワークを管理します。IMM2 の使用については、129 ページの『統合管理モジュール II (IMM2) の使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタ 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、134 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーでできるようにします。
- ディスク・イメージを IMM2 メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM2 がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM2 がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、131 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、135 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、135 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、135 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラム**

UEFI 設定および IMM2 設定を変更する場合、このプログラムを Setup ユーティリティの代わりに使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、136 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

RAID アレイの構成については、136 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

次の表は、サーバー構成の種類、および RAID アレイの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 9. RAID アレイを構成および管理するためのサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5110 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director
ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および SAS2IRCU について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5088601> にアクセスしてください。
2. MegaRAID について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5073015> にアクセスしてください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。

ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE> から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation CD* を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付と時刻の設定
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成には、この情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスクは必要ありません。この CD を使用して、サポートされているすべての IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを備えたサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して論理ドライブを作成できます。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<http://www.ibm.com/supportportal> からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティ・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

• System Information

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup ユーティリティの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

– System Summary

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

– Product Data

システム・ボード ID、ファームウェアである統合管理モジュール II (IMM2) と診断コードの改訂レベルまたは発行日、およびバージョンと日付を表示するには、この選択項目を選択します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• System Settings

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Adapters and UEFI Drivers

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

– Processors

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Memory

この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

– Devices and I/O Ports

この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、

SATA 光ディスク・ドライブ・チャンネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等で

– **Power**

消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

– **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

– **Rehook INT 19h**

装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

– **Legacy Thunk Support**

UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **Infinite Boot Retry**

UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

– **BBS Boot**

BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **統合管理モジュール II (IMM2)**

統合管理モジュール II (IMM2) の設定を表示または変更する場合、この項目を選択します。

– **Power Restore Policy**

電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

– **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM2 の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM2 MAC アドレス、現行 IMM2 IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM2 IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM2 のリセット。

- **Reset IMM2 to Defaults**

この選択項目を選択して、IMM2 を表示あるいはデフォルト設定に戻します。

- **Reset IMM2**

この選択項目を選択して、IMM2 をリセットします。

- **Recovery**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Attempts Limit**

Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Watchdog Timer**

この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

• **POST Watchdog Timer Value**

この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

• **Reboot System on NMI**

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。 **Enable** (使用可能) がデフォルトです。

• **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

– **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

– **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

• **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Boot Manager**

この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

• **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST イベントおよびシステム管理割り込み (SMI) イベントと、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが含まれます。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、125 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全および限定メニューに表示されます。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。詳しくは、126 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、126 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティーの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。詳しくは、127 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、127 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。

- **Restore Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

- **Load Default Settings**

変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

この選択項目を選択し、Setup ユーティリティを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」メニュー選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するものであり、Setup ユーティリティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティを開始して、始動パスワードをリセットします。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- 始動パスワードのスイッチの位置を変更して (システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW4) のスイッチ 3 を使用可能にする)、パスワード検査をバイパスします (詳しくは、33 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。

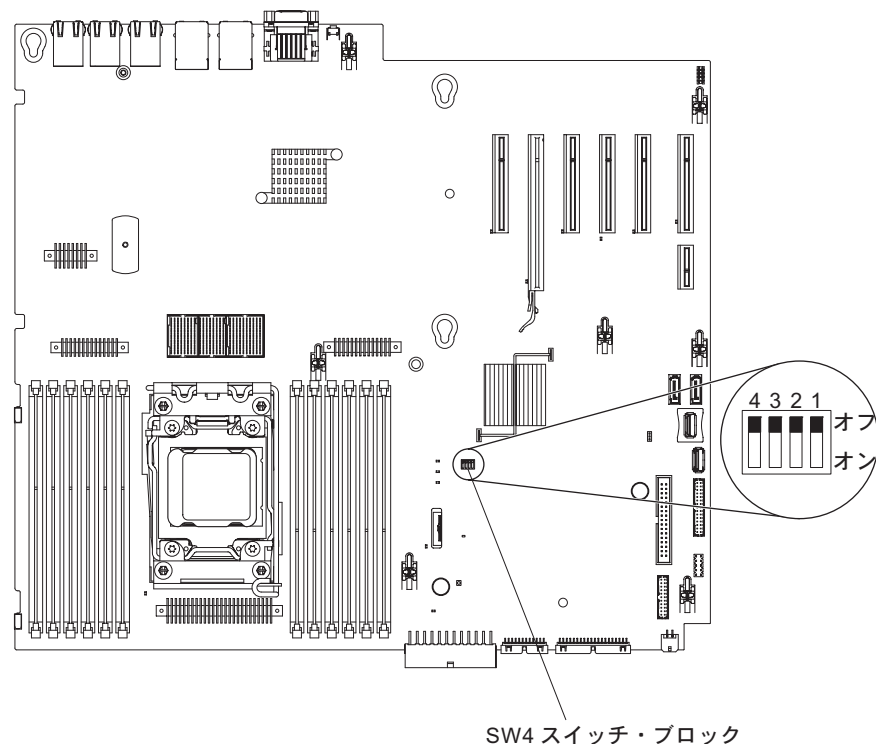


図 33. 始動パスワード・スイッチ

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW3 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW3) のスイッチ 4 を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。次に Setup ユーティリティを開始し、始動パスワードを再設定することができます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

Boot Manager にはこの情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティ・プログラムであり、Setup ユーティリティの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 を押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始するには、この情報を使用します。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を変更し (SW4 のスイッチ 1 を on の位置に変更)、UEFI リカバリー・モードを有効にします。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされた後、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を元に戻します (SW4 のスイッチ 1 を off の位置に変更します)。

UpdateXpress System Pack Installer

UpdateXpress System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolset/v1r0/>) にアクセスし、「UpdateXpress System Pack Installer」をクリックします。

UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値への変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値は IMM2 によって設定されます。

このタスクについて

電源ポリシー・オプションをデフォルトの設定値に変更するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 「System Settings」 > 「Integrated Management Module」を選択してから、「Power Restore Policy」の設定を Restore に設定します。
4. 「System Configuration and Boot Management」 > 「Save Settings」に戻ります。
5. 戻って、電源ポリシーの設定値をチェックし、これが「Restore」(デフォルト)に設定されていることを確認します。

次のタスク

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

統合管理モジュール II (IMM2) の使用

統合管理モジュール II (IMM2) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM2 は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートしています。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサ構成で 1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサ使用不可および再始動。1 個のマイクロプロセッサが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM2 はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。それ以外の場合は、IMM2 は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。

- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により、POST 中に検出した障害のある DIMM が使用不可にされ、IMM2 により、関連したシステム・エラー LED および障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサ、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケータ。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM2 ファームウェア・フラッシュ更新。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM2 は、管理ユーティリティー・プログラムである ipmitool を使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれも SOL 接続にアクセスできます。

IMM2 についての詳細は、*Integrated Management Module II User's Guide* (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) の内蔵機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスク・イメージを IMM2 メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM2 がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM2 がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM2 ホスト名の取得

以下の情報を使用して、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)IMM2 ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM2 にログオンする場合、IMM2 のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM2 は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は『IMM-』(IMM2 MAC アドレスの最後の 12 文字を追加)です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM2 ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM2 ネットワーク・アクセス・タグは IMM2 のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM2 のデフォルトのホスト名から導き出されます。3IMM2 LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM2 ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM2 MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。

3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に 『FF』 と 『FE』 を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数 に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM2 用の IP アドレスの取得

IMM2 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM2 の IP アドレスまたはホスト名が必要です。 IMM2の IP アドレスは、Setup ユーティリティを使用して取得できます。また、IMM2 のホスト名は、IMM2 ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM2 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。 素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティを終了します。

Web インターフェースへのログイン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログインします。

このタスクについて

IMM2 Web インターフェースにログインするには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「アドレス」または「URL」フィールドに、接続する IMM2 の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注: インストール後初めて IMM2 にログインする場合、IMM2 のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM2 は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM2 ネットワーク・アクセス・タグは IMM2 のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM2 を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注: IMM2 は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログイン時に変更する必要があります。

3. 「Log in」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM2 GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「System Status」>「System State」でメッセージ『Bootting OS or in unsupported OS』が表示される場合は、Windows 2008 または 2012 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 または 2012 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与えます。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM2 GUI は「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタに取り付けることができます (これらのコネクタの位置については、368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「**Embedded Hypervisor**」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、<http://www.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/>からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または「*VMware vSphere Installation and Setup Guide*」(<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf>) を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand Ethernet ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand RAID ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティを使用して RAID アレイを構成します。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。RAID コントローラーのユーティリティにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 「System Settings」 > 「Storage」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2 設定を構成することもできます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM2 LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU> にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

以下の情報を使用して、IBM Systems Director を更新します。

このタスクについて

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
 - a. <http://www.ibm.com/systems/software/director/resources.html> に進みます。
 - b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「更新の表示」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「Install」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**管理**」タブをクリックし、「**更新マネージャー**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。

- c. 「ToolsCenter」の下で、「View ToolsCenter downloads」を選択します。
 - d. 「Advanced Settings Utility (ASU)」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU が 統合管理モジュール II (IMM2) で UUID を設定します。以下のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール II (IMM2) にアクセスし、UUID を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
 3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*
 4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]

ここで、

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]

ここで、

imm_internal_ip

IMM2 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM2 account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM2 アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM2 にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は、IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。

「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM2 にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM2 LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM2 account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM2 アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。IBM Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。

- d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU が 統合管理モジュール II (IMM2) で DMI を設定します。以下のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール II (IMM2) にアクセスし、DMI を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
 3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*
 4. ASU をインストールした後、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>

サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。mtm xxxxyyy と入力してください。ここで、xxxx はマシン・タイプ、yyy はサーバーの型式番号です。

<s/n>

サーバーのシリアル番号。sn zzzzzzz と入力します。ここで、zzzzzzz はシリアル番号です。

<asset_method>

サーバーの資産タグ番号。asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa と入力します。ここで、aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa は資産タグ番号です。

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM2 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM2 account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM2 アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM2 にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
- b. パネル上部にある「Downloads」タブをクリックします。
- c. 「ToolsCenter」の下で、「View ToolsCenter downloads」を選択します。
- d. 「Advanced Settings Utility (ASU)」を選択します。

- e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM2 にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM2 LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM2 account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM2 アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、937 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
 - ハードウェア・コンポーネント
 - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
 - システム・ソフトウェア
 - UEFI ファームウェア
 - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
 - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、158 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。
 - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
 - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA)** を実行して、システム・データを収集します。ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびブリープ診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、および 113 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>を参照してください。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

- b. **手動のシステム更新をインストールします。**

- 1) **既存のコード・レベルを判別します。**

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

- 2) 最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、
<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. 構成の誤りを確認して、訂正します。サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。
 - a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。 <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。
 - b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、151 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、113 ページの『第 3 章 構成情報と説明』を参照してください。
6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

7. トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、173 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM System x3500 M4 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM System x3500 M4 サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスして、7383 と retain を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサ問題の診断については、181 ページの『マイクロプロセッサ問題』を参照してください。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合には、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 815 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、173 ページの『現象別トラブルシューティング』および 193 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、191 ページの『電源の問題の解決』、185 ページの『電源問題』、および 163 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、165 ページの『イベント・ログ』および 837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
 - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
 - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
 - a. パワー・サプライ LED を検査します (163 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
 - b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
 - c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>で確認します。
 - d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
 - e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
 - f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
 - g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、173 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
 - h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (156 ページの『Light Path 診断』を参照)。
 - i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳しくは、169 ページの『UEFI/POST』を参照)。
 - オペレーティング・システム・デスクトップ上の読み取り可能な画面によって示される、始動の正常終了。
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 173 ページの『現象別トラブルシューティング』で障害の現象を見つけ出します。必要があれば、193 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します (171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
 - DSA がエラーを報告する場合は、837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』の指示に従ってください。
 - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、193 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

• Light Path 診断

Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、156 ページの『Light Path 診断』を参照してください。

• イベント・ログ

イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

• 統合管理モジュール II (IMM2)

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM2 は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生すると、IMM2 は問題の診断に役立つ LED を点灯し、IMM2 イベント・ログにエラーを記録し、さらにユーザーに対してアラートを発行します。オプションで、IMM2 はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM2 は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

統合管理モジュール II (IMM2) について詳しくは、129 ページの『統合管理モジュール II (IMM2) の使用』、387 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ』、および *Integrated Management Module II User's Guide* (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=migr-5086346>) を参照してください。

• IBM Dynamic System Analysis

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

– DSA Portable

DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- IMM2 構成情報
- IMM2 環境情報
-
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール II (IMM2)) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。DSA ログは、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信する (IBM サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。DSA の資料およびダウンロード情報については、<http://www.ibm.com/systems/management>を参照してください。

追加情報については、169 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および 837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

– DSA Preboot

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- IMM2 構成情報
- IMM2 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール II (IMM2)) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM2 I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサ
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ
8. LSI コントローラー
9. Broadcom ネットワーク・アダプター
10. FusionIO ストレージ
11. Intel GPU
12. Nvidia GPU

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

• 現象別トラブルシューティング

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、173 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

Light Path 診断

Light Path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。エラーが発生すると、フロント・パネル、Light Path 診断パネルのパスに沿って、次に障害が起こったコンポーネント上で、LED が点灯します。多くの場合、LED を所定の順序で見えていくことによりエラーの原因を突き止めることができます。

エラーを示す LED は、サーバーの電源をオフにしても、サーバーがまだ電源に接続されており、パワー・サプライが正常に作動していれば、点灯したままになっています。

サーバーの内部の Light Path 診断 LED を確認する前に、『安全について』(vii ページの『安全について』) および 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序で Light Path 診断 LED を見てください。

1. サーバー前面のオペレーター情報パネルを見ます。

- チェック・ログ LED が点灯している場合、エラー (複数の場合もあり) が発生していることを示します。Light Path 診断 LED を直接監視しても、エラーの発生元を切り分けたり特定することはできません。IMM2 システム・イベント・ログやシステム・エラー・ログで詳細な調査を行うことが必要な場合があります。
- システム・エラー LED が点灯している場合、エラーが発生したことを示しています。ステップ 2 に進んでください。

次の図はオペレーター情報パネルを示しています。

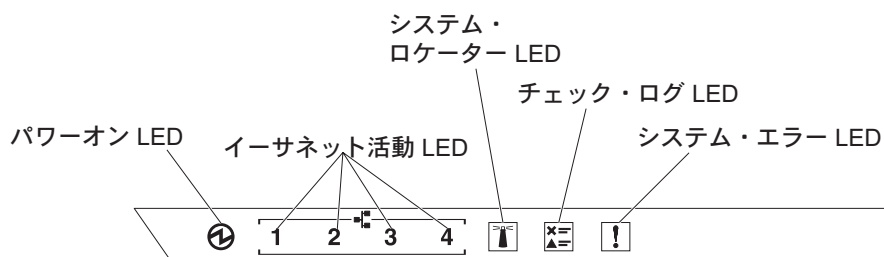


図 34. オペレーター情報パネル

次の表では、オペレーター情報パネル上の LED および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

表 10. LED ライトごとに検出された問題を修正するための推奨アクション

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。		
LED	説明	処置
システム・ロケーター (青色)	複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるときに、この LED を使用します。IBM Systems Director または IMM2 を使用して、この LED をリモートで点灯させることができます。	
チェック・ログ (黄色)	エラーが発生しており、特定の手順を実行しなければ切り分けることができません。	- IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。 - 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。
システム・エラー (黄色)	エラーが発生しました。	- Light Path 診断 LED を確認し、指示に従います。 - IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。 - 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。

- サーバー前面の Light Path 診断パネルを見ます。Light Path 診断パネル上で点灯している LED は、発生したエラーのタイプを示します。Light Path 診断パネル LED は、ベゼルから確認することができます。158 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。サーバーの上面にあるシステム・サービス・ラベルを見ると、Light Path 診断パネル上の各 LED に対応する内部コンポーネントの概要が分かります。通常、この情報により、エラーを診断できるだけの十分な情報が得られます。

Light Path 診断 LED

次の表は、Light Path 診断パネルの LED と、検出された問題を修正するための推奨処置について説明しています。

サーバー前面の Light Path 診断パネルを見ます。Light Path 診断パネル上で点灯している LED は、発生したエラーのタイプを示します。Light Path 診断パネル LED は、ベゼルから確認することができます。

表 11. Light Path 診断パネル LED

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。		
LED	説明	処置
ハード・ディスク/RAID 	ハード・ディスクが障害を起こしたか、欠落しています。SAS コントローラーまたは ServeRAID コントローラーのエラーが発生しました。	- 状況 LED が点灯しているドライブについて、ハード・ディスクの LED をチェックし、ハード・ディスクを取り付け直します。 - ハード・ディスク・バックプレーンを取り付け直します。 - SAS コントローラーまたは ServeRAID コントローラーの近くの LED をチェックし、対応するコントローラーを取り付け直します。 - 詳細については、 を参照してください。 - エラーが残る場合は、以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - ハード・ディスクを交換します。 - ハード・ディスク・バックプレーンを交換します。 - SAS コントローラーを交換します。 - ServeRAID コントローラーを交換します。 - 問題が解決されない場合は、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。
ファン 	ファンが障害を起こしたか作動速度が遅すぎます。または取り外されました。TEMP LED も点灯している場合があります。	- ファン・ケージ・カバーを開き、障害のあるファン (LED が点灯しています) を取り付け直します。 - 障害のあるファンを交換します (276 ページの『シンプル・スワップ・ファンの取り付け』を参照)。

表 11. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。		
LED	説明	処置
温度 	システムの温度がしきい値レベルを超えています。ファンに障害があると、温度 LED も点灯する場合があります。	- ヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 - ファンが障害を起こしたかどうかを調べます。 障害がある場合は、そのファンを交換します。 - 室温が高すぎないことを確認してください。サーバーの温度については、7 ページの『サーバーの機能および仕様』を参照してください。 - 通風孔がふさがれていないことを確認してください。 - アダプター上のファンおよびネットワーク・アダプターが正しく装着されていることを確認します。障害がある場合は、そのコンポーネントを交換します。 - 障害が残る場合は、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。
マイクロプロセッサー 	マイクロプロセッサ LED のみが点灯している場合、マイクロプロセッサに障害が発生しています。	構成 LED が点灯していない場合は、マイクロプロセッサ障害が発生しています。次のステップを実行してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード上の点灯した LED によって示される、障害のあるマイクロプロセッサおよびそのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けおよび要件については、343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサを交換します (343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 - 障害が残る場合は、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。
	マイクロプロセッサ + 構成 マイクロプロセッサ LED と構成 LED の両方が点灯している場合は、マイクロプロセッサ構成が無効です。	構成 LED とマイクロプロセッサ LED が点灯している場合、システムが無効なマイクロプロセッサ構成エラーを発行しています。以下のステップを実行して、問題を修正します。 - 取り付けられたばかりのマイクロプロセッサが相互に互換性のあることを確認し (マイクロプロセッサ要件についての追加情報は、343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)、Setup ユーティリティを使用し「System Information」→「System Summary」→「Processor Details」と選択して、マイクロプロセッサ情報を検査します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。 - システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します。エラー・ログに示されているコンポーネントを交換します。

表 11. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。		
LED	説明	処置
構成 CNFG	構成 + マイクロプロセッサ ハードウェア構成エラーが発生しました。	構成 LED とマイクロプロセッサ LED が点灯している場合は、次のステップを実行して、問題を修正します。 - 取り付けられたばかりのマイクロプロセッサが相互に互換性のあることを確認します (マイクロプロセッサ要件についての追加情報は、343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照してください)。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。 - システム・イベント・ログをチェックし、このエラーに関する情報がないかを確認します (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。エラー・ログに示されているコンポーネントを交換します。
	構成 + メモリー ハードウェア構成エラーが発生しました。	構成 LED とメモリー LED が点灯している場合は、システム・イベント・ログをチェックし、このエラーに関する情報がないかを確認します (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。
	構成 + パワー・サプライ ハードウェア構成エラーが発生しました。	構成 LED とパワー・サプライ LED が点灯している場合、システムが無効な電源構成エラーを発行しています。サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ定格 (ワット数) のパワー・サプライであることを確認します。
メモリー MEM	メモリー LED のみが点灯している場合、メモリー・エラーが発生しています。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。構成 LED が点灯していない場合、システムがメモリー・エラーを検出した可能性があります。以下のステップを実行して、問題を修正します。 - LED が点灯している DIMM を取り付け直すかスワップします。 - システム・イベント・ログをチェックし、このエラーに関する情報がないかを確認します (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。 - サーバー・ファームウェアを最新レベルに更新します (詳しくは、113 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 - 障害のある DIMM を交換します (321 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。
	メモリー + 構成 メモリー LED と構成 LED の両方が点灯している場合は、メモリー構成が無効です。	メモリー LED と構成 LED が点灯している場合は、システム・イベント・ログをチェックし、このエラーに関する情報がないかを確認します (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。

表 11. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。		
LED	説明	処置
パワー・サプライ 	パワー・サプライ LED のみが点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生しています。	構成 LED が点灯していない場合、システムがパワー・サプライ・エラーを検出した可能性があります。以下のステップを実行して、問題を修正します。 - 黄色の LED が点灯しているパワー・サプライを確認します (163 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。 - パワー・サプライが正しく取り付けられており、正常な AC コンセントに接続されていることを確認します。 - いずれかのパワー・サプライを取り外して、障害のあるパワー・サプライを特定します。 - サーバーに取り付け済みの両方のパワー・サプライの電圧が同じであることを確認します。 - 障害のあるパワー・サプライを交換します (304 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し』を参照)。
	パワー・サプライ + 構成 パワー・サプライ LED と構成 LED の両方が点灯している場合は、パワー・サプライ構成が無効です。	パワー・サプライ LED と構成 LED が点灯している場合、システムが無効な電源構成エラーを発行しています。サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ定格 (ワット数) のパワー・サプライであることを確認します。
オーバー・スペック 	パワー・サプライが許容定格以上の電力を消費しています。	Light Path 診断パネル上のオーバー・スペック LED が点灯している場合、問題が解決されるまで、次のステップを示された順序で実行します。 2 個目のパワー・サプライを追加します。 - 障害を起こしたパワー・サプライを交換します。 - オプション・デバイスを取り外します。
PCI 	PCI カードまたは PCI バス上でエラーが発生しました。	- 点灯している PCI スロット・エラー LED がないかを確認し、エラーの原因となっているコンポーネントを識別します。 - システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。 - LED およびシステム・イベント・ログの情報を使用して障害のあるコンポーネントを切り分けることができない場合、コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、コンポーネントを取り外すたびにサーバーを再始動します。 - 障害が残る場合は、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

表 11. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。		
LED	説明	処置
NMI NMI	マスク不能割り込みが発生したか、NMI ボタンが押されました。	- システム・イベント・ログをチェックし、このエラーに関する情報がないかを確認します (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。 - サーバーを再始動します。
システム・ボード BRD	システム・バッテリー、マイクロプロセッサ 2 拡張ボード、電源パドル・カード、またはシステム・ボード上でエラーが発生しました。	- システム・ボード上の LED をチェックして、エラーの原因となっているコンポーネントを識別します。以下のいずれかの理由により、システム・ボード LED が点灯する可能性があります。 - バッテリー (278 ページの『システム・バッテリーの取り外し』および 280 ページの『システム・バッテリーの取り付け』を参照) - マイクロプロセッサ 2 拡張ボード (352 ページの『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り外し』および 354 ページの『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 - 電源パドル・カード (333 ページの『電源パドル・カードの取り外し』および 335 ページの『電源パドル・カードの取り付け』を参照)。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード (362 ページの『システム・ボードの取り外し』および 365 ページの『システム・ボードの取り付け』を参照)。 - システム・イベント・ログをチェックし、このエラーに関する情報がないかを確認します。 - 次の障害のあるコンポーネントを交換します。 - バッテリー - マイクロプロセッサ 2 拡張ボード - 電源パドル・カード (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

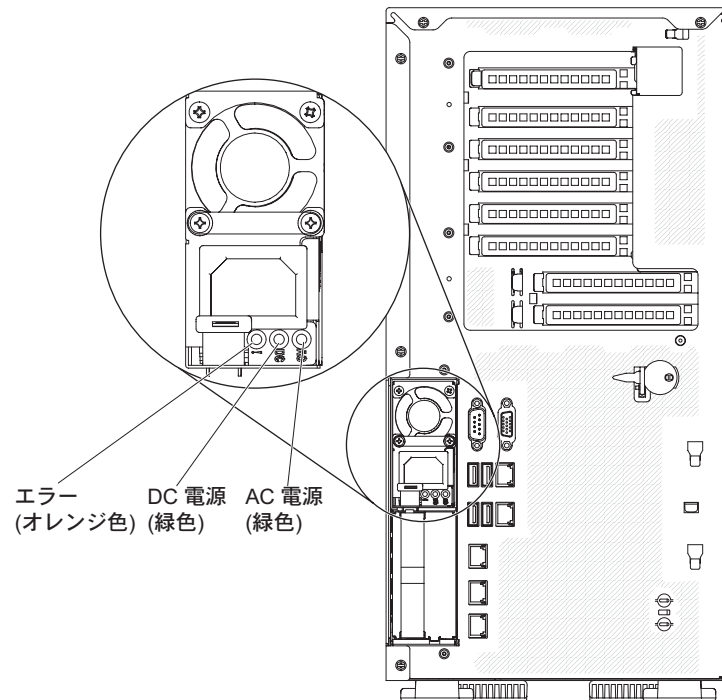
サーバーの上面にあるシステム・サービス・ラベルを見ると、Light Path 診断パネル上の各 LED に対応する内部コンポーネントの概要が分かります。通常、この情報により、エラーを診断できるだけの十分な情報が得られます。

パワー・サプライ LED

このセクションでは、サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED、および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

下図は、サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED を示しています。

図 35. サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED



次の表では、オペレーター情報パネル上のパワー・サプライ LED およびシステム電源 LED のさまざまな組み合わせによって示される問題および検出された問題を訂正するための推奨アクションについて説明します。

表 12. パワー・サプライ LED

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー			
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が接続されていない、または AC 給電部に問題がある。	- サーバーへの AC 電源をチェックします。 - 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 - サーバーを再始動します。エラーが続く場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 - 問題が続く場合は、パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。

表 12. パワー・サプライ LED (続き)

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー			
オフ	オフ	オン	障害のあるパワー・サプライ	1. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 2. パワー・サプライを交換してください。	これは、2 台目のパワー・サプライがサーバーに電源を供給している場合にのみ発生します。
オフ	オン	オフ	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に固定されていないか、システム・ボードまたはパワー・サプライに障害が起こっている	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. システム・ボード・エラー LED が点灯していない場合は、パワー・サプライを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード・エラー LED が点灯している場合は、システム・ボードを交換します。	通常、パワー・サプライがしっかり取り付けられていないことを示します。
オン	オフまたは点滅	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害があるが、まだ作動可能	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

このセクションでは、システムのパワーオンとパワーオフおよびブート進行をモニターする、システム・ボード上のシステム・パルス LED について説明します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターします (これらの LED の場所については、35 ページの『システム・ボードの LED およびコントロール』を参照してください)。

表 13. システム・パルス LED

LED	説明	処置
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 13. システム・パルス LED (続き)

LED	説明	処置
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	以下のステップは、IMM2 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。 1. この LED が高速で点滅している場合 (約 4Hz)、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになるときは、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになってから低速で点滅し始める場合 (約 1Hz)、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに、エラー・コードとメッセージが表示されます。

- POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (119 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。POST エラー・コードについて詳しくは、815 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』を参照してください。
- システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。システム・イベント・ログについて詳しくは、387 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ』を参照してください。

メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

一部の IMM2 センサーでは、それぞれの設定値に達すると、表明イベントがログに記録されます。設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。

- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログには、すべての IMM2 イベント、POST イベント、およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが含まれます。IMM2 Web インターフェースから IMM2 イベント・ログを表示することができます。詳しくは、133 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM2 イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM2 エラー・メッセージについて詳しくは、387 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ』を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM2 シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (167 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、169 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および 837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示

Setup ユーティリティーからイベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「System Event Logs」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
 - POST イベント・ログを表示するには、「POST Event Viewers」を選択します。
 - システム・イベント・ログを表示するには、「System Event Log」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

サーバーがハングしていない状態で IMM2 がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方法があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM2 イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

IPMITool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMITool が付属しています。IPMI の概要については、<http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/> にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM2 イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、133 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 14. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM2 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。

表 14. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM2 に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、統合管理モジュール II (IMM2) はネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「Event Log」ページに進みます。詳しくは、131 ページの『IMM2 ホスト名の取得』および 133 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM2 との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、166 ページの『Setup ユーティリティからのイベント・ログの表示』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去する場合は、以下のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM2 システム・イベント・ログを消去するには、「System Event Logs」 > 「Clear System Event Log」を選択してから、Enter キーを 2 回押します。

UEFI/POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、815 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、165 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリ情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール II (IMM2)) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、193 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。 DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手する

には、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

• DSA Portable

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを再始動できない場合は、DSA Portable を使用してください。

• DSA Preboot

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳細については、BoMC の「ユーザー・ガイド」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- Emulex ネットワーク・アダプター
- 光ディスク装置 (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサ
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再始動できる場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA>に進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

4. オプションとして、「Quit to DSA」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。

5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを IBM サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。

これらのツールは、IBM サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、<http://www.ibm.com/support/electronic/portal/> にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、815 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』、387 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ』、および 837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を利用して、識別可能な現象がある問題に対する解決策を見つけてください。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては 837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、147 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (156 ページの『Light Path 診断』を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。

3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、837 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

CD/DVD ドライブの問題

表 15. CD/DVD ドライブの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オプションの DVD ドライブが認識されない。	- 次の点を確認します。 - DVD ドライブが接続されている SATA コネクタ (1 次または 2 次) が Setup ユーティリティで利用可能になっているか。 - ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 - DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 - DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - DVD ドライブ - DVD ドライブ・ケーブル - ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動しない。	- CD または DVD をクリーニングします。 - CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 - DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 - DVD ドライブを取り付け直します。 - DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	- サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 - まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 - DVD ドライブを取り付け直します。 - DVD ドライブを交換します。

一般的な問題

表 16. 一般的な現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	- 詳しくは、198 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 - 詳しくは、195 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

GPU/VGA アダプターの問題

表 17. GPU/VGA アダプターの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
2x nVIDA K20c のインストール時に「Yellow Band」が表示されるか、「SLOT ERR LED」がスロットで点灯する。	- PCI 64 ビット・リソースを使用可能にします。 「Legacy mode only OS」で動作している場合、オプション ROM 実行順序 (「slot 5」 > 「slot 7」 > 「slot 2」) を変更します。
nVIDA Q シリーズまたは K シリーズのインストール時に、システムがハングしたか、スロット 7 に「Yellow Band」が表示されるか、ビデオ出力がない。	PCI 64 ビット・リソース (nVIDA K20c を除く) を使用不可にします。

ハード・ディスクの問題

表 18. ハード・ディスクの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハード・ディスクを取り外し、再度診断テストを実行します。ハード・ディスクの診断テストが正常に実行される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
オペレーティング・システムの始動中にハード・ディスクが検出されない。	すべてのハード・ディスクとケーブルを取り付け直し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。
ハード・ディスクがハード・ディスク診断テストにパスしたが、問題は継続する。	SCSI ハード・ディスク診断テストを実行します (171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 注: このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハード・ディスクを備えるサーバーでは使用できません。

ハイパーバイザーの問題

表 19. ハイパーバイザーの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	- オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの <F12> Select Boot Device で選択されていることを確認します。 - 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します (324 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』および 325 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け』を参照)。 - オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

表 20. 再現性の低い問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	- 次の点を確認します。 - すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 - サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 - システム・エラー・ログまたは IMM2 イベント・ログをチェックします (165 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

表 21. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	- 次の点を確認します。 - キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティを実行してキーボードなし操作を有効にします。 - USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - キーボードを交換します。

表 21. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置 (続き)

• 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 • 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 • IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

表 22. メモリーの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けられたメモリーの容量より少ない。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 - 次の点を確認します。 - オペレーター情報パネル上のどのエラー LED も点灯していない。 - システム・ボード上の DIMM エラー LED が点灯していない。 - メモリー・ミラーリング・チャンネルが不一致の原因ではない。 - メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 - 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 - メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 - メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 - サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがない。 - DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 - POST エラー・ログを確認します。 - DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 - DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。次に Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 - Setup ユーティリティーですべての DIMM が初期化されていることを確認します。次にメモリー診断を実行します (171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 - Setup ユーティリティーを使用してすべての DIMM を再度使用可能にしたら、サーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 22. メモリーの問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
1 つのチャンネル内の複数の DIMM に障害があることが確認されている。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 - 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 - 障害が確認された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を取り外し、正常であることが既知の同一の DIMM と交換してから、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 - 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクタに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を既知の正常な同一 DIMM と交換して、各 DIMM の交換後、そのつどサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM がテストされるまで、ステップ 3 を繰り返します。 - 識別された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクタ (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクタに関するものでないことを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサ問題

表 23. マイクロプロセッサの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	- Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (156 ページの『Light Path 診断』を参照)。 - サーバーがすべてのマイクロプロセッサをサポートし、マイクロプロセッサの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサ情報を表示するには、Setup ユーティリティを実行して「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」を選択します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 を取り付け直します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害の発生したマイクロプロセッサが示されていない場合は、マイクロプロセッサを一度に 1 つずつテストしてエラーを切り分けます。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード (トレーニングを受けた技術員のみ) 複数のエラー・コードまたは Light Path 診断 LED がマイクロプロセッサのエラーを示す場合は、2 つのマイクロプロセッサの位置を逆にして、エラーがマイクロプロセッサまたはマイクロプロセッサ・ソケットのどちらに関連しているか判別します。 - エラーがマイクロプロセッサと関連している場合は、マイクロプロセッサを交換します。 - エラーがマイクロプロセッサ・ソケットに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

モニターの問題

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 24. モニターおよびビデオの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
モニターのテスト。	- モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 - サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 - 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	- サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。 - 次の点を確認します。 - サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源供給されていない場合は、185 ページの『電源問題』を参照してください。 - モニターのケーブルが正しく接続されている。 - モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 - サーバーの電源をオンにしたときに、POST エラーが生成されない。 - モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 193 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	- 次の点を確認します。 - アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 - アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 - ビデオ診断を実行します (171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 - サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。193 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

表 24. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	- モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 重要: 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 注: - ディスクット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスクット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 - IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 - モニターとケーブルを取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
画面に誤った文字が表示される。	- 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (113 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 - モニターとケーブルを取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

ネットワーク接続の問題

表 25. ネットワーク接続の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	- ライセンス・キーが有効であることを確認します。 - 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

表 26. オプション装置の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	- 次の点を確認します。 - 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照)。 - 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 - 取り付けした他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 - Setup ユーティリティで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 - 取り付けただけの装置を取り付け直します。 - 取り付けただけの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	- 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 - 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 - 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 - すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 - 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 - 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 - 障害のある装置を取り付け直します。 - 障害のある装置を交換します。

電源問題

表 27. 電源の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンが作動しない (サーバーが始動しない)。 注: 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	- 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (33 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - 次の点を確認します。 - 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 - 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 - DIMM が完全に取り付けられているか。 - パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 - マイクロプロセッサが正しい順序で取り付けられている。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - DIMM (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクタ (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源バックプレーン - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - DIMM (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクタ (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源バックプレーン (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード - オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 163 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 193 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

表 27. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーの電源がオフにならない。	- ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、次のステップを実行してください。 - Ctrl+Alt+Delete を押します。 - 電源制御ボタンを 5 秒以上押してサーバーの電源をオフにします。 - サーバーを再始動します。 - もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 5 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 - それでも問題が解決しない場合、または ACPI 対応オペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードの問題が考えられます。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	193 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

RAID/ストレージ・アダプターの問題

表 28. RAID/ストレージ・アダプターの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
HDD/CPU/メモリーに負荷がかかるとき、または OS のインストール時に、ソフトウェア NMI/PCI エラー LED が点灯する。	- ご使用の CPU の部品番号が以下のリストにあるかどうかを確認します。 00D0048 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.4 GHz、30 MB、1866 MHz、115 W 00D0049 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.7 GHz、30 MB、1866 MHz、130 W 40X7385 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、1.8 GHz、10 MB、1333 MHz、80 W 40X7386 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.5 GHz、10 MB、1333 MHz、80 W 40X7387 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.1 GHz、15 MB、1600 MHz、80 W 40X7388 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.6 GHz、15 MB、1600 MHz、80 W 40X7389 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.0 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W 40X7390 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.6 GHz、20 MB、1866 MHz、95 W 40X7391 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.2 GHz、25 MB、1866 MHz、95 W 40X7392 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.5 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W 40X7393 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.8 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W 40X7394 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、3.0 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W 40X7396 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、3.5 GHz、15 MB、1866 MHz、130 W 40X7397 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、3.5 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W 40X7398 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、3.3 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W 40X7399 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、2.4 GHz、15 MB、1600 MHz、60 W 40X7400 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、1.7 GHz、25 MB、1600 MHz、70 W 40X7436 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、1.9 GHz、20 MB、1600 MHz、70 W 40X7438 - マイクロプロセッサ、Intel Xeon IvyBridge-EP、1.9 GHz、25 MB、1866 MHz、70 W - リスト内にある場合は、RAID アダプターのタイプを確認します。RAID アダプターのタイプが M1115 である場合、M1115 の最大数は「1」であり、スロット 1 でのみ使用できます。 - システムの電源をオフにし、無効な M1115 RAID アダプターを取り外します。 - M1115 RAID アダプターを適切なスロットに再取り付けして、サーバーを再始動します。

シリアル・ポートの問題

表 29. シリアル・ポートの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	- 次の点を確認します。 - Setup ユーティリティで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 - シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 - シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 - シリアル・ポート・アダプターを交換します。
シリアル装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - その装置がサーバーと互換性があるか。 - シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 - 装置が正しいコネクタに接続されているか。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
シリアル・ポートで、uEFI および pDSA 構成ステージでデバッグのためにいくつかのメッセージが出力される場合がある。一部の外部デバイスは、シリアル・ポートで接続されていると、特定のデバイス関連の動作が行われる場合がある。	uEFI コンソール・リダイレクトのページで、シリアル・ポートの設定を使用不可にして、シリアル・ポート経由でメッセージが出力されないようにします。

ServerGuide の問題

表 30. ServerGuide の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートしており、始動可能 (ブート可能) な DVD ドライブを備えていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定が変更された場合は、DVD ドライブがその始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして 1 つのドライブだけが設定されていることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
ServeRAID マネージャー・プログラムが、取り付けられているすべてのドライブを認識できないか、またはオペレーティング・システムをインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS ハード・ディスクのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

表 31. ソフトウェアの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	- その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 - サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 - そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 - このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 - ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 - ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

表 32. USB ポートの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
USB 装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - 正しい USB デバイス・ドライバがインストールされている。 - オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 - Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、119 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 - USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. Light Path 診断パネル上で点灯している LED を確認します (158 ページの『Light Path 診断 LED』を参照)。
4. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (193 ページの『未解決問題の解決』を参照)。
5. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

次のタスク

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、163 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバの README ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

手順

1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。

- ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されている必要があります。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
 - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するように設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
 - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
3. ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
 4. サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
 - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
 5. サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
 6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
 7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。
 - 8.

次のタスク

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して未解決問題を解決してください。

このタスクについて

障害（継続的または再現性の低い）の原因がソフトウェアの問題にあると思われる場合は、190 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、195 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
 - 外付け装置
 - サージ抑制装置 (サーバー上)
 - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
 - 各アダプター
 - ハード・ディスク

注: サーバーの始動に必要な最小構成は、1 つのマイクロプロセッサと 1 つの 2 GB DIMM です。

4. サーバーの電源を入れます。問題が解決しない場合は、次のコンポーネントを次の順序で確かめてください。
 - a. パワー・サプライ
 - b. メモリー
 - c. マイクロプロセッサ
 - d. システム・ボード

次のタスク

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、IBM に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか?
 - 起こったことは何ですか? いつ? どこで?
 - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
 - その障害は再現可能か。
 - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
 - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
 - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、937 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM2 Web Interface からファームウェアを更新する。

注:サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの手動リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

4. システム・ボード上の SW4 を見つけます。
5. UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を変更し (SW4 のスイッチ 1 を on の位置に変更)、UEFI リカバリー・モードを有効にします。
6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーの左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を元に戻します (SW4 のスイッチ 1 を off の位置に変更します)。
12. 左サイド・カバーを再び取り付けます (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (278 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (280 ページの『システム・バッテリーの取り付け』を参照)。
19. 左サイド・カバーを再び取り付けます (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの自動ブート・リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

注: Light Path 診断パネルのシステム・ボード LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または Booting Backup Image がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346> で IMM2 資料 (*Integrated Management Module II User's Guide*) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

自動ブート・リカバリー (ABR) にはこの情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する指示については、195 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

Nx 回ブート失敗にはこの情報を使用します。

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 5 章 部品リスト、IBM System x3500 M4 Type 7383

IBM System x3500 M4 Type 7383 の部品リスト

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、『交換可能なサーバー・コンポーネント』で特に指定されている場合を除き、IBM System x3500 M4 Type 7383 サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

IBM System x3500 M4 Type 7383 の交換可能なサーバー・コンポーネント。

交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、207 ページの『構成部品』を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「保証情報」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法について詳しくは、937 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、207 ページの『構成部品』を参照してください。

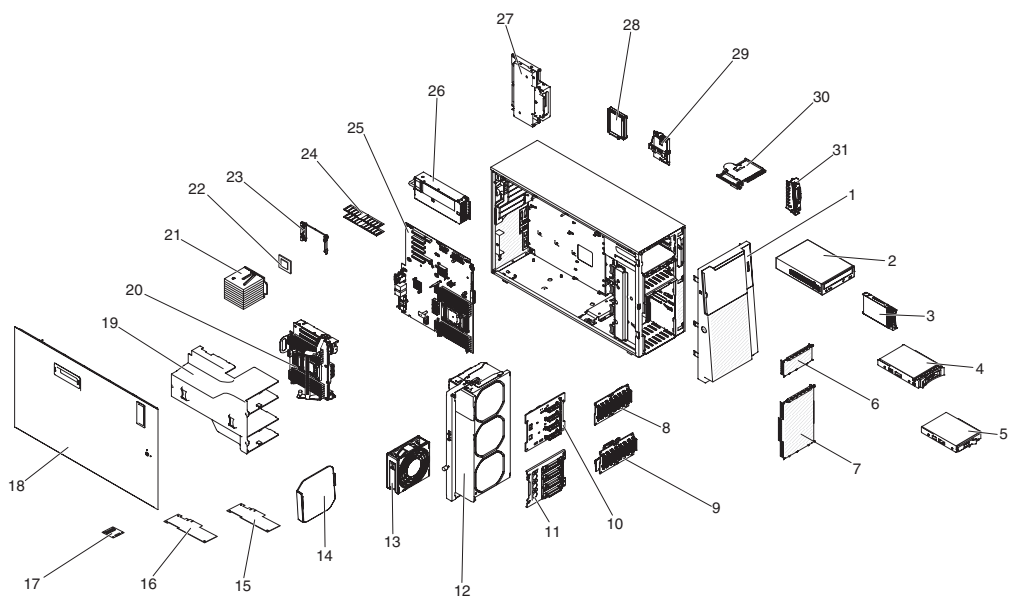


図 36. サーバー・コンポーネント

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	DVD-ROM ドライブ	43W8466	
2	DVD-RW ドライブ	43W8467	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、250 GB、7.2 K、SATA	81Y9723	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、500 GB、7.2 K、SATA	81Y9727	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K、SATA	81Y9731	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、128 GB、SATA Slim	90Y8649	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、250 GB、SATA Slim	90Y8644	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、500 GB、7.2 K、NL SAS	90Y8954	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K、NL SAS	81Y9691	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K、SAS	90Y8878	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K、SAS	90Y8873	
3	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、64 GB、SATA MLC	49Y5840	
3	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、100 GB、SATA MLC	00W1126	
3	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、200 GB、SATA MLC	43W7721	
3	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、512 GB、SATA MLC	49Y5845	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
3	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、800 GB、SAS MLC	49Y6140	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K、SAS SED	90Y8914	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K、SAS SED	90Y8909	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、900 GB、10 K、SAS SED	81Y9663	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、146 GB、15 K、SAS	90Y8927	
3	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、146 GB、15 K、SAS SED	90Y8945	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、500 GB、7.2 K、NL SATA	81Y9787	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K、NL SATA	81Y9795	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K、NL SAS	90Y8568	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K、NL SAS	90Y8573	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、3 TB、7.2 K、NL SAS	90Y8578	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、300 GB、15 K、SAS	49Y6093	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、450 GB、15 K、SAS	49Y6098	
4	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、600 GB、15 K、SAS	49Y6103	
5	ハード・ディスク、3.5 型 シンプル・スワップ、500 GB、7.2 K	81Y9803	
5	ハード・ディスク、3.5 型 シンプル・スワップ、2 TB、7.2 K	81Y9811	
8	バックプレーン、2.5 型	46W9187	
9	バックプレーン、2.5 型 (拡張装置付き)	90Y5875	
10	バックプレーン、3.5 型	49Y4462	
11	バックプレート・アセンブリー、3.5 型 シンプル・スワップ	94Y7746	
12	ファン・ケージ・アセンブリー	94Y7735	
13	ファン・モジュール、シンプル・スワップ	94Y7733	
15	ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプター	00AE811	
15	ServeRAID M5110 SAS/SATA アダプター	00AE807	
15	ServeRAID M1115 SAS/SATA アダプター	46C8928	
15	ServeRAID M5210 SAS/SATA アダプター	46C9111	
15	IBM 6 Gb Performance Optimized HBA	46C8937	
16	Emulex 16 Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1658	
16	Emulex 16 Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1665	
16	Emulex 8 GB PCIe シングル・ポート HBA	42D0491	
16	Emulex 8 GB PCIe デュアル・ポート HBA	42D0500	
16	Brocade 16 Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
16	Brocade 16 Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
16	Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3766	
16	QLogic 8 GB FC デュアル・ポート HBA	42D0516	
16	QLogic 16 GB FC シングル・ポート HBA	00Y3340	
16	QLogic 16 GB FC デュアル・ポート HBA	00Y3344	
16	Broadcom NetXtreme クアッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	
16	Broadcom NetXtreme デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
16	365 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9079	
16	785 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9082	
16	1.2 TB High IOPS MLC Mono Adapter	90Y4378	
16	IBM 300 GB High IOPS MLC モジュラー・アダプター	90Y4362	
16	IBM 600 GB High IOPS MLC モジュラー・アダプター	90Y4366	
16	IBM 800 GB High IOPS MLC モジュラー・アダプター	90Y4370	
16	IBM 300 GB High IOPS SLC モジュラー・アダプター	90Y4374	
16	IBM 6 Gb SAS HBA	46C8935	
16	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
16	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro 6000	43V5921	
16	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K600	90Y2383	
16	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K2000	90Y2379	
16	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K4000	90Y2375	
16	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K5000	90Y2387	
16	ビデオ・アダプター、NVIDIA Tesla K20 (アクティブ冷却ソリューション)	90Y2391	
17	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	81Y4485	
17	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9027	
17	ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9029	
17	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	
17	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
17	ServeRAID M5200 シリーズ 2 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
20	マイクロプロセッサ 2 拡張ボード		00W2047
21	ヒートシンク・アセンブリー		94Y7740
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2603 v2、1.8 GHz、10 MB、1333 MHz、80 W (4 コア)		00Y2778
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2609 v2、2.5 GHz、10 MB、1333 MHz、80 W (4 コア)		00Y2779

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2620 v2、2.1 GHz、15 MB、1600 MHz、80 W (6 コア)		00Y2780
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2628L v2、1.9 GHz、20 MB、1600 MHz、70 W (8 コア)		00AE525
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630 v2、2.6 GHz、15 MB、1600 MHz、80 W (6 コア)		00Y2781
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630L v2、2.6 GHz、15 MB、1600 MHz、60 W (6 コア)		00Y2792
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2637 v2、3.5 GHz、15 MB、1866 MHz、130 W (4 コア)		00Y2789
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2640 v2、2.0 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		00Y2782
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2643 v2、3.5 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W (6 コア)		00Y2790
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2648L v2、1.9 GHz、25 MB、1866 MHz、70 W (10 コア)		00AE523
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650 v2、2.6 GHz、20 MB、1866 MHz、95 W (8 コア)		00Y2783
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650L v2、1.7 GHz、25 MB、1600 MHz、70 W (10 コア)		00Y2793
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2660 v2、2.2 GHz、25 MB、1866 MHz、95 W (10 コア)		00Y2784
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2667 v2、3.3 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W (6 コア)		00Y2791
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2670 v2、2.5 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W (10 コア)		00Y2785
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2680 v2、2.8 GHz、25 MB、1866 MHz、115 W (10 コア)		00Y2786
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2690 v2、3.0 GHz、25 MB、1866 MHz、130 W (10 コア)		00Y2787
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2695 v2、2.4 GHz、30 MB、1866 MHz、115 W (12 コア)		00Y2776
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2697 v2、2.7 GHz、30 MB、1866 MHz、130 W (12 コア)		00Y2777
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2690、2.90 GHz、20 MB、1600 MHz、135 W (8 コア)		49Y8115
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2637、3.00 GHz、5 MB、1066 MHz、80 W (2 コア)		49Y8124
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2665、2.40 GHz、20 MB、115 W (8 コア)		49Y8142
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650L、1.80 GHz、20 MB、1600 MHz、70 W (8 コア)		81Y5160
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2603、1.80 GHz、10 MB、1066 MHz、80 W (4 コア)		81Y5161

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2609、2.40 GHz、10 MB、1066 MHz、80 W (4 コア)		81Y5163
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630L、2.00 GHz、15 MB、1333 MHz、60 W (6 コア)		81Y5204
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2620、2.00 GHz、15 MB、1333 MHz、95 W (6 コア)		81Y5164
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2630、2.30 GHz、15 MB、1333 MHz、95 W (6 コア)		81Y5165
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2640、2.50 GHz、15 MB、1333 MHz、95 W (6 コア)		81Y5166
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2650、2.00 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		81Y5167
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2660、2.20 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		81Y5168
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2680、2.70 GHz、20 MB、1600 MHz、130 W (8 コア)		81Y5169
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2667、2.90 GHz、15 MB、1600 MHz、130 W (6 コア)		81Y5170
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2643、3.30 GHz、10 MB、1600 MHz、130 W (4 コア)		81Y5171
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2648L、1.80 GHz、20 MB、1600 MHz、70 W (8 コア)		95Y4671
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2658、2.10 GHz、20 MB、1600 MHz、95 W (8 コア)		95Y4676
22	マイクロプロセッサ、Intel Xeon E5-2670、2.60 GHz、20 MB、1600 MHz、115 W (8 コア)		81Y9419
23	保持モジュール、ヒートシンク		94Y7739
24	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、UDIMM	49Y1422	
24	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、UDIMM	00D5014	
24	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、UDIMM	00D5018	
24	メモリー、2 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、RDIMM	49Y1421	
24	メモリー、2 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、RDIMM	49Y1423	
24	メモリー、4 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、RDIMM	49Y1424	
24	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、RDIMM	49Y1425	
24	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、RDIMM	49Y1415	
24	メモリー、16 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、RDIMM	49Y1565	
24	メモリー、16 GB quad-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、RDIMM	49Y1418	
24	メモリー、32 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333 MHz、LR-DIMM	90Y3107	
24	メモリー、4 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	00D5026	
24	メモリー、8 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	00D5038	
24	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	00D5046	
24	メモリー、4 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	49Y1561	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
24	メモリー、4 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	90Y3180	
24	メモリー、8 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	90Y3111	
24	メモリー、16 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600 MHz、RDIMM	00D4970	
24	メモリー、16 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866 MHz、RDIMM	46W0670	
24	メモリー、4 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866 MHz、LR-DIMM	00D5030	
24	メモリー、32 GB、quad-rank 1.5 V、DDR3、1866 MHz、LR-DIMM	46W0763	
25	システム・ボード		00AL016
25	システム・ボード		00W2046
26	パワー・サプライ、550 W、AC	94Y8105	
26	パワー・サプライ、750 W、AC	69Y5747	
26	パワー・サプライ、750 W、AC	94Y8071	
26	パワー・サプライ、750 W、AC	94Y8079	
26	パワー・サプライ、750 W、AC	94Y8086	
26	パワー・サプライ、900 W、AC	94Y8067	
26	パワー・サプライ、900 W、AC	94Y8073	
26	パワー・サプライ、900 W、AC	94Y8087	
27	電源パドル・カード		94Y8108
27	電源パドル・カード・ブラケット		94Y7742
28	ServeRAID M5100 シリーズ・スーパーキャップ・パック	81Y4579	
	ラベル、システム・サービス	94Y7750	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	熱伝導グリース・キット		41Y9292
	アルコール・ワイプ		59P4739
	マイクロプロセッサ取り付けツール		94Y9955
	ケージ、3.5 型ハード・ディスク	94Y7743	
	ケージ、2.5 型ハード・ディスク	94Y7744	
	PCI-X 変換コネクタ・カード	90Y5961	
	ライザー・カード		00AL017
	マウス、USB	39Y9875	
	ブラケット、テープ・ドライブ	81Y7000	
	ブラケット、PCI アダプター、3U	94Y7628	
	ブラケット、PCI アダプター	94Y7752	
	ブラケット、USB ケーブルおよび Light Path 診断	94Y7754	
	ブラケット、マイクロプロセッサ 2 拡張ボード		00D3579
	ブラケット、EIA	94Y7756	
	ブラケット、テープ・マウント・キット	41Y7711	
	ハーフハイト LTO Gen 5 SAS テープ・ドライブ	46X5683	
	Operator information panel assembly	94Y7734	
	電源遮断スイッチ・アセンブリー	94Y7747	
	CMA キット	68Y7213	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	スライド・レール・キット	68Y7226	
	レール・ガイド・アセンブリー、5.25 型ドライブ	81Y6982	
	ケーブル、mini-SAS、820 mm (12 Gb RAID 用)	00Y8433	
	ケーブル、電源コード	39M5200	
	ケーブル、SAS 820 mm	81Y6674	
	ケーブル、バックプレーン接続、2.5 型	81Y7514	
	ケーブル、ファン・ケージ・アセンブリー	81Y7533	
	ケーブル、SATA 光学式電源	81Y7535	
	ケーブル、SATA バックプレート・アセンブリー、3.5 型	81Y7536	
	ケーブル、バックプレーン電源変換	81Y7537	
	ケーブル、バックプレーン構成、2.5 型	81Y7538	
	ケーブル、バックプレーン、3.5 型ホット・スワップ HDD	81Y7539	
	ケーブル、電源遮断スイッチ・アセンブリー	81Y7540	
	ケーブル、ServeRAID 電源モジュール	90Y7310	
	ケーブル、前面 USB	94Y6367	
	ケーブル、グラフィック・アダプター電源変換	94Y6414	
	ケーブル、バックプレーン	00W2022	
	ケーブル、Light Path 診断	94Y7745	
	ケーブル、バックプレーン、2.5 型ホット・スワップ HDD	00D2706	
	ケーブル、SAS Y ケーブル	44E8878	
	ケーブル、SAS Y ケーブル	49Y9901	
	ケーブル、フラッシュ電源モジュール・ケーブル、925 mm (ServeRAID M5200 シリーズ・フラッシュ用)	46C9793	
	カートリッジ、IBM Ultrium LTO ユニバーサル・クリーニング・カートリッジ	35L2086	
	ハイパーバイザー、ブランク USB メモリー・キー (VMWare ESXi ダウンロード用)	42D0545	
	スーパーキャップ・パック	47C8696	
	キーボード	94Y6050	
	キーボード	94Y6108	

構成部品

構成部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。 構成部品は IBM 小売店で注文できます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 33. 構成部品、Type Type 7383

索引	説明	部品番号
1	ベゼル、タワー	94Y7729
	ベゼル、ラック	94Y7753
	フィラー、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ	44T2248
	フィラー、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ	69Y5364
	フィラー、3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスク・ベイ	69Y5368
	フィラー、5.25 型ドライブ・ベイ	94Y7732
6	フィラー、2.5 型ケージ・フィラー	94Y7748
7	フィラー、3.5 型ケージ・フィラー	94Y7749
	フィラー、ラック・キット	94Y7755
	フィラー、パワー・サプライ・ベイ	94Y7610
14	フィラー、ファン	00D4373
17	ServeRAID M5100 シリーズ・バッテリー・キット	81Y4491
19	エアー・バッフル	94Y7741
18	カバー、左サイド	94Y7736
	カバー、右サイド	94Y7737
	カバー、トップ	94Y7738
	脚キット、背面	13N2985
	脚キット、スタビライザー、前面	26K7345
	キーロック・アセンブリー、汎用	94Y7730
	キーロック・アセンブリー	94Y7731
29	リモート RAID バッテリー・トレイ	94Y7609

構成部品は、以下の手順で注文してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

1. <http://www.ibm.com> にアクセスしてください。
2. 「Products」メニューから「Upgrades, accessories & parts」を選択します。
3. 「Obtain maintenance parts」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される IBM 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの 部品番号	説明
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130 39M5179	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda

電源コードの 部品番号	説明
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5076 39M5512	United States of America
39M5463	Taiwan
39M5087	Thailand
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	India
39M5240 39M5241	Brazil
39M5375 39M5378 39M5509	Canada, Germany, United States of America

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、199 ページの『第 5 章 部品リスト、IBM System x3500 M4 Type 7383』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、937 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ベゼル・メディア・ドアのオープン

左サイド・カバーのロックを解除してベゼルを開くか取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

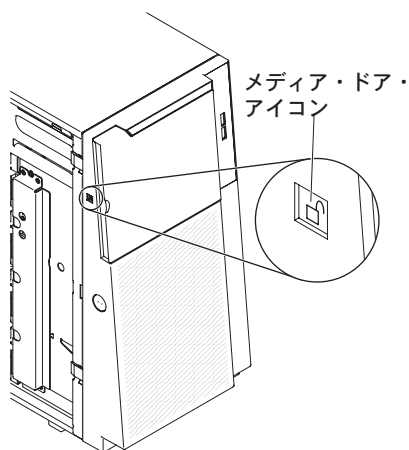
vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

メディア・ドアを開くには、次のステップを実行してください。

手順

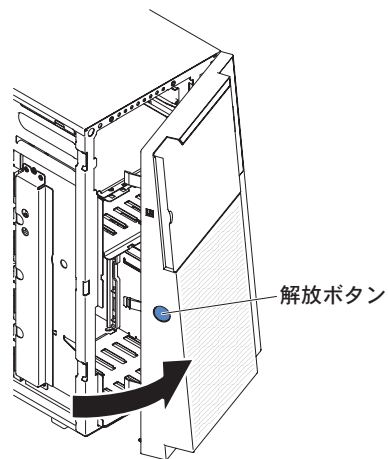
1. メディア・ドア・アイコンの状況を確認します。ベゼル側面のアイコンがロック解除位置にある場合は、ベゼル・メディア・ドアを直接開きます。



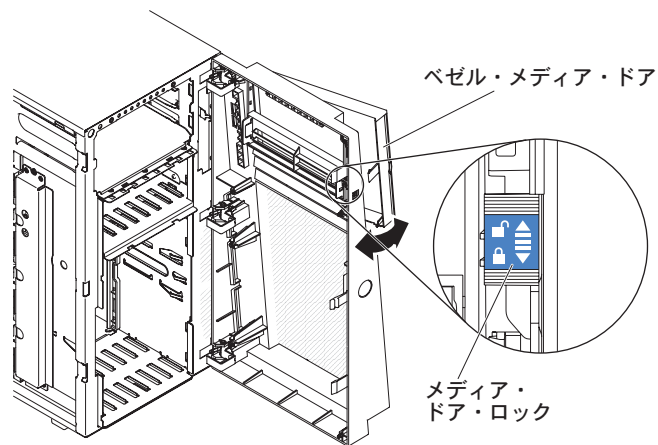
2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

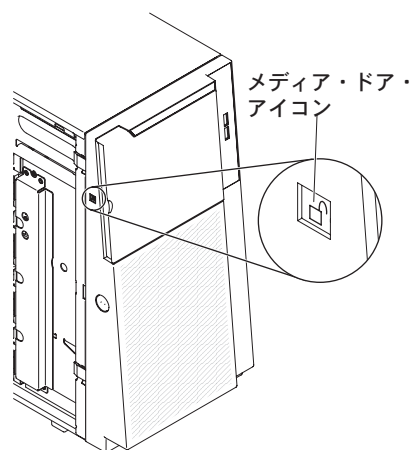
3. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



4. ベゼル・ドアの上部セクションの内側から、青色のタブを上スライドさせて、ベゼル・メディア・ドアのロックを解除します。次に、メディア・ドアのくぼんだ部分をつかんで、ドアを引っ張って開きます。



5. メディア・ドアのロックが解除されたら、ベゼルの側面のアイコンが、ロック解除位置になります。



ベゼルのメディア・ドアを閉じる

ベゼルのメディア・ドアを閉じるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

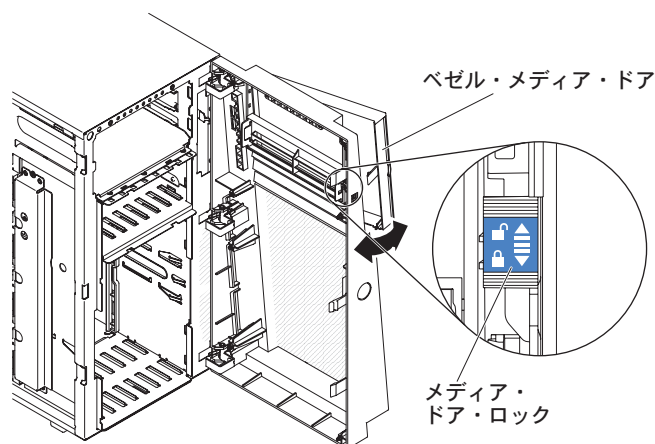
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

メディア・ドアを閉じるには、次のステップを実行してください。

手順

1. ベゼルのメディア・ドアを閉じる位置まで旋回させ、ベゼルに押し込んで閉じます。
2. ベゼル・ドア上部の内側にある青のタブを下にスライドして、ベゼルのメディア・ドアをロックします。



3. ベゼルを閉じます。

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内のサーバー・コンポーネントの取り外しと交換について説明します。

構成部品の取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の構成部品の取り外しと交換について説明します。

構成部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

左サイド・カバーの取り外し

サーバーに付属のかぎを使用して、左サイド・カバーのロックを解除して取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

重要: オプションのハードウェア・デバイスを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、171 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

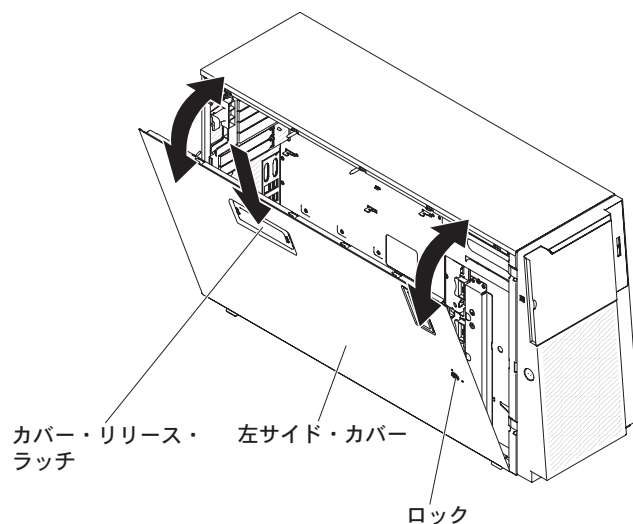
このタスクについて

重要: 左サイド・カバーが取り外されると、サーバーの電源が自動的にオフになります。

左サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーに付属のかぎを使用して、左サイド・カバーのロックを解除します。
2. カバー・リリース・ラッチを下に引きながら、カバーの上端を回転させてサーバーから引き離し、カバーを持ち上げてサーバーから取り外します。



左サイド・カバーの取り付け

左サイド・カバーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

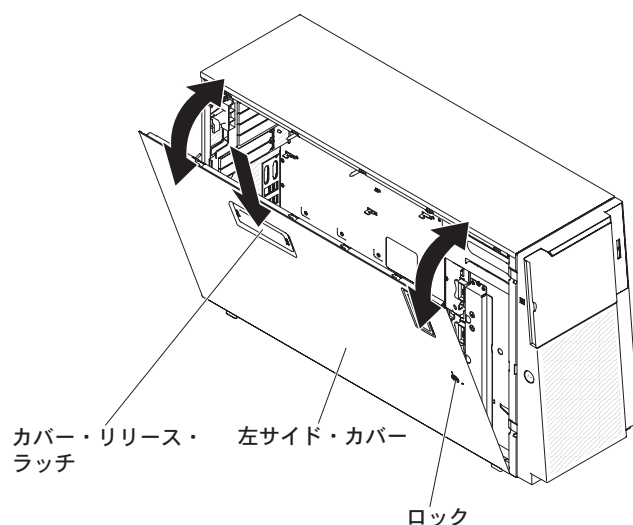
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

サーバーの左サイド・カバーを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 左サイド・カバーの下端をサーバー下部の出っ張りにセットします。



2. カバーの上端をサーバーに向かって回転させ、カチッと音がしてカバーが所定の位置に収まるまでカバーを内側に押し込みます。
3. サーバーに付属のかぎを使用して、カバーをロックします。

ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

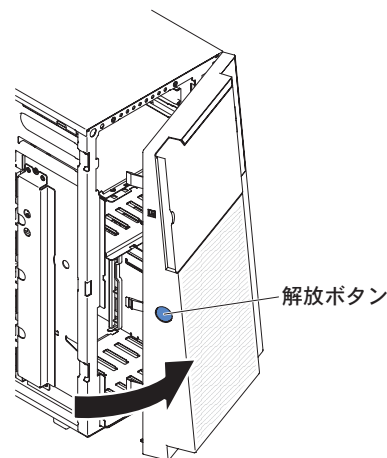
ベゼルを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

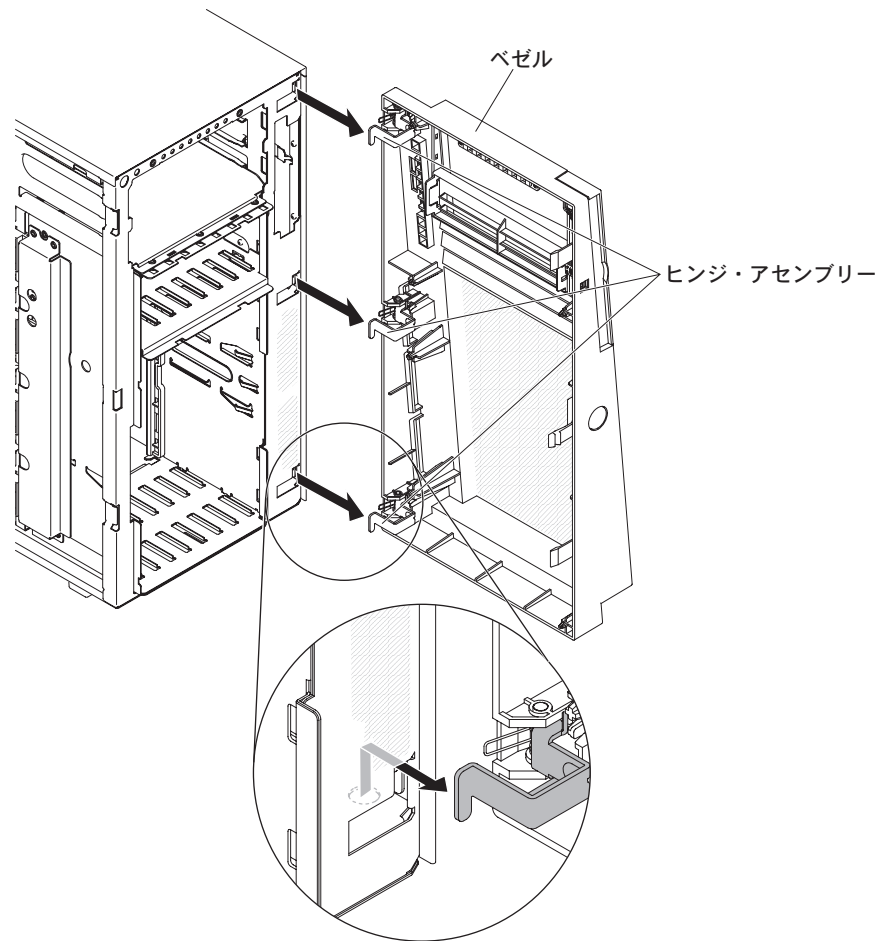
1. サーバーに付属のかぎを使用して、左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



3. ヒンジ・アセンブリーを引き上げ、ベゼルをシャーシから取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ベゼルの取り付け

ベゼルを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

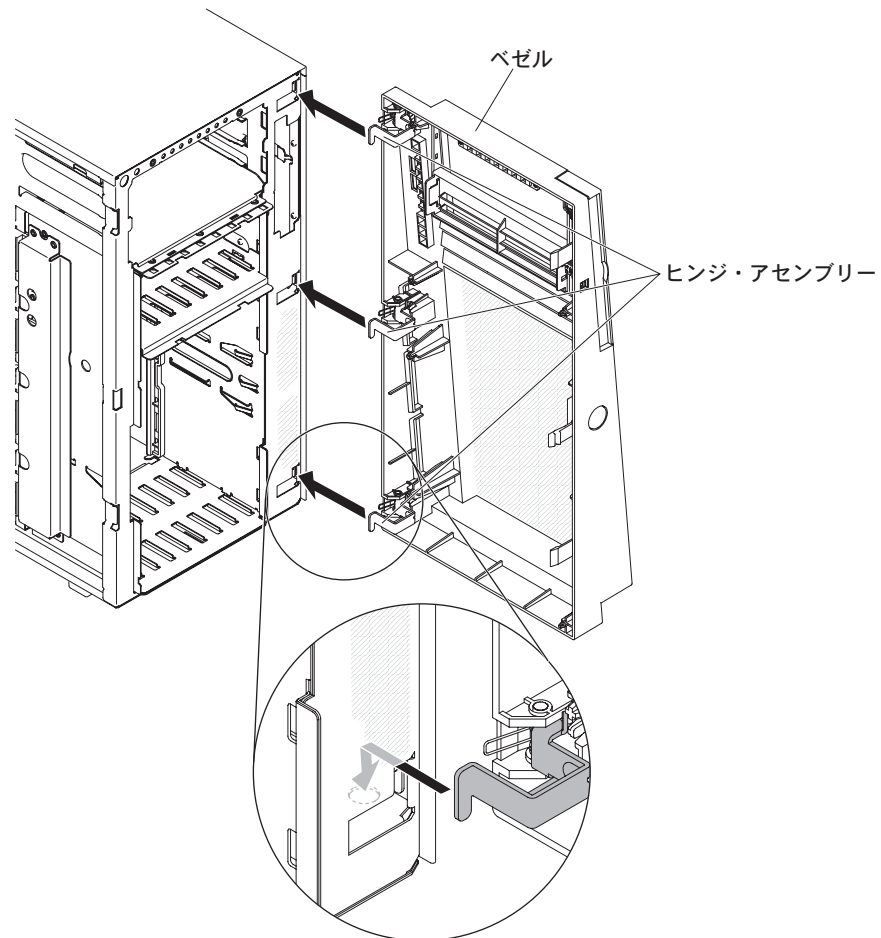
ベゼルを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーに付属のかぎを使用して、左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ヒンジ・アセンブリーをシャーシのヒンジ穴の位置に合わせます。
3. カチッと音がして所定の位置に収まるまで、ヒンジをシャーシ上の穴に押し下げます。



4. ベゼルを閉じます。
5. 左サイド・カバーをロックします。

安定化脚の回転

安定化脚を回転させるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

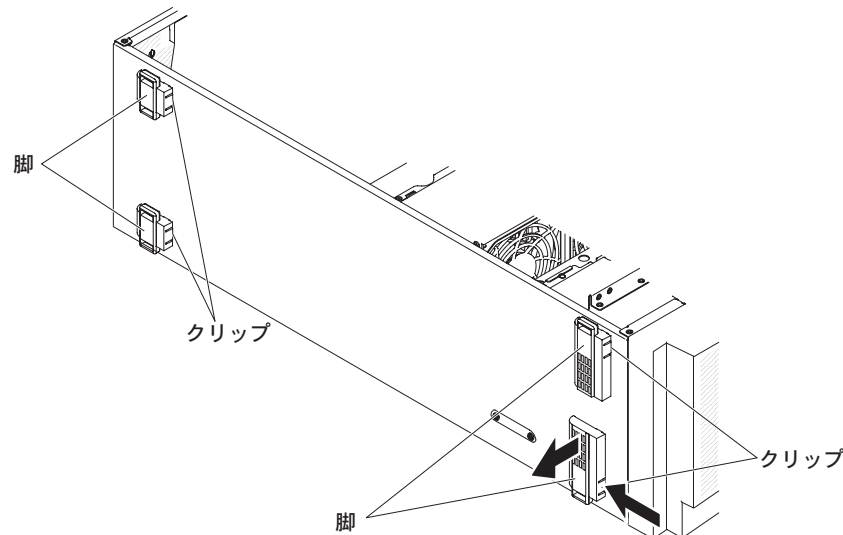
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

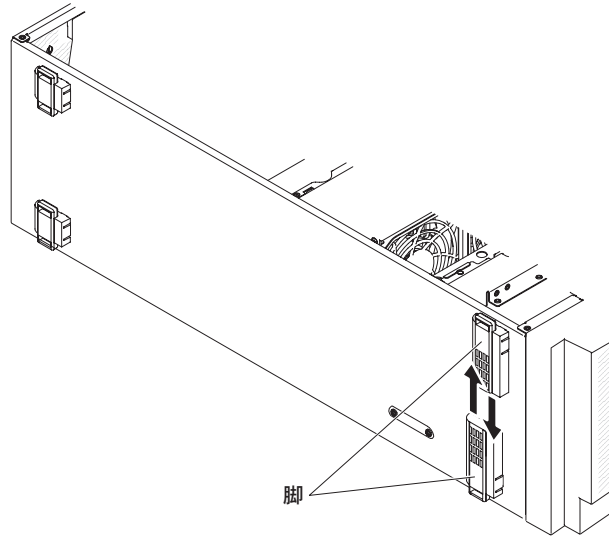
前部脚を回転させるには、次のステップを実行してください

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. サーバーを平らな面に慎重に置き、取り外しを容易にするため、脚を平らな面の端から突き出させます。
3. 脚を支えているクリップを押し込んで定位置に保持してから、てこを利用して脚をサーバーから外します。場合によっては、クリップを押し込むときにドライバが必要になります。



4. 脚を反対の位置に再取り付けします。その際に、脚の上のタブがサーバーの端を越えて突き出るようにします。



エアー・バッフルの取り外し

サーバーからエアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

注: 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサ・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルも取り付ける必要があります。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

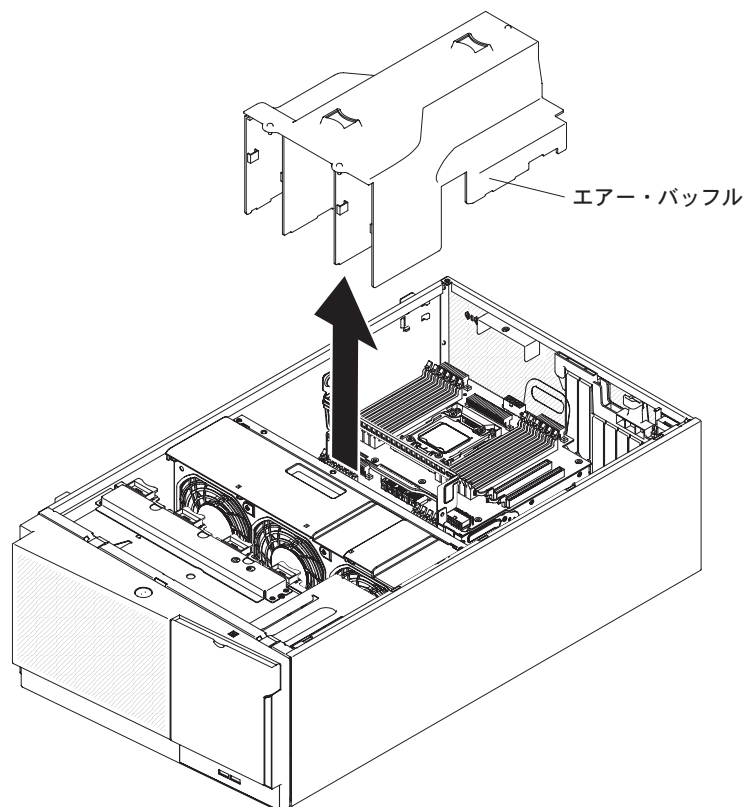
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルをサーバーから取り外して横に置きます。



重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。2 個のマイクロプロセッサを取り付けている場合、エアー・バッフルが取り外された状態でサーバーを稼働させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

エアー・バッフルの取り付け

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り付けます。

始める前に

注: 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサ・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルを取り付ける必要があります。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

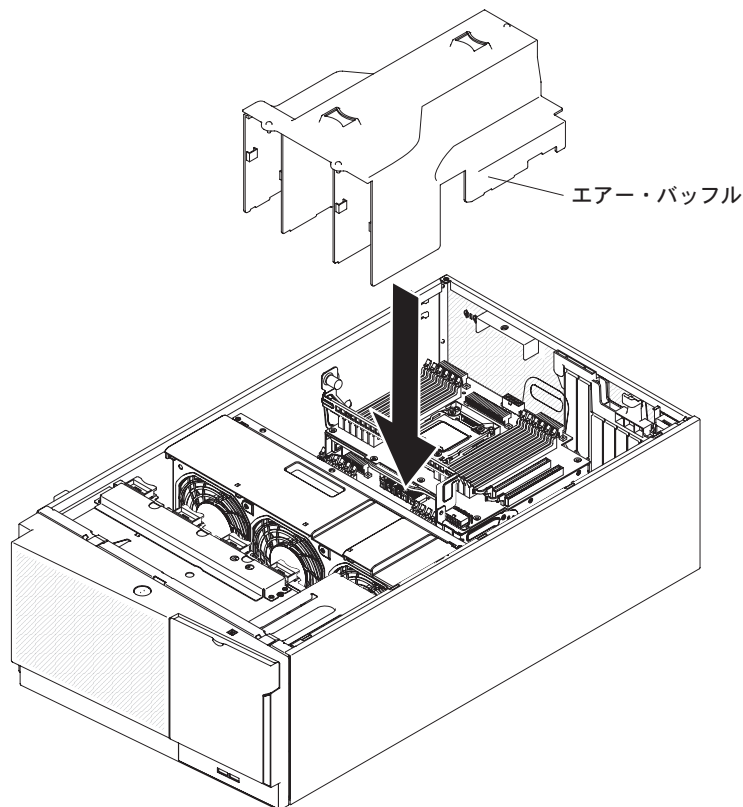
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り付ける (2 個のマイクロプロセッサが取り付け済み) には、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルの端の位置決めピンを、サーバー・シャーシとファン・ケーシング・アセンブリーの位置決め穴の位置に合わせます。
4. エアー・バッフルを上からサーバー内に押し入れて、位置決めピンを位置決め穴に入れてから、エアー・バッフルを押し下げてピンチ・タブを定位置に収めます。



5. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

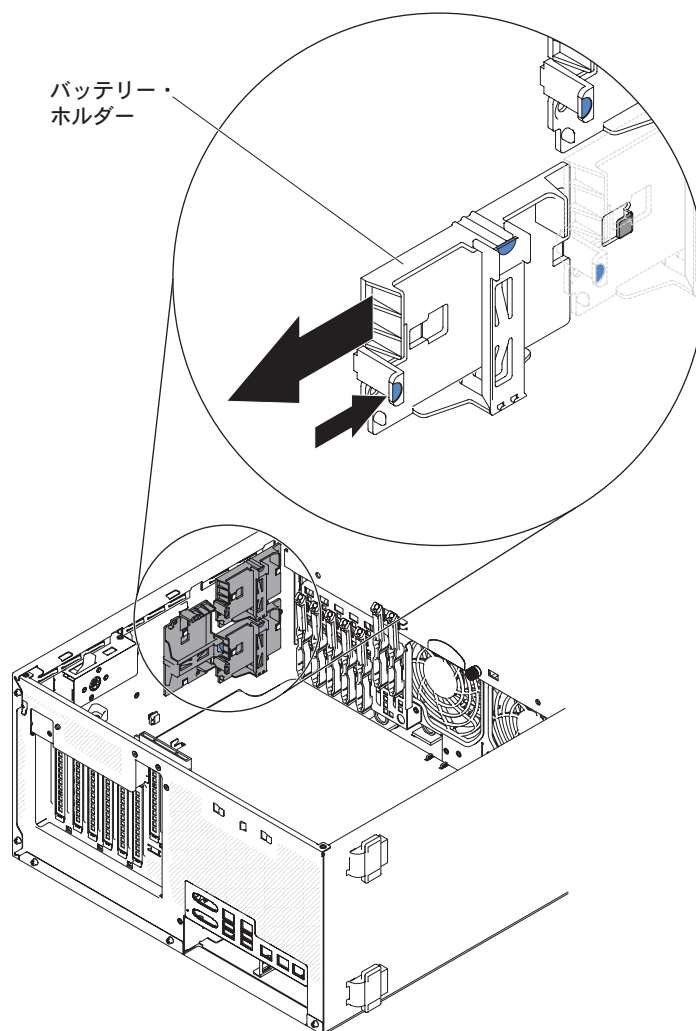
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. リモートに取り付けられた RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外します (263 ページの『リモートに取り付けられた RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し』を参照)。
4. 青色のタッチ・ポイントを少し引き、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーをガイド・ピンから取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

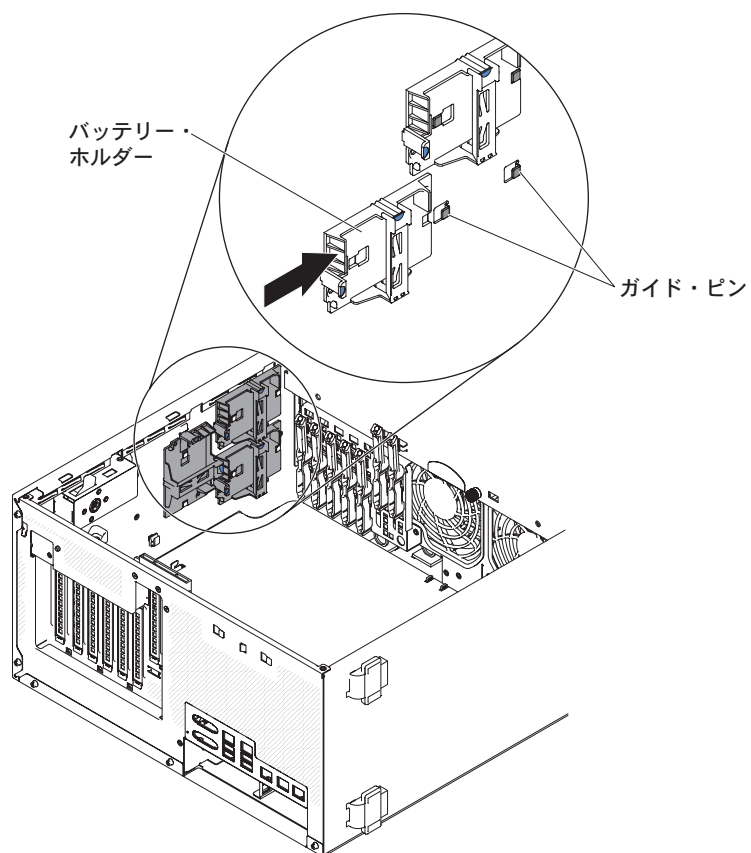
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーをガイド・ピンと位置合わせして、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けます。



4. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーがしっかりと固定されていることを確認します。
5. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ドライブの取り外しと取り付け

ドライブの取り外しと取り付けを行うには、この情報を使用します。

サーバーのモデルによって、ベイ 1 に SATA 接続 DVD-ROM が取り付けられている場合があります。

次の図は、サーバー内のドライブ・ベイの位置を示しています。ご使用のモデルによって、ハードウェアが少し異なる場合があります。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

次の図には、2.5 型ホット・スワップ SAS ハード・ディスクあるいは 2.5 型ホット・スワップ SATA ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

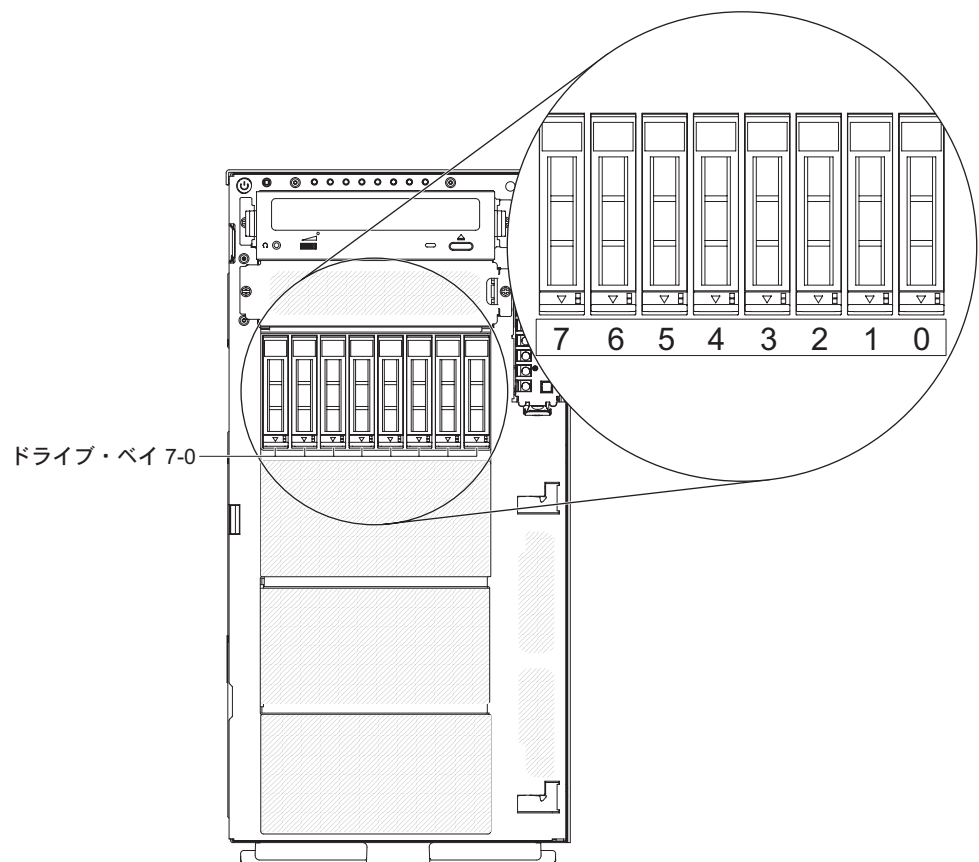


図 37. 8 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

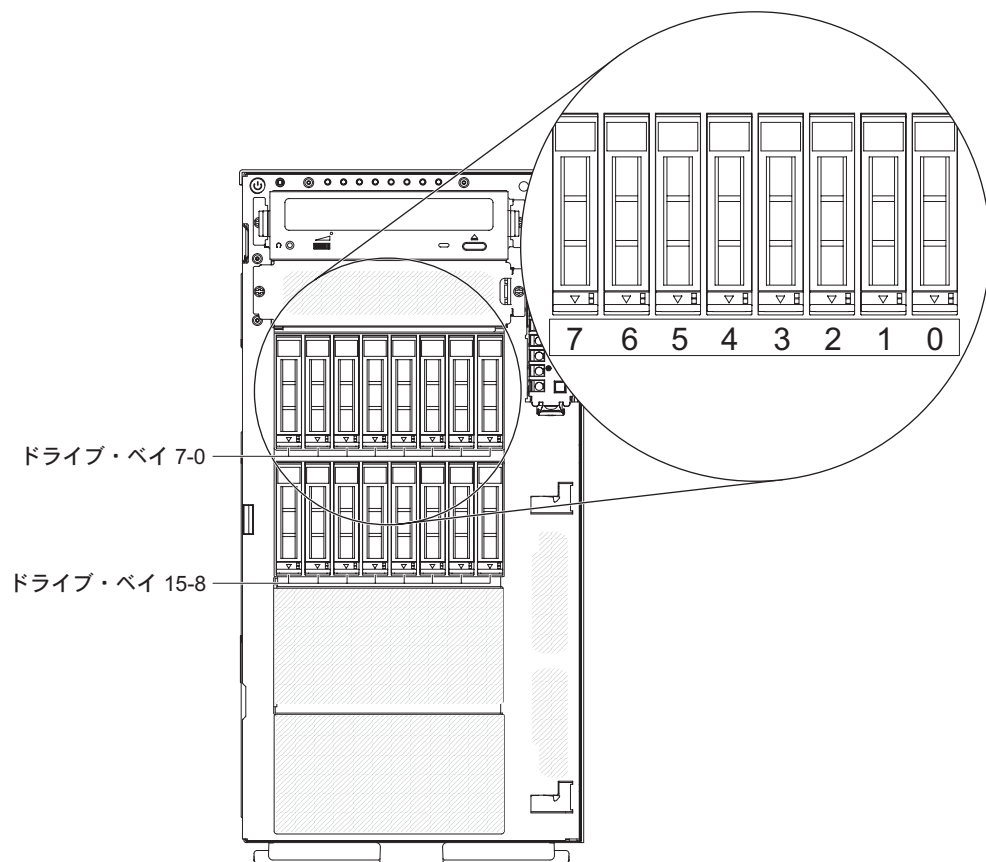


図 38. 16 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

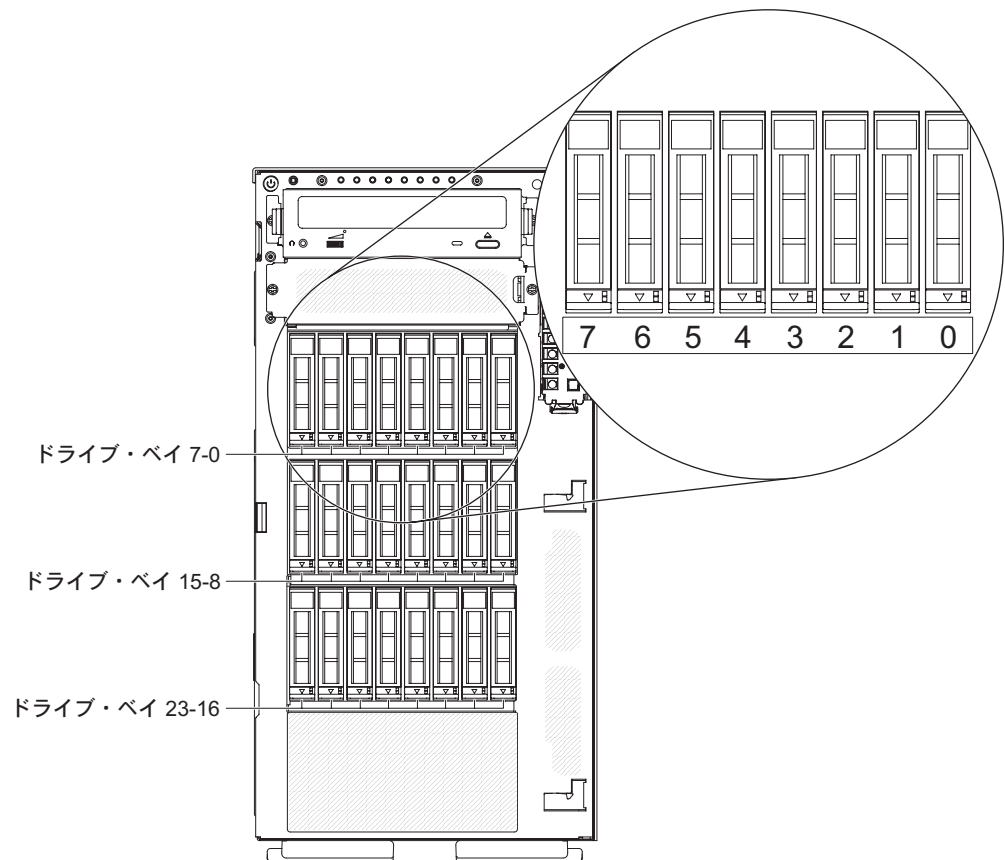


図 39. 20 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

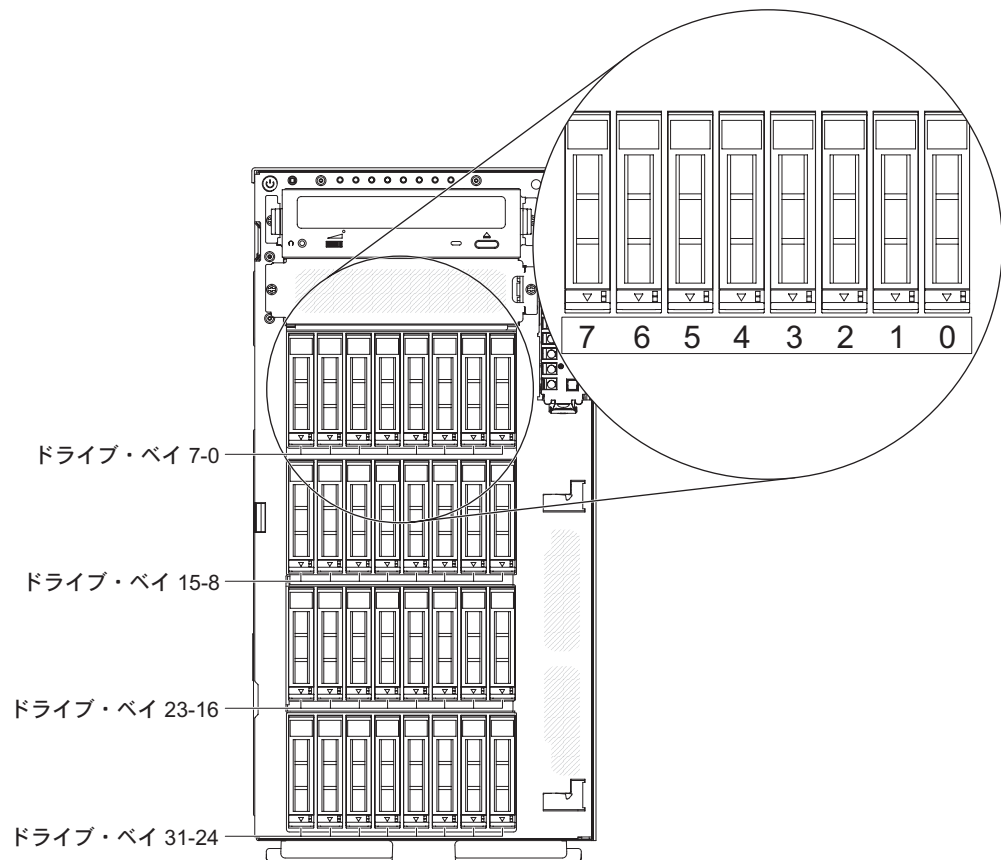


図40. 32 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

次の図には、3.5 型ホット・スワップ SAS ハード・ディスクあるいは 3.5 型ホット・スワップ SATA ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

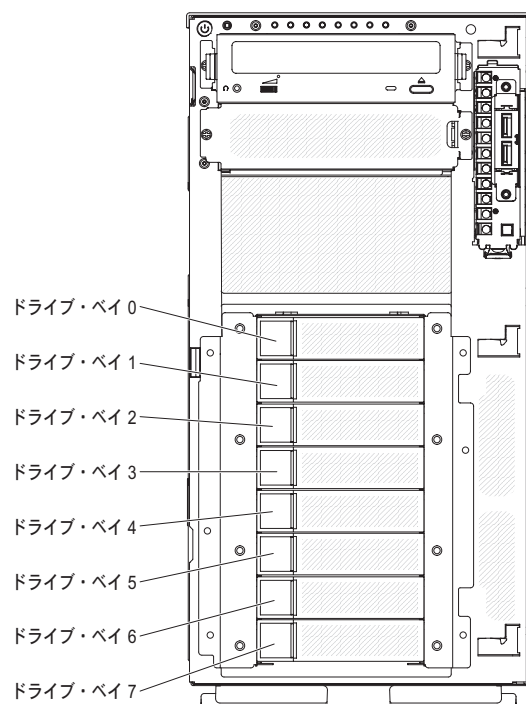


図 41. 8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

次の図には、2.5 型および 3.5 型ホット・スワップ SAS ハード・ディスクあるいはホット・スワップ SATA ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

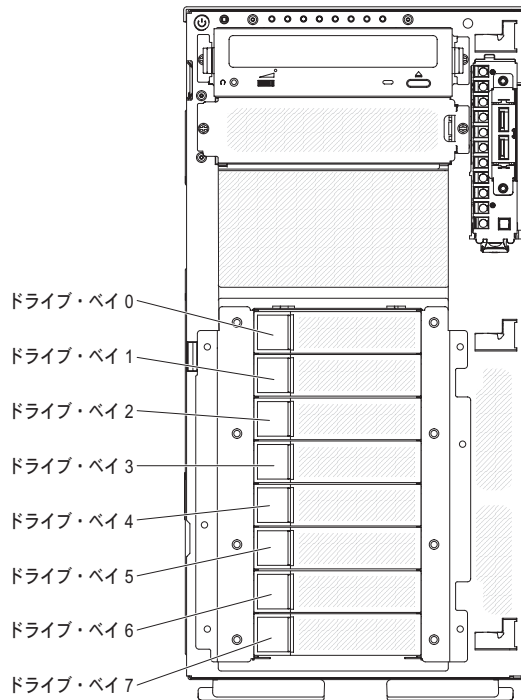


図 42. 8 個の 2.5 型ハード・ディスクおよび 8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー

以下の注意書きは、このサーバーがサポートしているドライブのタイプ、およびドライブを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブに付属の説明を参照して、ドライブにジャンパーまたはスイッチの設定が必要かどうかを確認します。 SAS または SATA 装置を取り付ける場合は、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- オプションの外付けテープ・ドライブおよび DVD-ROM ドライブは、取り外し可能メディア・ドライブの例です。取り外し可能メディア・ドライブを取り付けることができるのは、8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したモデル、8 個、16 個、24 個、および 32 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したモデルのベイ 1 および 2 のみです。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイおよび PCI スロットをカバーするか、使用することによって保護されます。ドライブまたは PCI アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合のために、ベイあるいは PCI アダプター・スロット・カバーから外した、EMC シールドおよびフィルター・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプションの完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

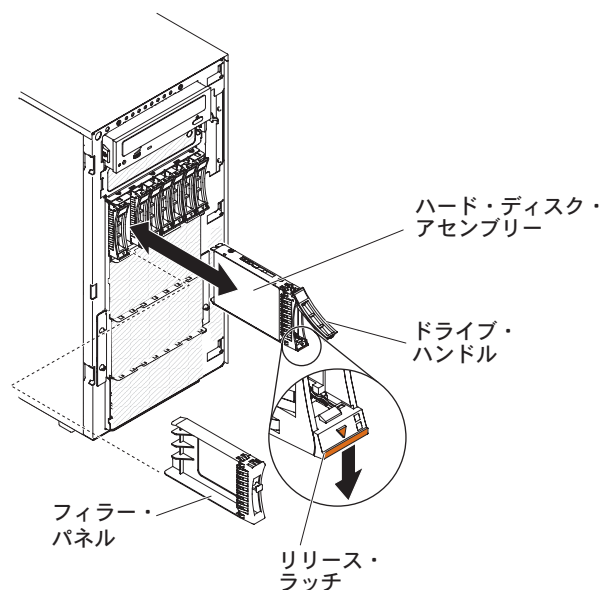
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. リリース・ラッチを押し下げてドライブ・ハンドルを開いてから、ドライブをドライブ・ベイから引き出します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け:

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- このサーバーは、モデルに応じて最大 8 個あるいは最大 32 個の 2.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイでサポートします。

注: 17 個以上の 2.5 型ハード・ディスクに対応するために ServeRAID アダプター M1015 を使用する場合、RAID 対応ドライブの最大数は 16 です。その他のドライブはすべて、JBOD (このドライブは、RAID 構成を使用しないオペレーティング・システムに提供されます) のままです。

- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを検査して、損傷が発生した兆候がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット速度でなければならない、異なる定格速度のドライブを使用している場合は、すべてのドライブが最低の速度で作動することがあります。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるために、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、ケーブルを取り付けたり取り外したりする手順を実行する場合、サーバーは必ず電源をオフにします。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

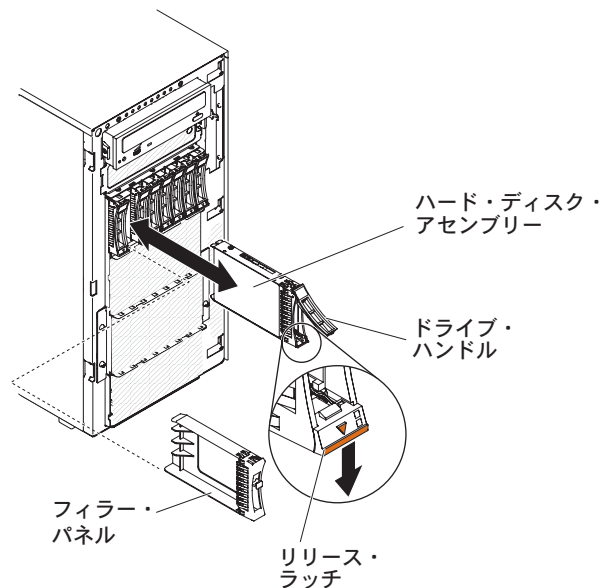
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
4. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
5. トレイのハンドルが開いていることを確認してから、ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
6. ホット・スワップ・ベイにドライブが装着され、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまで、ドライブ・ハンドルを下に回転させます。



注:

- a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。
- b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作に関する追加情報

および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*IBM ServeRAID Support CD* に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

7. ベゼルの閉じます (214 ページの『ベゼルのメディア・ドアを閉じる』を参照)。
8. 左サイド・カバーをロックします。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

重要: システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィルター・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

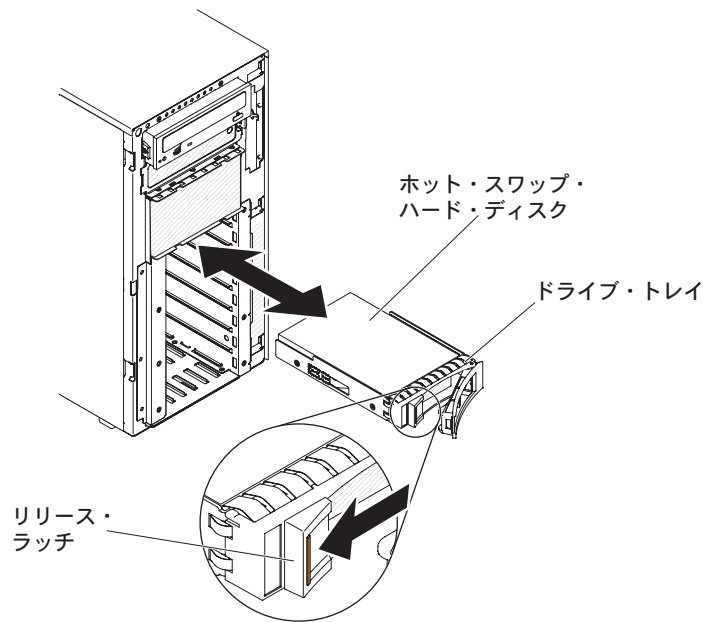
3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. ドライブ・アセンブリーのドライブ・トレイ・ハンドルを開いた位置まで回転させます。
4. ドライブのハンドルをつかんで、ドライブをベイから引き出します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け:

3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィルター・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

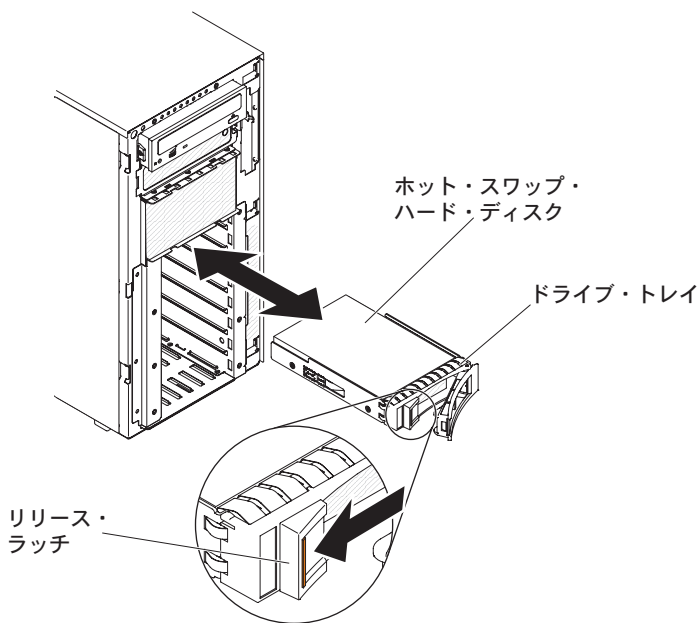
3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
4. ディスク・ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからディスク・ドライブを取り出して、帯電防止面に置きます。
5. ドライブ・トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
6. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに位置合わせし、ドライブが所定の位置にパチンとなるまでドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイに慎重にスライドさせます。



7. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
8. ハード・ディスク状況インディケータをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED はゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。黄色の LED が点灯し続ける場合、詳しくは 176 ページの『ハード・ディスクの問題』を参照してください。

注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要があります。RAID アダプターについて詳しくは、IBM Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal>) の RAID 資料を参照してください。

9. ベゼルの閉じます (214 ページの『ベゼルのメディア・ドアを閉じる』を参照)。
10. 左サイド・カバーをロックします。

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

重要: システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィルター・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

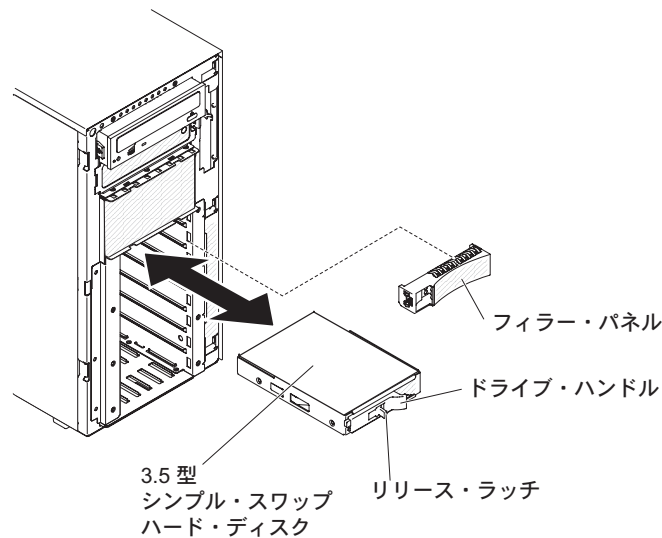
3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. 指で黒いドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・ラッチを右側へスライドさせてドライブを解放し、ハード・ディスクをドライブ・ベイから引き出します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け:

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

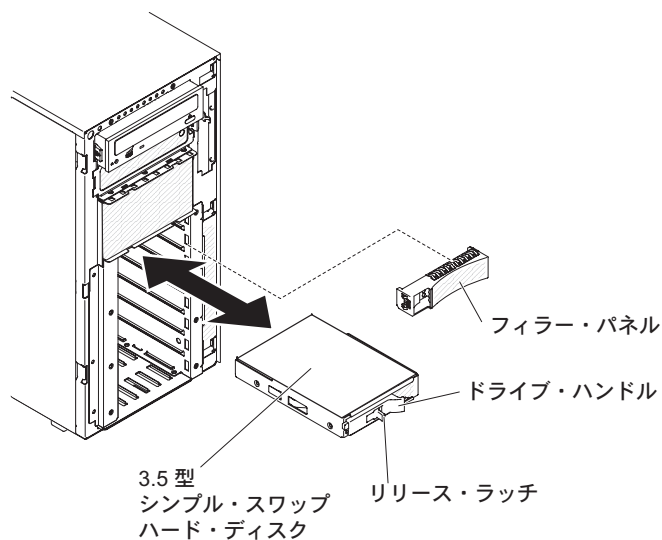
3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
4. ディスク・ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからディスク・ドライブを取り出して、帯電防止面に置きます。
5. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。



6. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
7. ベゼルを閉じます (214 ページの『ベゼルのメディア・ドアを閉じる』を参照)。
8. 左サイド・カバーをロックします。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

DVD ドライブの取り外し:

DVD ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

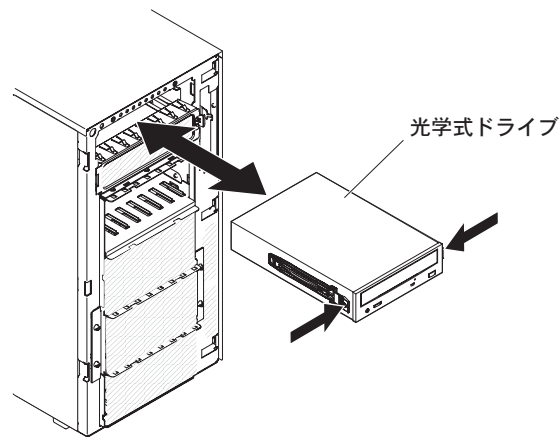
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

DVD ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
4. DVD ドライブ・ケーブルを DVD ドライブの背面から切り離します。
5. DVD ドライブの両側にある青色のタブをつかみ、それらを内側に押しながら、ドライブをサーバーから引き出します。



6. DVD ドライブから青のレールを取り外し、将来使用するためにそれらを保管しておきます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

DVD ドライブの取り付け:

DVD ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

始める前に

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- すべてのケーブル、および新しいドライブに付属する資料で指定されている他の装置が揃っていることを確認します。
- 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
- 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。

次のことに注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

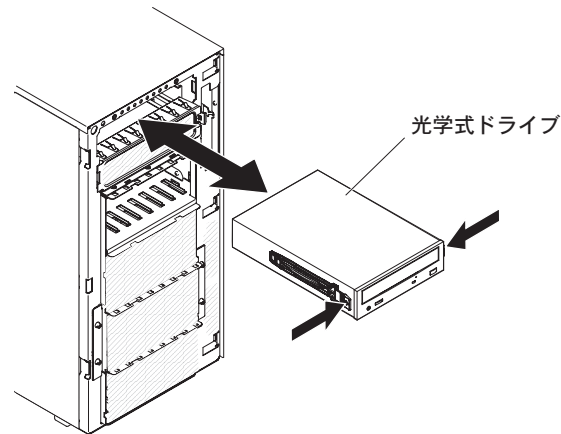
DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから DVD ドライブを取り出します。
6. ドライブ中央に最も近い穴を使用して、DVD ドライブに青色のレールを取り付けます。
7. ジャンパーあるいはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

8. DVD ドライブのレールをドライブ・ベイのガイドに位置合わせして、カチッと音がして所定の位置に収まるまでドライブをドライブ・ベイ内にスライドさせます。



9. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブおよびシステム・ボード上のコネクタに接続します (詳しくは、368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
10. ファン・ケージ・アセンブリを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリの取り付け』を参照)。
11. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
12. ベゼルを閉じます (214 ページの『ベゼルのメディア・ドアを閉じる』を参照)。
13. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

オプションのテープ・ドライブの取り外し:

オプションのテープ・ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

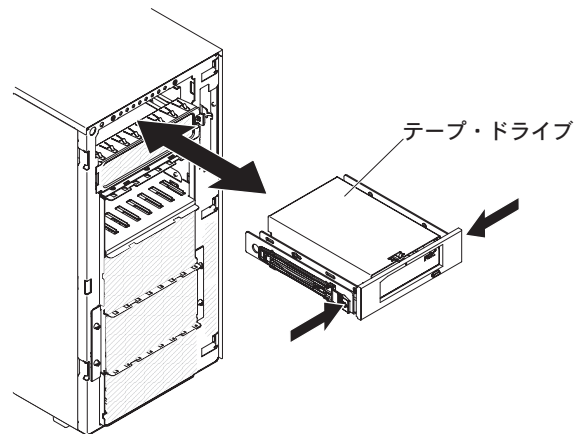
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

オプションのフルハイトのテープ・ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルの開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 電源ケーブルと信号ケーブルをテープ・ドライブの背面から切り離します。
6. テープ・ドライブの両側にある青色のタブをつかみ、それらを内側に押しながら、ドライブをサーバーから引き出します。



7. テープ・ドライブの青のレールの位置を確認してからそのレールを取り外し、将来使用するために保管しておきます。
8. テープ・ドライブを静かにサーバーから引き出します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オプションのテープ・ドライブの取り付け:

オプションのテープ・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

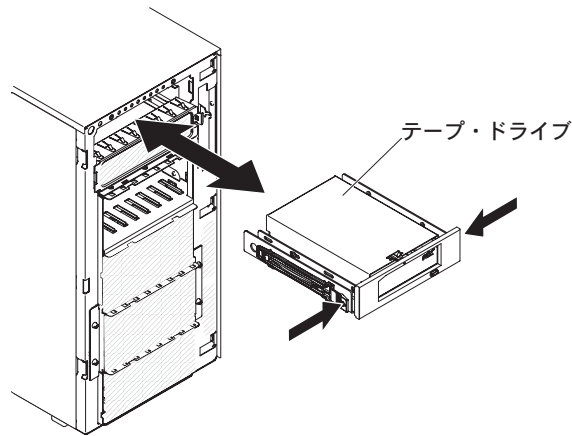
オプションのフルハイトのテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルを開きます (42 ページの『ベゼル・メディア・ドアのオープン』を参照)。
3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. EMC シールドがドライブ・ベイに取り付けられている場合は取り外します。
6. テープ・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからテープ・ドライブを取り出します。
7. 青色のレールをテープ・ドライブに取り付けます。
8. ジャンパーあるいはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

9. テープ・ドライブのレールをドライブ・ベイのガイドに位置合わせして、カチッと音がして所定の位置に収まるまでテープ・ドライブをドライブ・ベイ内にスライドさせます。



10. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをドライブとシステム・ボード上のコネクタに接続します (詳しくは、368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
11. ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
12. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
13. ベゼルを閉じます (214 ページの『ベゼルのメディア・ドアを閉じる』を参照)。
14. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り外し

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ベゼルを取り外します (217 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
2. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ハード・ディスクとフィラー・パネルをサーバーから少し引き出して、ハード・ディスク・バックプレーンから取り外します。
4. 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します (294 ページの『2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し』を参照)。

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

IBM System x3500 M4 ホット・スワップ追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付け、サーバーに 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを追加することができます。サポート対象のオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを注文する場合は、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

注: 追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットには、構造部品と Tier 1 部品が含まれます。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

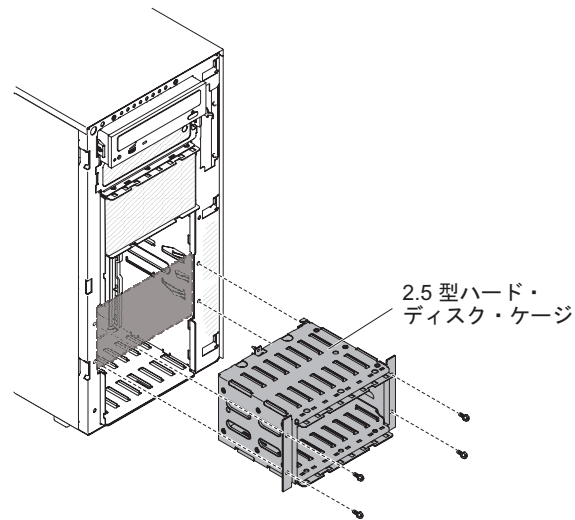
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

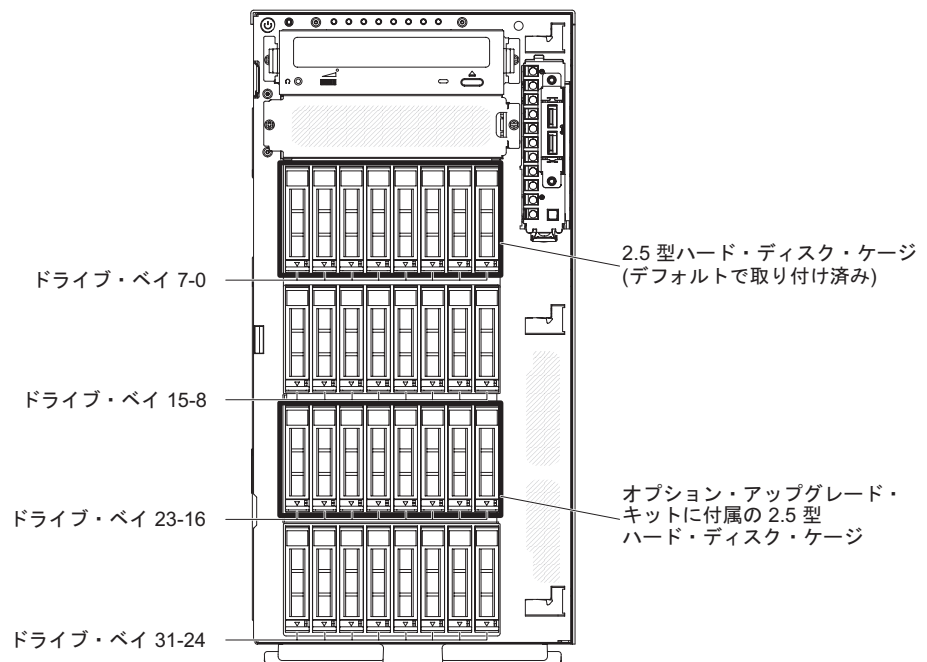
1. ベゼルを取り外します (217 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
2. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. 必要に応じてフィラーを取り外します。
4. 必要に応じて 2.5 型ハード・ディスク・ケージを取り付けます。
 - a. 次のように、2.5 型ハード・ディスク・ケージをシャーシのグレーに強調表示された領域に位置合わせし、サーバーに取り付けます。

注: ハード・ディスク・ベイを 16 から 24 にアップグレードする際に、2.5 型ハード・ディスク・ケージが既に取り付けられている場合、オプションに

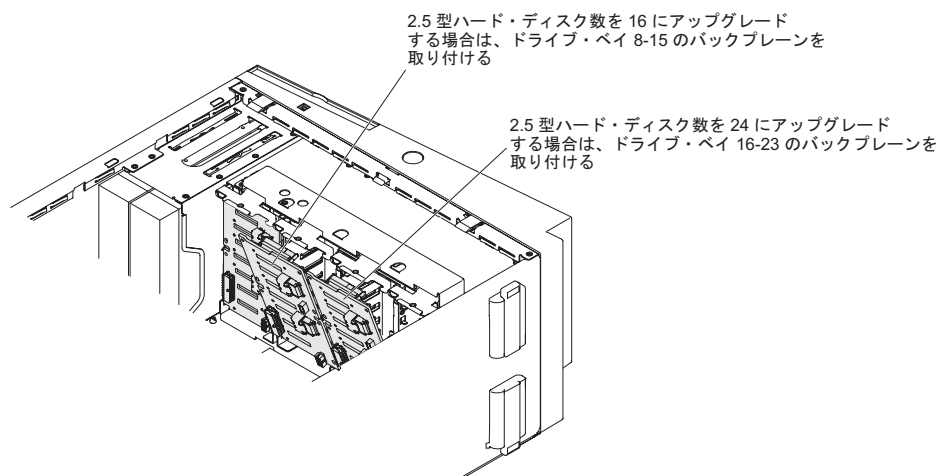
付属の新しい 2.5 型ハード・ディスク・ケージは、将来の使用に備えて安全な場所に保管してください。



注: ハード・ディスクのケージが取り付けられるのは、9 個以上のハード・ディスクを取り付ける必要がある場合のみです。このケージは、ハード・ディスク 16-23 が取り付けられるベイに取り付けられます。

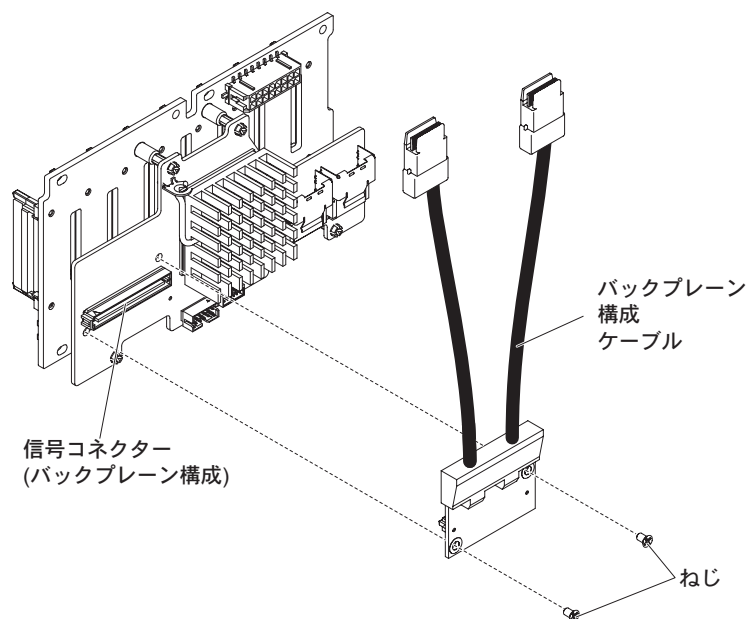


- b. 4 つのねじを締めます。
5. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けます (295 ページの『2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け』を参照)。



6. オプションに付属の EMC シールドを取り付けます。
7. 2.5 型ハード・ディスクを取り付けます (57 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
8. オプションに付属のドライブ・ベイ・フィラー・パネルを空のドライブ・ベイに取り付けます。
9. バックプレーンの構成ケーブル、電源ケーブル、および信号ケーブルを接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

注: バックプレーン構成ケーブルに 2 つのねじを取り付ける必要がある場合があります。



10. ベゼルを取り付けます (218 ページの『ベゼルの取り付け』を参照)。
11. 左サイド・カバーを取り付けます (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。
12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

13. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

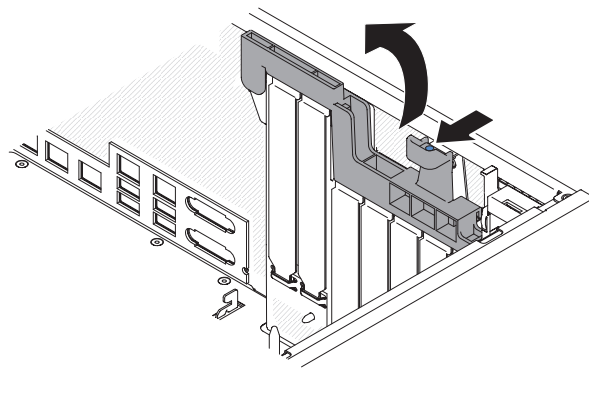
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

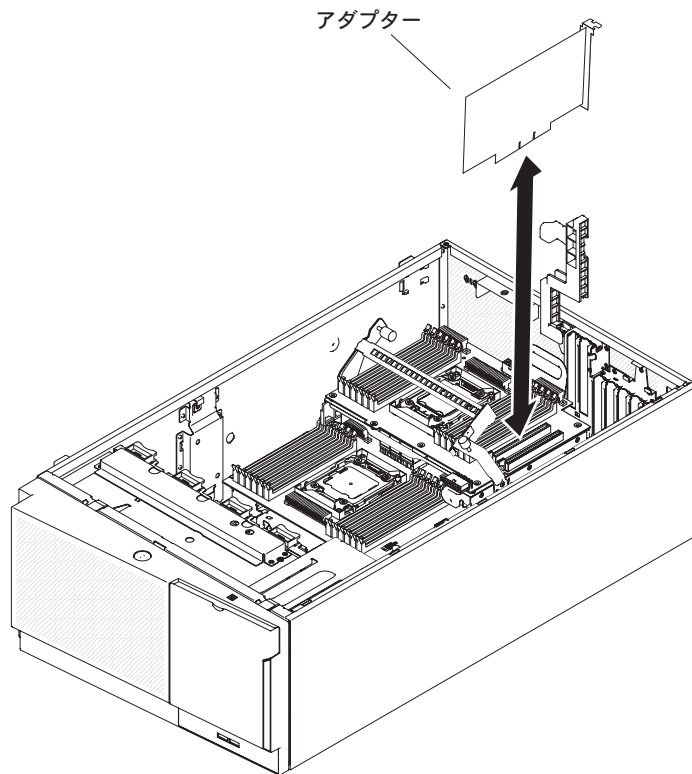
アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ケーブルをアダプターから切り離します。
4. アダプター保持ブラケットを開いた位置まで回転させます。



5. アダプターをアダプター・コネクターから引き出してから、アダプターをサーバーから持ち上げて取り外します。



注: オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します (267 ページの『オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

6. PCI スロット・フィラーを取り付けます。
7. アダプター保持ブラケットを閉じた位置まで回転させます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

PCI-X ブラケットのアダプターの取り外し:

PCI-X ブラケットのアダプターを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

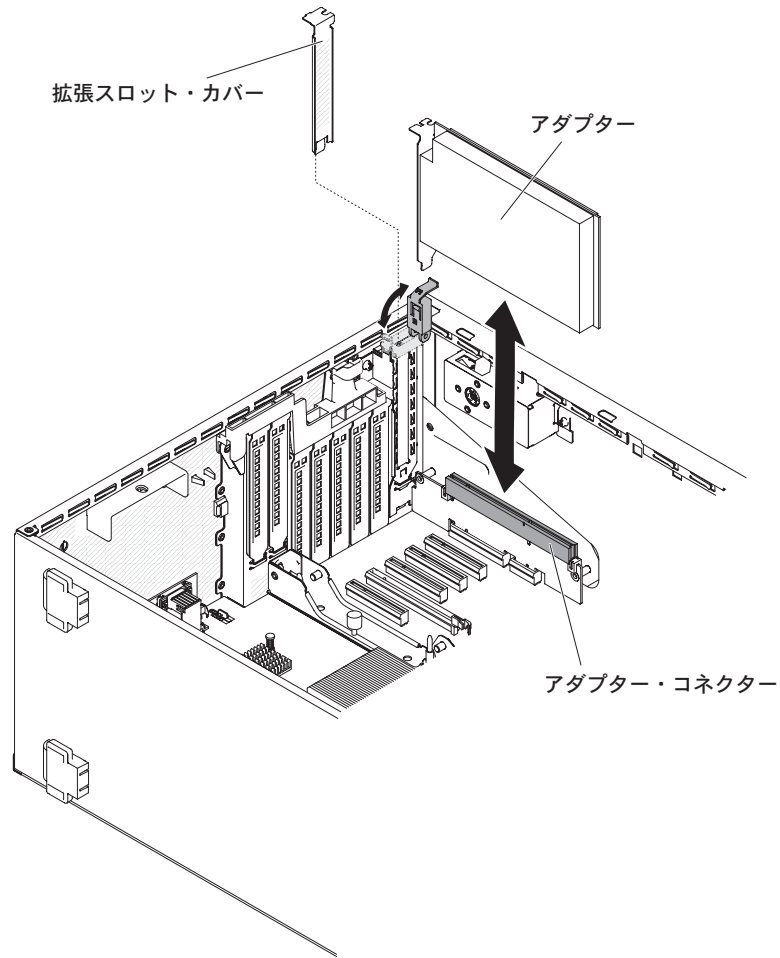
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

PCI-X ブラケットのアダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ケーブルをアダプターから切り離します。
4. PCI-X ブラケット上のアダプター保持ブラケットを、開いた位置まで回転させます。



5. アダプターをアダプター・コネクターから引き出してから、アダプターをサーバーから持ち上げて取り外します。

注: オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します (267 ページの『オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

6. PCI スロット・フィラーを取り付けます。
7. アダプター保持ブラケットを閉じた位置まで回転させます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプターの取り付け

以下の情報を使用して、アダプターを取り付けます。

始める前に

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- この説明のほかに、アダプターに付属の資料に記載されている説明に従います。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- アダプター上のコンポーネントおよび端が金色のコネクターには触れないようにしてください。
- サーバーは、循環割り込み技術を使用して PCI アダプターを構成するため、PCI 割り込みの共用をサポートしない PCI アダプターを取り付けることができます。
- 次の表は、ネットワーク・アダプターに関するオプション部品番号および CRU 部品番号をリストしています。

表 34. ネットワーク・アダプター

ネットワーク・アダプター		
説明	オプションの部品番号	CRU 部品番号
NetXtreme II 1000 Express イーサネット・アダプター	39Y6066	39Y6070
NetXtreme II 1000 Express デュアル・ポート・イーサネット・アダプター	42C1780	49Y7947
QLogic 10Gb CNA	42C1800	42C1802
QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0510	42D0516
NetXtreme II 1000 Express クアッド・ポート・イーサネット・アダプター	49Y4220	49Y7949
Intel イーサネット・デュアル・ポート・サーバー・アダプター I340-T2	49Y4230	49Y4232
Intel イーサネット・クアッド・ポート・サーバー・アダプター I340-T4	49Y4240	49Y4242
Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7910	49Y7912
Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10GbE SFP アダプター	49Y7960	49Y7962
Intel X540-T2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7970	49Y7972
Broadcom NetXtreme I クアッド・ポート GbE アダプター	90Y9352	90Y9355
Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9370	90Y9373
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3762	95Y3766
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III lite	95Y3768	95Y3766

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

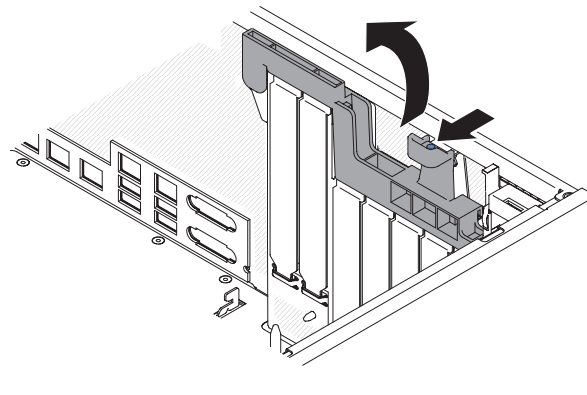
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

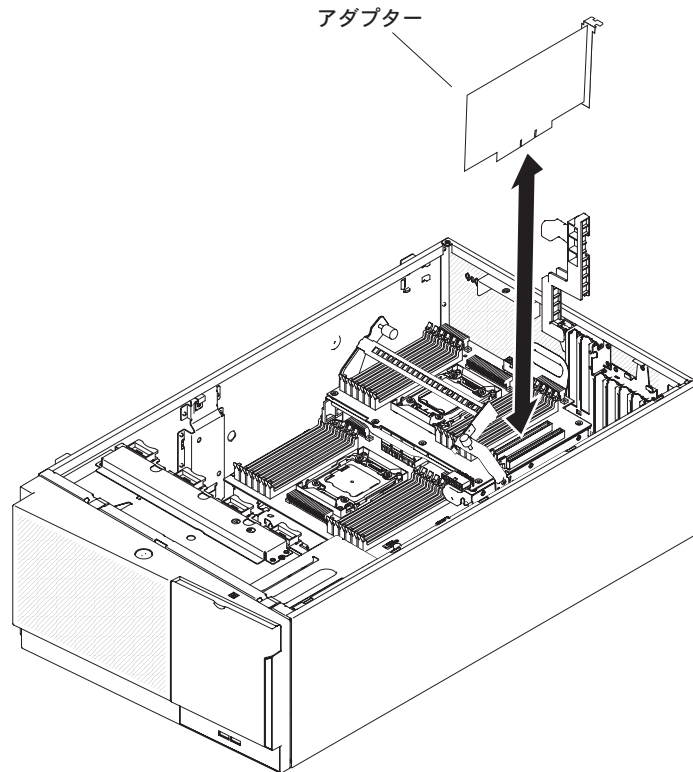
アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。(アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
5. アダプターを取り付ける PCI スロットを決定します。
6. アダプター保持ブラケットを開いた位置まで回転させます。



7. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
8. アダプターをしっかりと 拡張スロットに押し入れます。



重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。

9. アダプター保持ブラケットを閉じます。
10. アダプター・ケーブルを接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
11. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
12. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

注: オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID 操作用に構成されている場合、アダプターを取り付けた後にディスク・アレイの再構成が必要になる場合があります。 RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*IBM ServerRAID Support CD* に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

PCI-X ブラケットへのアダプターの取り付け:

PCI-X ブラケットにアダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

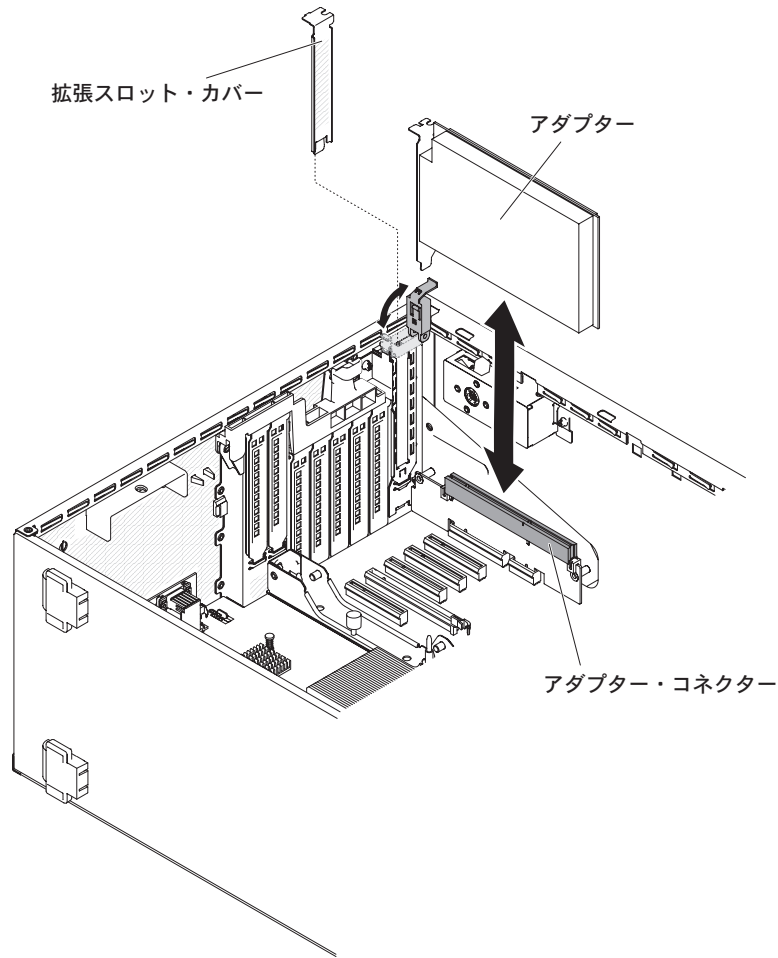
このタスクについて

PCI-X ブラケットにアダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。(アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
5. PCI スロット 1 を見つけます (ここに、アダプターを取り付けます)。
6. PCI-X ブラケット上のアダプター保持ブラケットを、開いた位置まで回転させます。

注: PCI-X ブラケットに拡張スロット・カバーが取り付けられている場合は、それを取り外し、将来の使用に備えて保管しておきます。



7. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
8. アダプターをしっかりと 拡張スロットに押し入れます。
重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。
9. PCI-X ブラケット上のアダプター保持ブラケットを閉じます。
10. アダプター・ケーブルを接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
11. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
12. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

注: オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID 操作用に構成されている場合、アダプターを取り付けた後にディスク・アレイの再構成が必要になる場合があります。 RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージ

ャーの使用に関する詳しい説明については、*IBM ServerRAID Support CD* に収録されている *ServeRAID* の資料を参照してください。

リモートに取り付けられた RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

サーバー内の RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

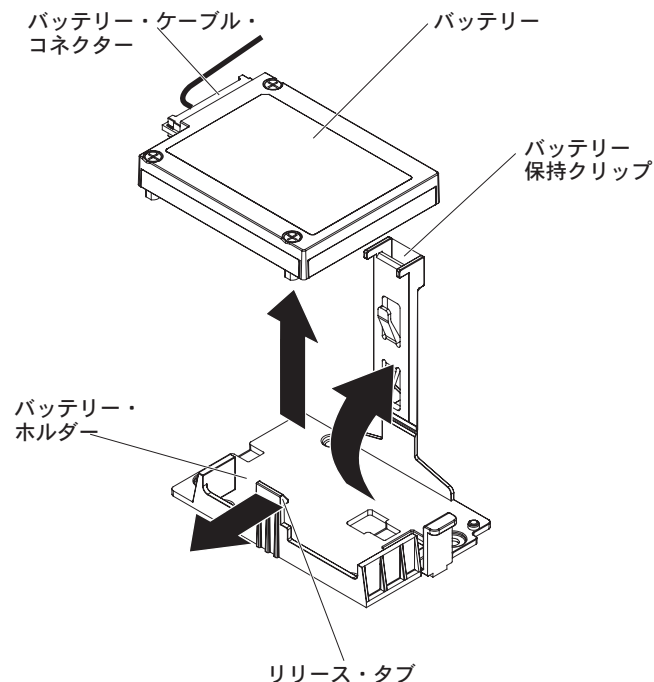
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

ServeRAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが取り付けられており、それを交換する必要がある場合は、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. リリース・タブを外側に引き、バッテリー/フラッシュ電源モジュール保持クリップをロック解除します。



4. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルを、バッテリー/フラッシュ電源モジュールのバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブル・コネクタから切り離します。
5. バッテリー/フラッシュ電源モジュールを持ち上げて、バッテリー/フラッシュ電源モジュールをバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダーから取り外します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

サーバーへの RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

サーバーに RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

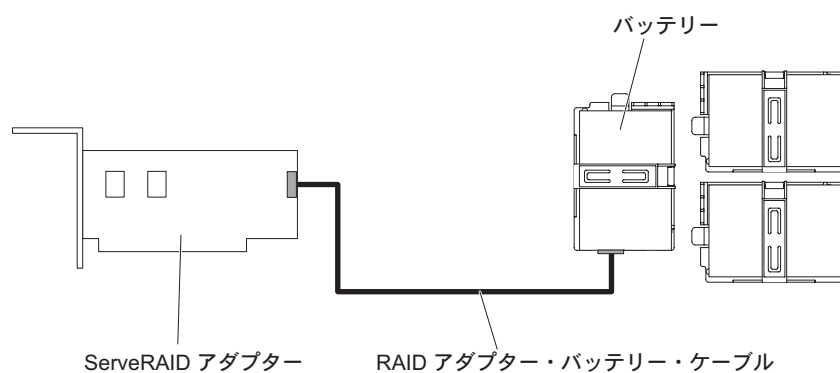
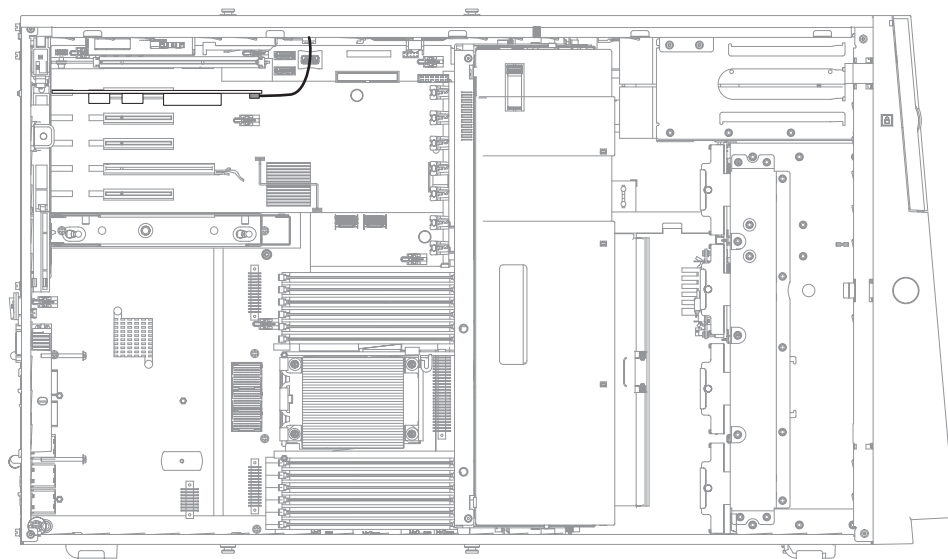
このタスクについて

注: バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバーに取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

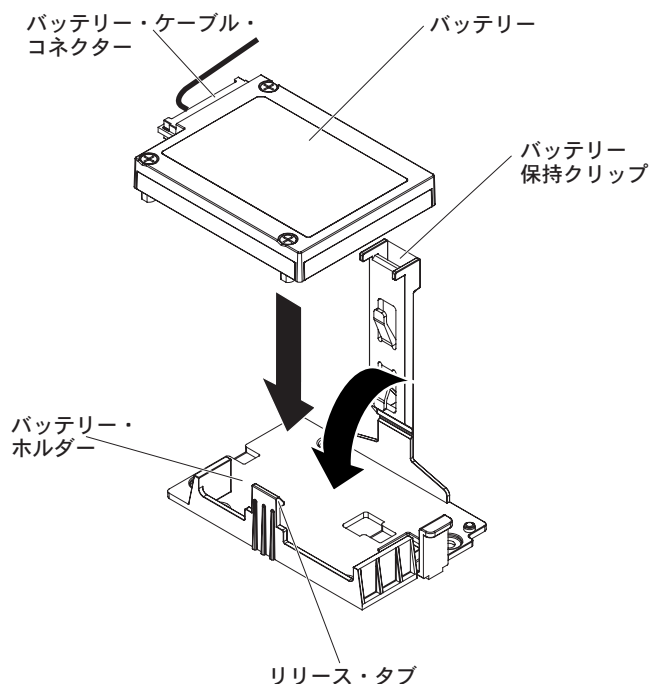
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ServeRAID アダプターをシステム・ボードに取り付けます (258 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
4. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルの一方の端を、バッテリー/フラッシュ電源モジュール・コネクタに接続します。
5. 次の図に示されているように、リモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルを配線します。



重要: ケーブルが挟まっていないか、およびシステム・ボード上のコネクタを覆っていたり、コンポーネントの障害となっていないか確認してください。

6. バッテリー/フラッシュ電源モジュールを取り付けます。

- a. バッテリー/フラッシュ電源モジュールのケーブル・コネクタをバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダー上のスロットに位置合わせします。バッテリー/フラッシュ電源モジュールをバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダー内に配置し、バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダーがバッテリー/フラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。



注: リモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるリモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

- b. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルのもう一方の端を、バッテリー/フラッシュ電源モジュールのバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブル・コネクタに接続します。
 - c. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリー/フラッシュ電源モジュールが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。
7. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

注: サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと、電源制御ボタンがアクティブになりません。

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

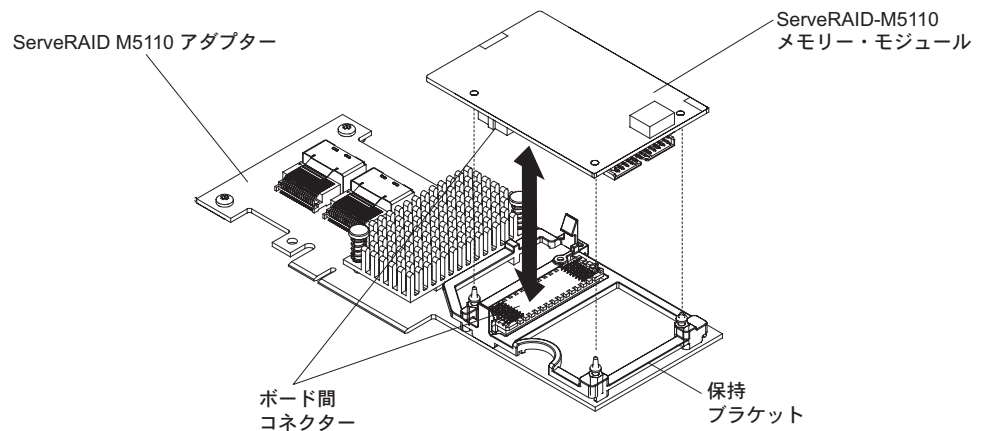
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. アダプターを取り外します (254 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
4. メモリー・モジュールをつかみ、持ち上げて ServeRAID アダプターのコネクタから取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け

以下の情報を使用して、オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けます。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

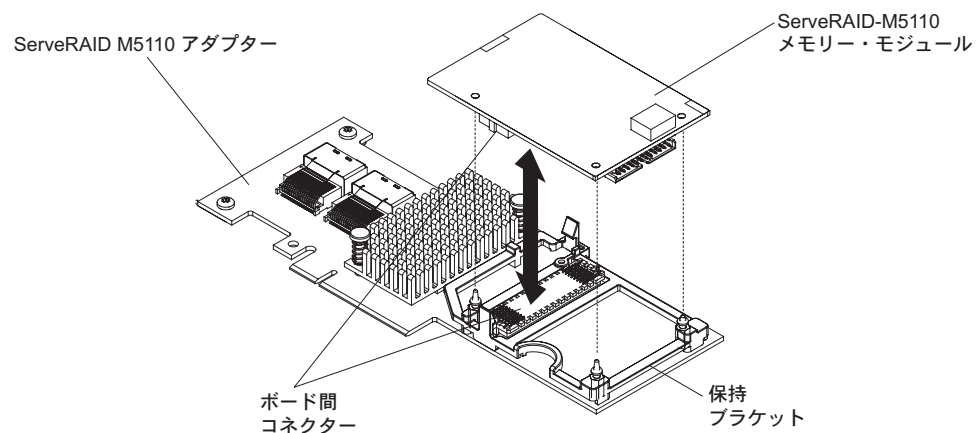
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. 必要に応じて ServeRAID アダプターを取り外します (254 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
4. メモリー・カードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからメモリー・カードを取り出します。
5. メモリー・モジュールを ServeRAID アダプター上のコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクタに押し込みます。



6. ServeRAID アダプターを再取り付けします (258 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
7. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

PCI-X ブラケットの取り外し

PCI-X ブラケットを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

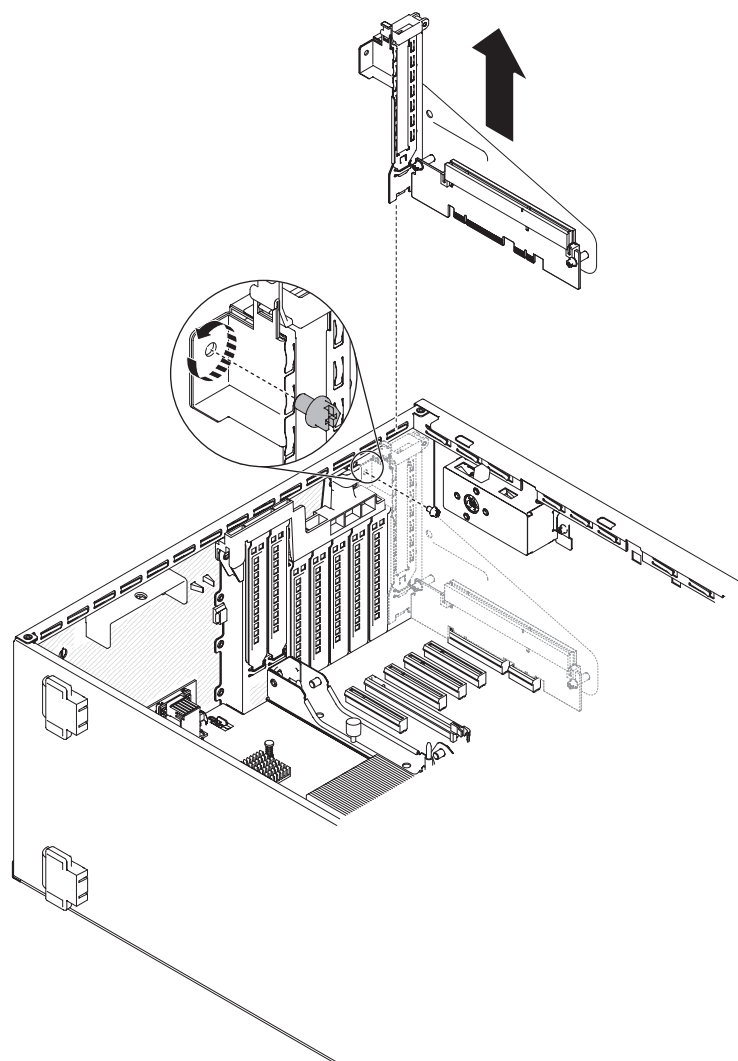
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

PCI-X ブラケットを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. PCI-X ブラケットにアダプターが取り付けられている場合は、そのアダプターを取り外します (254 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
4. PCI-X ブラケットをサーバー・シャーシに固定しているねじを取り外します。
5. PCI-X ブラケットを PCI スロット 1 から引き抜き、将来の使用に備えて保管します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

PCI-X ブラケットの取り付け

PCI-X ブラケットを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

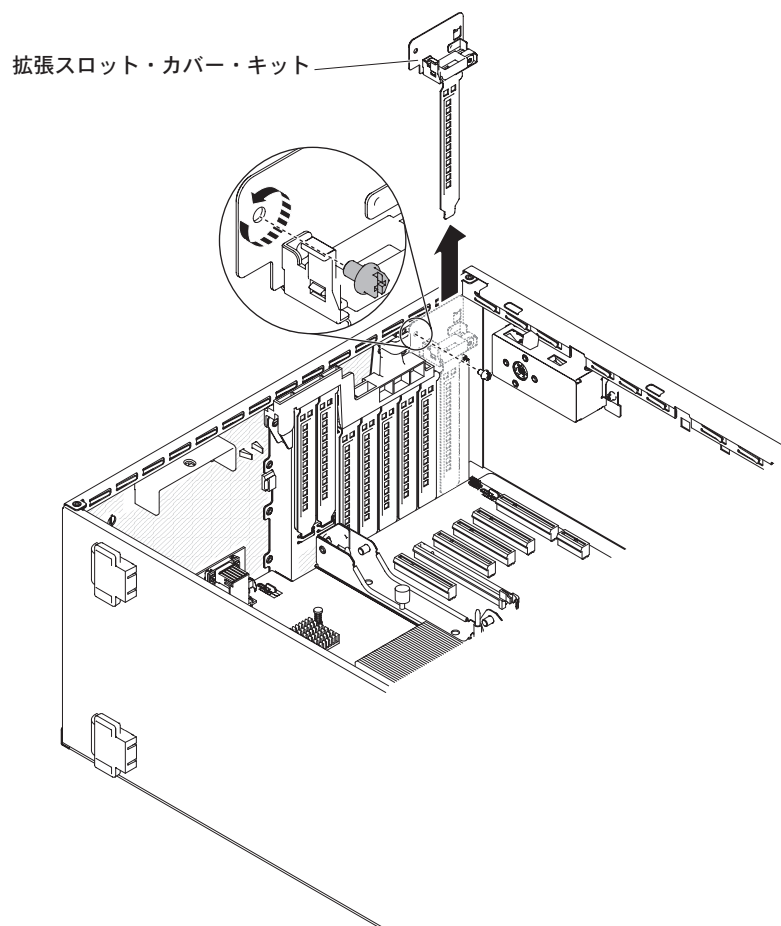
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

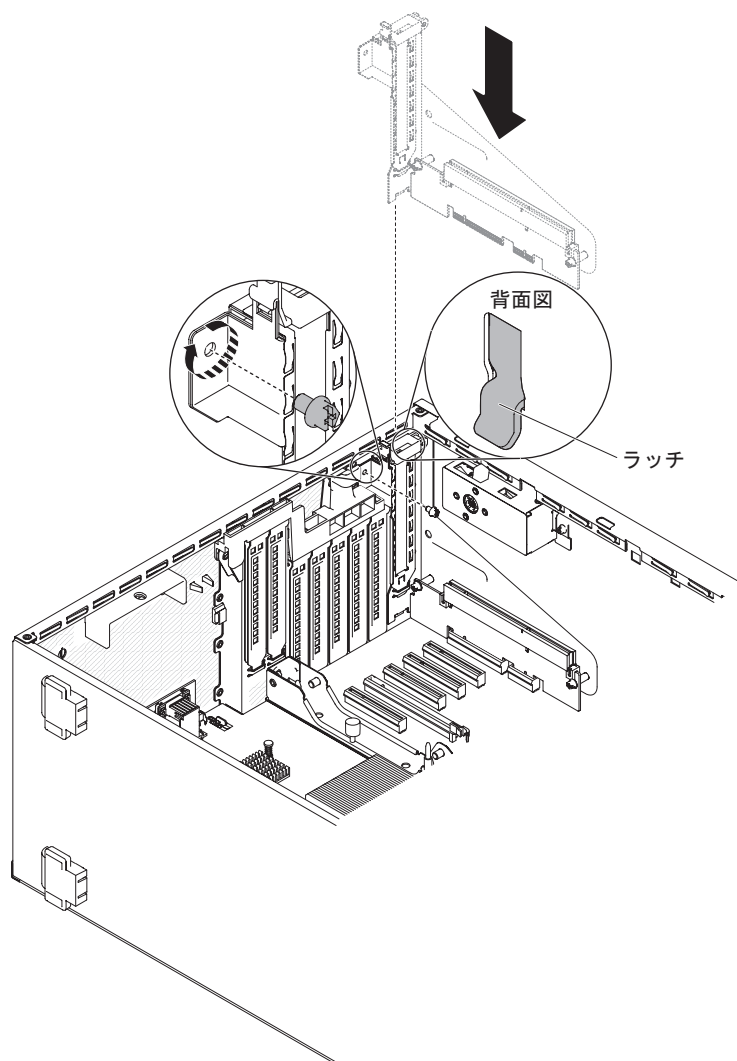
PCI-X ブラケットを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
4. PCI スロット 1 を見つけます (ここに、PCI-X ブラケットを取り付けます)。
5. 拡張スロット・カバーを固定しているねじを取り外します。



6. PCI スロット 1 の拡張スロット・カバー・キットを取り外し、将来の使用に備えて保管しておきます。
7. PCI-X ブラケットをしっかりと PCI スロット 1 に押し入れます。
重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。
8. PCI-X ブラケットの側面にあるラッチがサーバー・シャーシの背面に固定されていることを確認します。



9. ねじを取り付けて、PCI-X ブラケットをサーバーに固定します。
10. 左サイド・カバーを再取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

シンプル・スワップ・ファンの取り外し

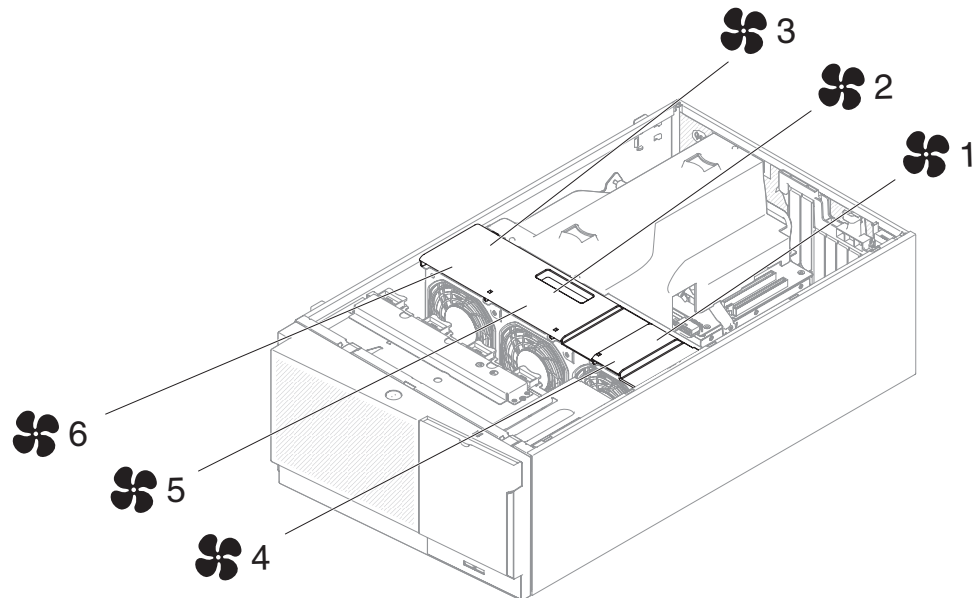
サーバーのシンプル・スワップ・ファンを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

サーバーには、標準で 2 個の 120 mm x 38 mm シンプル・スワップ・ファンがファン・ケージ・アセンブリーに備わっています。サーバーにシンプル・スワップ・ファンを取り付ける場合は、次の手順を使用できます。

注:

1. 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサ・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエア・バッフルを取り付ける必要があります。ファン・フィラーを取り外すことができるのは、ファン 2 を取り付ける場合のみです。それ以外の場合は、適切な冷却を確保するためにファン・フィラーを取り付けておく必要があります。



2. 冗長冷却を得るために、3 個の追加ファンを注文することができます。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

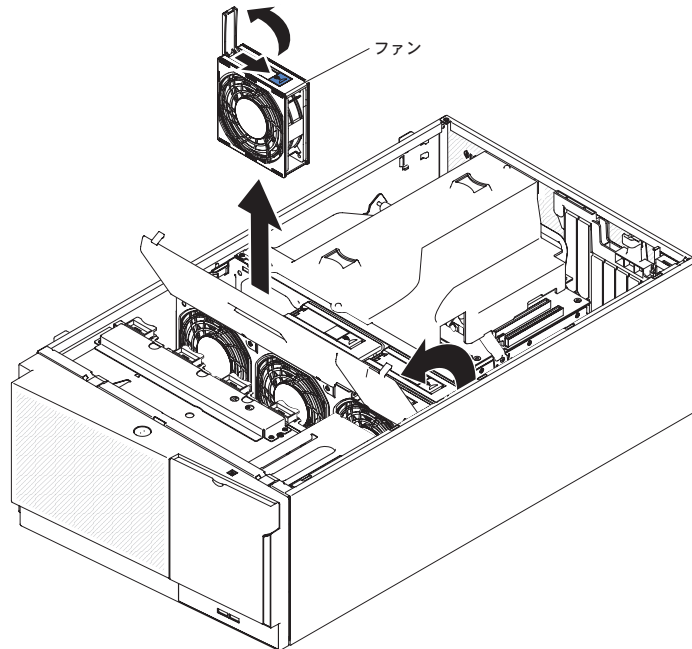
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ファンを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します（44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照）。
2. ファン・ケージ・カバーを開きます。
3. 青色のリリース・ラッチを矢印の方向にスライドさせ、ファン・ロック・ハンドルを開きます。



4. ハンドルの固定されていない方の端を外側に引いて、サーバーからファンを取り外します。
5. シンプル・スワップ・ファンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シンプル・スワップ・ファンの取り付け

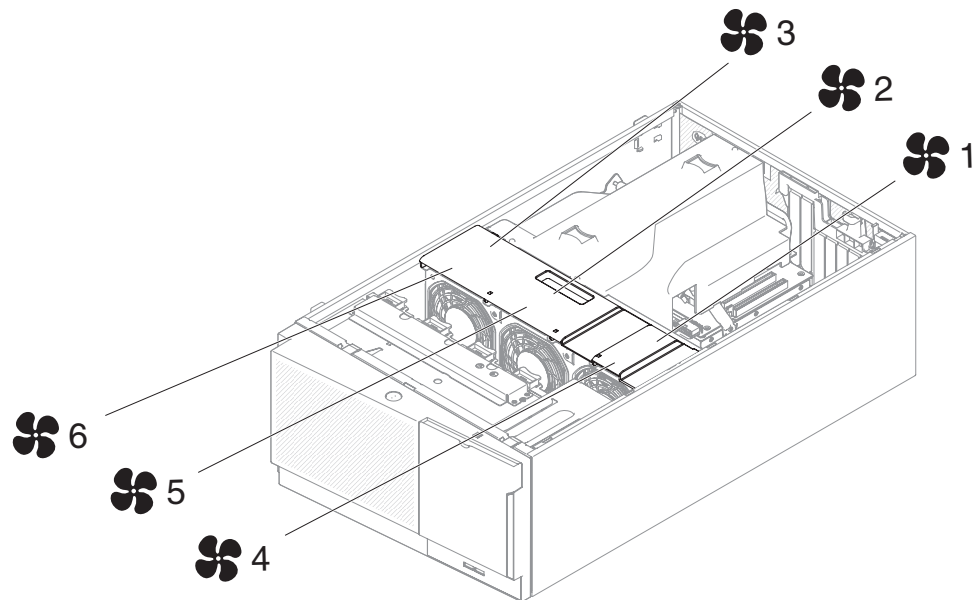
シンプル・スワップ・ファンをサーバーに取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

サーバーには、標準で 2 個の 120 mm x 38 mm シンプル・スワップ・ファンがファン・ケージ・アセンブリーに備わっています。サーバーにシンプル・スワップ・ファンを取り付ける場合は、次の手順を使用できます。

注:

1. 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサ・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルを取り付ける必要があります。ファン・フィラーを取り外すことができるのは、ファン 2 を取り付ける場合のみです。それ以外の場合は、適切な冷却を確保するためにファン・フィラーを取り付けておく必要があります。



2. 冗長冷却を得るために、3 個の追加ファンを注文することができます。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

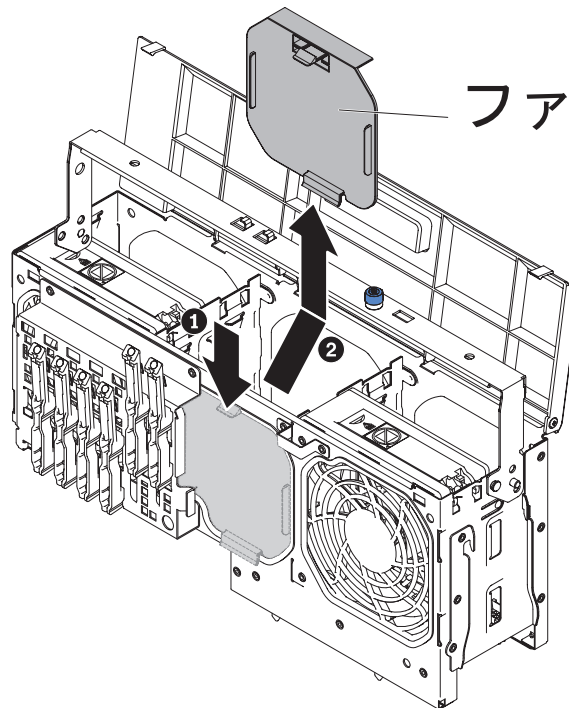
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

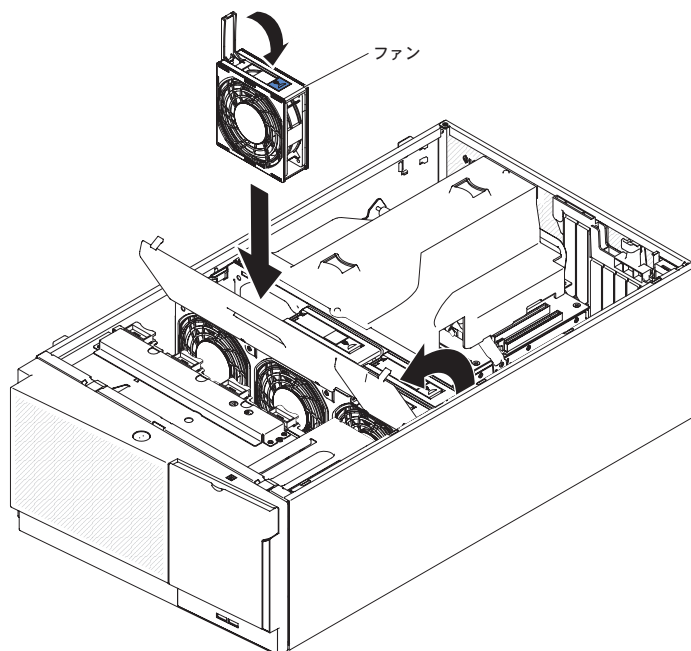
シンプル・スワップ・ファンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. シンプル・スワップ・ファンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからファンを取り出します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します（44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照）。
3. ファン・ケージ・カバーを開きます。
4. 以下のステップは、シンプル・スワップ・ファンをファン 2 コンパートメントに取り付ける場合にだけ実行してください。
 - a. リリース・レバーを解放し、開きます（326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照）。
 - b. ファン・フィラーのクリップを押して解放し、ファン・フィラーをサーバーから取り外します。



- c. リリース・レバーを閉じて、固定します。
5. 交換するファンのファン・ロック・ハンドルを開きます。
 6. ファンをソケットに挿入し、ハンドルをロック位置まで閉じます。



7. ファン・ケージ・カバーを閉じます。
8. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (108 ページの『左サイド・カバーの再取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

次の図は、システム・バッテリーの位置を示しています。

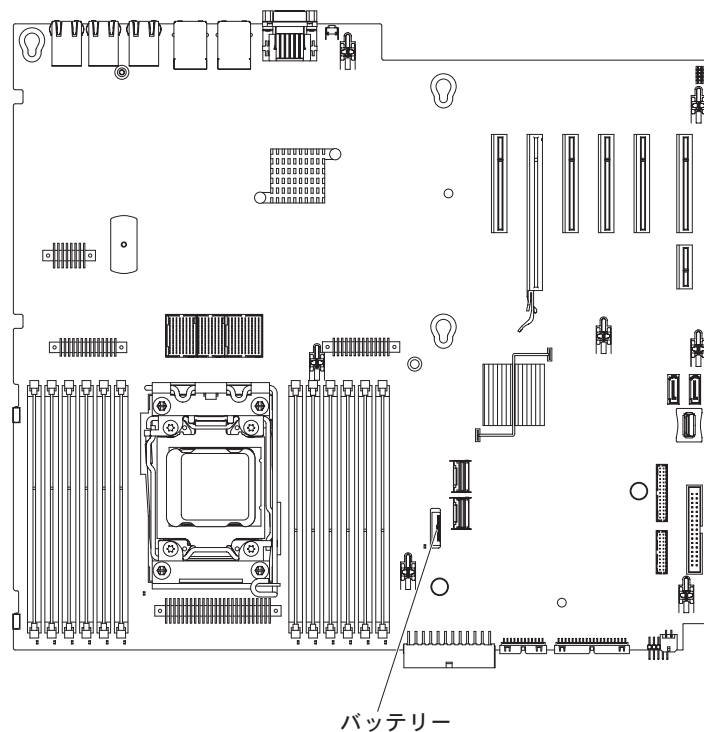


図 43. システム・バッテリー

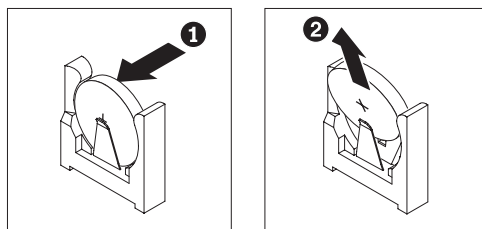
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

バッテリーを取り外すには、次の手順で行います。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. 次のように、システム・バッテリーを取り外します。
 - a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクタからバッテリー・カバーを持ち上げます。
 - b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。
 - 重要:** 過度の力でバッテリーを傾けたり押したりしないでください。
 - c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。



重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

4. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください (詳しくは「*Environmental Notices and User Guide*」を参照)。

システム・バッテリーの取り付け

システム・バッテリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

以下の注では、サーバーのバッテリーを交換するときに考慮する必要がある情報を説明します。

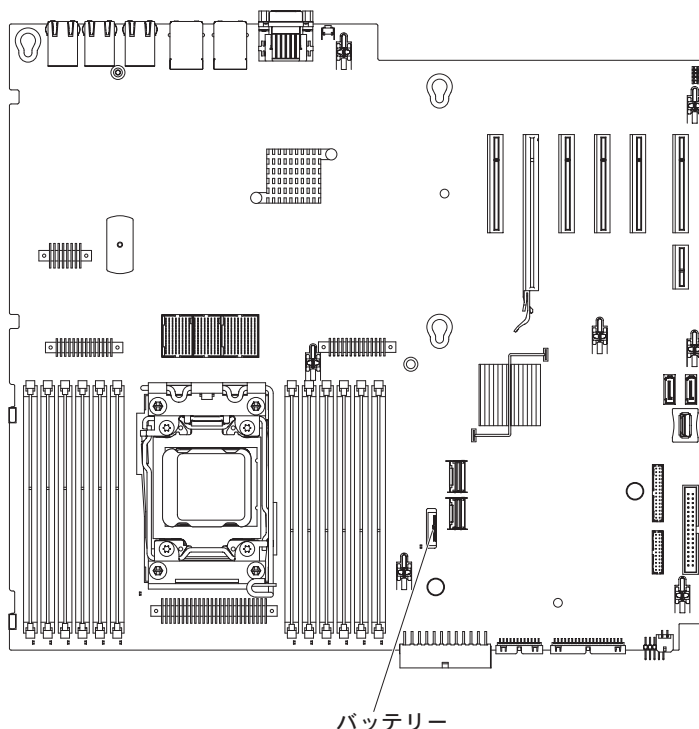


図 44. システム・バッテリー

- ・ バッテリーの交換は、同一メーカーの同一タイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。

- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または IBM 販売店にご連絡ください。
- バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻を再設定する必要があります。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2

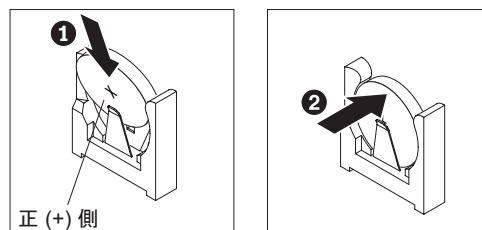


注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

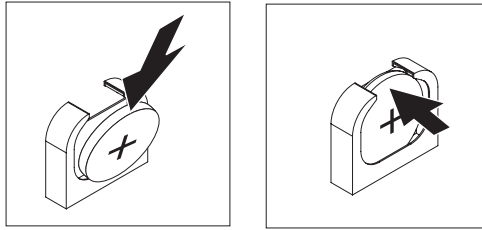


このタスクについて

交換用バッテリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. 新しいバッテリーを次のように挿入します。
 - a. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。



- b. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。
 - c. バッテリー・ホルダーからゴム製のカバーを取り外した場合は、指を使ってバッテリー・コネクタの上部にバッテリー・カバーを取り付けます。
3. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。
 4. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと、電源制御ボタンがアクティブになりません。

5. Setup ユーティリティを開始して、構成をリセットします。
 - a. システムの日付と時刻を設定します。
 - b. 始動パスワードを設定します。
 - c. サーバーを再構成します。

詳しくは、119 ページの『Setup ユーティリティの開始』を参照してください。

USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーの取り外し

USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

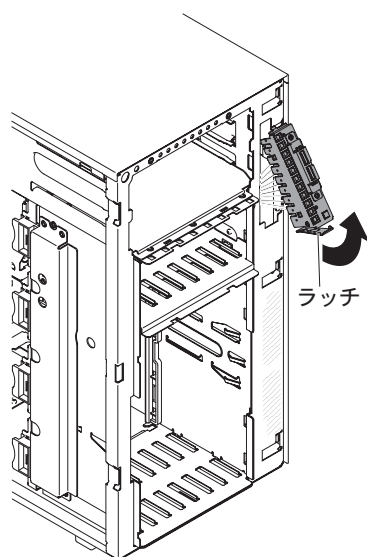
このタスクについて

USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーをサーバーから取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 側面が下になるように、慎重にサーバーを配置します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. Light Path 診断ケーブルをシステム・ボードから外します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクター』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
6. サーバーを元どおり垂直に立てます。
7. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。
8. USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリー・ブラケットの下部にあるリリース・ラッチを押し下げてから、取り付けブラケットの上部を回転させてサーバーから離します。



9. Light Path 診断アセンブリーを取り外します (286 ページの『Light Path 診断アセンブリーの取り外し』を参照)。
10. USB ケーブル・アセンブリーを取り外します (290 ページの『USB ケーブル・アセンブリーの取り外し』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーの取り付け

USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

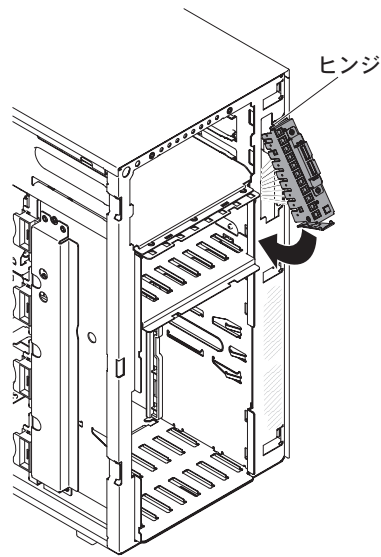
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 側面が下になるように、慎重にサーバーを配置します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからこのアセンブリーを取り出します。
7. Light Path 診断アセンブリーを取り付けます (288 ページの『Light Path 診断アセンブリーの取り付け』を参照)。
8. USB ケーブル・アセンブリーを取り付けます (292 ページの『USB ケーブル・アセンブリーの取り付け』を参照)。
9. USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリー取り付けブラケットの上部を開口部にはめ、カチッと音がして所定の位置に収まるまでブラケットの下部をサーバーに向かって回転させます。



10. USB ケーブルおよび Light Path 診断ケーブルをシステム・ボードに接続します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクター』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
11. ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
12. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
13. ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けます (100 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け』を参照)。
14. ベゼルを取り付けます (218 ページの『ベゼルの取り付け』を参照)。
15. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

Light Path 診断アセンブリーの取り外し

Light Path 診断アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

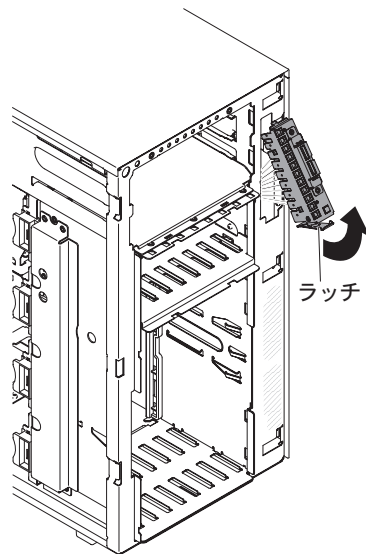
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

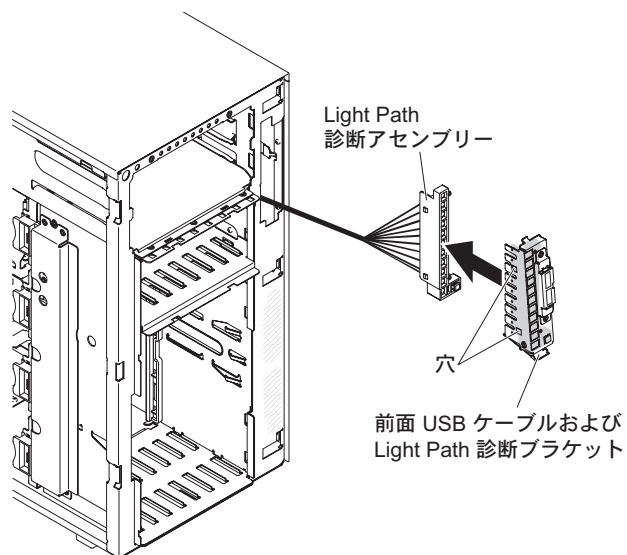
Light Path 診断アセンブリーをサーバーから取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 側面が下になるように、慎重にサーバーを配置します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. Light Path 診断ケーブルをシステム・ボードから外します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
6. サーバーを元どおり垂直に立てます。
7. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。
8. USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリー・ブラケットの下部にあるリリース・ラッチを押し下げてから、取り付けブラケットの上部を回転させてサーバーから離します。



9. Light Path 診断アセンブリー・ブラケットの穴を利用して、てこの原理で Light Path 診断アセンブリーを取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

Light Path 診断アセンブリーの取り付け

Light Path 診断アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

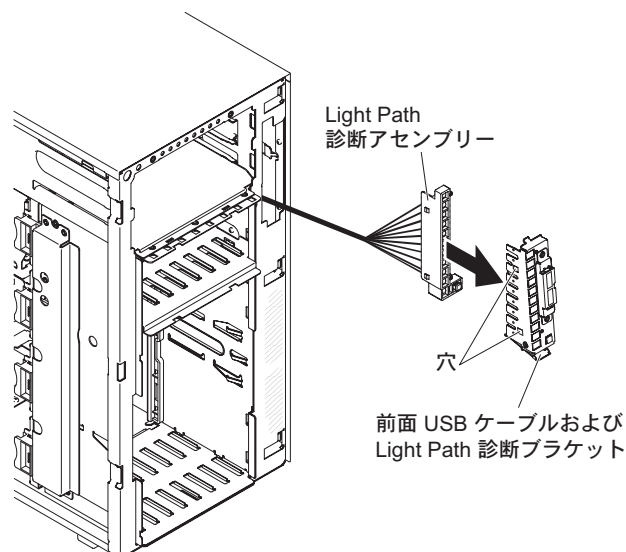
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

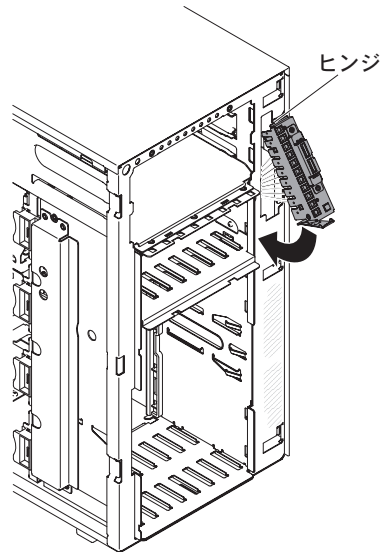
Light Path 診断アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 側面が下になるように、慎重にサーバーを配置します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. USB ケーブルと Light Path 診断アセンブリーを取り外します (282 ページの『USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. Light Path 診断アセンブリーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからこのアセンブリーを取り出します。
8. Light Path 診断アセンブリーを取り付けブラケットに取り付けます。



9. USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリー取り付けブラケットの上部を開口部にはめ、カチッと音がして所定の位置に収まるまでブラケットの下部をサーバーに向かって回転させます。



10. USB ケーブルと Light Path 診断アセンブリーを取り付けます (284 ページの『USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーの取り付け』を参照)。
11. Light Path 診断ケーブルをシステム・ボードに接続します。システム・ボード上の USB および Light Path 診断コネクタを見つけるには、31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照してください。
12. ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
13. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
14. ベゼルを取り付けます (218 ページの『ベゼルの取り付け』を参照)。
15. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

USB ケーブル・アセンブリーの取り外し

USB ケーブル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

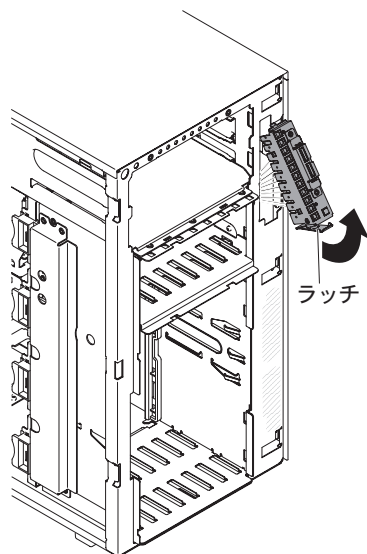
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

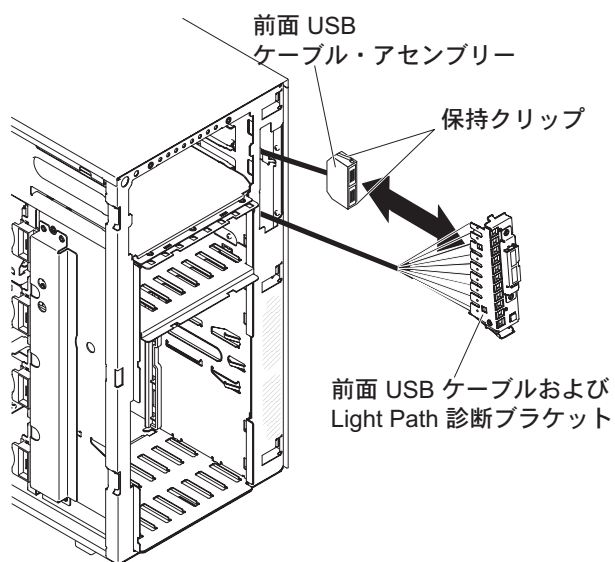
USB ケーブル・アセンブリーをサーバーから取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 側面が下になるように、慎重にサーバーを配置します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. USB アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードから外します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
6. サーバーを元どおり垂直に立てます。
7. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。
8. USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリー・ブラケットの下部にあるリリース・ラッチを押し下げてから、取り付けブラケットの上部を回転させてサーバーから離します。



9. USB ケーブル・コネクターの両サイドにある保持クリップを内側に押し付け、USB ケーブルを引いて取り付けブラケットから取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

USB ケーブル・アセンブリーの取り付け

USB ケーブル・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

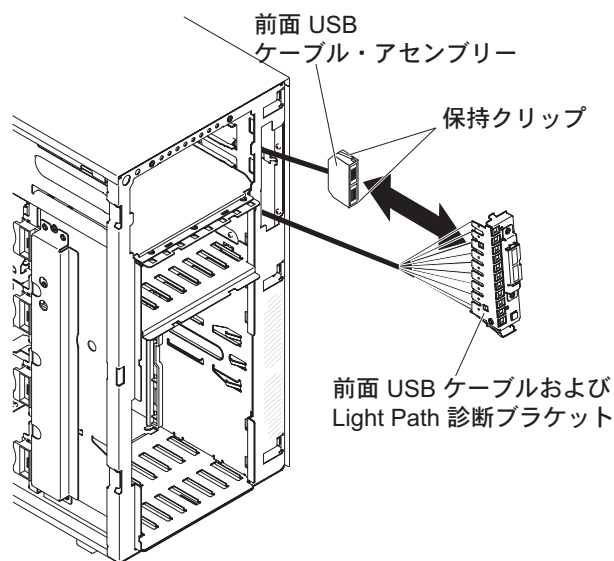
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

USB ケーブル・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 側面が下になるように、慎重にサーバーを配置します。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. USB ケーブルと Light Path 診断アセンブリーを取り外します (282 ページの『USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. USB ケーブル・アセンブリーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからこのアセンブリーを取り出します。
8. USB ケーブル・コネクタの両サイドにある保持クリップを内側に押し付け、ケーブル・コネクタの切り欠きを取り付けブラケットのノッチの位置に合わせます。



9. USB ケーブル・アセンブリーを取り付けブラケットに挿入してから、保持クリップを解放します。
10. USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリー取り付けブラケットの下部を開口部にはめ、ブラケットの上部をサーバーに向かって回転させて、定位置に収めます。
11. USB ケーブルと Light Path 診断アセンブリーを取り付けます (284 ページの『USB ケーブルおよび Light Path 診断アセンブリーの取り付け』を参照)。
12. USB ケーブルをシステム・ボードに接続します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
13. ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
14. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
15. ベゼルを取り付けます (218 ページの『ベゼルの取り付け』を参照)。
16. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

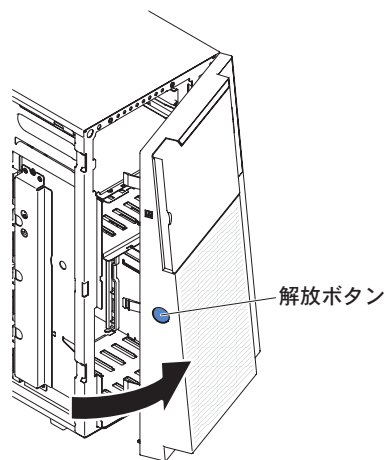
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

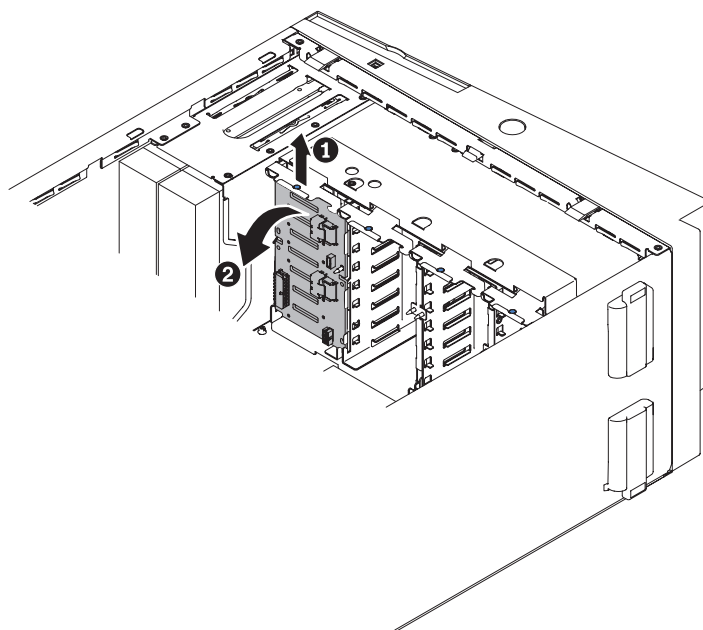
2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



3. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (235 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルが 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに接続されている箇所を確認してから、これらのケーブルを切り離します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
7. バックプレーンを定位置に保持している保持ラッチを持ち上げてから、バックプレーンの上端をつかんで、サーバーの背面に向かって回転させます。バックプレーンがドライブ・ケージ保持タブから外れたら、サーバーから取り出します。



8. 別の SAS バックプレーンを取り外す場合は、ステップ 6 およびステップ 7 を繰り返して、残りのバックプレーンを取り外します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

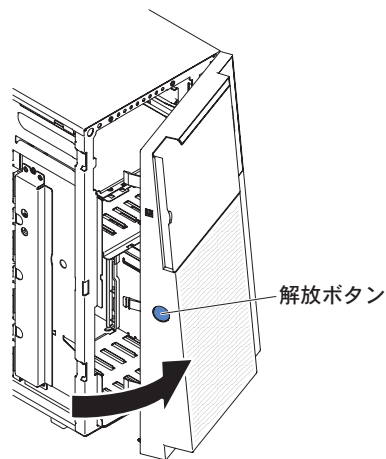
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

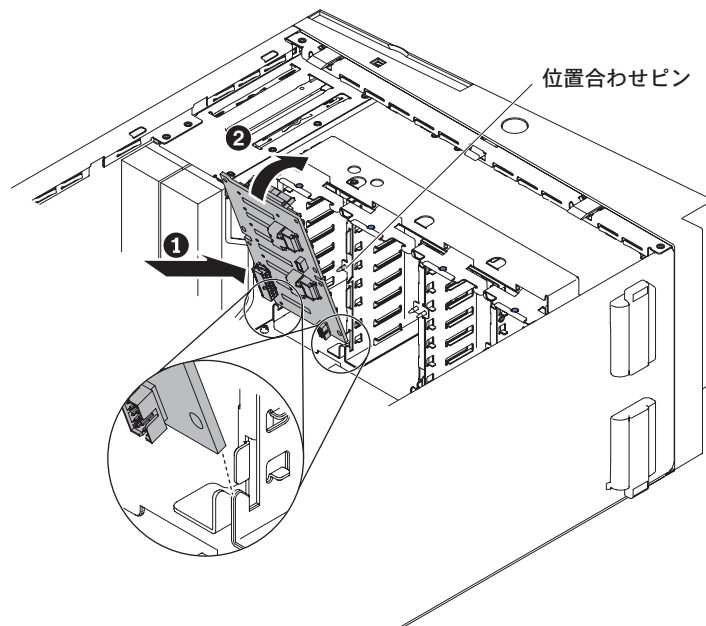
2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. ハード・ディスク・バックプレーンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからバックプレーンを取り出します。
6. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンをドライブ・ケージ保持タブに置いてから、バックプレーンの上部をロケーター・ピンに向かって回転させ、ラッチを定位置に収めます。



7. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルを 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに接続します (36 ページの『ハード・ディスク・バックプレーン・コネクタ』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。

8. もう 1 つの 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを再取り付けする場合は、ステップ 5 から 7 を繰り返して、その追加のバックプレーンを取り付けます。
9. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (57 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
10. ベゼルを閉じます。
11. ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
12. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
13. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

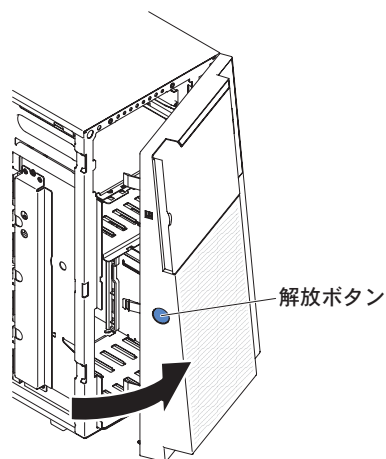
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

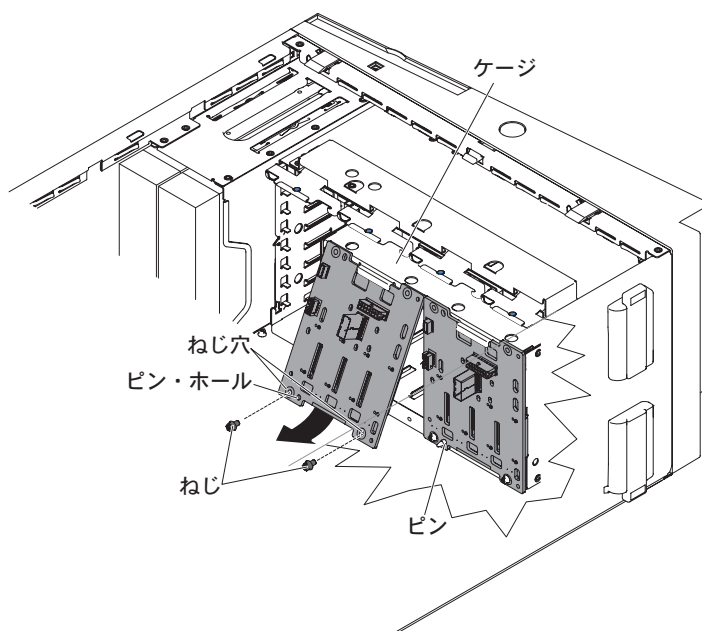
3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



3. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (238 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルが 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに接続されている箇所を確認してから、これらのケーブルを切り離します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
7. バックプレーンのねじを取り外します。
8. ドライブ・ケージのガイド・ピンがバックプレーンから外れるまで、バックプレーンをドライブ・ケージの外側に向けて回転させます。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

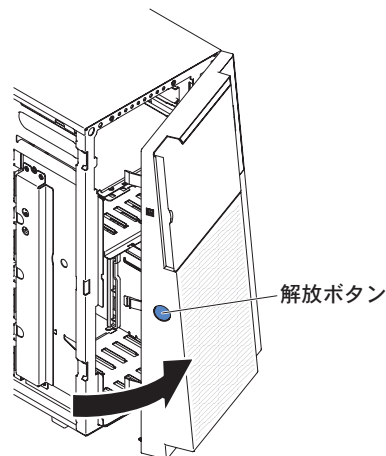
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

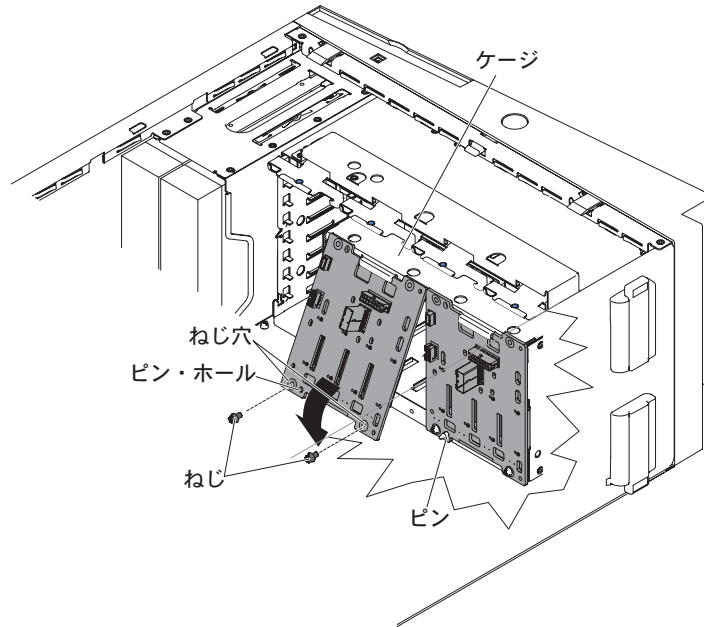
手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。

5. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの底部のタブを、ドライブ・ケージの下部の縁にあるスロットに挿入します。



6. ドライブ・ケージのガイド・ピンがバックプレーンの穴にしっかりと挿入されるまで、バックプレーンをドライブ・ケージに向けて回転させます。
7. バックプレーンのねじを締めます。
8. 電源ケーブル、構成ケーブル、および信号ケーブルを 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに再接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
9. ハード・ディスク・ケージから取り外した 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (239 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
10. ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
11. エアー・パッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・パッフルの取り付け』を参照)。
12. ベゼルを閉じます。
13. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り外し

3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

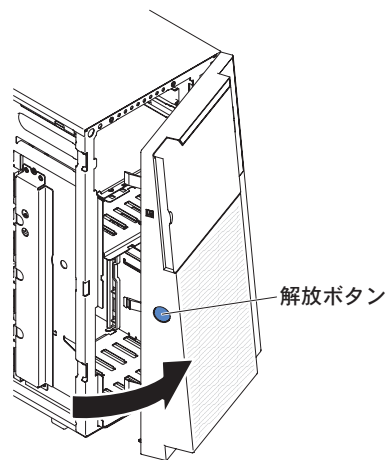
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

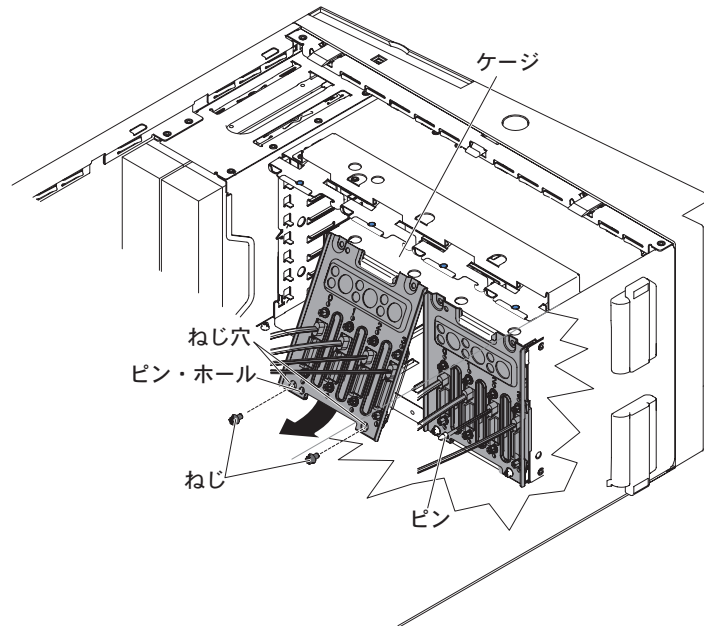
手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



3. ハード・ディスク・ケージに取り付けられている 3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り外します (241 ページの『3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルが 3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーに接続されている箇所を確認してから、これらのケーブルを切り離します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
7. バックプレート・アセンブリーのねじを取り外します。

8. ドライブ・ケージのガイド・ピンがバックプレート・アセンブリーから外れるまで、バックプレート・アセンブリーをドライブ・ケージの外側に向けて回転させます。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り付け

3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

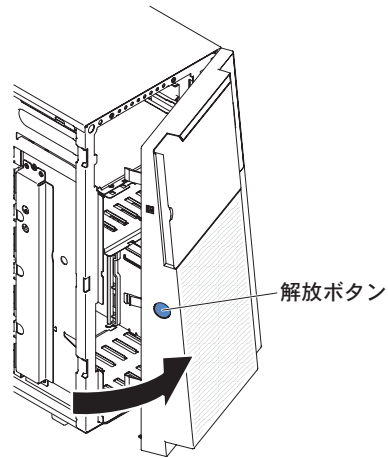
このタスクについて

3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

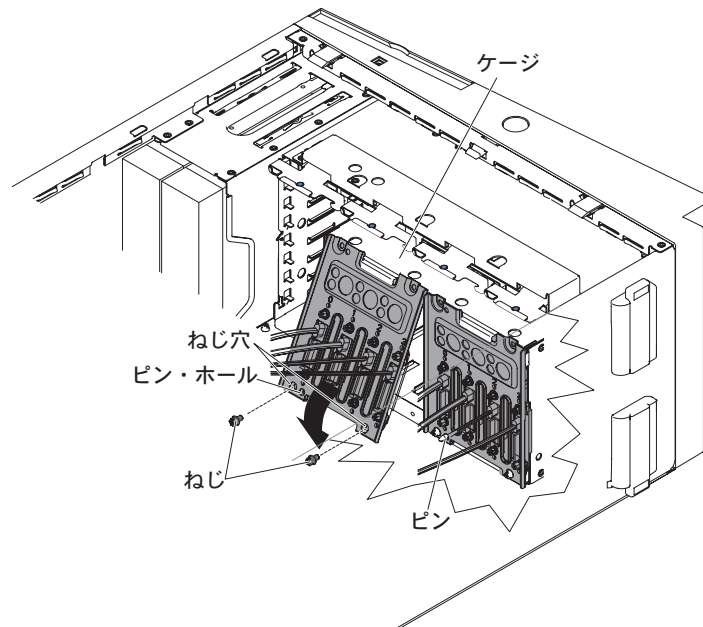
手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの底部のタブを、ドライブ・ケージの下部の縁にあるスロットに挿入します。



6. ドライブ・ケージのガイド・ピンがバックプレート・アセンブリーの穴にしっかりと挿入されるまで、バックプレート・アセンブリーをドライブ・ケージに向けて回転させます。
7. バックプレート・アセンブリーのねじを締めます。
8. 電源ケーブル、構成ケーブル、および信号ケーブルを 3.5 型ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーに再接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

9. ハード・ディスク・ケージから取り外した 3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り付けます (242 ページの『3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
10. ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
11. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
12. ベゼルを閉じます。
13. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

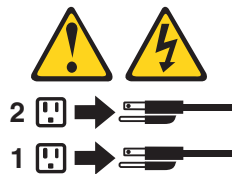
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

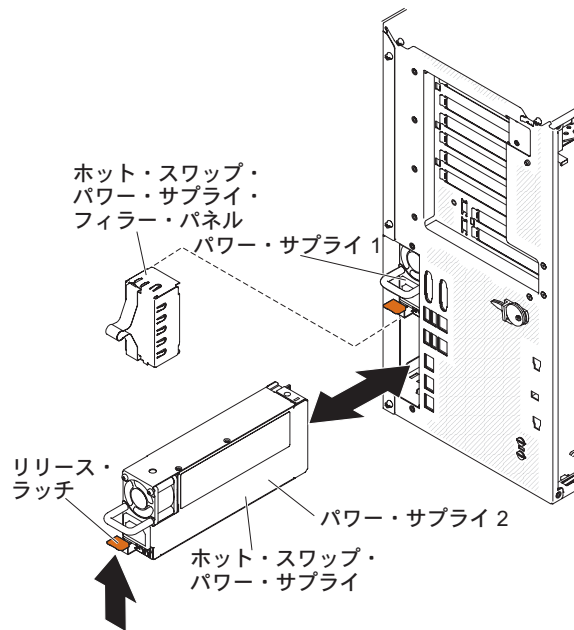
ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、次のステップを実行してください。

注:

1. サーバーにホット・スワップ・パワー・サプライが 1 台しか取り付けられていない場合は、パワー・サプライを取り外す前にサーバーの電源をオフにする必要があります。
2. パワー・サプライの取り外しあるいは取り付けを行う前に、ファン・ケージ・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. 取り外しているパワー・サプライの背面にあるコネクタから電源コードを切り離します。
2. ホット・スワップ・パワー・サプライ上のリリース・ラッチを押し、サーバーから引き抜きます。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けます。

始める前に

次に、サーバーがサポートする AC パワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべき事項について説明します。

- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティの詳細な説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、110 V AC または 220 V AC の自動検知です。
- サーバーが正しく稼働することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは定格 (ワット数) が同じでなければなりません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。

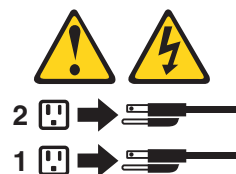
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

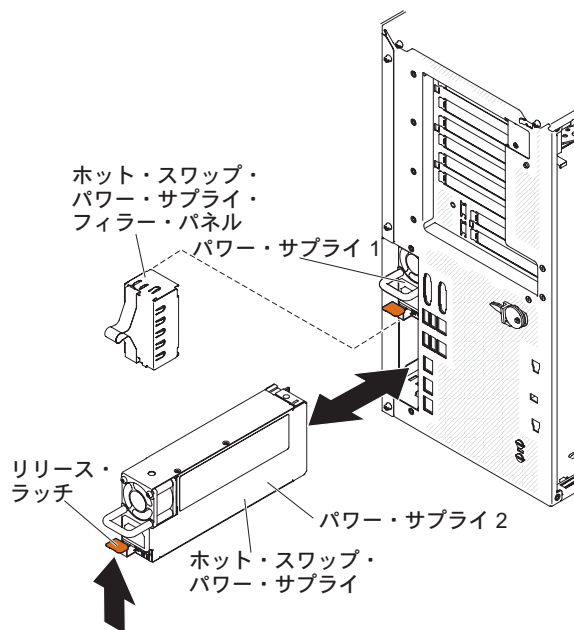
このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、以下のステップを実行してください。

注: パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う前に、ファン・ケージ・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
2. 電源ベイにパワー・サプライ・フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それを取り外します。



3. パワー・サプライを取り付け、所定の位置にロックされるまで押し入れます。

注:

- a. サーバーにホット・スワップ・パワー・サプライが 1 台しか取り付けられていない場合は、空のパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライ・フィラーを取り付ける必要があります。
 - b. サーバー内で異なるワット数のパワー・サプライを混用しないでください。
4. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。

- 新規パワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ後部のコネクタに接続した後、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。

注: サーバーの電源がオフになっている場合は、サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと電源制御ボタンがアクティブになりません。

- AC パワー・サプライ上の AC 電源 LED および DC 電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。この緑色の 2 つの LED は、電源コード・コネクタの右側にあります。
- パワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、新しいパワー・サプライに付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。

额定电压 xxx-xxx/xxx-xxx 额定电流 x.x/x.x 额定频率 xx/xx Hz	额定電壓 额定電流 额定頻率
---	----------------------

Product certified in Shenzhen, China
Made in China V 中国制造

Apparaten skall anslutas till jordat uttag
Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt
Laitte on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla
varustettuun pistorasiaan
This device complies with part 15 of FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

警告使用者:
這是甲類的資訊產品, 在居住的環境中使用時, 可能會造成射頻干擾, 在這種情況下, 使用者會被要求採取某些適當的對策。

制造商 Manufacturer: IBM Corporation
Copyright Code and Parts Contained Herein.
©Copyright IBM Corp. 2012 All Rights Reserved
Canada ICES/NMB-003 Class/Classe A

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。V C C I - A

廢電池請回收

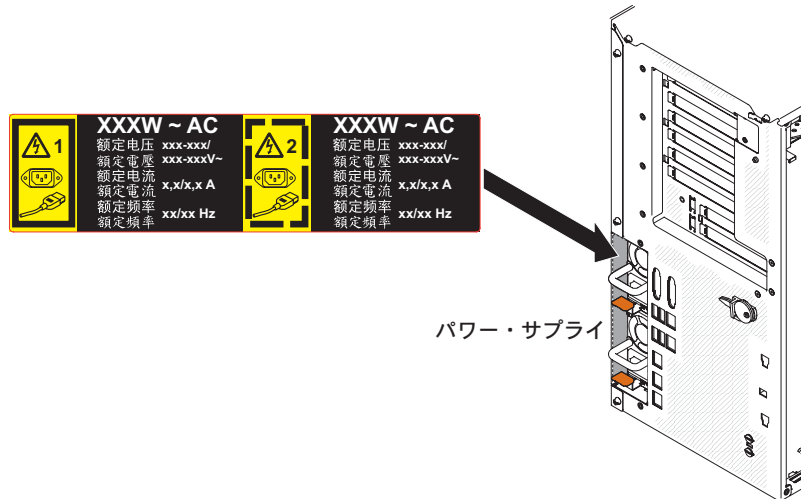
EU Only

LISTED I.T.E. Equip. 167G

KCC-REM-IBC-7915AR

R33026 伺服器 服务器
型号 MT: XXXX
Model: xxx
SN: SSSSSSS
MFG date: YYYYMMDD
Product ID:
PN:

- サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。



オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

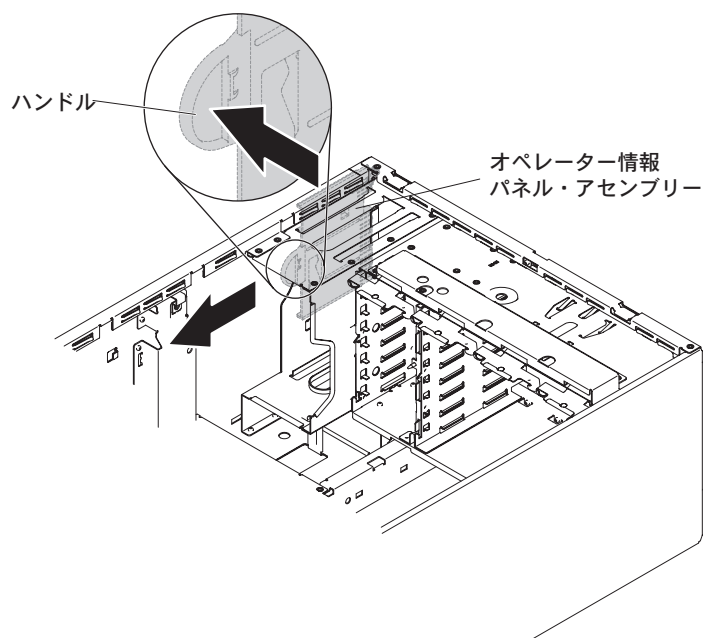
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
4. ドライブ・ベイ 1 の背面からドライブ・ケーブルを切り離します。
5. ドライブ・ベイ 1 に取り付けられている DVD ドライブ (244 ページの『DVD ドライブの取り外し』を参照) またはテープ・ドライブ (247 ページの『オプションのテープ・ドライブの取り外し』を参照) を取り外します。
6. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードから切り離します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
7. DVD ドライブのすぐ上にあるオペレーター情報パネル・アセンブリー・リリース・ラッチを見つけます。



8. オペレーター情報パネル・アセンブリーをサーバーの背面方向に引っ張りながらリリース・ラッチを上押しします。次に、アセンブリーの背面をシステム・ボードに向かって角度を付けて、アセンブリーをサーバーから取り外します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

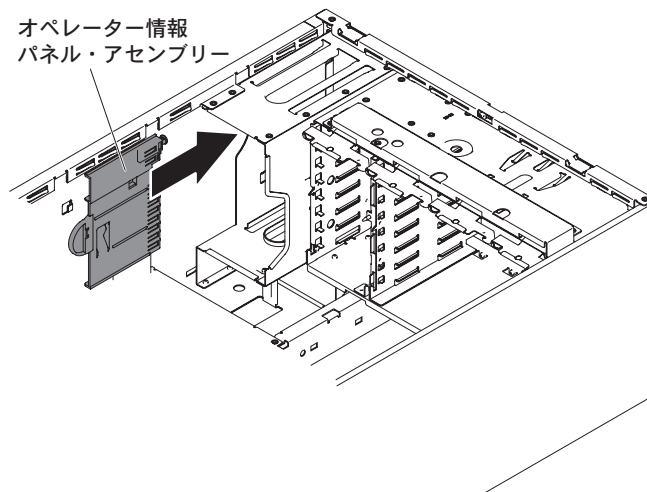
このタスクについて

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

2. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
4. ドライブ・ベイ 1 の背面からドライブ・ケーブルを切り離します。
5. ドライブ・ベイ 1 に取り付けられている DVD ドライブ (244 ページの『DVD ドライブの取り外し』を参照) またはテープ・ドライブ (247 ページの『オプションのテープ・ドライブの取り外し』を参照) を取り外します。
6. オペレーター情報パネル・アセンブリーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアセンブリーを取り出します。
7. オペレーター情報パネル・アセンブリーに角度をつけてアセンブリーの端がガイド・スロットに入るようにします。



8. オペレーター情報パネル・アセンブリーを前方にスライドさせて、リリース・ラッチを定位置に収めます。
9. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードに接続します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクター』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
10. 前のステップで取り外した DVD ドライブをドライブ・ベイ 1 に再取り付けします (245 ページの『DVD ドライブの取り付け』および 249 ページの『オプションのテープ・ドライブの取り付け』を参照)。
11. ドライブ・ケーブルをドライブ・ベイ 1 の背面に接続します。
12. ファン・ケージ・アセンブリーを再び取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
13. エアー・バッフルを再び取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
14. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

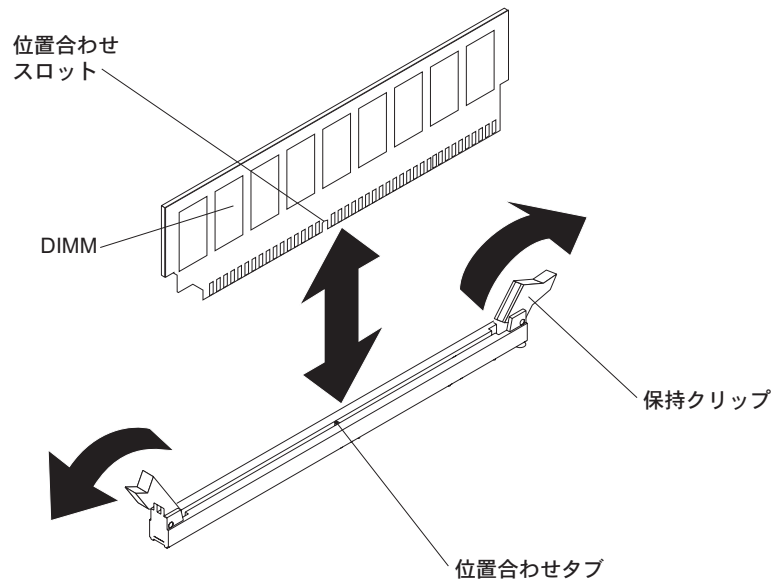
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上の DIMM コネクタを確認します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
重要: 保持クリップの破損や DIMM コネクタの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。
5. DIMM コネクタの両サイドにある DIMM 保持クリップを DIMM コネクタの中央から外側の方向に押して、保持クリップを開いた位置へと移動します。



6. 指を使って DIMM を DIMM コネクターから持ち上げます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付けの際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)
 - 、800、1066、1333、1600、または 1866 MHz、PC3-6400、PC3-8500、PC3-10600、PC3-12800、または PC3-14900 registered または unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
 - DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。
 - *ggggg eRxff PC3v-wwwwwm-aa-bb-ccd*

ここで、

- *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
- *eR* はランク数です。
 - 1R = single-rank
 - 2R = dual-rank

- 4R = quad-rank
- *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
 - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
 - x8 = x8 編成
 - x16 = x16 編成
- *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
 - プランク = 1.5 V 指定
 - L = 1.35 V 指定、1.5 V 作動可能

注: 上記の電圧の値が「指定」となっているのは、タイミングなどの装置特性がこの電圧でサポートされていることを意味します。値が「作動可能」となっているのは、この電圧で装置が安全に作動可能であることを意味します。ただし、タイミングなどの装置特性は、保証されない場合があります。すべての装置は DDR3 の最高公称電圧である 1.5 V を「許容」するはずですが、これは、これらの装置が 1.5 V では作動しない場合があるが、その電圧で装置へ損傷を与えずに電力を供給可能であることを意味します。

- *www* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 6400 = 6.40 GBps (DDR3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)
 - R = Registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベルには、情報が *xxxxx nRxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx* の形式で示されています。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (n=1) であるか、dual-rank (n=2) であるか、quad-rank (n=4) であるかを示します。

- チャンネル内の RDIMM 数に応じて、DDR3 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。

- チャンネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。
- チャンネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します
- チャンネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します
- サーバー内のすべてのチャンネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
- registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けしないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサ、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャンネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャンネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、インテル Xeon™ E5-2600 シリーズのマイクロプロセッサを搭載したサーバーは、以下の条件が満たされている場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で稼働します。
 - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-rank、または quad-rank UDIMM、RDIMM、または LRDIMM が同じチャンネルに取り付けられている。 Setup ユーティリティで、「Memory speed」が「Max performance」モードに設定されており、「LV-DIMM power」が「Enhance performance」モードに設定されている。 1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- このサーバーは、最大 16 個の dual-rank UDIMM をサポートします。サーバーは、チャンネルごとに最大 2 個の UDIMM をサポートします。
- サーバーは、最大 24 個の single-rank、dual-rank、または 16 個の quad-rank RDIMM をサポートします。 このサーバーは、同じチャンネル内で 3 つの quad-rank RDIMM をサポートしません。
- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 35. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	single-rank UDIMM	2 GB	32 GB
24	single-rank RDIMM	2 GB	48 GB
24	single-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	dual-rank RDIMM	8 GB	192 GB
24	dual-rank RDIMM	16 GB	384 GB
16	quad-rank RDIMM	16 GB	256 GB
24	quad-rank LRDIMM	32 GB	768 GB

- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは 2 GB です。このサーバーは、UDIMM を使用した場合、最小 2 GB、最大 32 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 2 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。

- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。サーバーは、LRDIMM を使用して最小 32 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティを実行します。詳細は、114 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

- それぞれのマイクロプロセッサごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内の DIMM は同じタイプ (RDIMM、UDIMM、または LRDIMM) でなければなりません。
- チャンネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサから最も遠い DIMM コネクタに取り付けてください。
- UDIMM の場合、マイクロプロセッサ 1 用の DIMM コネクタ 3、6、7、および 10 と、マイクロプロセッサ 2 用の DIMM コネクタ 15、18、19、および 22 は使用されません。

注: マイクロプロセッサ 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクタの位置を示しています。

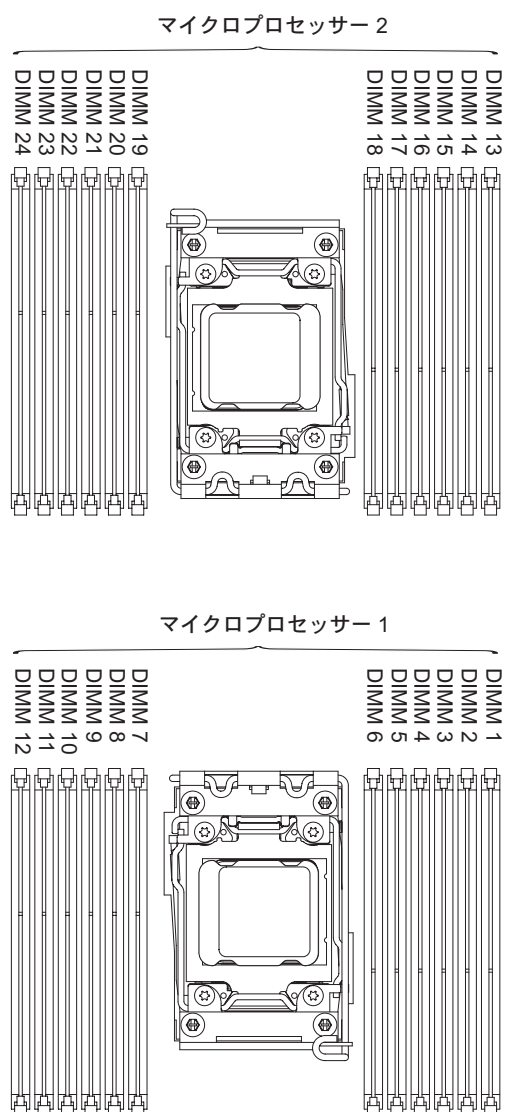


図 45. システム・ボード上の DIMM コネクターの位置

DIMM 取り付け順序:

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 2 GB または 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサのメモリー・インターフェース上の 3 つのチャネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 36. 独立モードの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ 一数	DIMM コネクター取り付け順序
マイクロプロセッサを 1 つ取り付 け済み	1、4、9、12、2、5、8、11、10、7、6、3

表 36. 独立モードの DIMM の取り付け順序 (続き)

取り付け済みのマイクロプロセッサ 数	DIMM コネクタ取り付け順序
マイクロプロセッサを 2 つ取り付 け済み	1、13、4、16、9、21、12、24、2、14、5、17、8、20、11、 23、22、10、19、7、18、6、15、3

メモリー・ミラーリング・チャンネル:

メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでは、データが 2 つのチャンネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。

Setup ユーティリティーでメモリー・ミラーリングを使用可能にすることができます (119 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。

メモリー・ミラーリング・チャンネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャンネルは、すべてのチャンネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリングが使用可能になっている場合は、最大使用可能メモリーが取り付けられたメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して 64 GB のメモリーを取り付けた場合にメモリー・ミラーリング・チャンネルを使用すると、32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。

次の図には、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクタをリストしています。

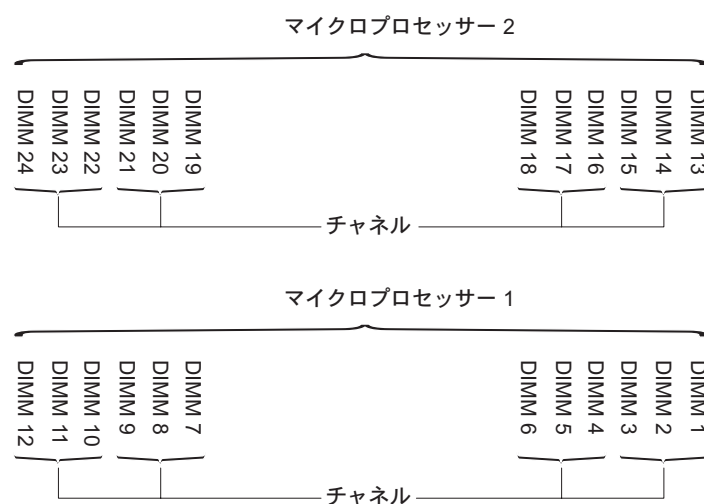


図 46. 各メモリー・チャンネルのコネクタ

注: マイクロプロセッサ 2 を取り付けるとただちに、マイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 の DIMM コネクターがすべて装着されるまで待つ必要はありません。

次の表は、メモリー・ミラーリング・モードでの取り付け順序を示しています。

表 37. メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの DIMM の装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	1, 4
2 番目の DIMM ペア	1	9, 12
3 番目の DIMM ペア	1	2, 5
4 番目の DIMM ペア	1	8, 11
5 番目の DIMM ペア	1	7, 10
6 番目の DIMM ペア	1	3, 6
7 番目の DIMM ペア	2	13, 16
8 番目の DIMM ペア	2	21, 24
9 番目の DIMM ペア	2	14, 17
10 番目の DIMM ペア	2	20, 23
11 番目の DIMM ペア	2	19, 22
12 番目の DIMM ペア	2	15, 18
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ミラーリング・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。

メモリー・ランク・スペアリング:

スペアリングを使用すると、障害を起こしているランクを、未装着のスペースに取り付けたランクによって置き換えることができます。チャンネル上の未使用のスペア・ランクを使用して、そのチャンネル上で障害を起こしているランクの内容をコピーすることができます。

Setup ユーティリティでランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます (119 ページの『Setup ユーティリティの開始』を参照)。

次の図には、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクターをリストしています。

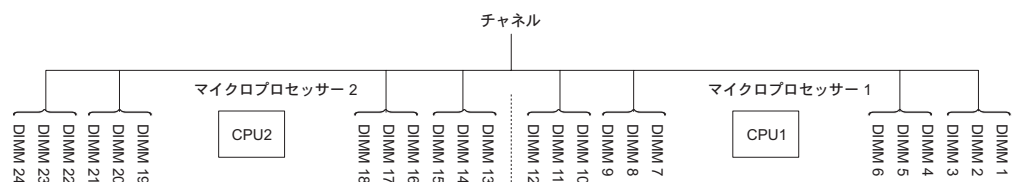


図 47. 各メモリー・チャンネルのコネクター

注: マイクロプロセッサ 2 を取り付けてあれば、マイクロプロセッサ 2 用の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 の DIMM コネクタがすべて装着されるまで待つ必要はありません。

次の表は、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの取り付け順序を示しています。

表 38. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクタ
最初の DIMM ペア	1	1、2
2 番目の DIMM ペア	1	4、5
3 番目の DIMM ペア	1	8、9
4 番目の DIMM ペア	1	11、12
5 番目の DIMM ペア	1	7、10
6 番目の DIMM ペア	1	3、6
7 番目の DIMM ペア	2	13、14
8 番目の DIMM ペア	2	16、17
9 番目の DIMM ペア	2	20、21
10 番目の DIMM ペア	2	23、24
11 番目の DIMM ペア	2	19、22
12 番目の DIMM ペア	2	15、18
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ランク・スペアリング・モードでは、DIMM コネクタ 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

DIMM の取り付け:

DIMM を取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

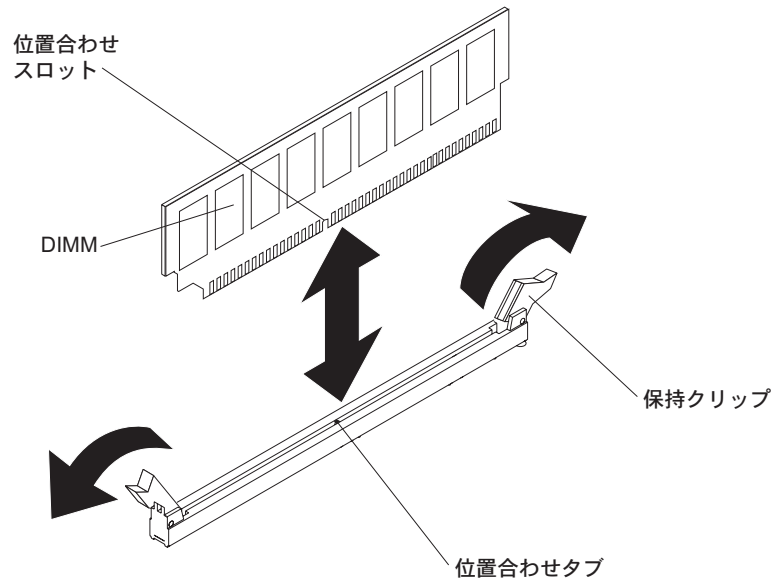
このタスクについて

DIMM を取り付けるには、次のステップに従ってください。

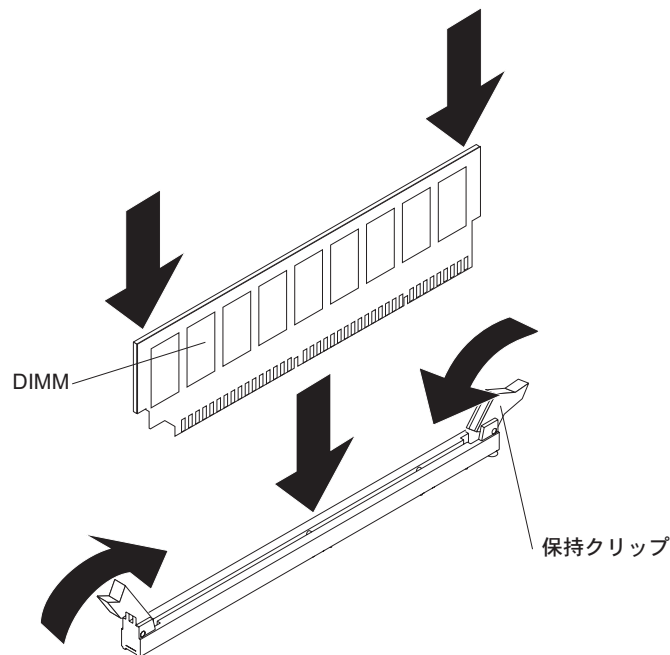
手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上の DIMM コネクタを確認します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。DIMM を取り付けのコネクタを判別します。
5. DIMM コネクタのそれぞれの端にある保持クリップを開きます。
重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
7. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
8. DIMM の端を DIMM コネクタの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクタに差し込みます (DIMM コネクタの位置については、31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。



9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

10. エアー・バッフルが取り外されていた場合は再取り付けします (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
11. 左サイド・カバーを再取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

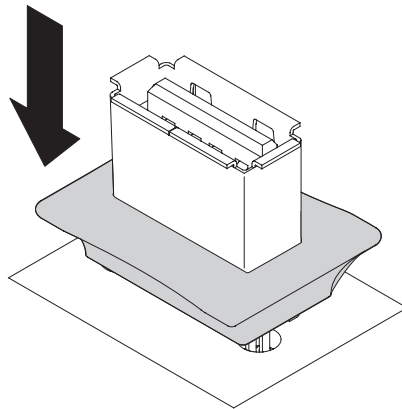
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

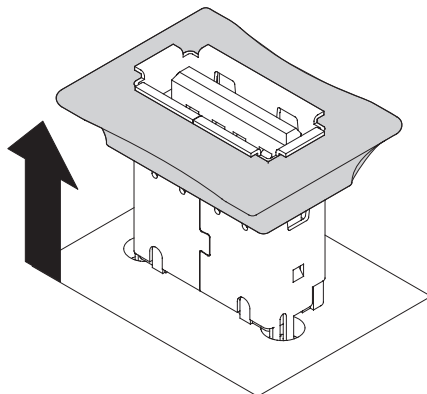
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. 保持ラッチをシステム・ボード側に押し下げて解除します。



3. フラッシュ・デバイスをつかみ、コネクタから引き抜いて取り外します。
4. 保持ラッチをシステム・ボード側から引き離してロックされた位置に戻します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

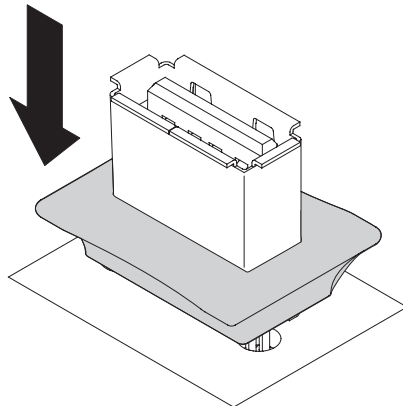
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

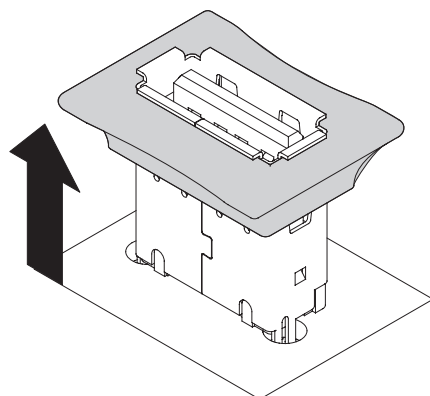
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
2. 保持ラッチをシステム・ボード側に押し下げて解除します。



3. フラッシュ装置をシステム・ボードの USB コネクタと位置合わせして、しっかり固定されるまで USB コネクタに押し込みます。
4. 保持ラッチをシステム・ボード側から引き離してロックされた位置に戻します。



5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. 左サイド・カバーを再び取り付けます (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し

サーバーからファン・ケージ・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

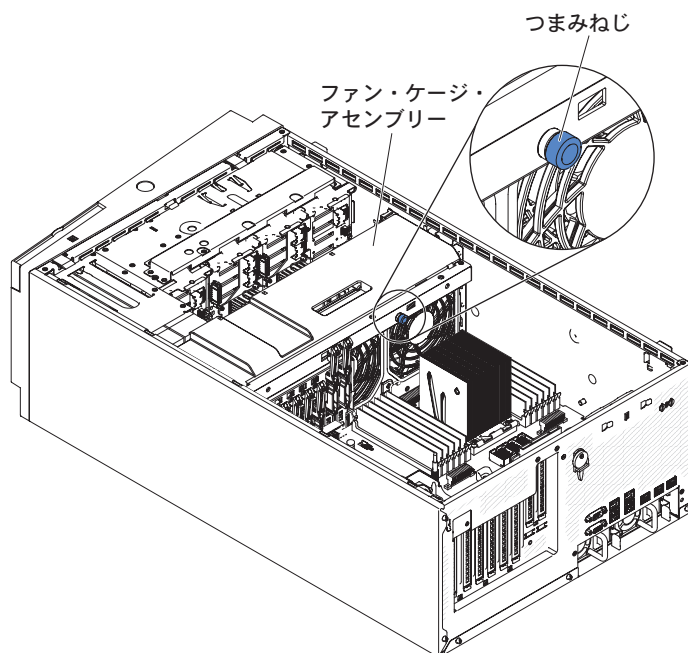
このタスクについて

ファン・ケージ・アセンブリーを取り外すには、次の手順を実行します。

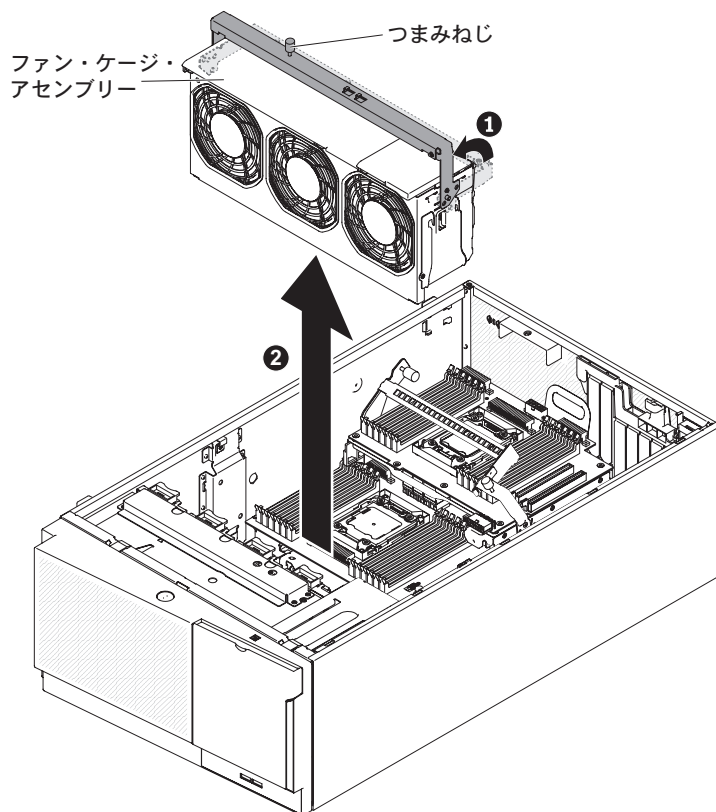
手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードからすべての長いカードを取り外します。
5. システム・ボードからファン・ケージ電源ケーブルを切り離します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

6. ファン・ケージ・リリース・ラッチのつまみねじを緩めます。



7. ファン・ケージ・リリース・ラッチを開いた位置に回転させます。リリース・ラッチが完全に開くと、ファン・ケージが少し持ち上がります。



8. ファン・ケージ・アセンブリーをつかんで持ち上げ、サーバーから取り出します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け

サーバーからファン・ケージ・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

重要: ファン・ケージ・アセンブリーを取り付ける前に、サーバー内のすべてのワイヤーとケーブルが正しく配線されていることを確認してください。配線が正しく行われていないと、配線が損傷したり、ファン・ケージ・アセンブリーがサーバーに正しく装着されない可能性があります。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

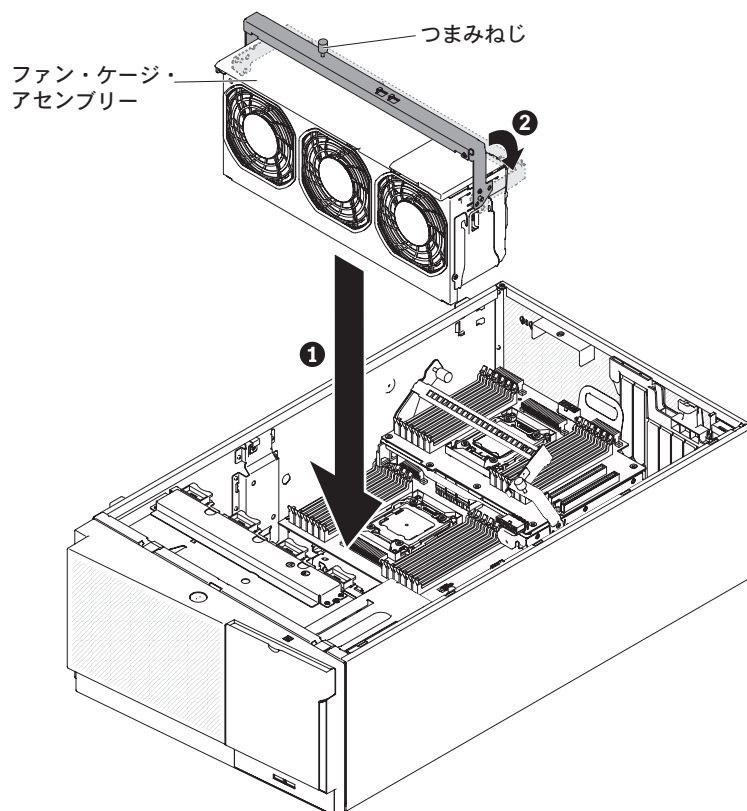
ファン・ケージ・アセンブリーを取り付けるには、次の手順を実行します。

手順

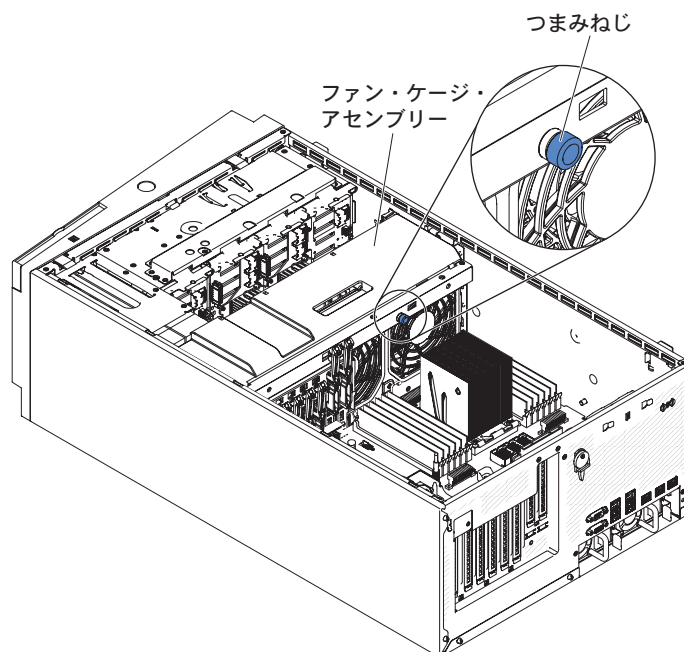
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. ファン・ケージ上のガイドをリリース・ラッチと位置合わせして、各サイドを開いた位置にします。
4. ファン・ケージ・アセンブリーをサーバー内に押し込みます。

注: ファン・ケージが完全に装着されたことを確認してください。

5. ファン・ケージ・リリース・ラッチを閉じた位置に回転させます。ファン・ケージは、固定されると完全に装着されます。



6. ファン・ケージ・リリース・ラッチのつまみねじを締めます。



7. ファン・ケージ・アセンブリの電源ケーブルをシステム・ボードに接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
8. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。

9. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーの取り外し

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

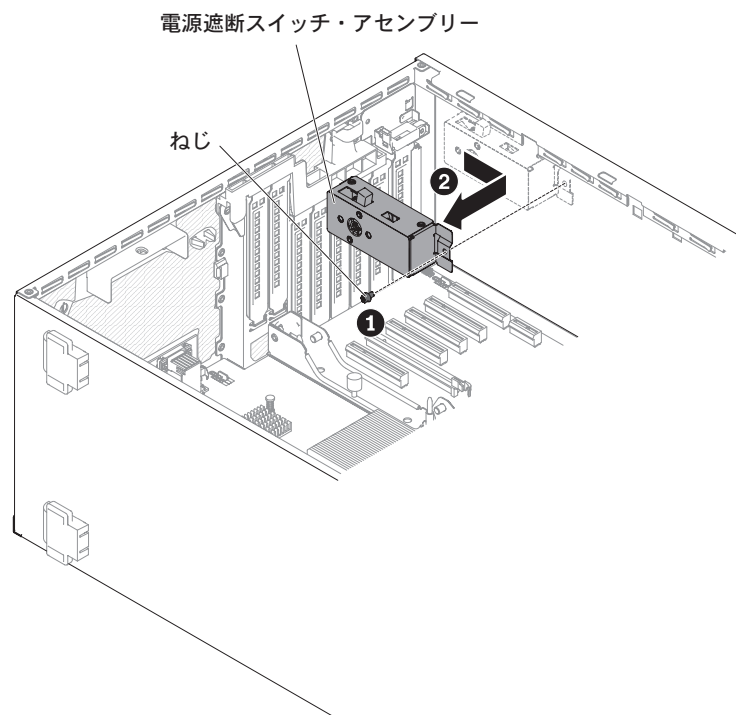
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. システム・ボードからケーブルを取り外します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
4. 電源遮断スイッチ・アセンブリーを固定しているねじをシャーシの壁面から取り外します。



5. スイッチ・アセンブリーをサーバー前面に向けて引き、サーバーから取り外します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーの取り付け

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

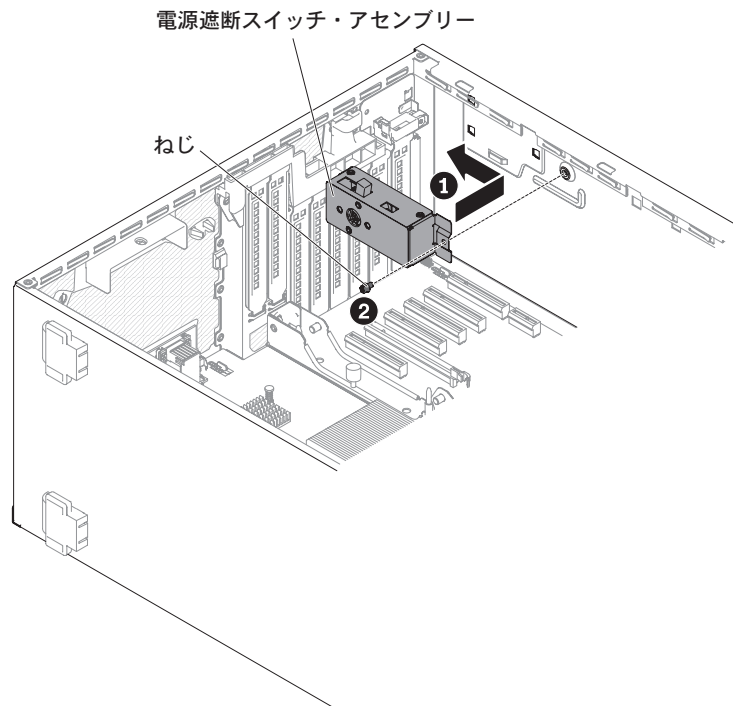
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. 電源遮断スイッチ・アセンブリーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから電源遮断スイッチ・アセンブリーを取り出します。
4. 電源遮断スイッチ・アセンブリーをシャーシ壁面の穴に位置合わせし、アセンブリーをサーバー背面に向けて押します。



5. 電源遮断スイッチ・アセンブリーを固定するねじをシャーシ壁面に取り付けます。
6. シャーシ内でケーブルをシステム・ボードに接続します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
7. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

電源パドル・カードの取り外し

電源パドル・カードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

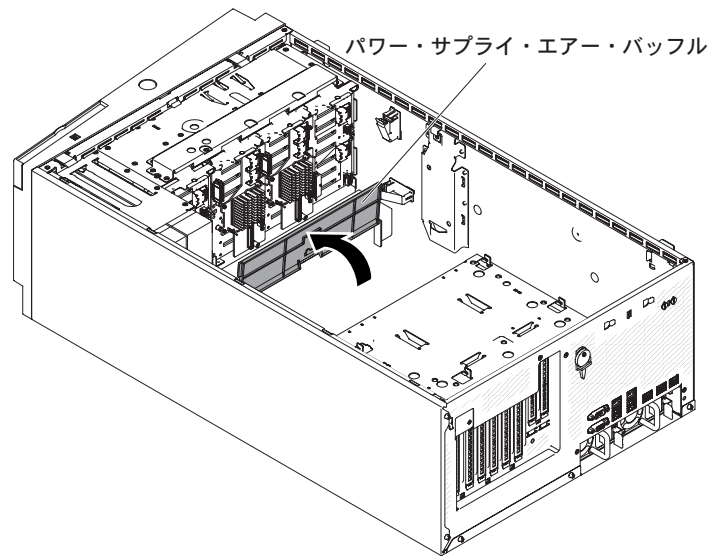
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

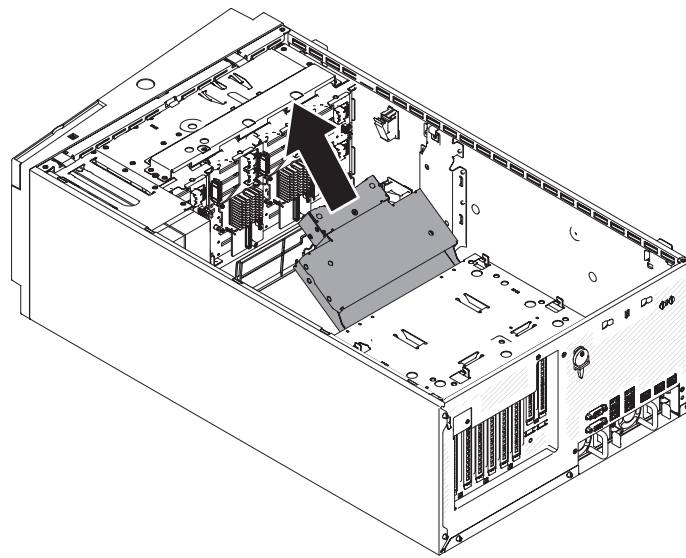
電源パドル・カードを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

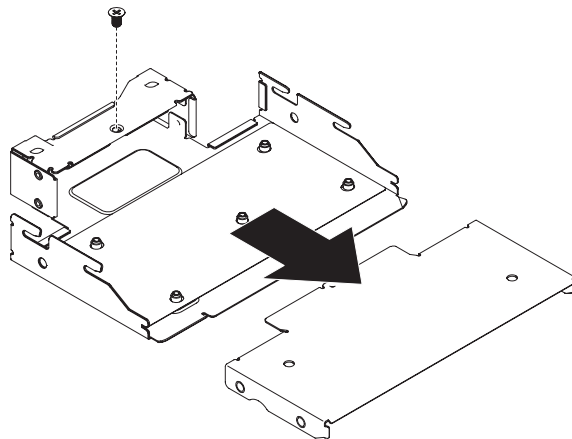
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードからすべての長いカードを取り外します。
5. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 接続されたすべてのケーブルを電源パドル・カード・ケージ・アセンブリーから切り離します。
7. パワー・サプライを取り外します (304 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し』を参照)。
8. パワー・サプライ・エアー・バッフルを上回転させます。



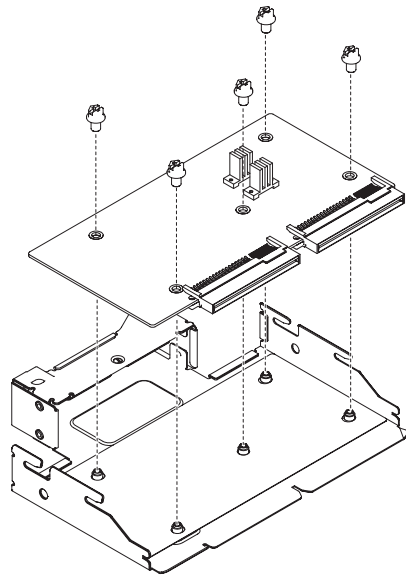
9. パドル・カード・ケージ・アセンブリのハンドルをつかみ、サーバーから引き抜きます。



10. ネジを緩めて電源パドル・カードのトップ・カバーを取り外します。



11. 5 個のねじを緩めて、電源パドル・カードを取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

電源パドル・カードの取り付け

電源パドル・カードを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

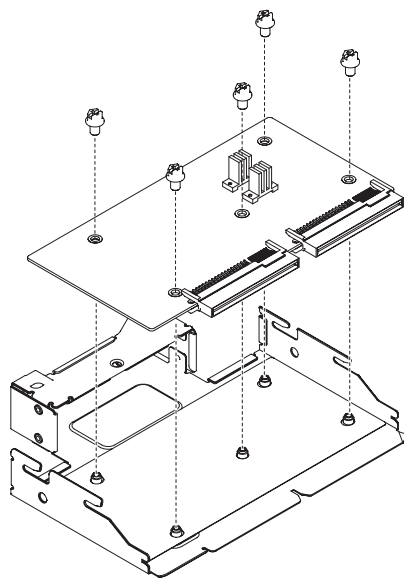
このタスクについて

電源パドル・カードを取り付けるには、次のステップを実行してください。

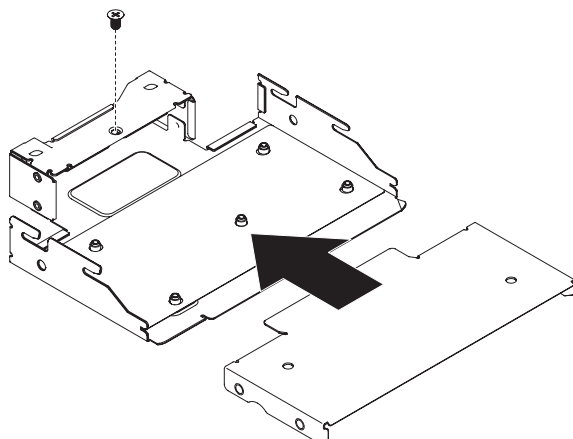
手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードからすべての長いカードを取り外します。

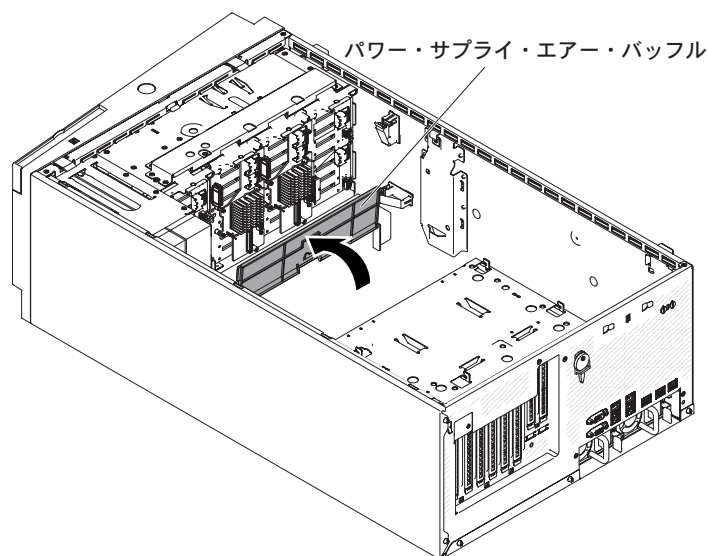
5. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 電源パドル・カードをケージ・アセンブリーに位置合わせします。次に、5 個のねじを締めて電源パドル・カードを固定します。



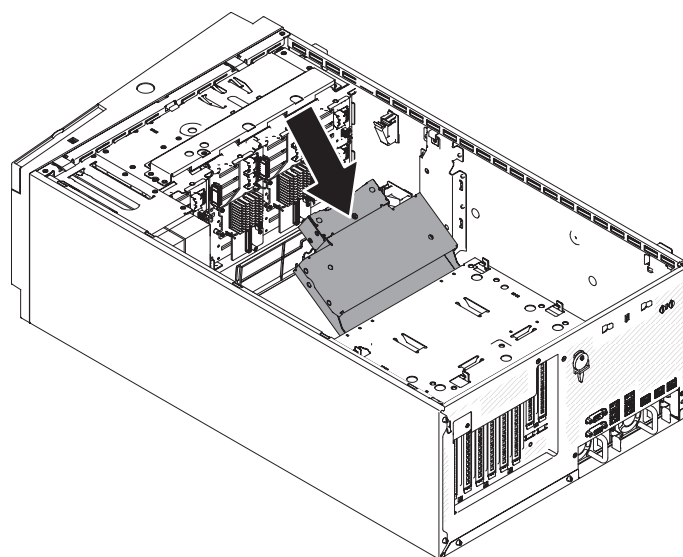
7. 電源パドル・カードのトップ・カバーをケージ・アセンブリーに位置合わせします。次に、ねじを締めて電源パドル・カードのトップ・カバーを固定します。



8. パワー・サプライ・エアー・バッフルを上回転させます。



9. カチッと音がして所定の位置に収まるまで、電源パドル・カード・ケージ・アセンブリーをサーバーに押し込みます。



10. 内部電源ケーブルを電源パドル・カード・ケージ・アセンブリーに再接続します。
11. ファン・ケージ・アセンブリーを再び取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り付け』を参照)。
12. パワー・サプライを再び取り付けます (100 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け』を参照)。
13. エアー・バッフルを再び取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
14. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。
15. サーバーを元どおり垂直に立てます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプと、マイクロプロセッサとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- 2 番目のマイクロプロセッサを取り付けるために、最初のマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外さないでください。
- オプションの追加マイクロプロセッサを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイ

クロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する『L』と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する『H』です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサ取り付けツール A および B を、次の図に示します。

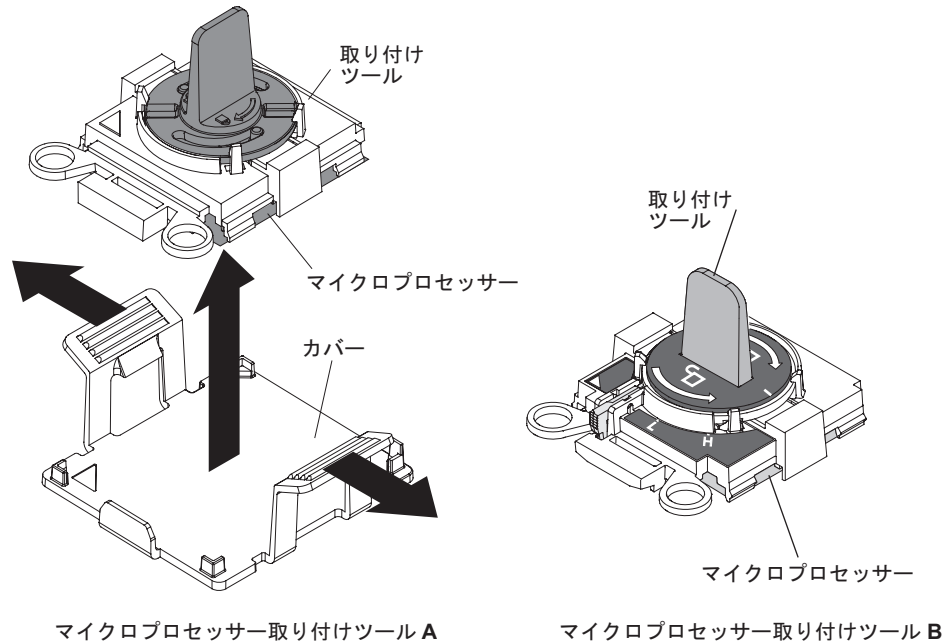


図 48. マイクロプロセッサ取り付けツール

このタスクについて

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、以下のステップを実行してください。

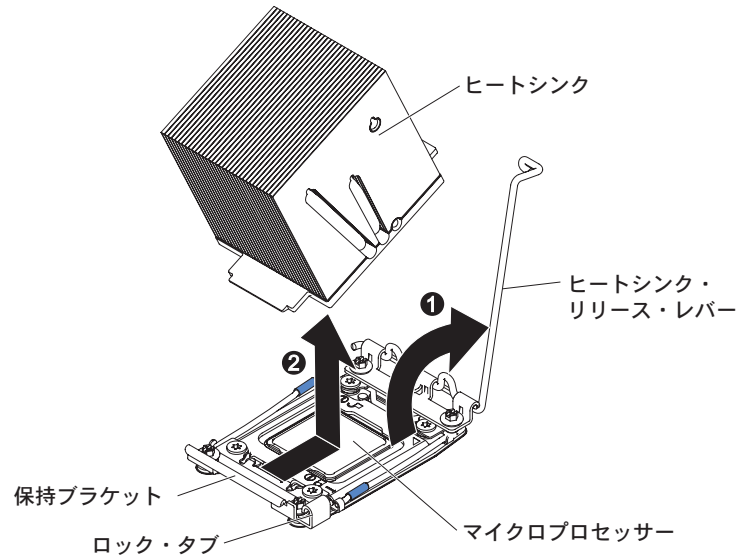
手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. 次のように、ヒートシンクを取り外します。

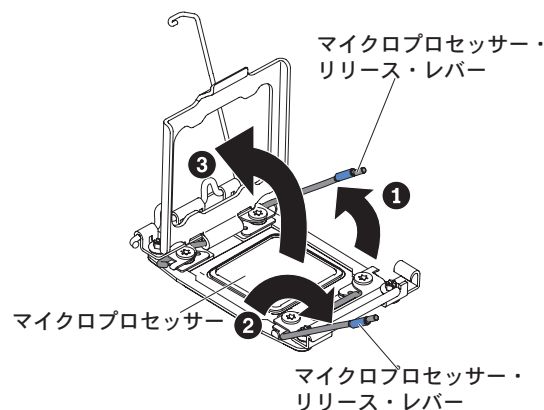
重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

- a. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを完全に開いた位置にします。

- b. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。



5. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。



- a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
- b. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
- c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

重要: マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。 マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

6. 次のように、マイクロプロセッサ取り付けツールにマイクロプロセッサを取り付けます。

注: マイクロプロセッサを交換する場合は、新規のマイクロプロセッサに付属の空の取り付けツールを使用してマイクロプロセッサを取り外します。

- a. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。取り付けツールのハンドルが開いた位置になっていない場合は、ご使用の取り付けツールに以下の手順を使用します。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させます。

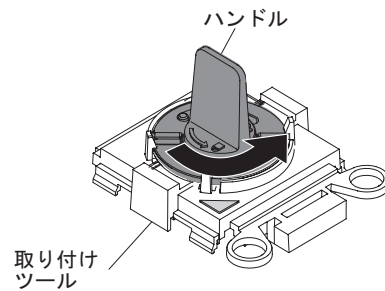


図 49. 取り付けツール・ハンドルの調整

- 取り付けツール B を使用している場合は、インターロック・ラッチを持ち上げたまま **1**、マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させてから **2**、インターロック・ラッチを放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。

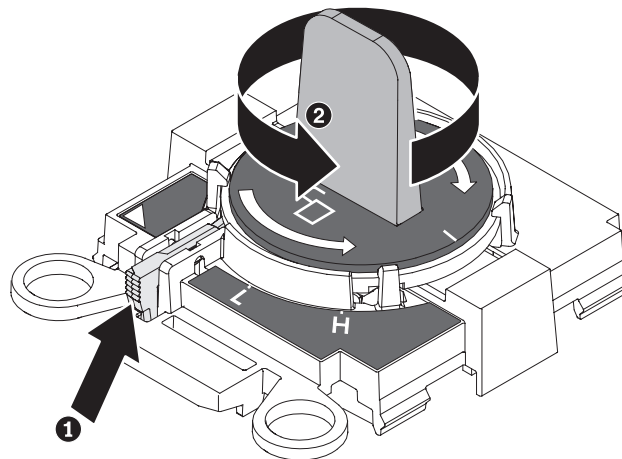
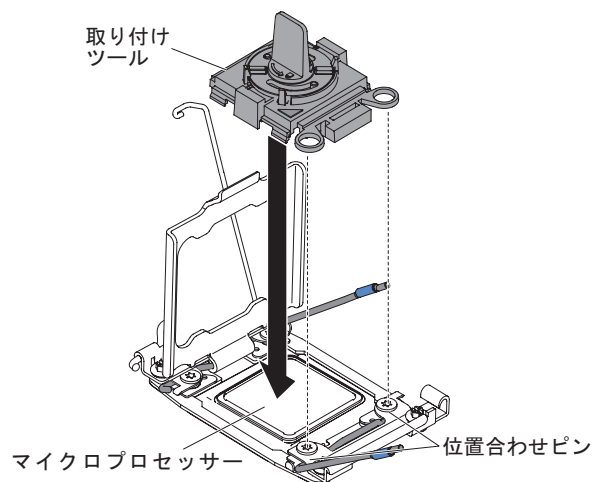
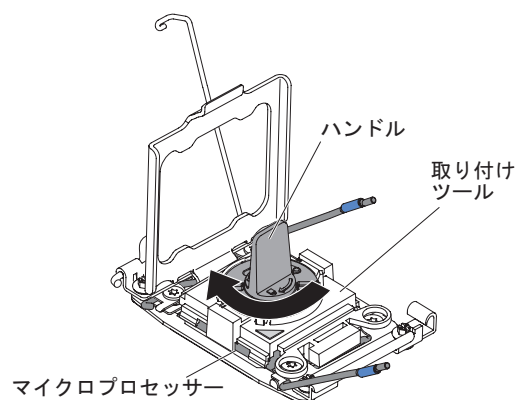


図 50. 取り付けツール・ハンドルの調整

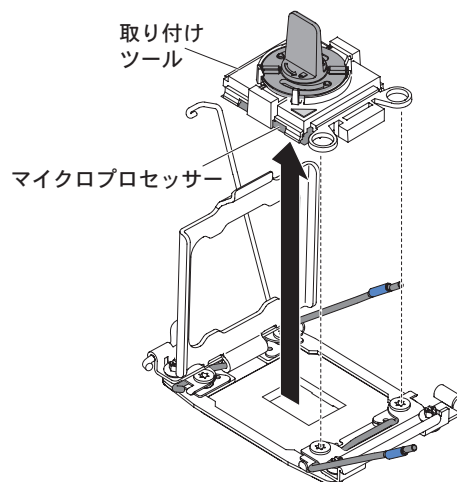
- b. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットの位置合わせピンに合わせ、ツールをマイクロプロセッサの上に下ろします。取り付けツールは、正しく位置合わせされた場合にのみ、ソケット上に平坦に載ります。



c. 取り付けツールのハンドルを右回りに回転させます。



d. マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから取り外します。



7. マイクロプロセッサをソケットに取り付けない場合は、以前のステップで取り外したソケット・カバーをマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。

重要: ソケット上のピンは壊れやすい物です。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

以下に、サーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプの説明と、マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。

- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- このサーバーは、LGA 2011 ソケット用に設計された、特定の Intel Xeon スケラブル・マルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。これらのマイクロプロセッサは、内蔵メモリー・コントローラー、quick-path interconnect、最終キャッシュ共用を備えた、64 ビット・デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロセッサです。サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサを混用しないでください。
- このサーバーは、マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが取り付けられている場合、最大 2 個のマイクロプロセッサをサポートします。

注: マイクロプロセッサ 2 拡張ボードは、2 個目のマイクロプロセッサが取り付けられている場合にサポートされます。

- 2 個のマイクロプロセッサが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するために、エアー・バッフルおよびファン 2 を取り付けする必要があります。
- 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、追加のメモリー、エアー・バッフル、およびファン 2 を取り付けする必要があります。取り付け順序については、66 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 追加のマイクロプロセッサを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサを使用してください。

- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサの混用はサポートされています。
- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサを混用する場合、マイクロプロセッサ・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサを取り付ける必要はありません。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。サーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、
<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサ速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサ周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー（例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール）をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、99 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

注： ヒートシンクをマイクロプロセッサから取り外すと、熱伝導グリースの均等な分散が損なわれるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

- 2 番目のマイクロプロセッサを取り付けるために、最初のマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外さないでください。
- オプションの追加マイクロプロセッサを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

マイクロプロセッサ取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する『L』と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する『H』です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサ・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサ取り付けツール A および B を、次の図に示します。

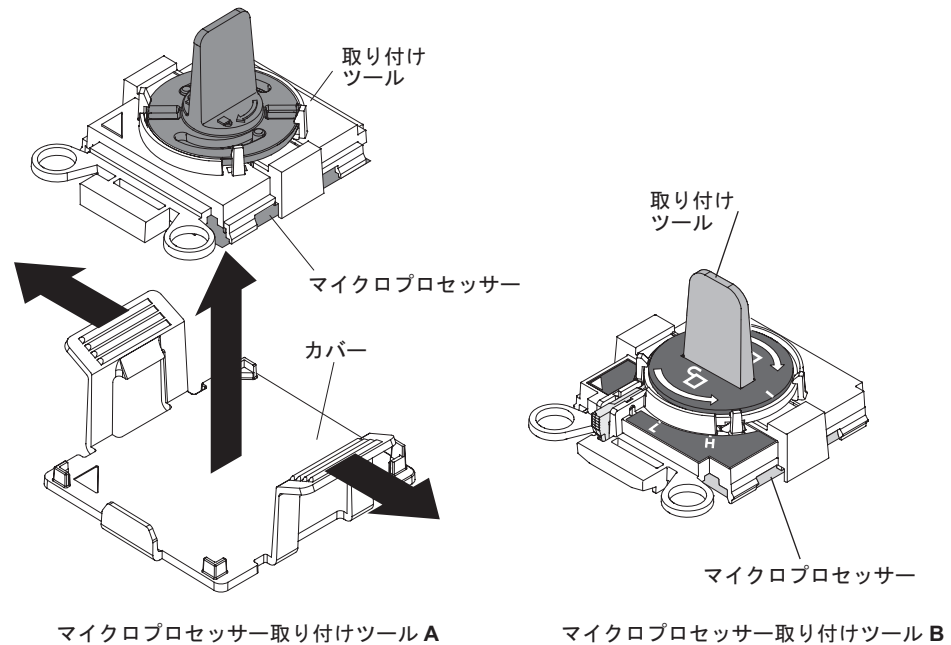


図 51. マイクロプロセッサ取り付けツール

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

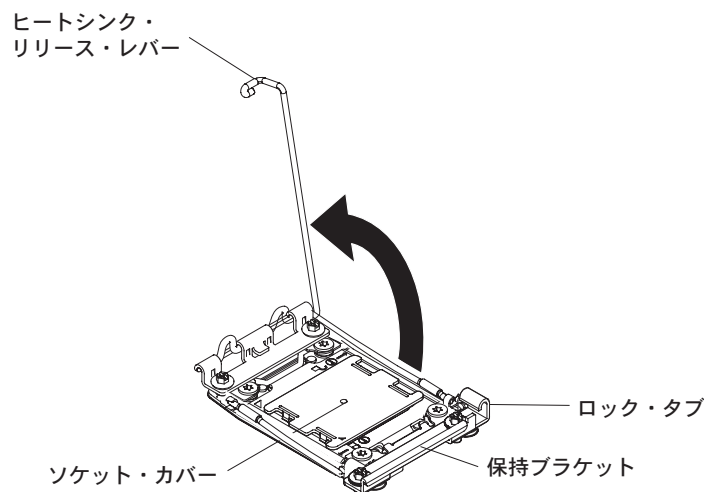
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

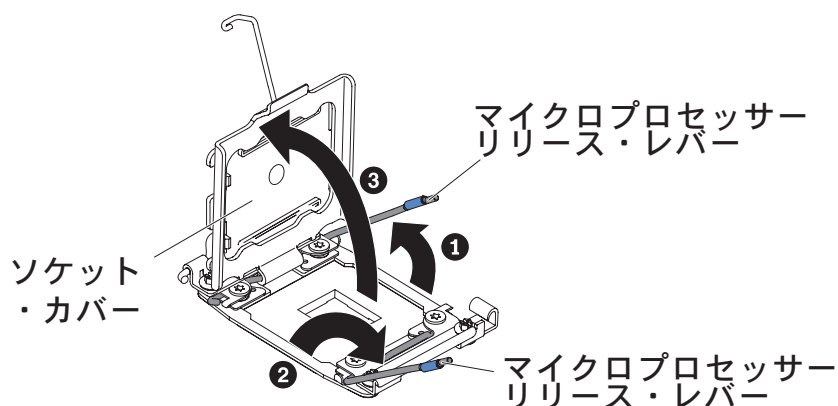
マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

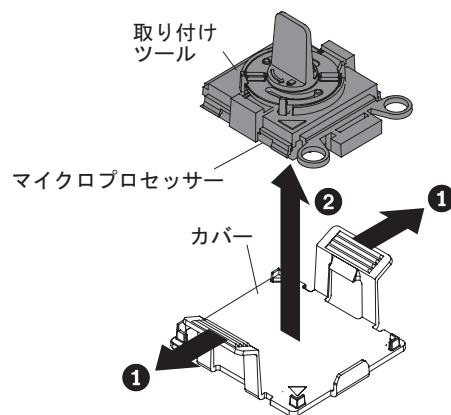
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを開いた位置まで回転させます。



5. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

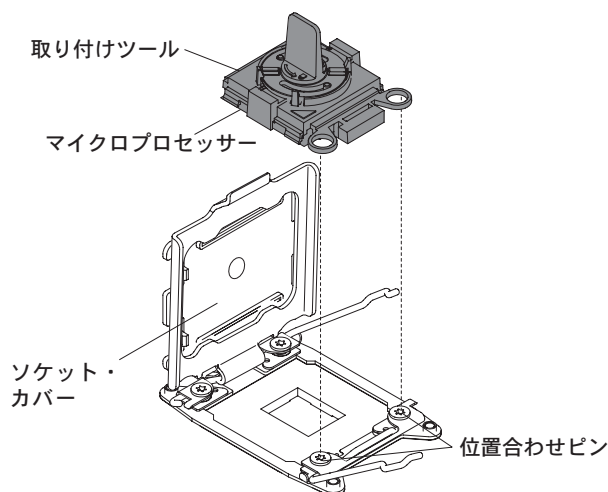


- a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
- b. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
- c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。
重要: マイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ・ソケット上のコネクタには触らないでください。
6. 次のように、マイクロプロセッサをマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。
 - a. 新規のマイクロプロセッサが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面またはその他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、マイクロプロセッサを慎重にパッケージから取り出します。
 - b. カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサは、取り付けツールに事前に取り付けられています。



注: マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。 マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

- c. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



- d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサを取り付けます。
- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサ・ツール・アセンブリのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。
 - 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

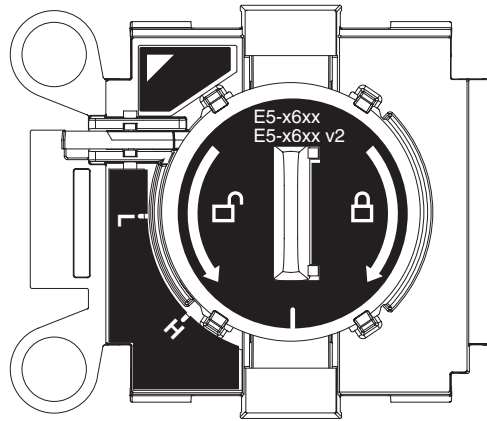


図 52. 取り付けツール B

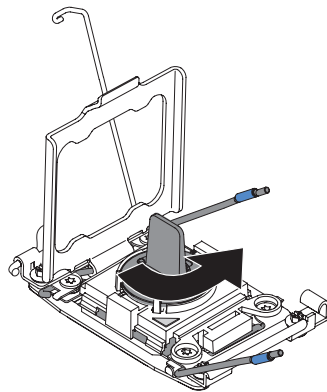
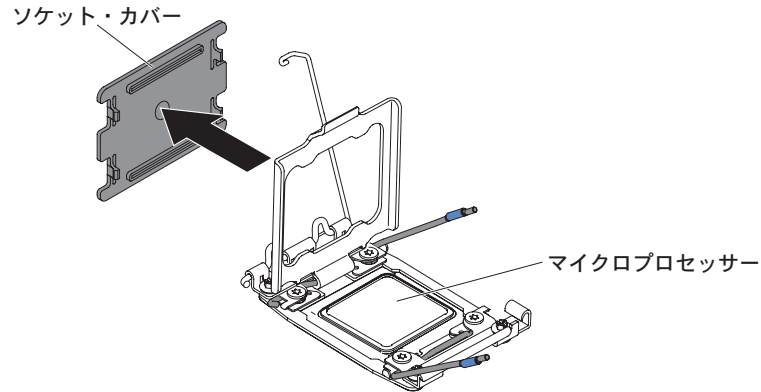


図 53. 取り付けツール・ハンドルの調整

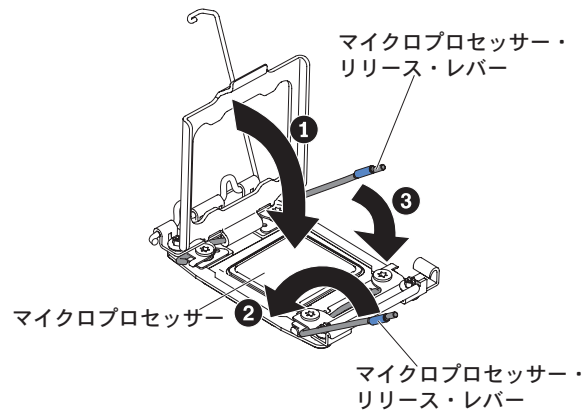
重要:

- マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。
 - マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
 - ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサの上部の熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。
7. マイクロプロセッサ・ソケットのダスト・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらをマイクロプロセッサ・ソケットの表面から取り外します。ソケット・カバーを安全な場所に保管します。



重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う際には、静電気による損傷を避けるための予防処置をとってください。これらの部品の取り扱いについて詳しくは、41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

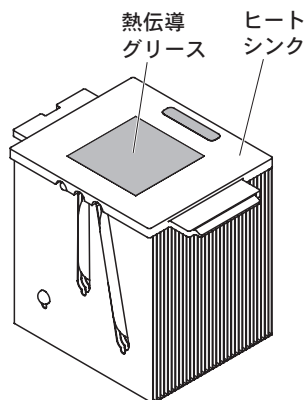
8. 次のように、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。
 - a. マイクロプロセッサ・ソケット上のマイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
 - b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
 - c. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。



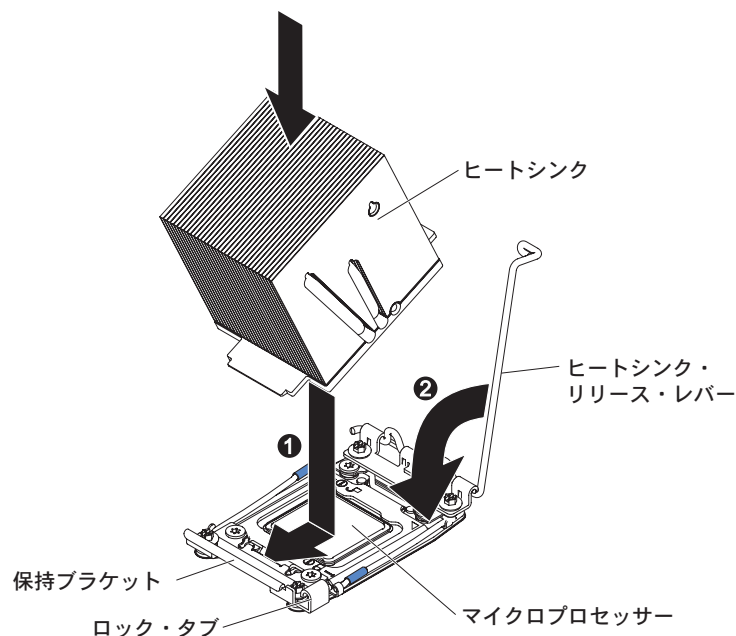
9. ヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触れると、熱伝導グリースが汚染されます。詳しくは、99 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。



- ヒートシンクの下部から、プラスチック製の保護カバーを取り外します。
- マイクロプロセッサの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。
- 熱伝導材側を下にして、ヒートシンクを保持ブラケット内のマイクロプロセッサの上に位置合わせして置きます。
- ヒートシンクをしっかりと押します。
- ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを閉じた位置に回転し、ロック・タブの下にフックさせます。



10. 2 個目のマイクロプロセッサを取り付けた場合は、エアー・バッフル (107 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照) およびファン 2 (276 ページの『シンプル・スワップ・ファンの取り付け』を参照) を取り付けます。
11. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

熱伝導グリース:

マイクロプロセッサ上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

始める前に

マイクロプロセッサから取り外したヒートシンクを、元のマイクロプロセッサに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』の『安全について』をお読みください。
- 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

このタスクについて

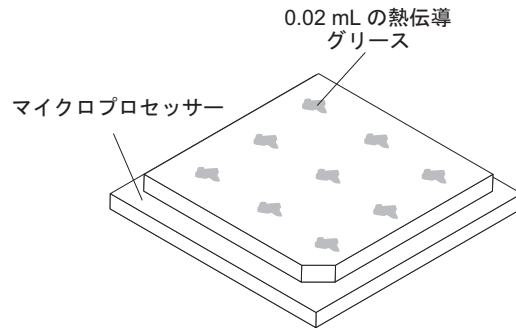
マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

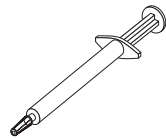
1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これを行うのは、グリースを均等に配置するためです。



注: 注射器の 1 目盛りが 0.01 mL です。グリースが適切に塗布されると、注射器には約半分 (0.02 mL) のグリースが残ります。

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます (343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。

マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り外し

マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 各ケーブルがマイクロプロセッサ 2 拡張ボードのどこに接続されているかをメモしてから、それらのケーブルを切り離します。

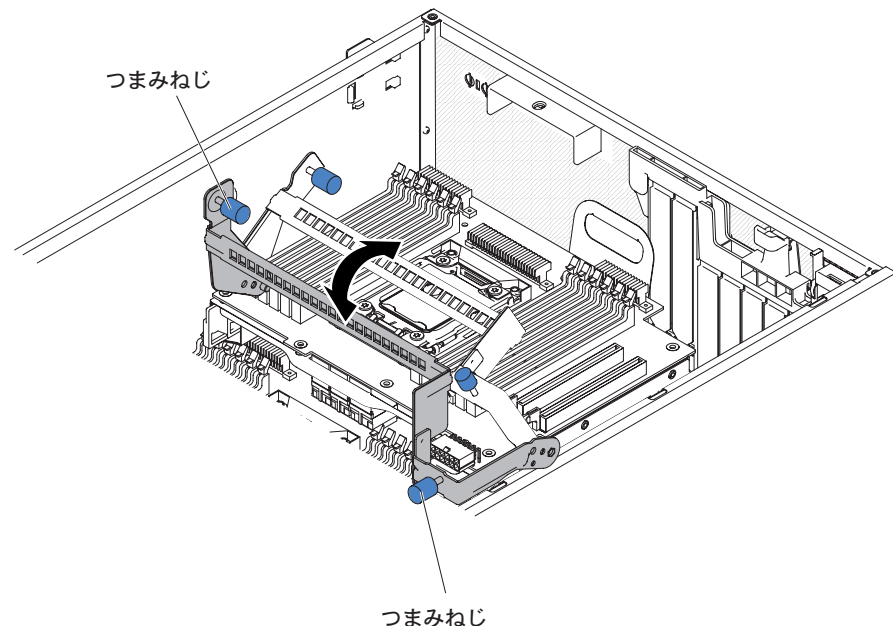
重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクタ上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』参照)。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすい物です。ケーブル・ソケットが損傷すると、マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの交換が必要になる場合があります。

6. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードに取り付けられている以下のコンポーネントをすべて取り外し、帯電防止された安全な場所に置きます。

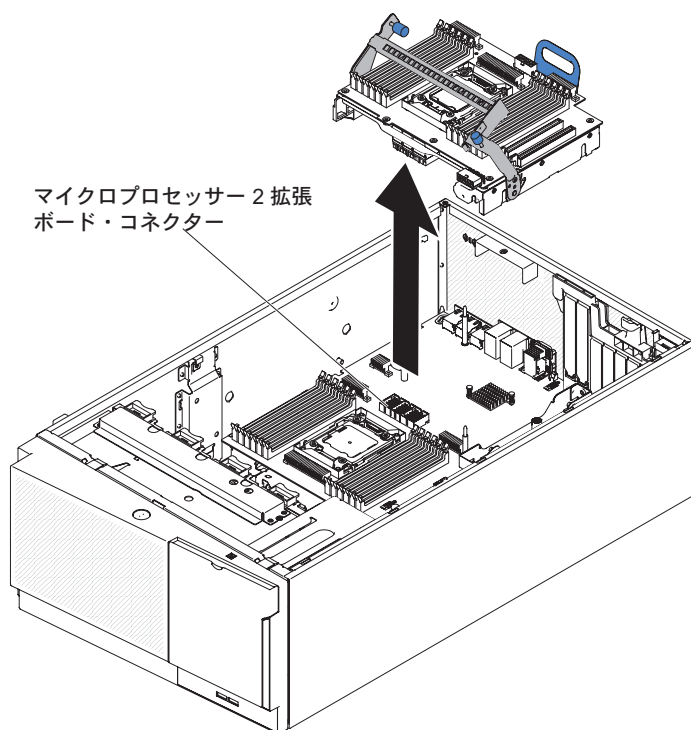
- アダプター (254 ページの『アダプターの取り外し』を参照)
- DIMMs (313 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)
- マイクロプロセッサおよびヒートシンク (338 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』を参照)

重要: 新規のマイクロプロセッサ 2 拡張ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したマイクロプロセッサ 2 拡張ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットにそのソケット・カバーを取り付けます。

7. リリース・レバーの 2 つのつまみねじを緩め、レバーを停止するまでシャーシ背面に向けて回転させます。リリース・レバーが完全に開くと、マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが少し持ち上がります。



8. リリース・レバーとハンドルをつかみ、慎重にマイクロプロセッサ 2 拡張ボードを持ち上げてサーバーから取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを返却する前に、マイクロプロセッサ 2 拡張ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け

マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

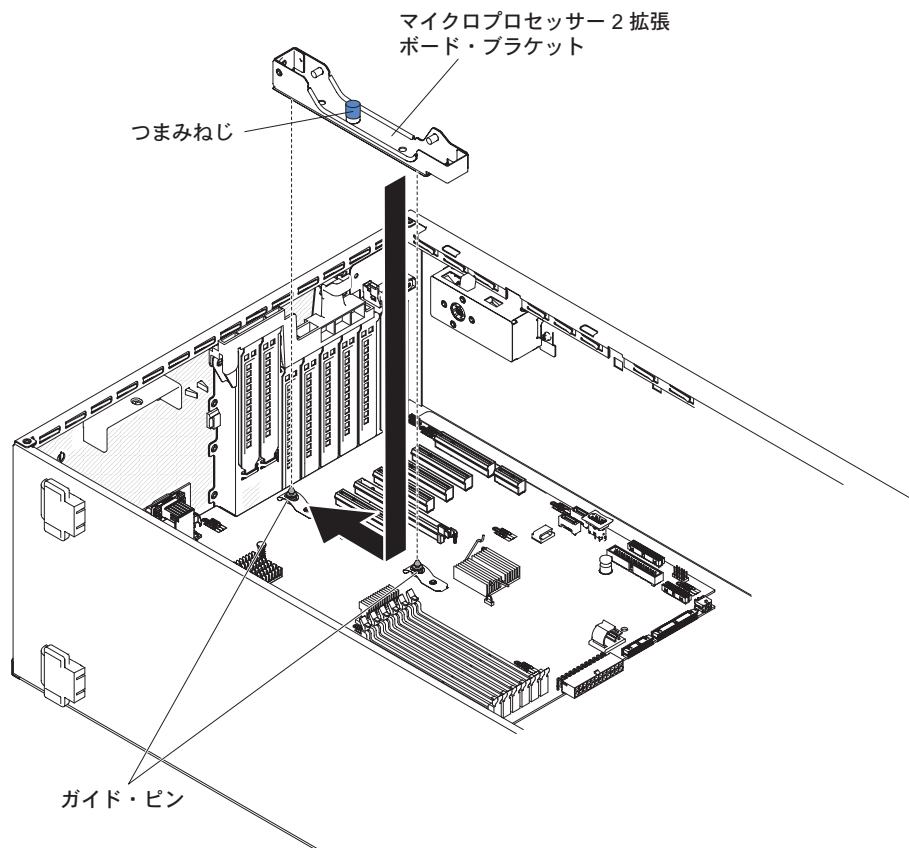
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

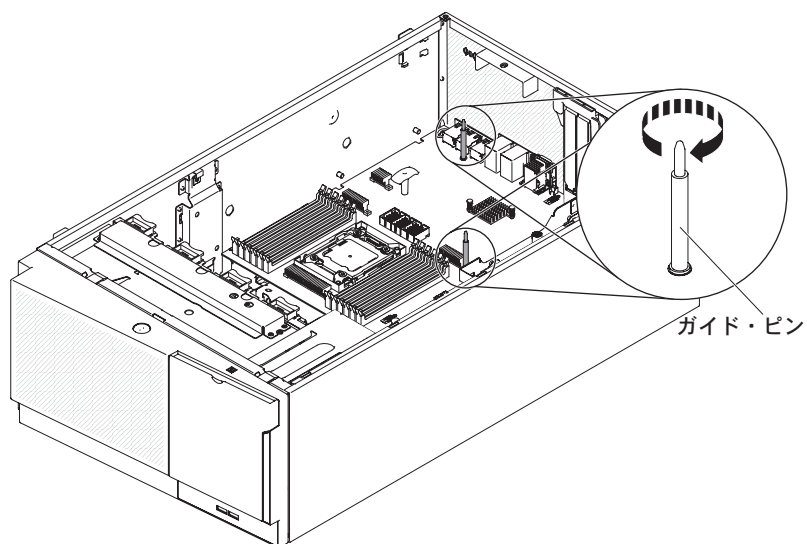
マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

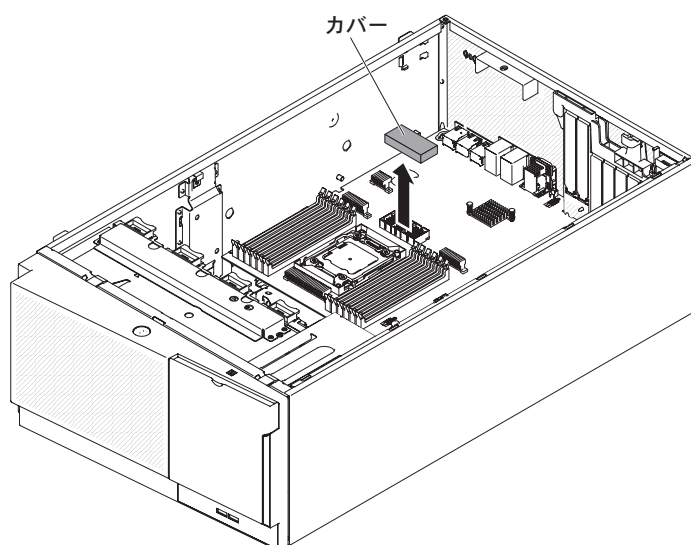
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからマイクロプロセッサー 2 拡張ボードを取り出します。
6. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのサイド・ブラケットを取り付けます。
 - a. サイド・ブラケットをシャーシ上の穴に位置合わせし、サイド・ブラケットをシステム・ボードに取り付けます。



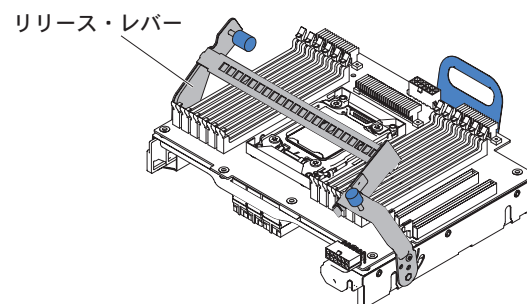
- b. サイド・ブラケットをサーバー背面に向けてスライドさせます。
 - c. サイド・ブラケットのつまみねじを締めます。
7. システム・ボードに 2 つのガイド・ピンを取り付けます。



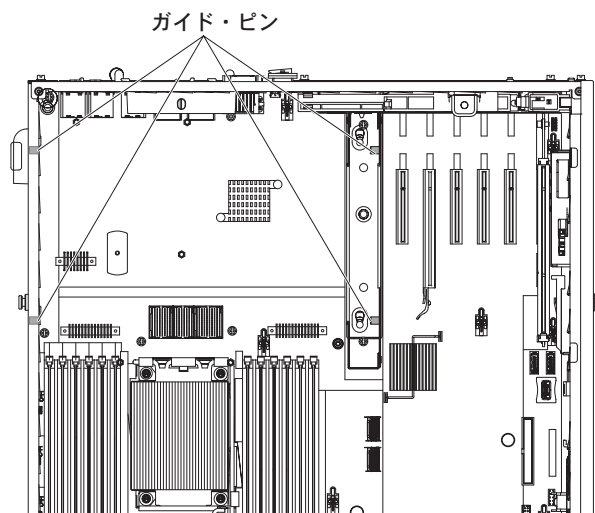
8. マイクロプロセッサ 2 拡張ボード・コネクタ上のカバーをシステム・ボードから取り外します。



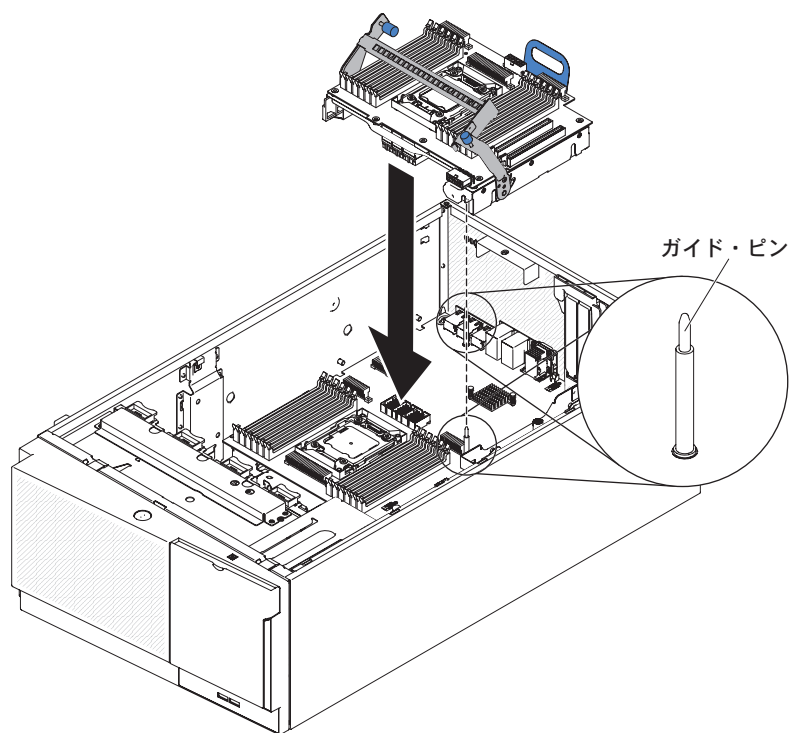
9. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードのリリース・レバーが開いた位置にあることを確認します。



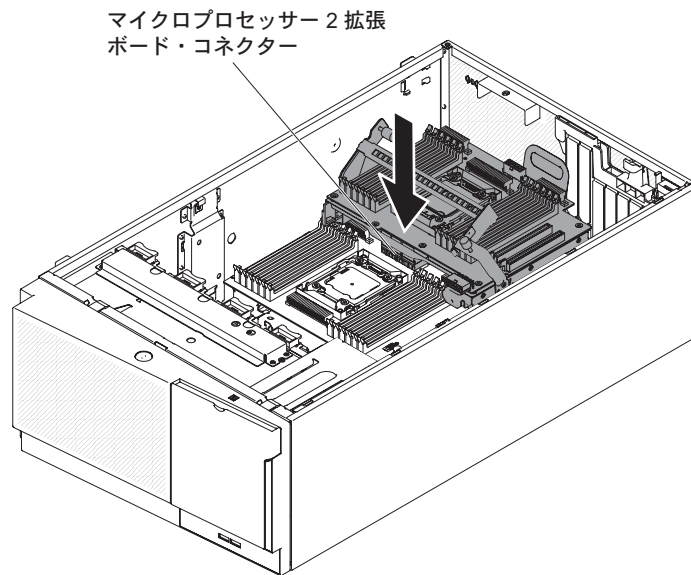
10. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを、シャーシ下部およびサイド・ブラケットのガイド・ピンに位置合わせします。



11. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの穴をシステム・ボード上のガイド・ピンに位置合わせします。マイクロプロセッサ 2 拡張ボードをシステム・ボードに取り付けます。

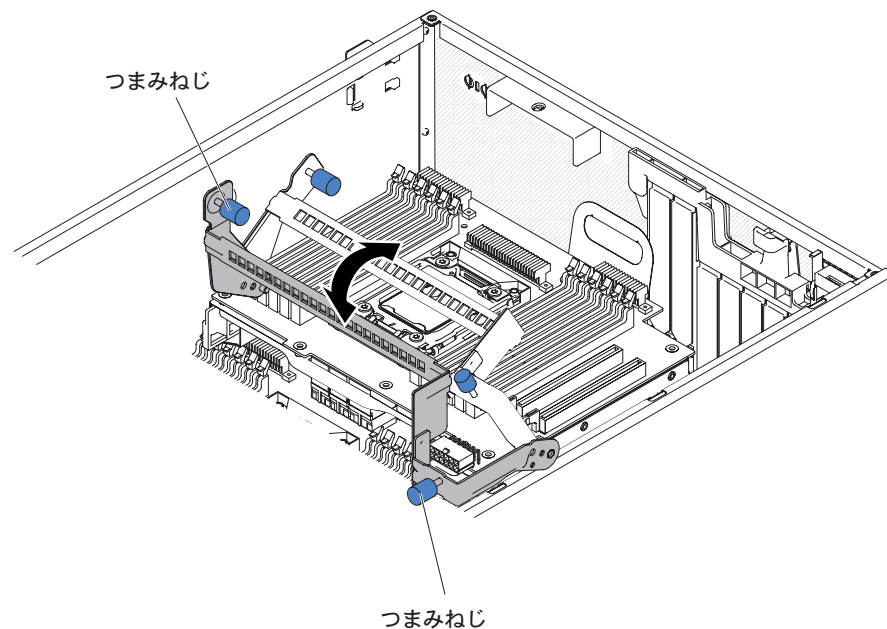


12. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードをシステム・ボードに水平にしっかりと押し込みます。



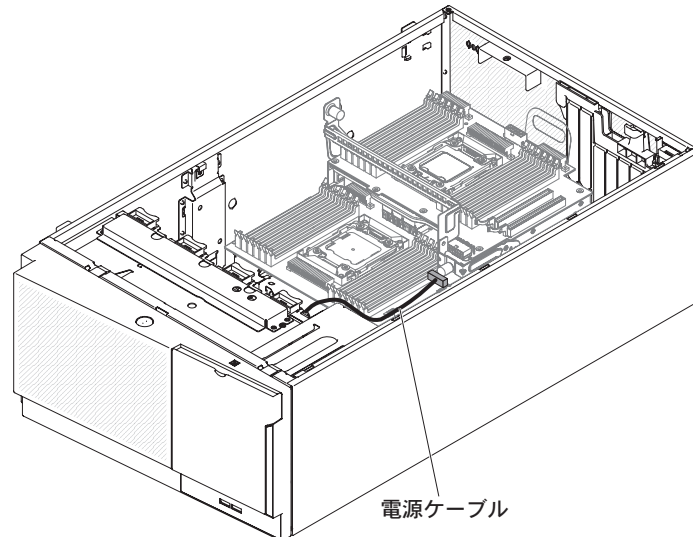
注:

- a. 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
 - b. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの下にサーバー・ケーブルが引っ掛かっていることを確認してください。
13. リリース・レバーをサーバーの前方に向けて回転させ、マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを所定の位置に固定します。

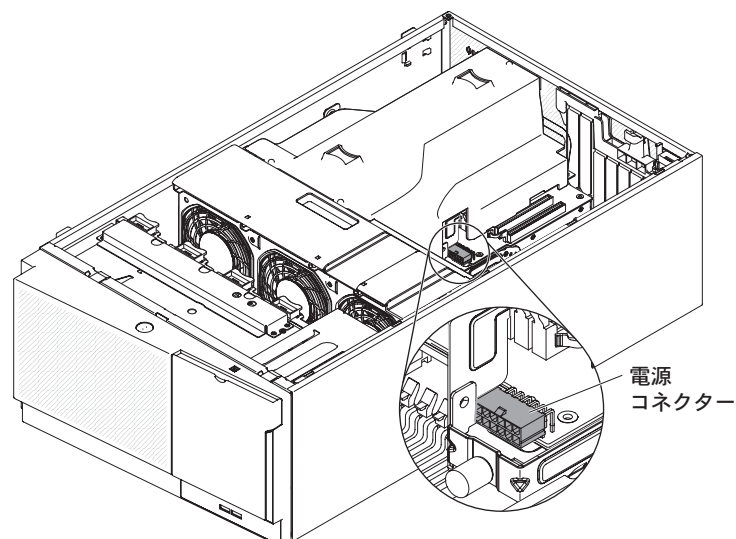


注: マイクロプロセッサ 2 拡張ボードのコンネクターを押し、確実にコンネクターをシステム・ボードにしっかりと装着します。

14. リリース・レバーの 2 つのつまみねじを締めます。
15. 電源パドル・カードからマイクロプロセッサ 2 拡張ボードの電源コンネクターに電源ケーブルを配線します。



16. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードから取り外した以下のコンポーネントをすべて取り付けます。
 - マイクロプロセッサおよびヒートシンク (343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)
 - DIMMs (321 ページの『DIMM の取り付け』を参照)
 - アダプター (258 ページの『アダプターの取り付け』を参照)
17. 取り外し時に切り離していたすべてのケーブルをマイクロプロセッサ 2 拡張ボードに再接続します (31 ページの『システム・ボードの内部コンネクター』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコンネクター』を参照)。



注:

- a. 電源パドル・カードからマイクロプロセッサ 2 拡張ボードの電源コネクタに電源ケーブルを接続します。
 - b. 電源ケーブルを接続する前にエアー・バッフルを取り付ける必要がある場合があります。
18. ファン・ケージ・アセンブリを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリの取り付け』を参照)。
 19. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
 20. パワー・サプライを取り付けます (100 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け』を参照)。
 21. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。
 22. サーバーを元どおり垂直に立てます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

ヒートシンク保持モジュールの取り外し

ヒートシンク保持モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

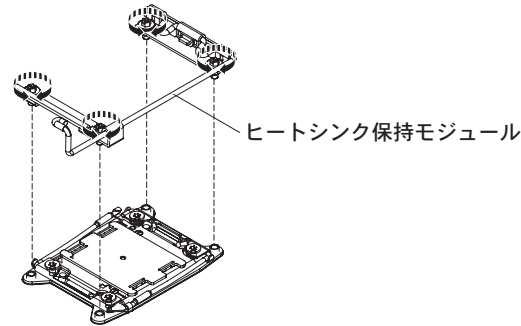
ヒートシンク保持モジュールを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ヒートシンクを取り外します (338 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』を参照)。

注: マイクロプロセッサとヒートシンクを取り外す場合、再取り付け時のことを考えて、各ヒートシンクとマイクロプロセッサは一緒にしておきます。

5. ドライバーを使用して、保持モジュールをシステム・ボードに固定している 4 つのねじを外します。次に、保持モジュールを持ち上げてシステム・ボードから外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ヒートシンク保持モジュールの取り付け

ヒートシンク保持モジュールを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

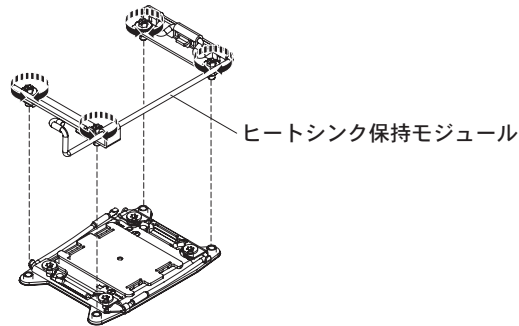
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

ヒートシンク保持モジュールを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. 保持モジュールとシステム・ボード上の穴とを位置合わせします。
5. ドライバーを使用して、4 つのねじを取り付けます。



6. ヒートシンクを取り付けます (343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。

重要: 各ヒートシンクを、必ずそれとペアになっているマイクロプロセッサに取り付けるようにしてください。

7. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
8. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

注:

1. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。システム・ボードを交換した後、すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、『*IBM Features on Demand User's Guide*』に説明があります。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/>にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
3. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール II (IMM2) 拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、131 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

注: システム・ボードを交換した後は、Features on Demand (FoD) を再アクティブ化する必要があります。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

このタスクについて

システム・ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

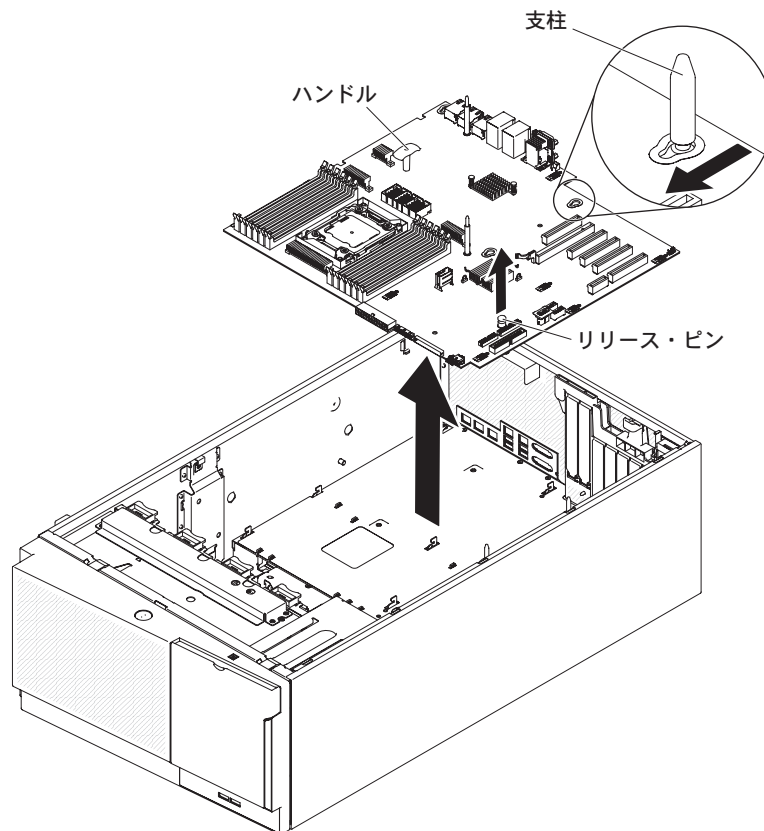
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (221 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (326 ページの『ファン・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 各ケーブルがシステム・ボードのどこに接続されているかをメモしてから、それらのケーブルを切り離します。

重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクタ上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します (368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』参照)。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷することになります。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

6. システム・ボードに取り付けられている以下のコンポーネントをすべて取り外し、帯電防止された安全な場所に置きます。
 - アダプター (254 ページの『アダプターの取り外し』を参照)
 - DIMMs (313 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)
 - マイクロプロセッサおよびヒートシンク (338 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』を参照)

注:

- a. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けてください。
 - b. 熱伝導グリースが何かに触れないように注意し、また、再取り付けの際に、それぞれのヒートシンクが必ず元のマイクロプロセッサとペアになるようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。マイクロプロセッサとその元のヒートシンクとの間にミスマッチがある場合は、新しいヒートシンクを取り付けることが必要になることがあります。
- マイクロプロセッサ 2 拡張ボード (352 ページの『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り外し』を参照)
 - バッテリー (278 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)
 - ハイパーバイザー (324 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』)
 - リモート RAID バッテリー・ホルダー (224 ページの『RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し』を参照)
7. システム・ボード上のハンドルを握ったままリリース・ピンを引き上げ、システム・ボードをサーバー前面に向けてスライドさせてシャーシからタブを外します。次に、ハンドルをつかみ、慎重にシステム・ボードを持ち上げてサーバーから取り外します。



8. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・ダスト・カバーを取り外し、取り外す古いシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

システム・ボードの取り付け

システム・ボードを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

注:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、ディスクまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。113 ページの『ファームウェアの更新』、138 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』、および 141 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール II (IMM2) 拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、131 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
4. システム・ボードを交換した後、すべての **Features on Demand** 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

vii ページの『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

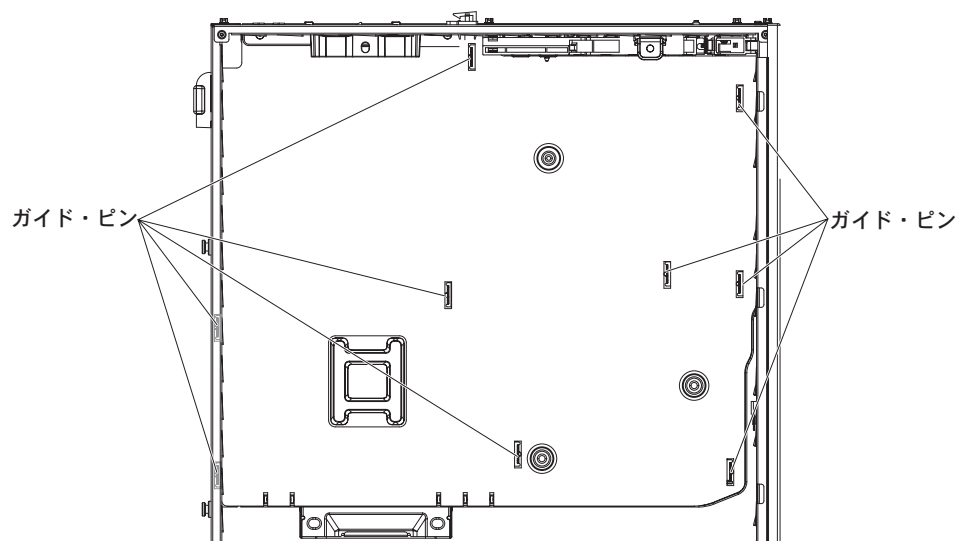
このタスクについて

システム・ボードを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

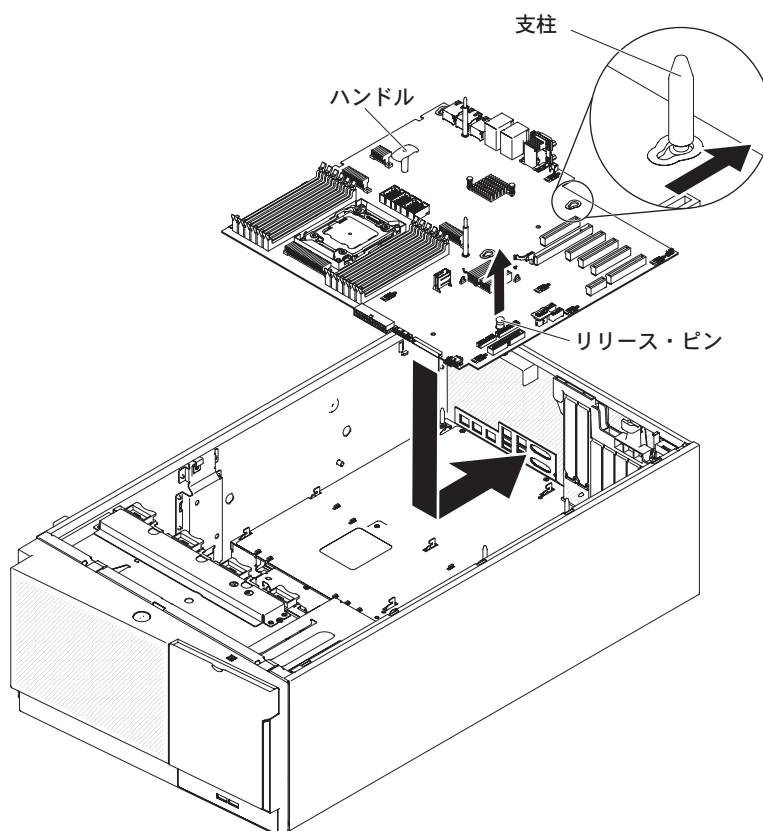
1. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからシステム・ボードを取り出します。

2. シャーシ上のガイド・ピンをシステム・ボード上の穴と位置合わせします。次に、システム・ボードを挿入します。



注: サーバー・ケーブルがシステム・ボードの下に引っ掛からないように気を付けてください。

3. リリース・ピンを少し引き上げ、システム・ボードをサーバー背面に向けてスライドさせます。



注: サーバー・ケーブルがシステム・ボードの下に引っ掛からないように気を付けてください。

4. システム・ボードから取り外していた以下のコンポーネントをすべて取り付けます。
 - マイクロプロセッサ 2 拡張ボード (354 ページの『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)
 - Microprocessor and heat sink (see 343 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』)
 - DIMMs (321 ページの『DIMM の取り付け』を参照)
 - アダプター (258 ページの『アダプターの取り付け』を参照)
 - バッテリー (365 ページの『システム・ボードの取り付け』を参照)。
 - ハイパーバイザー (325 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け』を参照)。
5. 取り外し時に切り離していたすべてのケーブルをシステム・ボードに再接続します (31 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』および 368 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。
6. ファン・ケージ・アセンブリを取り付けます (328 ページの『ファン・ケージ・アセンブリの取り付け』を参照)。
7. エアー・バッフルを取り付けます (222 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
8. パワー・サプライを取り付けます (100 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け』を参照)。
9. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (216 ページの『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。
10. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
11. Setup ユーティリティを開始して構成をリセットします。
 - a. システムの日付と時刻を設定します。
 - b. 始動パスワードを設定します。
 - c. サーバーを再構成します。

詳しくは、119 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

12. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスクセットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
13. UUID を更新してください (138 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
14. DMI/SMBIOS を更新してください (141 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
15. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

内部ケーブルのルーティングおよびコネクター

このサーバーは SATA 接続装置、ホット・スワップ SATA 装置、ホット・スワップ SAS 装置、および DVD ドライブ装置をパワー・サプライおよびシステム・ボードに接続するのにケーブルを使用します。

電源ケーブルおよび信号ケーブルを内部ドライブに接続する前に、以下の情報をお読みください。

- サーバーに事前取り付けされたドライブは、電源ケーブルと信号ケーブルが接続されて出荷されます。いずれかのドライブを交換する場合は、どのケーブルがどのドライブに接続されているかを覚えておいてください。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがドライブの後部あるいはマイクロプロセッサや DIMM の上部への通気を妨害していないことを確認してください。

電源ケーブルの接続

次の図は、電源パドル・カードからシステム・ボードおよびマイクロプロセッサ 2 拡張ボードへの電源ケーブルの配線とコネクターを示しています。

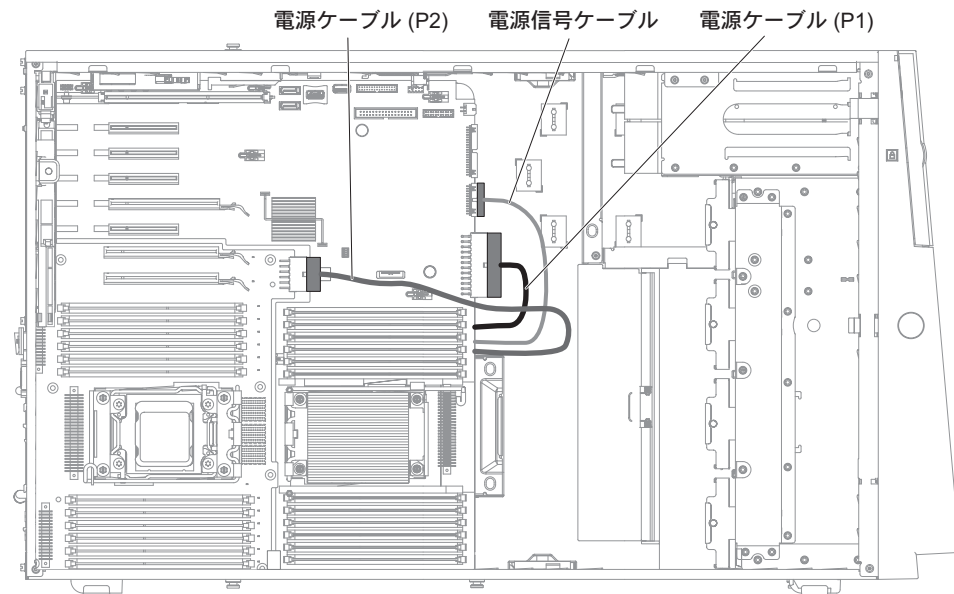


図 54. システム・ボードおよびマイクロプロセッサ 2 拡張ボードにおける電源ケーブルの配線

オペレーター情報パネルのケーブル接続

次の図は、オペレーター情報パネルからシステム・ボードへの内部ケーブルの配線とコネクタを示しています。

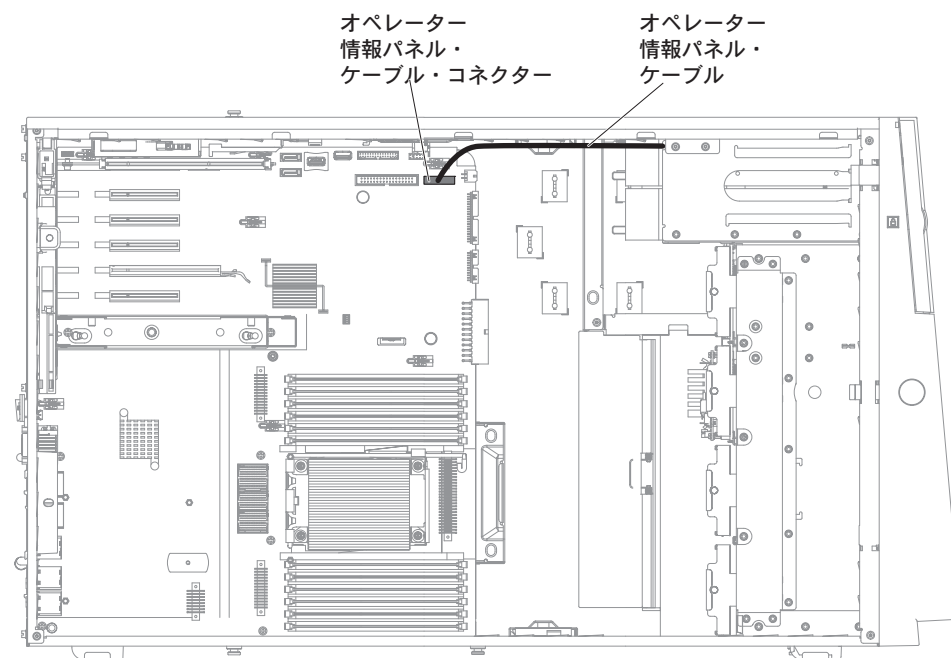


図 55. オペレーター情報パネルからシステム・ボードへの内部ケーブルの配線とコネクタ

Light Path 診断パネルのケーブル接続

次の図に、Light Path 診断パネルからシステム・ボードへの内部ケーブルのルーティングとコネクタを示します。

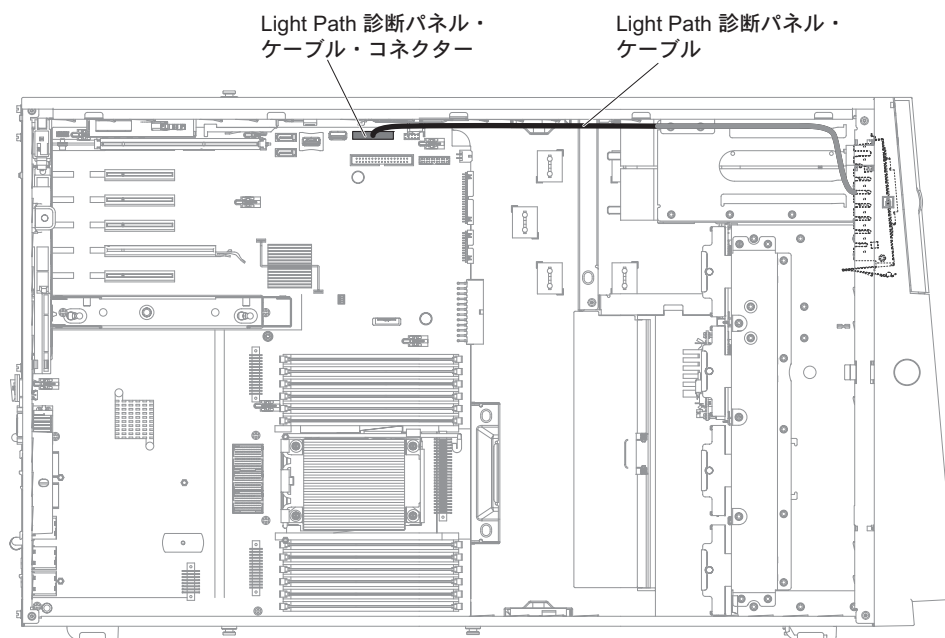


図 56. *Light Path* 診断パネルからシステム・ボードへの内部ケーブルのルーティングとコネクター

テープ・ドライブのケーブル接続

USB または SATA テープ・ドライブをサーバーに取り付けることができます。

次の図は、USB テープ・ドライブに関する内部ケーブル・ルーティングおよびコネクターを示しています。また、光学式ドライブ用の内部電源ケーブルも示しています。

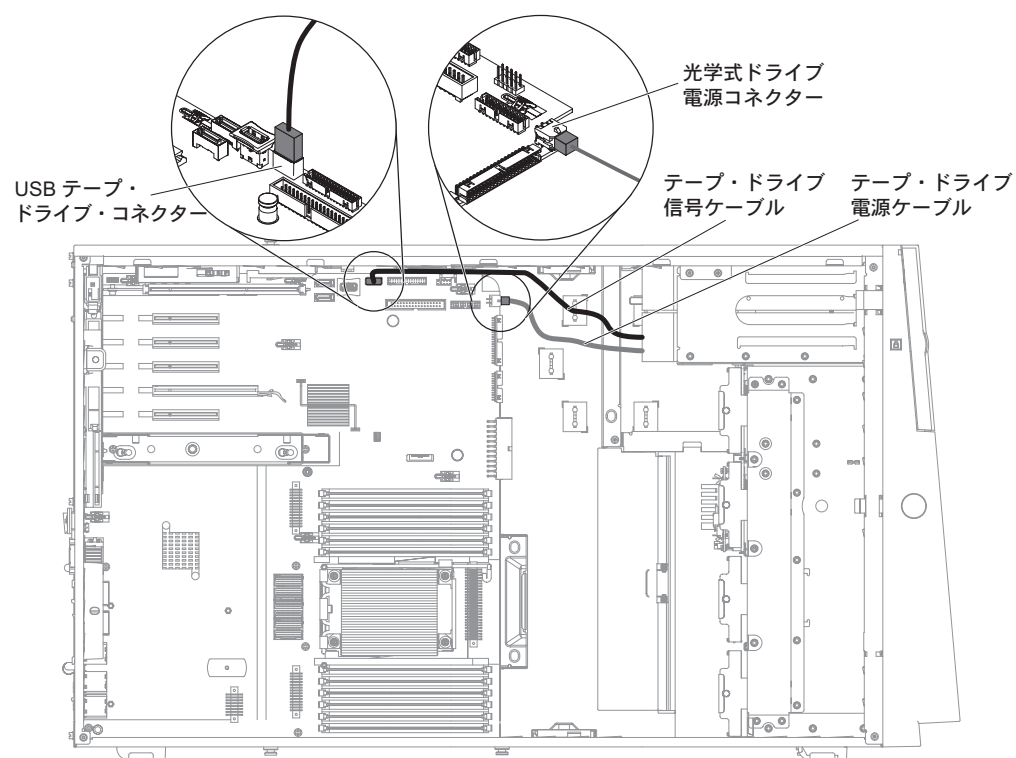


図 57. USB テープ・ドライブの内部ケーブル・ルーティングおよびコネクタ

次の図は、SATA テープ・ドライブのケーブル・ルーティングおよびコネクタを示しています。また、光学式ドライブ用の内部電源ケーブルも示しています。

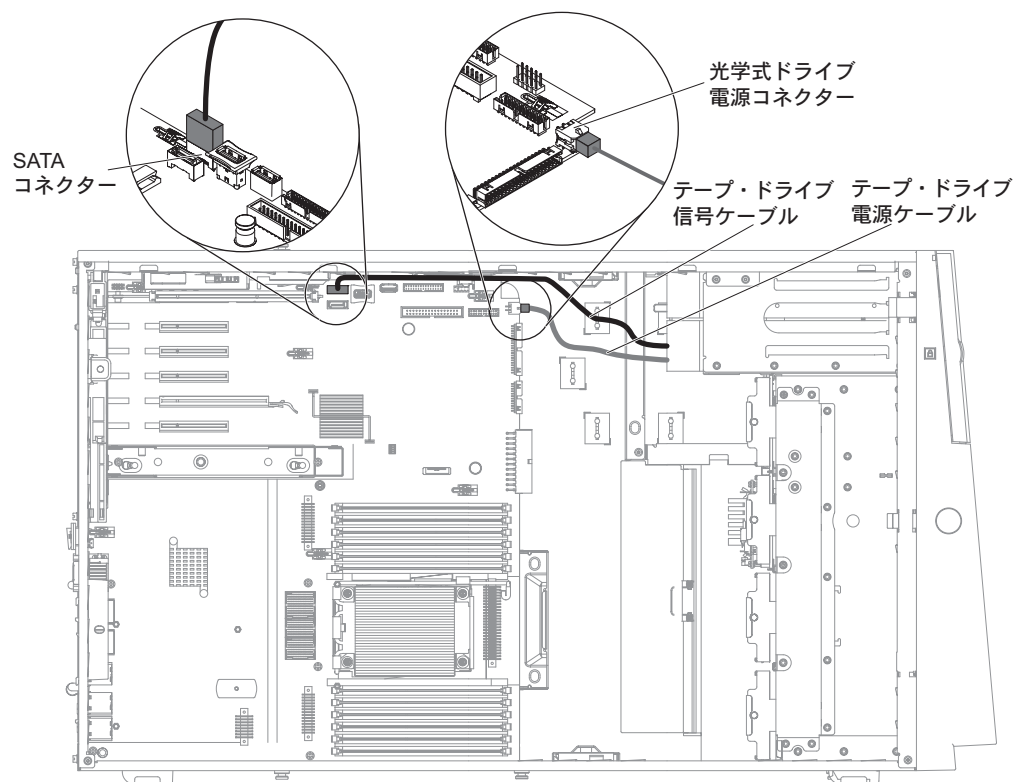


図 58. SATA テープ・ドライブのケーブル・ルーティングおよびコネクター

DVD ドライブのケーブル接続

次の図は、DVD ドライブからシステム・ボードへの内部 SATA ケーブルおよび電源ケーブルの配線とコネクターを示しています。

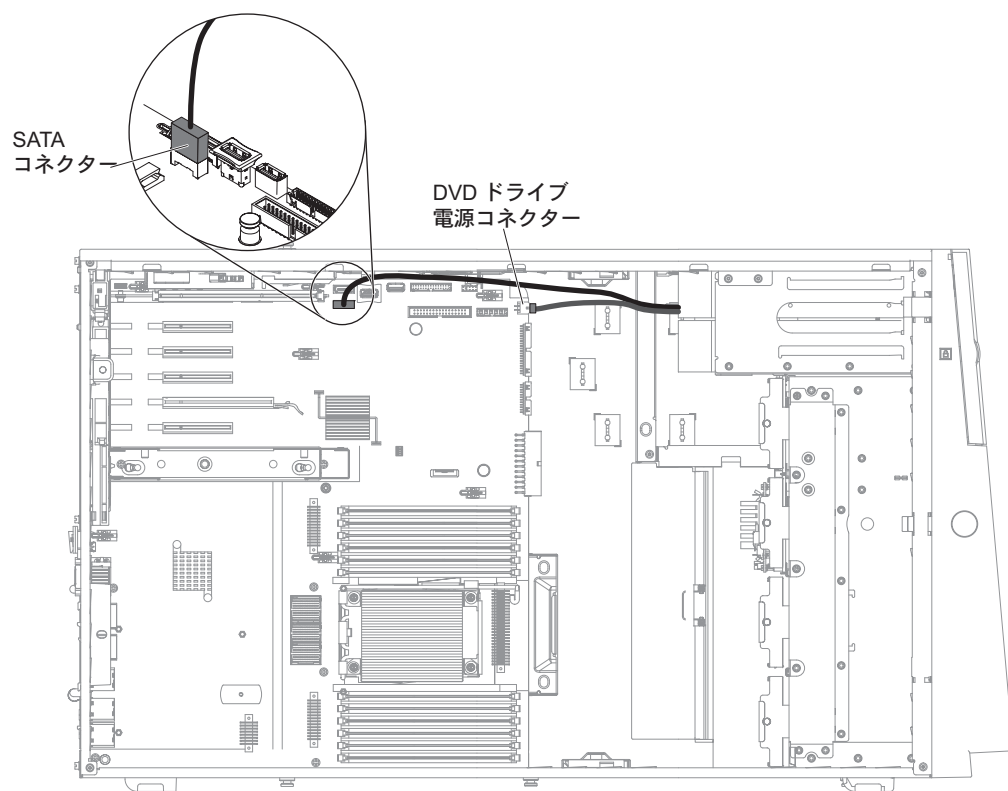


図 59. DVD ドライブからシステム・ボードへの SATA ケーブルおよび電源ケーブルの配線とコネクタ

ハード・ディスクのケーブル接続

電源ケーブルおよび信号ケーブルを内部ドライブに接続する前に、以下の情報をお読みください。

1. 次の図は、2.5 型および 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクタを示しています。

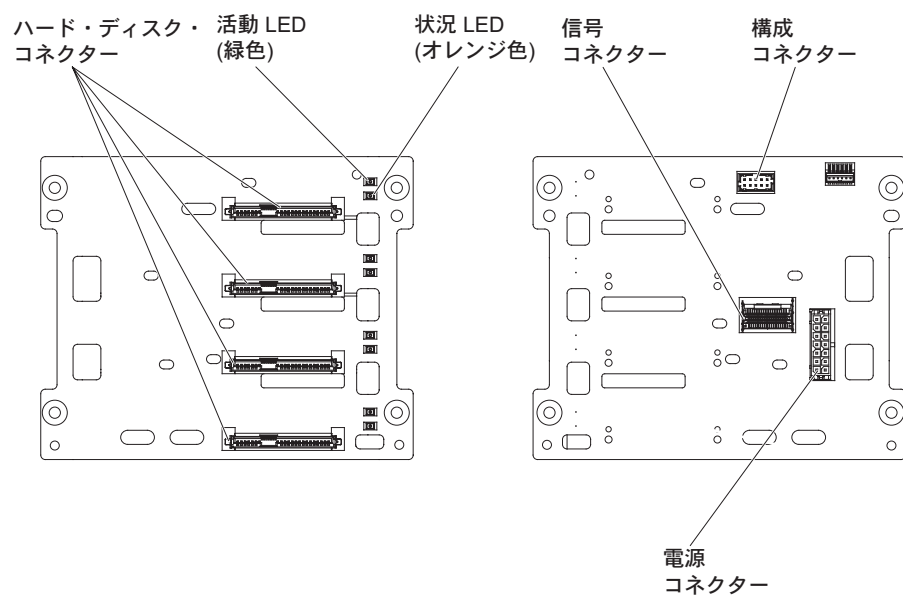


図 60. 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター

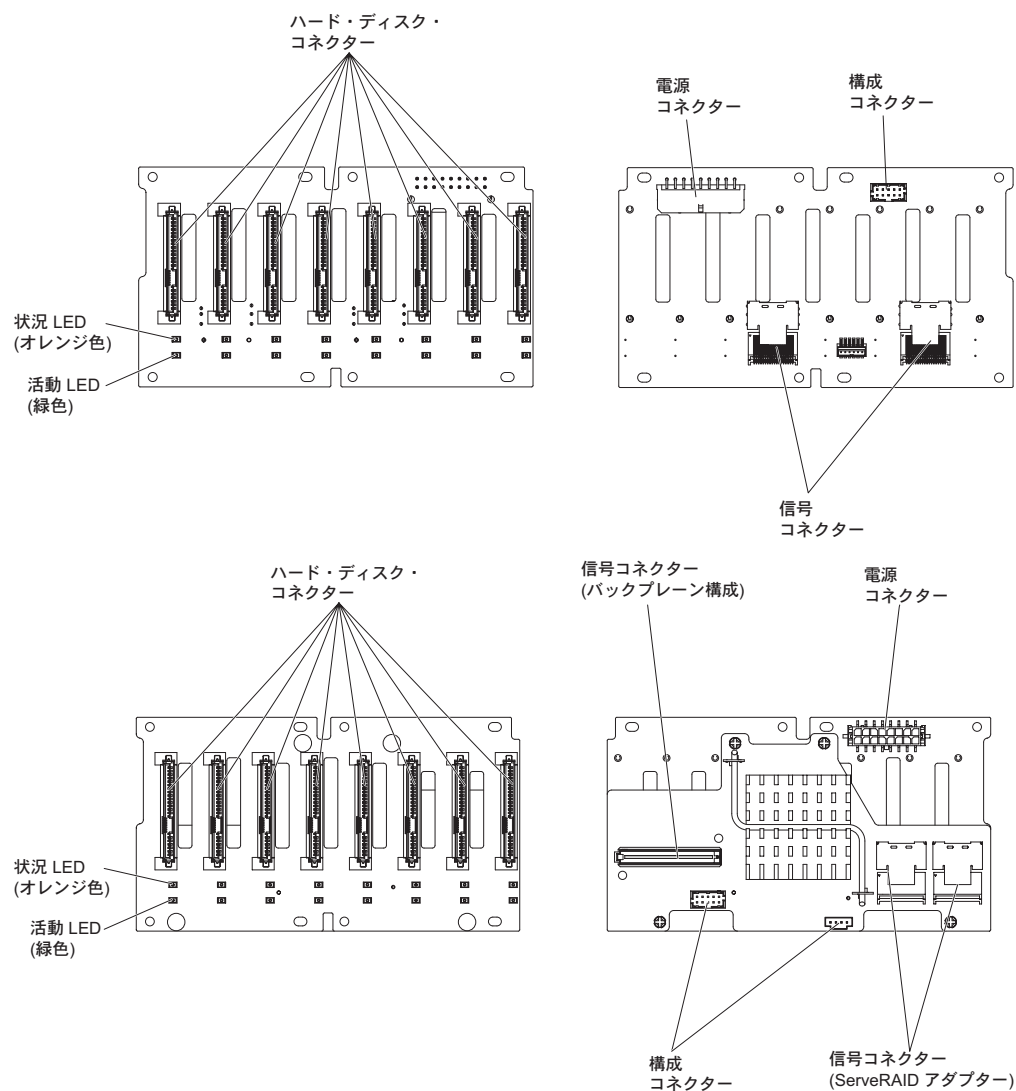


図 6I. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクタ

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

ケーブルをバックプレーンに接続する前に、以下の情報を確認してください。

1. 16 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデルの場合。

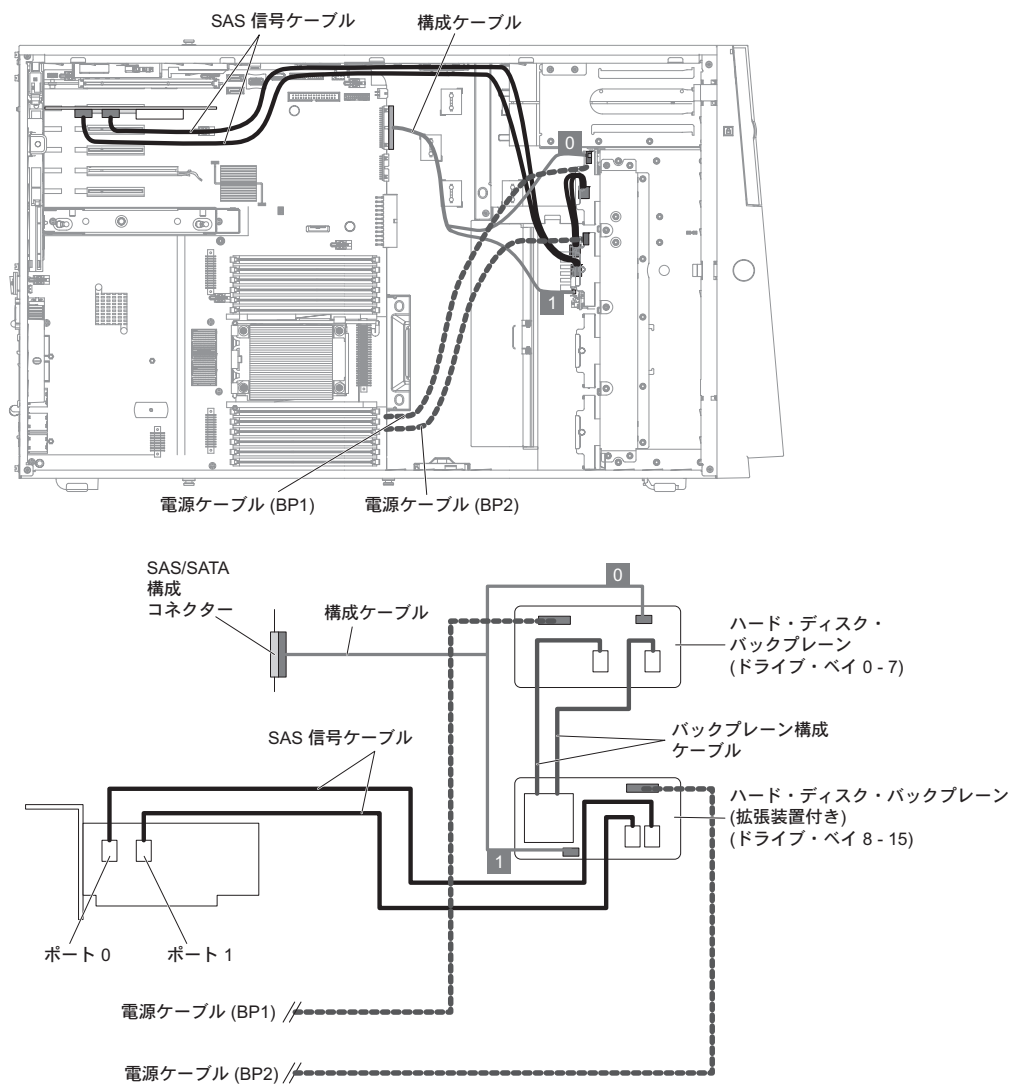


図 62. 16 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデル

2. 16 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 2 個の ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合。

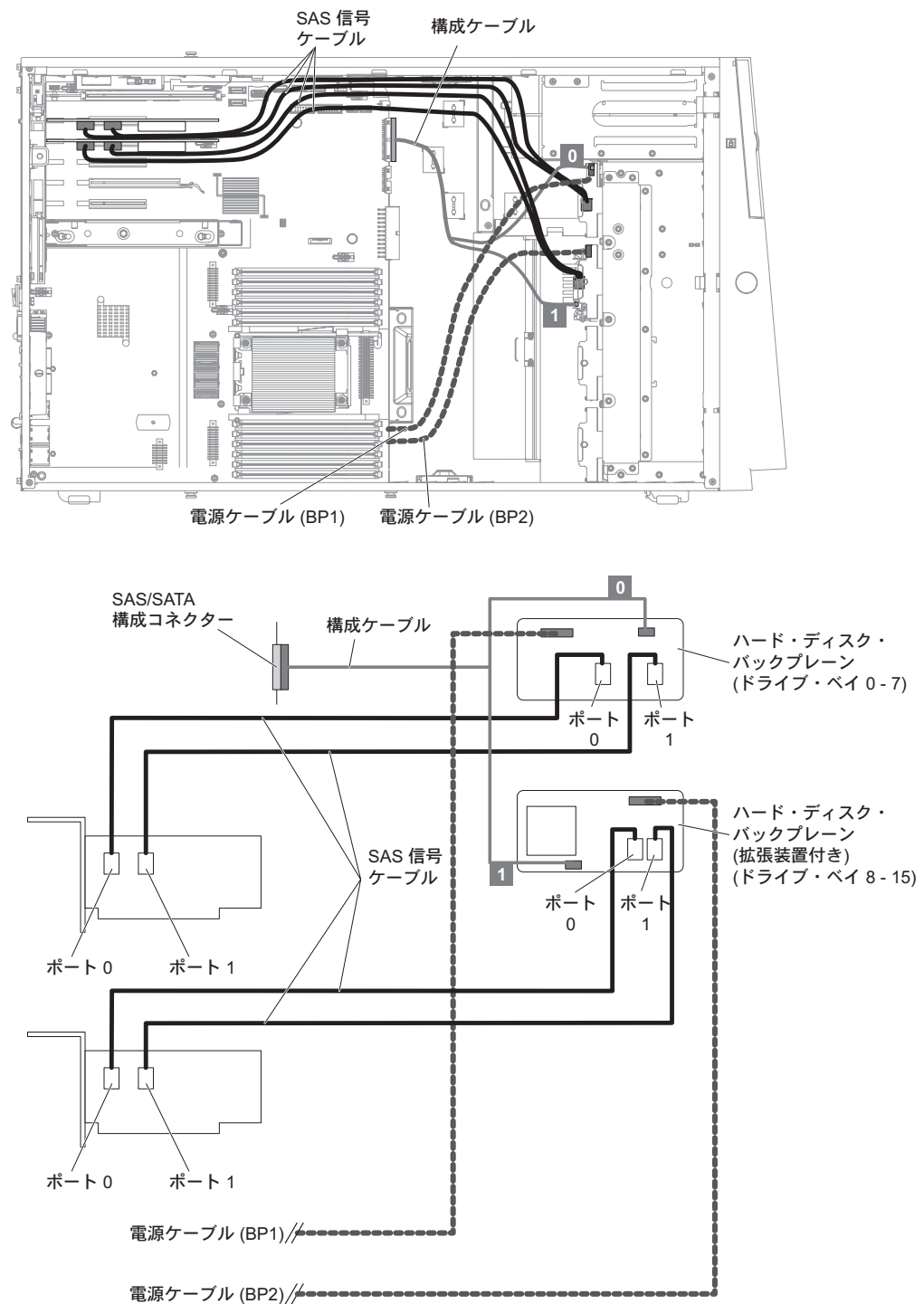


図 63. 16 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 2 個の *ServeRAID* アダプターを搭載したサーバー・モデル

3. 24 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデルの場合。

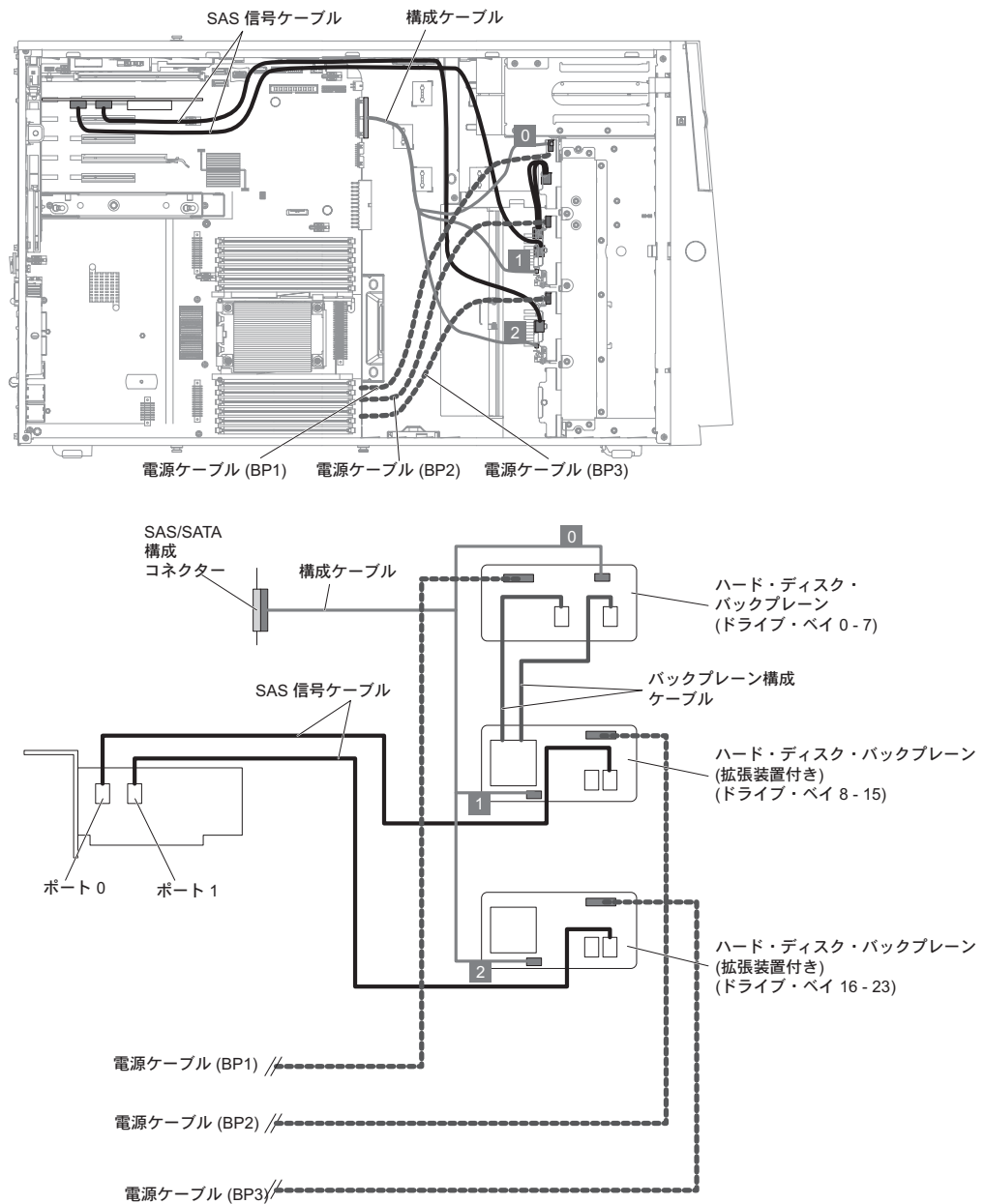


図 64. 24 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデル

4. 24 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 2 個の ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合。

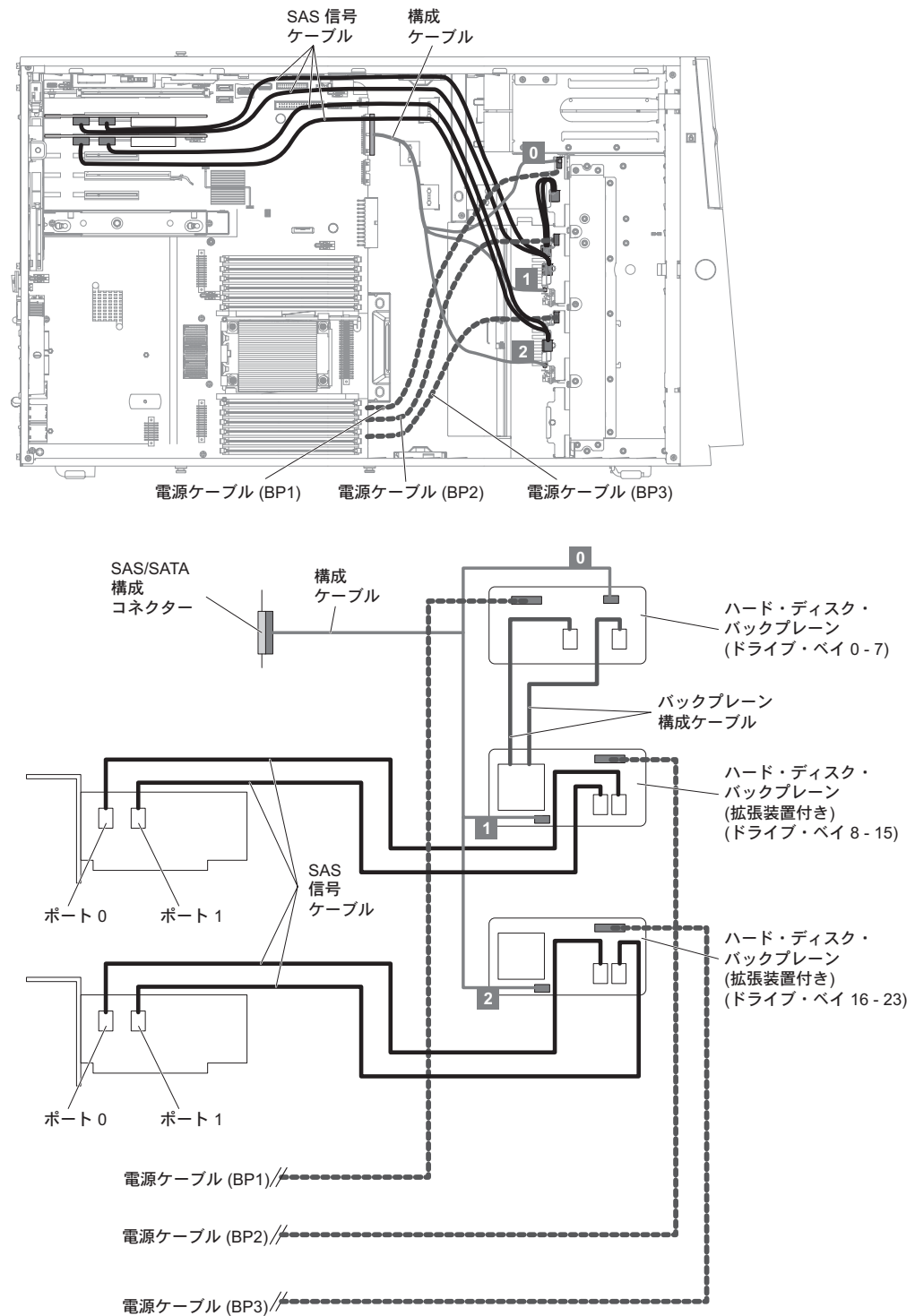


図 65. 24 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 2 個の *ServeRAID* アダプターを搭載したサーバー・モデル

5. 32 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデルの場合。

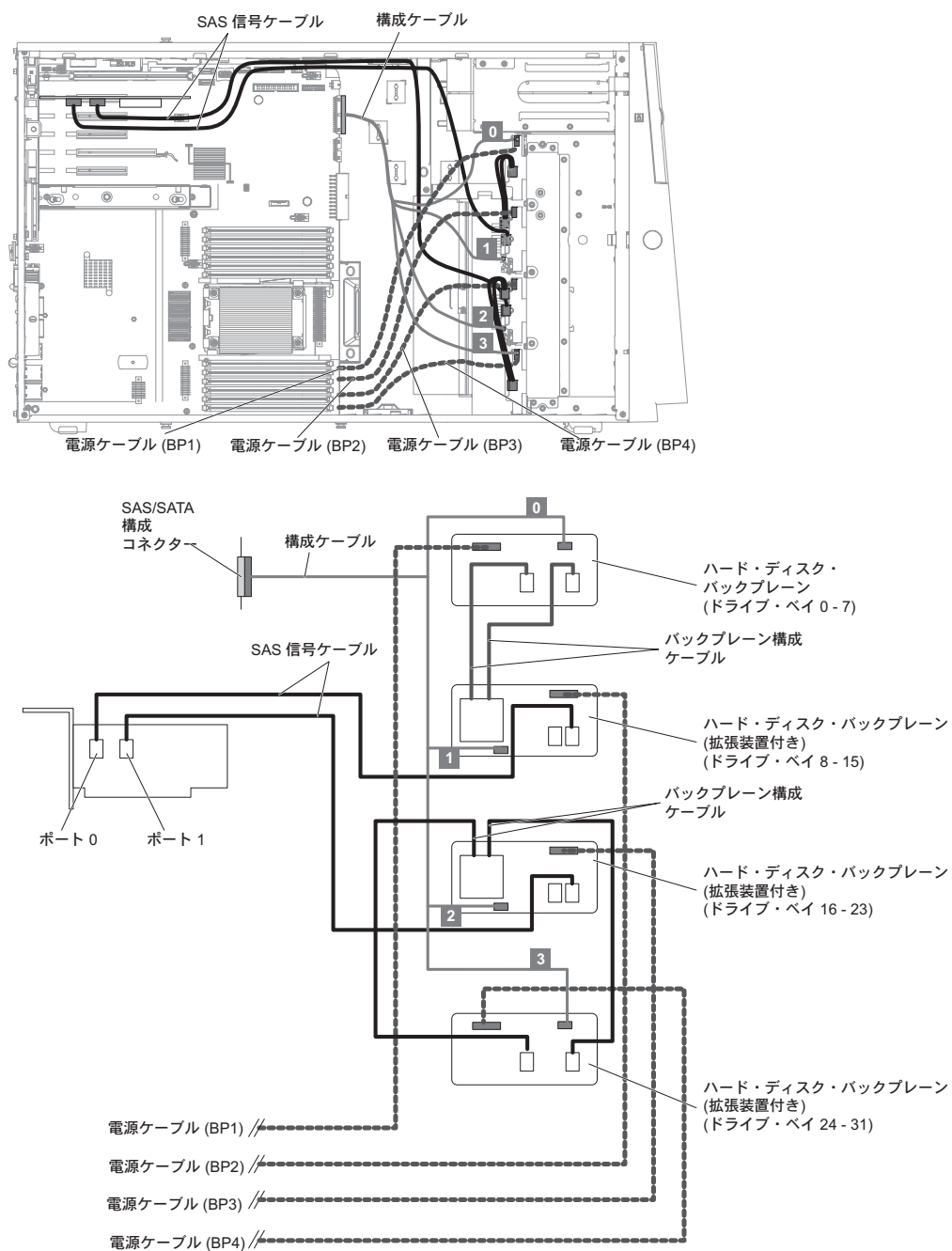


図 66. 32 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデル

6. 32 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 2 個の ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合。

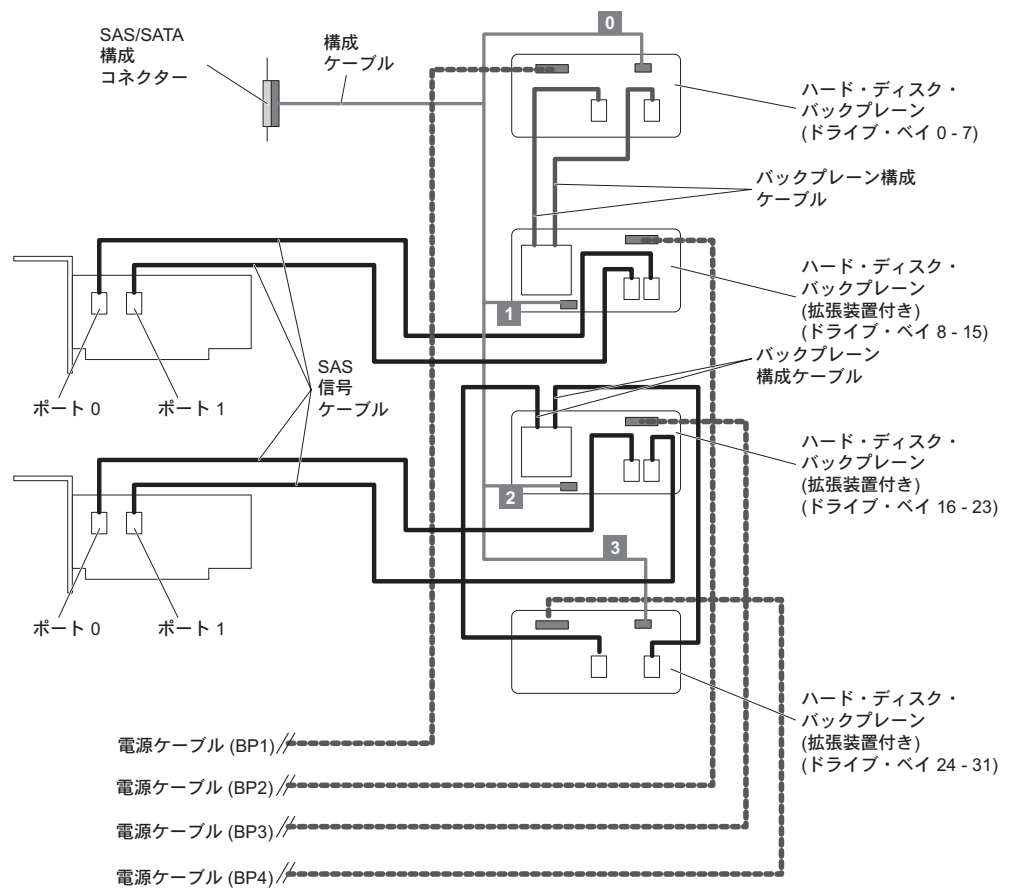
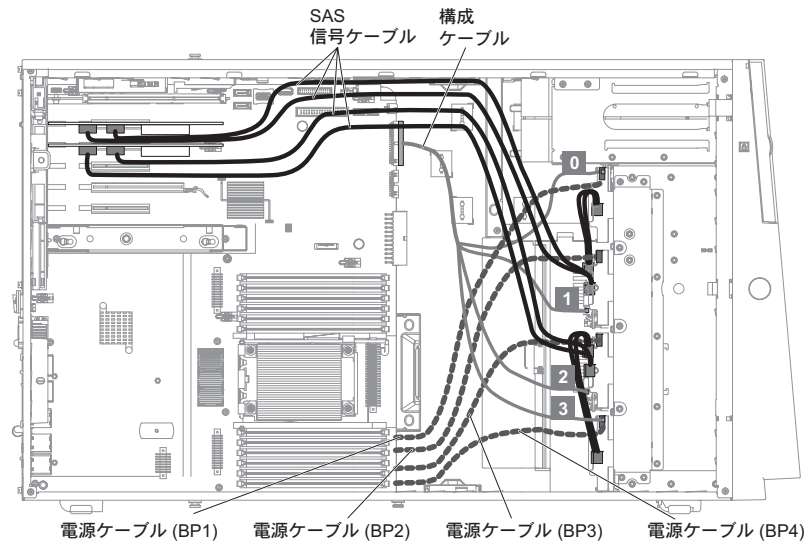


図 67. 32 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 2 個の *ServeRAID* アダプターを搭載したサーバー・モデル

7. 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデルの場合。

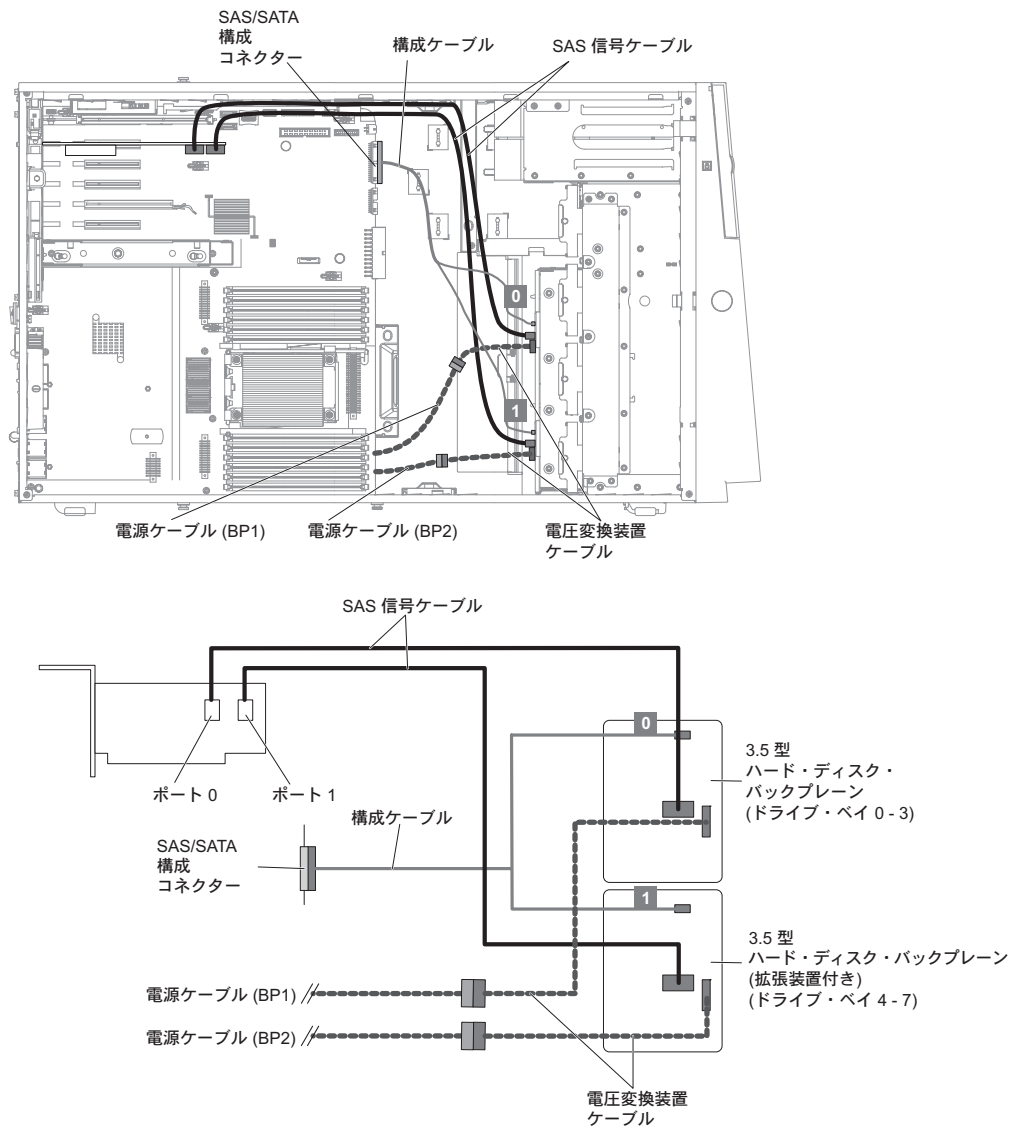


図 68. 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデル

8. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデルの場合。

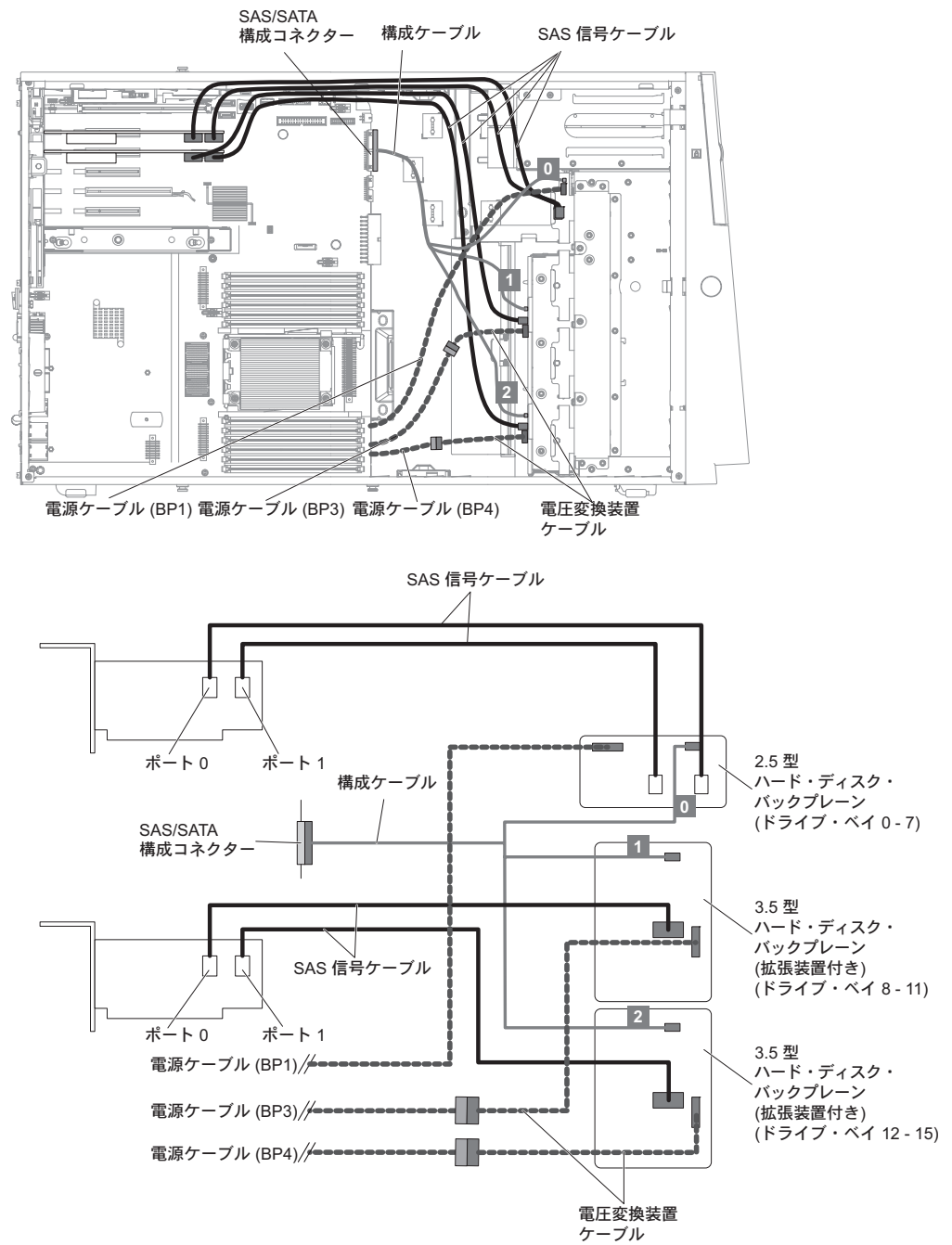


図 69. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデル

9. 8 個の 3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデルの場合。

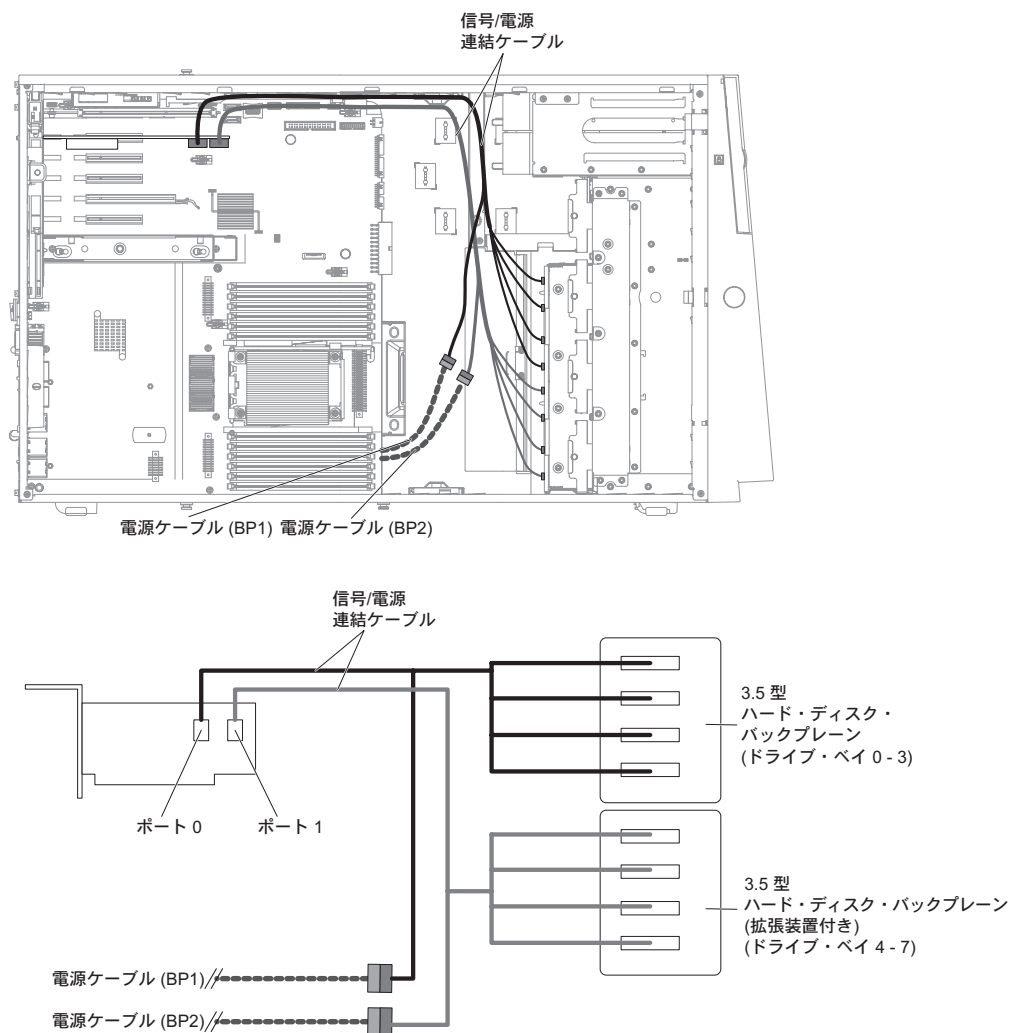


図 70. 8 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデル

10. 1 個の 2.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデルの場合。

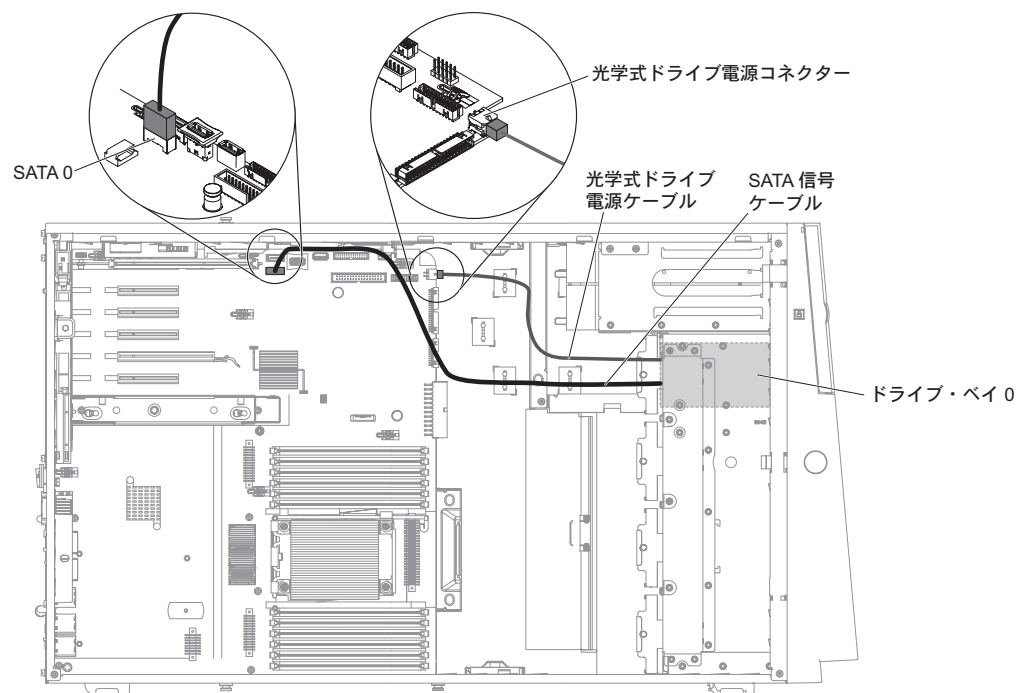


図 71. 1 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを搭載したサーバー・モデル

ファン・ケージ電源のケーブル接続

次の図は、ファン・ケージ・アセンブリーからシステム・ボードへの内部ケーブルの配線とコネクタを示しています。

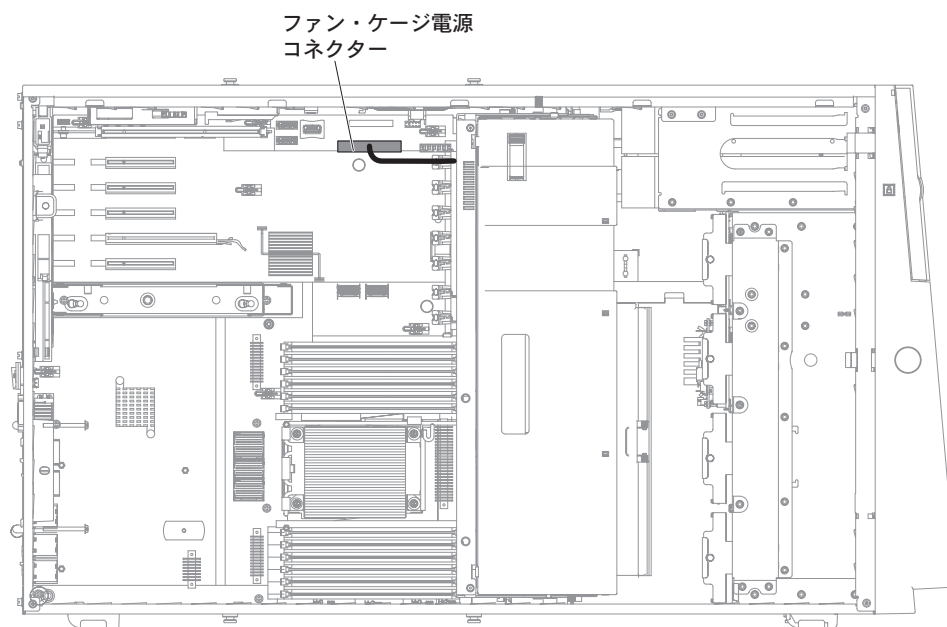


図 72. ファン・ケージ・アセンブリーからシステム・ボードへの内部ケーブルの配線とコネクタ

左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーのケーブル接続

次の図は、電源遮断スイッチ・アセンブリーのケーブル・ルーティングおよびシステム・ボード上のコネクタを示しています。

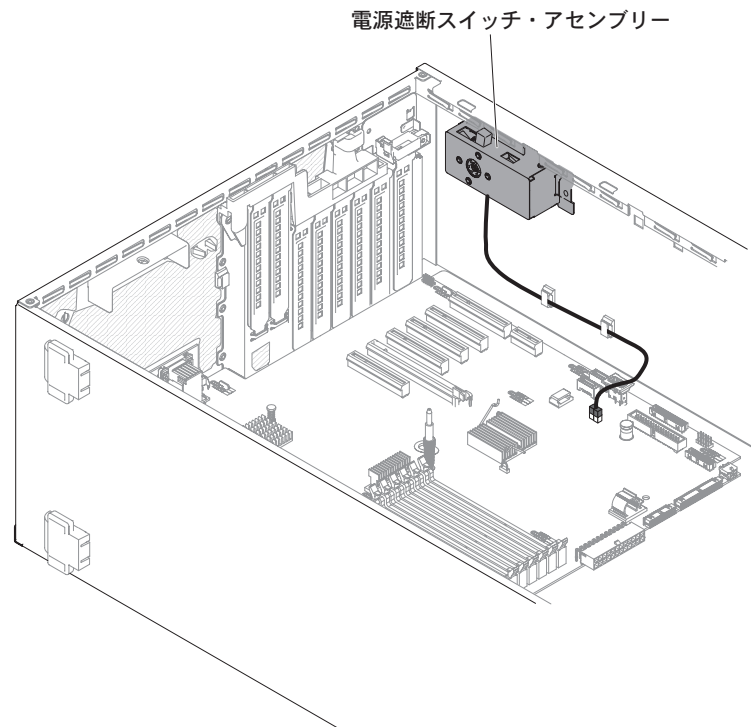


図 73. 電源遮断スイッチ・アセンブリーのケーブル・ルーティングおよびシステム・ボード上のコネクタ

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ

このセクションでは、統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージについて詳しく説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM2 によって検出されると、IMM2 はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)

あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、そのような追加情報は [arg1] や [arg2] などの変数で示されています。

Explanation (説明)

イベントが発生した理由を説明する追加情報を提供します。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:

イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

装置は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能

問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP トラップ ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス

このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージ、および検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 についての詳細は、*Integrated Management Module II User's Guide* (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラストド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 **Hostname set to [arg1] by user [arg2].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 **IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 **IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 **ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .**

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 **LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.**

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 **LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.**

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware.

The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuration data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。インポートしている証明書が正しいことを確認します。証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ロード・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ロード・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 **Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time=[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].**

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 **Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].**

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 **Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].**

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2],
NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].**

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または ID: 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimeout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2],
LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2],
PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4],
MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6],
MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9],
DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created..

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3],
AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2],
RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].**

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4],
IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].**

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアの不整合が検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 **FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.**

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 **Test Call Home Generated by user [arg1].**

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 **Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].**

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電

源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701xxxx または 0x800100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V、Planar 5V、または Planar 12V のいずれかである場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. システム・バッテリーを交換します。 2. 問題が解決しない

80010204-1d01xxxx • 80010204-1d02xxxx

場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d02xxxx または 0x800102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d03xxxx または 0x800102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d04xxxx または 0x800102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d05xxxx • 80010204-1d06xxxx

80010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 5 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d05xxxx または 0x800102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 6 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d06xxxx または 0x800102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

**80010701-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010701xxxx または 0x800107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(CPU1 VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011401xxxx または 0x800107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(CPU2 VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011402xxxx または 0x800107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサー

80010701-1403xxxx • 80010701-1404xxxx

バーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(DIMM AB VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011403xxxx または 0x800107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(DIMM CD VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011404xxxx または 0x800107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(DIMM EF VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011405xxxx または 0x800107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(DIMM GH VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107011406xxxx または 0x800107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.
(PCH Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107012d01xxxx または 0x800107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサー

80010901-0701xxxx • 80010901-1401xxxx

バーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010701xxxx または 0x800109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011401xxxx または 0x800109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011402xxxx または 0x800109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・パッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011403xxxx または 0x800109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・パッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011404xxxx または 0x800109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・パッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011405xxxx または 0x800109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・パッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109011406xxxx または 0x800109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・パッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109012d01xxxx または 0x800109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・パッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010701xxxx または 0x80010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(CPU1 VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011401xxxx または 0x80010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(CPU2 VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011402xxxx または 0x80010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(DIMM AB VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011403xxxx または 0x80010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害さ

80010b01-1404xxxx • 80010b01-1405xxxx

れていないことを確認します。

**80010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(DIMM CD VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011404xxxx または 0x80010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(DIMM EF VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011405xxxx または 0x80010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(DIMM GH VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b011406xxxx または 0x80010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

**80010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(PCH Temp)**

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b012d01xxxx または 0x80010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101xxxx または 0x800300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301081301xxxx または 0x800301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

80070009-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to normal state. (PDB_12V1)

説明: このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800700090a01xxxx または 0x800700090a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0518

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PDB_12V2 : PDB_12V3 : PDB_12V4_240VA : PDB_12V5_240VA : PDB_5V_OCP : PDB_5V_OVP : PDB_SHORT_CIR :

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201xxxx または 0x8007010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。 2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。 3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2582xxxx または 0x8007010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。 1. F1 Setup->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、「enable」を選択します。

80070114-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (TPM Physical Presence Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701142201xxxx または 0x800701142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行しま

80070201-0301xxxx • 80070201-0302xxxx

す。 2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。 3. システムをリブートします。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、ブレーナーを交換します。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010302xxxx または 0x800702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070202-1201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU2 BRD Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702021201xxxx または 0x800702021201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070202-1501xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (Power PDB Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702021501xxxx または 0x800702021501xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a01xxxx または 0x800702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a02xxxx または 0x800702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a01xxxx or 0x800702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳しい情報およびユーティリティのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a02xxxx または 0x800702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

8007020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2201xxxx または 0x8007020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ITXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TXT を使用不可にします。 2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。 3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

8007020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2582xxxx または 0x8007020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。 1. F1 Setup->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、「enable」を選択します。

80070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702142201xxxx または 0x800702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 2. システム・イベント・ログを確認します。

3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. AC 電源コードをいったん抜いてから差し込み、次にステップ 1 および 2 を再度実行します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0301xxxx または 0x8007021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

8007021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0302xxxx または 0x8007021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. Mマイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010302xxxx or 0x800703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. Mマイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01xxxx または 0x800706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用し、現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。 2. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED を確認し、IMM2 イベント・ログに Pwr Rail (A、B、C、D、E、F、G、および H) エラーが記録されていることを確認します。指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED に対する処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02xxxx または 0x800706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用し、現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。 2. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED を確認し、IMM2 イベント・ログに Pwr Rail (A、B、C、D、E、F、G、および H) エラーが記録されていることを確認します。指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED

を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED に対する処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070609-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (PDB_12V1)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706090a01xxxx または 0x800706090a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが、センサー

PDB_12V1、PDB12V2、PDB_12V3、PDB_12V4_240VA、PDB_12V5_240VA、PDB_5V_OVP または PDB_SHORT_CIR のいずれかである場合は、システム・ボードを交換してください。 PDB_12V2 : PDB_12V3 : PDB_12V4_240VA : PDB_12V5_240VA : PDB_5V_OCP : PDB_5V_OVP : PDB_SHORT_CIR :

80070614-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706142201xxxx or 0x800706142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

8008010f-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Phy Presence Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8008010f2101xxxx or 0x8008010f2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101xxxx または 0x800801282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301xxxx Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081301xxxx または 0x800b00081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and ID: 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301xxxx または 0x800b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。 2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。

800b010a-1e01xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e01xxxx または 0x800b010a1e01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。 4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581xxxx または 0x800b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b03091301xxxx または 0x800b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0806

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. Non-redundant sufficient: システムはパワー・サプライの過電流状態を回避するためにスロットルされる場合がありますが、電源負荷は、残りのパワー・サプライによって処理されます。 2. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b030c2581xxxx または 0x800b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なりソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b05091301xxxx または 0x800b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源負荷は残っているパワー・サプライによって処理される場合があります。システムは、スロ

ットルを行うことでパワー・サプライの過電流状態の回避を試行します。ただし、電力負荷が大きすぎる状態を回避できない場合、システム・シャットダウンが発生する可能性があります。2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。3. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。4. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b050a-1e01xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なりソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e01xxxx または 0x800b050a1e01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なりソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050c2581xxxx または 0x800b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。2. Setup ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にします。

806f0005-1701xxxx The Chassis [PhysicalPackageElementName] was opened. (Chassis Error)

説明: このメッセージは、シャーシが開かれた場合に使用されます。

806f00051701xxxx または 0x806f00051701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0004

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 左サイド・カバーを取り付け直します (『左サイド・カバーの取り外し』および『左サイド・カバーの取り付け』を参照)。 2. 左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーを取り付け直します (『左サイド・カバー/電源遮断スイッチの取り外し』および『左サイド・カバー/電源遮断スイッチの取り付け』を参照)。 3. 左サイド・カバーを交換します。 4. 左サイド・カバー/電源遮断スイッチ・アセンブリーを交換します。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。 4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070302xxxx または 0x806f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301xxxx or 0x806f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx or 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx or 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404xxxx または 0x806f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405xxxx または 0x806f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406xxxx または 0x806f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407xxxx または 0x806f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0408xxxx または 0x806f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0409xxxx または 0x806f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040axxxx または 0x806f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040bxxxx or 0x806f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040cxxxx または 0x806f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040dxxxx または 0x806f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040exxxx または 0x806f000d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040fxxxx または 0x806f000d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0410xxxx または 0x806f000d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0411xxxx または 0x806f000d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0412xxxx または 0x806f000d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0413xxxx または 0x806f000d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

1806f000d0414xxxx または 0x806f000d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0415xxxx または 0x806f000d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0416xxxx または 0x806f000d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0417xxxx または 0x806f000d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0418xxxx または 0x806f000d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0419xxxx または 0x806f000d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041axxxx または 0x806f000d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041bxxxx または 0x806f000d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041cxxxx または 0x806f000d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041dxxxx または 0x806f000d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041exxxx または 0x806f000d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041fxxxx または 0x806f000d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName] has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー：システム・ブート状況：

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。3. オペレーター情報パネルを交

換します。

**806f0021-2201xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(No Op ROM Space)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212201xxxx または 0x806f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(All PCI Error)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。1 つの PCI エラー。

**806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-3002xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213002xxxx または 0x806f00213002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-3003xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213003xxxx または 0x806f00213003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-3004xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213004xxxx または 0x806f00213004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-3005xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213005xxxx または 0x806f00213005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-3006xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213006xxxx または 0x806f00213006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-3007xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213007xxxx または 0x806f00213007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0021-3008xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213008xxxx または 0x806f00213008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00282101xxxx または 0x806f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0398

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。 2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070302xxxx または 0x806f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。 (n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301xxxx または 0x806f01091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2005xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2005xxxx または 0x806f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2006xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2006xxxx または 0x806f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2007xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2007xxxx または 0x806f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2008xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2008xxxx または 0x806f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当する

マイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2009xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2009xxxx または 0x806f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200axxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200axxxx または 0x806f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再

度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-200bxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200bxxxx または 0x806f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-200cxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200cxxxx または 0x806f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、シ

806f010c-200dxxxx • 806f010c-200exxxx

ステム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200dxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200dxxxx または 0x806f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200exxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200exxxx または 0x806f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200fxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200fxxxx または 0x806f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2010xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2010xxxx または 0x806f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題

806f010c-2011xxxx • 806f010c-2012xxxx

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2011xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2011xxxx または 0x806f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2012xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2012xxxx または 0x806f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2013xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2013xxxx または 0x806f010c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2014xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 20)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2014xxxx または 0x806f010c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2015xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 21)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2015xxxx または 0x806f010c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当する

マイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2016xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 22)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2016xxxx または 0x806f010c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2017xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 23)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2017xxxx または 0x806f010c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再

806f010c-2018xxxx • 806f010c-2581xxxx

度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2018xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2018xxxx または 0x806f010c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、シ

ステム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。1 つの DIMM。

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0404xxxx または 0x806f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0405xxxx または 0x806f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0406xxxx または 0x806f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0407xxxx または 0x806f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 8)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0408xxxx または 0x806f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 9)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0409xxxx または 0x806f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 10)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d040axxxx または 0x806f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 11)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d040bxxxx または 0x806f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 12)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d040cxxxx または 0x806f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 13)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d040dxxxx または 0x806f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 14)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d040exxxx または 0x806f010d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 15)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d040fxxxx または 0x806f010d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 16)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0410xxxx または 0x806f010d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 17)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0411xxxx または 0x806f010d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 18)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0412xxxx または 0x806f010d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 19)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0413xxxx または 0x806f010d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 20)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0414xxxx または 0x806f010d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 21)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0415xxxx または 0x806f010d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 22)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0416xxxx または 0x806f010d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 23)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0417xxxx または 0x806f010d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 24)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0418xxxx または 0x806f010d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 25)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0419xxxx または 0x806f010d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 26)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d041axxxx または 0x806f010d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 27)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d041bxxxx または 0x806f010d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 28)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d041cxxxx または 0x806f010d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 29)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d041dxxxx または 0x806f010d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 30)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d041exxxx または 0x806f010d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 31)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d041fxxxx または 0x806f010d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130301xxxx または 0x806f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0113-0302xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130302xxxx または 0x806f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070302xxxx または 0x806f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02072584xxxx または 0x806f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号) 1 つの CPU。

**806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 0)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 1)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 4)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404xxxx または 0x806f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 5)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405xxxx または 0x806f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 6)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406xxxx または 0x806f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 7)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407xxxx または 0x806f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0408xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 8)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0408xxxx または 0x806f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0409xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 9)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0409xxxx または 0x806f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-040axxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 10)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040axxxx または 0x806f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-040bxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 11)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040bxxxx or 0x806f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-040cxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 12)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040cxxxx または 0x806f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-040dxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 13)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040dxxxx または 0x806f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-040exxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 14)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040exxxx または 0x806f020d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-040fxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 15)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040fxxxx または 0x806f020d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0410xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 16)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0410xxxx または 0x806f020d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0411xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 17)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0411xxxx または 0x806f020d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0412xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 18)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0412xxxx または 0x806f020d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0413xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 19)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0413xxxx または 0x806f020d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0414xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 20)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0414xxxx または 0x806f020d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0415xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 21)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0415xxxx または 0x806f020d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0416xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 22)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0416xxxx または 0x806f020d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0417xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 23)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0417xxxx または 0x806f020d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0418xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 24)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0418xxxx または 0x806f020d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0419xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 25)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0419xxxx または 0x806f020d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-041axxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 26)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041axxxx または 0x806f020d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-041bxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 27)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041bxxxx または 0x806f020d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-041cxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 28)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041cxxxx または 0x806f020d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-041dxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 29)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041dxxxx または 0x806f020d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-041exxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 30)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041exxxx または 0x806f020d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-041fxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 31)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041fxxxx または 0x806f020d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName].
(IPMI Watchdog)**

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロ

806f030c-2003xxxx • 806f030c-2004xxxx

ロブプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005xxxx または 0x806f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006xxxx または 0x806f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007xxxx または 0x806f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008xxxx または 0x806f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009xxxx または 0x806f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイク

806f030c-200axxxx • 806f030c-200bxxxx

ロブプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200axxxx または 0x806f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bxxxx または 0x806f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200cxxxx または 0x806f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200dxxxx または 0x806f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200exxxx または 0x806f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200fxxxx または 0x806f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2010xxxx または 0x806f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイク

806f030c-2011xxxx • 806f030c-2012xxxx

ロブプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2011xxxx または 0x806f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2012xxxx または 0x806f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2013xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2013xxxx または 0x806f030c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2014xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2014xxxx または 0x806f030c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2015xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2015xxxx または 0x806f030c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2016xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2016xxxx または 0x806f030c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2017xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2017xxxx または 0x806f030c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイク

806f030c-2018xxxx • 806f0313-1701xxxx

ロブプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2018xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2018xxxx または 0x806f030c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境で ソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. デバイス・ドライバーをチェックします。 2. デバイス・ドライバーを再インストールします。 3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。 4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、その

806f040c-2003xxxx • 806f040c-2004xxxx

エラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005xxxx または 0x806f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006xxxx または 0x806f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007xxxx または 0x806f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008xxxx または 0x806f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009xxxx または 0x806f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200axxxx または 0x806f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bxxxx または 0x806f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cxxxx または 0x806f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dxxxx または 0x806f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200exxxx または 0x806f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200fxxxx または 0x806f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010xxxx または 0x806f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2011xxxx または 0x806f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2012xxxx または 0x806f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2013xxxx または 0x806f040c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2014xxxx または 0x806f040c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2015xxxx または 0x806f040c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2016xxxx または 0x806f040c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2017xxxx または 0x806f040c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2018xxxx または 0x806f040c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。1 つの DIMM。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. PCIe アダプターを交換します。 6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070302xxxx または 0x806f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05072584xxxx または 0x806f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号) 1 つの CPU。

806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005xxxx または 0x806f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006xxxx または 0x806f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007xxxx または 0x806f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008xxxx または 0x806f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009xxxx または 0x806f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200axxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200axxxx または 0x806f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bxxxx または 0x806f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 12)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cxxxx または 0x806f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dxxxx または 0x806f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200exxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200exxxx または 0x806f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200fxxxx または 0x806f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010xxxx または 0x806f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2011xxxx または 0x806f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 18)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2012xxxx または 0x806f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2013xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 19)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2013xxxx または 0x806f050c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2014xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 20)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2014xxxx または 0x806f050c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2015xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 21)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2015xxxx または 0x806f050c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2016xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 22)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2016xxxx または 0x806f050c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2017xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 23)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2017xxxx または 0x806f050c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2018xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 24)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2018xxxx または 0x806f050c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (All DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 1 つの DIMM。

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx または 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0404xxxx または 0x806f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0405xxxx または 0x806f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0406xxxx または 0x806f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0407xxxx または 0x806f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0408xxxx または 0x806f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0409xxxx または 0x806f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d040axxxx または 0x806f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d040bxxxx または 0x806f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d040cxxxx または 0x806f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d040dxxxx または 0x806f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040exxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d040exxxx または 0x806f050d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040fxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d040fxxxx または 0x806f050d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0410xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 16)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0410xxxx または 0x806f050d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0411xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 17)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0411xxxx または 0x806f050d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-0412xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 18)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0412xxxx または 0x806f050d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0413xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 19)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0413xxxx または 0x806f050d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0414xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 20)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0414xxxx または 0x806f050d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0415xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 21)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0415xxxx or 0x806f050d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0416xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 22)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0416xxxx または 0x806f050d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-0417xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 23)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0417xxxx または 0x806f050d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0418xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 24)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0418xxxx または 0x806f050d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0419xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 25)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0419xxxx または 0x806f050d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041axxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 26)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d041axxxx または 0x806f050d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041bxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 27)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d041bxxxx または 0x806f050d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-041cxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 28)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d041cxxxx または 0x806f050d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041dxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 29)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d041dxxxx または 0x806f050d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041exxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 30)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d041exxxx または 0x806f050d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041fxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 31)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d041fxxxx または 0x806f050d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソ

リユーシヨンの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートするオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。 5. 両方のアダプターを取り外します。 6. PCIe アダプターを交換します。 7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system
[ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.
(CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。

806f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.
(CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302xxxx または 0x806f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。

806f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06072584xxxx または 0x806f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。 1 つの CPU。

806f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06081301xxxx または 0x806f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。 2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0404xxxx または 0x806f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0405xxxx または 0x806f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0406xxxx または 0x806f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0407xxxx または 0x806f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0408xxxx または 0x806f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0409xxxx または 0x806f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d040axxxx または 0x806f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d040bxxxx または 0x806f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d040cxxxx または 0x806f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d040dxxxx または 0x806f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040exxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d040exxxx または 0x806f060d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040fxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d040fxxxx または 0x806f060d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0410xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 16)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0410xxxx または 0x806f060d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0411xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 17)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0411xxxx または 0x806f060d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0412xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 18)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0412xxxx または 0x806f060d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0413xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 19)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0413xxxx または 0x806f060d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0414xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 20)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0414xxxx または 0x806f060d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0415xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 21)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0415xxxx または 0x806f060d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0416xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 22)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0416xxxx または 0x806f060d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0417xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 23)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0417xxxx または 0x806f060d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0418xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 24)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0418xxxx または 0x806f060d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0419xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 25)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0419xxxx または 0x806f060d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041axxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 26)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d041axxxx または 0x806f060d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041bxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 27)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d041bxxxx または 0x806f060d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041cxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 28)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d041cxxxx または 0x806f060d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041dxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 29)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d041dxxxx または 0x806f060d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041exxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 30)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d041exxxx または 0x806f060d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041fxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 31)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d041fxxxx または 0x806f060d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

**806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

ロジーであることを確認します。

**806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2005xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2005xxxx または 0x806f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2006xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2006xxxx または 0x806f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2007xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2007xxxx または 0x806f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2008xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2008xxxx または 0x806f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

ロジーであることを確認します。

**806f070c-2009xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2009xxxx または 0x806f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200axxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200axxxx または 0x806f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200bxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200bxxxx または 0x806f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200cxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200cxxxx または 0x806f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200dxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200dxxxx または 0x806f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

ロジーであることを確認します。

**806f070c-200exxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200exxxx or 0x806f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200fxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200fxxxx または 0x806f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2010xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2010xxxx または 0x806f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2011xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2011xxxx または 0x806f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2012xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 18)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2012xxxx または 0x806f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

ロジーであることを確認します。

**806f070c-2013xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 19)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2013xxxx または 0x806f070c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2014xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 20)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2014xxxx または 0x806f070c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2015xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 21)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2015xxxx または 0x806f070c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2016xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 22)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2016xxxx または 0x806f070c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2017xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 23)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2017xxxx または 0x806f070c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

ロジーであることを確認します。

**806f070c-2018xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 24)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2018xxxx または 0x806f070c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(All DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。 1 つの DIMM。

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0404xxxx or 0x806f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0405xxxx または 0x806f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0406xxxx または 0x806f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0407xxxx または 0x806f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0408xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0408xxxx または 0x806f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0409xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0409xxxx または 0x806f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040axxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d040axxxx または 0x806f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040bxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d040bxxxx または 0x806f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040cxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d040cxxxx または 0x806f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040dxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d040dxxxx または 0x806f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040exxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d040exxxx または 0x806f070d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040fxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d040fxxxx または 0x806f070d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0410xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 16)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0410xxxx または 0x806f070d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0411xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 17)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0411xxxx または 0x806f070d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0412xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 18)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0412xxxx または 0x806f070d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0413xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 19)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0413xxxx または 0x806f070d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0414xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 20)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0414xxxx または 0x806f070d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0415xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 21)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0415xxxx または 0x806f070d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0416xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 22)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0416xxxx または 0x806f070d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0417xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 23)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0417xxxx または 0x806f070d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0418xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 24)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0418xxxx または 0x806f070d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0419xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 25)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0419xxxx または 0x806f070d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041axxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 26)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d041axxxx または 0x806f070d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041bxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 27)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d041bxxxx または 0x806f070d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041cxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 28)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d041cxxxx または 0x806f070d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041dxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 29)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d041dxxxx または 0x806f070d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041exxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 30)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d041exxxx または 0x806f070d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041fxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d041fxxxx または 0x806f070d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**806f072b-2201xxxx A successful software or firmware change was detected on system
[ComputerSystemElementName]. (Bkup Auto Update)**

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2201xxxx または 0x806f072b2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ROM リカバリー :

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302xxxx または 0x806f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08072584xxxx または 0x806f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132584xxxx または 0x806f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2001xxxx または 0x806f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002xxxx または 0x806f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003xxxx または 0x806f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004xxxx または 0x806f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2005xxxx または 0x806f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2006xxxx または 0x806f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2007xxxx または 0x806f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2008xxxx または 0x806f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2009xxxx または 0x806f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200axxxx または 0x806f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200bxxxx または 0x806f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200cxxxx または 0x806f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200dxxxx または 0x806f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200exxxx または 0x806f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200fxxxx または 0x806f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2010xxxx または 0x806f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2011xxxx または 0x806f090c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2012xxxx または 0x806f090c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2013xxxx または 0x806f090c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2014xxxx または 0x806f090c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2015xxxx または 0x806f090c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2016xxxx または 0x806f090c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2017xxxx または 0x806f090c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2018xxxx または 0x806f090c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a07-0302xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070302xxxx または 0x806f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・パッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2001xxxx または 0x806f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・パッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2002xxxx または 0x806f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2003xxxx または 0x806f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2004xxxx または 0x806f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2005xxxx または 0x806f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2006xxxx または 0x806f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2007xxxx または 0x806f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2008xxxx または 0x806f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2009xxxx または 0x806f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200axxxx または 0x806f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200bxxxx または 0x806f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200cxxxx または 0x806f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200dxxxx または 0x806f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200exxxx or 0x806f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c200fxxxx または 0x806f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2010xxxx or 0x806f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2011xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2011xxxx または 0x806f0a0c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2012xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2012xxxx または 0x806f0a0c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2013xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2013xxxx または 0x806f0a0c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2014xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2014xxxx または 0x806f0a0c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2015xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2015xxxx または 0x806f0a0c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2016xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2016xxxx または 0x806f0a0c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2017xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2017xxxx または 0x806f0a0c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2018xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a0c2018xxxx または 0x806f0a0c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。 4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a13-0301xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECl)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130301xxxx または 0x806f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a13-0302xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECl)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130302xxxx または 0x806f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701xxxx または 0x810100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d02xxxx または 0x810102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d03xxxx または 0x810102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d04xxxx または 0x810102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 5 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d05xxxx または 0x810102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 6 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d06xxxx または 0x810102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010701xxxx または 0x810107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(CPU1 VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011401xxxx または 0x810107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(CPU2 VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011402xxxx または 0x810107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(DIMM AB VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011403xxxx または 0x810107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(DIMM CD VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011404xxxx または 0x810107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(DIMM EF VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011405xxxx または 0x810107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(DIMM GH VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107011406xxxx または 0x810107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107012d01xxxx または 0x810107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.
(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010701xxxx または 0x810109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011401xxxx または 0x810109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011402xxxx または 0x810109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8810109011403xxxx または 0x810109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011404xxxx または 0x810109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.
(DIMM EF VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011405xxxx または 0x810109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.
(DIMM GH VR Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109011406xxxx または 0x810109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109012d01xxxx または 0x810109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109020701xxxx または 0x810109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010701xxxx または 0x81010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011401xxxx または 0x81010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1402xxxx • 81010b01-1404xxxx

81010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011402xxxx または 0x81010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011403xxxx または 0x81010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011404xxxx または 0x81010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011405xxxx または 0x81010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b011406xxxx または 0x81010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b012d01xxxx または 0x81010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101xxxx または 0x810300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301081301xxxx または 0x810301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201xxxx または 0x8107010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2582xxxx または 0x8107010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010302xxxx または 0x810702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-1201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU2 BRD Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702021201xxxx または 0x810702021201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-1501xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (Power PDB Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702021501xxxx または 0x810702021501xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01xxxx または 0x810702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02xxxx または 0x810702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a01xxxx または 0x810702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a02xxxx または 0x810702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201xxxx または 0x8107020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582xxxx または 0x8107020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702142201xxxx または 0x810702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0301xxxx または 0x8107021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0302xxxx または 0x8107021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010302xxxx または 0x810703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS1 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a01xxxx または 0x810706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS1 12V OV Fault : PS1 12V UV Fault : PS1 12Vaux Fault :

81070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS2 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a02xxxx または 0x810706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS2 12V OV Fault : PS2 12V UV Fault : PS2 12Vaux Fault :

81070609-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PDB_12V1)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706090a01xxxx または 0x810706090a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PDB_12V2 : PDB_12V3 : PDB_12V4_240VA : PDB_12V5_240VA : PDB_5V_OCP : PDB_5V_OVP : PDB_SHORT_CIR :

810b010a-1e01xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e01xxxx または 0x810b010a1e01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581xxxx または 0x810b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b03091301xxxx または 0x810b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0807

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581xxxx または 0x810b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b05091301xxxx または 0x810b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e01xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なりソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e01xxxx または 0x810b050a1e01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なりソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581xxxx または 0x810b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0005-1701xxxx The Chassis [PhysicalPackageElementName] was closed. (Chassis Error)

説明: このメッセージは、シャーシがクローズされた場合に使用されます。

816f00051701xxxx または 0x816f00051701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0005

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070301xxxx または 0x816f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070302xxxx または 0x816f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301xxxx または 0x816f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000d-0404xxxx • 816f000d-0405xxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404xxxx または 0x816f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405xxxx または 0x816f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406xxxx または 0x816f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407xxxx または 0x816f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0408xxxx または 0x816f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000d-0409xxxx • 816f000d-040axxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0409xxxx または 0x816f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040axxxx または 0x816f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040bxxxx または 0x816f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 12)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040cxxxx または 0x816f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040dxxxx または 0x816f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000d-040exxxx • 816f000d-040fxxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040exxxx または 0x816f000d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040fxxxx または 0x816f000d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0410xxxx または 0x816f000d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 17)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0411xxxx または 0x816f000d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 18)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0412xxxx または 0x816f000d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000d-0413xxxx • 816f000d-0414xxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0413xxxx または 0x816f000d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0414xxxx または 0x816f000d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 21)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0415xxxx または 0x816f000d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 22)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0416xxxx または 0x816f000d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 23)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0417xxxx または 0x816f000d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000d-0418xxxx • 816f000d-0419xxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 24)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0418xxxx または 0x816f000d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 25)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0419xxxx または 0x816f000d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 26)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041axxxx or 0x816f000d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 27)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041bxxxx または 0x816f000d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 28)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041cxxxx または 0x816f000d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000d-041dxxxx • 816f000d-041exxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 29)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041dxxxx または 0x816f000d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 30)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041exxxx または 0x816f000d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041fxxxx または 0x816f000d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ファームウェア・エラー : システム・ブート状況 :

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0021-2201xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212201xxxx または 0x816f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー。

**816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (PCI 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0021-3002xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (PCI 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213002xxxx または 0x816f00213002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0021-3003xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (PCI 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213003xxxx または 0x816f00213003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0021-3004xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (PCI 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213004xxxx または 0x816f00213004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3005xxxx **Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213005xxxx または 0x816f00213005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3006xxxx **Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213006xxxx または 0x816f00213006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3007xxxx **Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213007xxxx または 0x816f00213007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0021-3008xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (PCI 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213008xxxx または 0x816f00213008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has returned to normal on management system
[ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)**

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

816f00282101xxxx または 0x816f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0399

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070302xxxx または 0x816f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2005xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2005xxxx または 0x816f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2006xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2006xxxx または 0x816f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2007xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2007xxxx または 0x816f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2008xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2008xxxx または 0x816f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2009xxxx または 0x816f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200axxxx • 816f010c-200cxxxx

816f010c-200axxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200axxxx または 0x816f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200bxxxx または 0x816f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200cxxxx または 0x816f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200dxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200dxxxx または 0x816f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200exxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200exxxx または 0x816f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200fxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200fxxxx または 0x816f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2010xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2010xxxx または 0x816f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2011xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2011xxxx または 0x816f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2012xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2012xxxx または 0x816f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2013xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2013xxxx または 0x816f010c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2014xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2014xxxx または 0x816f010c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2015xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2015xxxx または 0x816f010c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2016xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2016xxxx または 0x816f010c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2017xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2017xxxx または 0x816f010c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2018xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2018xxxx または 0x816f010c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0404xxxx または 0x816f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0405xxxx または 0x816f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0406xxxx または 0x816f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0407xxxx または 0x816f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 8)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0408xxxx または 0x816f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 9)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0409xxxx または 0x816f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 10)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d040axxxx または 0x816f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 11)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d040bxxxx または 0x816f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 12)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d040cxxxx または 0x816f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 13)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d040dxxxx または 0x816f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 14)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d040exxxx または 0x816f010d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 15)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d040fxxxx または 0x816f010d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 16)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0410xxxx または 0x816f010d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 17)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0411xxxx または 0x816f010d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 18)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0412xxxx または 0x816f010d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 19)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0413xxxx または 0x816f010d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 20)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0414xxxx または 0x816f010d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 21)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0415xxxx または 0x816f010d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 22)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0416xxxx または 0x816f010d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 23)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0417xxxx または 0x816f010d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 24)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0418xxxx または 0x816f010d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 25)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0419xxxx または 0x816f010d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 26)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d041axxxx または 0x816f010d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 27)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d041bxxxx または 0x816f010d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 28)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d041cxxxx または 0x816f010d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 29)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d041dxxxx または 0x816f010d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 30)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d041exxxx または 0x816f010d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 31)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d041fxxxx または 0x816f010d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130301xxxx または 0x816f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

816f0113-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130302xxxx or 0x816f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

サーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070302xxxx または 0x816f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02072584xxxx または 0x816f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

**816f020d-0400xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 0)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 4)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0404xxxx または 0x816f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 5)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0405xxxx または 0x816f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 6)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0406xxxx または 0x816f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 7)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0407xxxx または 0x816f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0408xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 8)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0408xxxx または 0x816f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0409xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 9)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0409xxxx または 0x816f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-040axxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 10)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d040axxxx または 0x816f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-040bxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 11)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d040bxxxx または 0x816f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-040cxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 12)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d040cxxxx または 0x816f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-040dxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 13)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d040dxxxx または 0x816f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-040exxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 14)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d040exxxx または 0x816f020d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-040fxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 15)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d040fxxxx または 0x816f020d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0410xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 16)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0410xxxx または 0x816f020d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0411xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 17)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0411xxxx または 0x816f020d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0412xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 18)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0412xxxx または 0x816f020d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0413xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 19)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0413xxxx または 0x816f020d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0414xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 20)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0414xxxx または 0x816f020d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0415xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 21)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0415xxxx または 0x816f020d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0416xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 22)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0416xxxx または 0x816f020d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0417xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 23)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0417xxxx または 0x816f020d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0418xxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 24)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0418xxxx または 0x816f020d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0419xxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 25)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0419xxxx または 0x816f020d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041axxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 26)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d041axxxx または 0x816f020d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-041bxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 27)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d041bxxxx または 0x816f020d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-041cxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 28)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d041cxxxx または 0x816f020d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-041dxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 29)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d041dxxxx または 0x816f020d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041exxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 30)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d041exxxx または 0x816f020d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041fxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d041fxxxx または 0x816f020d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2005xxxx または 0x816f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2006xxxx または 0x816f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2007xxxx または 0x816f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2008xxxx または 0x816f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009xxxx • 816f030c-200bxxxx

816f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2009xxxx または 0x816f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200axxxx または 0x816f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200bxxxx または 0x816f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200cxxxx または 0x816f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200dxxxx または 0x816f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200exxxx または 0x816f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200fxxxx または 0x816f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2010xxxx または 0x816f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2011xxxx または 0x816f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2012xxxx または 0x816f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2013xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2013xxxx または 0x816f030c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2014xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2014xxxx または 0x816f030c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2015xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2015xxxx または 0x816f030c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2016xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2016xxxx または 0x816f030c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2017xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2017xxxx または 0x816f030c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2018xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2018xxxx または 0x816f030c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005xxxx または 0x816f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006xxxx または 0x816f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007xxxx または 0x816f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008xxxx または 0x816f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009xxxx または 0x816f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200axxxx または 0x816f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bxxxx または 0x816f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cxxxx または 0x816f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200dxxxx または 0x816f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200exxxx または 0x816f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200fxxxx または 0x816f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2010xxxx または 0x816f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2011xxxx または 0x816f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2012xxxx または 0x816f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2013xxxx または 0x816f040c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2014xxxx または 0x816f040c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2015xxxx または 0x816f040c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2016xxxx または 0x816f040c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2017xxxx または 0x816f040c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2018xxxx または 0x816f040c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070302xxxx または 0x816f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05072584xxxx または 0x816f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2005xxxx または 0x816f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2006xxxx または 0x816f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2007xxxx または 0x816f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2008xxxx または 0x816f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2009xxxx または 0x816f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200axxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200axxxx または 0x816f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200bxxxx または 0x816f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 12)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200cxxxx または 0x816f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200dxxxx または 0x816f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200exxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200exxxx または 0x816f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200fxxxx または 0x816f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2010xxxx または 0x816f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 17)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2011xxxx または 0x816f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 18)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2012xxxx または 0x816f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2013xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 19)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2013xxxx または 0x816f050c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2014xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 20)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2014xxxx または 0x816f050c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2015xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2015xxxx または 0x816f050c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2016xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2016xxxx または 0x816f050c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2017xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2017xxxx または 0x816f050c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2018xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2018xxxx または 0x816f050c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0404xxxx または 0x816f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0405xxxx または 0x816f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0406xxxx または 0x816f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0407xxxx または 0x816f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0408xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 8)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0408xxxx または 0x816f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0409xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 9)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0409xxxx または 0x816f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040axxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 10)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d040axxxx または 0x816f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040bxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 11)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d040bxxxx または 0x816f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040cxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 12)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d040cxxxx または 0x816f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040dxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 13)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d040dxxxx または 0x816f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040exxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 14)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d040exxxx または 0x816f050d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040fxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 15)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d040fxxxx または 0x816f050d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0410xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 16)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0410xxxx または 0x816f050d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0411xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 17)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0411xxxx または 0x816f050d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0412xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 18)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0412xxxx または 0x816f050d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0413xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 19)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0413xxxx または 0x816f050d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0414xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 20)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0414xxxx または 0x816f050d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0415xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 21)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0415xxxx または 0x816f050d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0416xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 22)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0416xxxx または 0x816f050d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0417xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 23)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0417xxxx または 0x816f050d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0418xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 24)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0418xxxx または 0x816f050d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0419xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 25)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0419xxxx または 0x816f050d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041axxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 26)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d041axxxx または 0x816f050d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041bxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 27)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d041bxxxx または 0x816f050d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041cxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 28)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d041cxxxx または 0x816f050d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041dxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 29)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d041dxxxx または 0x816f050d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041exxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 30)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d041exxxx または 0x816f050d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041fxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 31)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d041fxxxx または 0x816f050d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302xxxx または 0x816f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06072584xxxx or 0x816f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] Configuration is OK. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06081301xxxx または 0x816f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0105

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0404xxxx または 0x816f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0405xxxx または 0x816f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0406xxxx または 0x816f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0407xxxx または 0x816f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0408xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 8)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0408xxxx または 0x816f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0409xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 9)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0409xxxx または 0x816f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040axxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 10)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d040axxxx または 0x816f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040bxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 11)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d040bxxxx または 0x816f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040cxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 12)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d040cxxxx または 0x816f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040dxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 13)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d040dxxxx または 0x816f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040exxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 14)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d040exxxx または 0x816f060d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040fxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 15)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d040fxxxx または 0x816f060d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0410xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 16)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0410xxxx または 0x816f060d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0411xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 17)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0411xxxx または 0x816f060d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0412xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 18)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0412xxxx または 0x816f060d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0413xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 19)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0413xxxx または 0x816f060d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0414xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 20)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0414xxxx または 0x816f060d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0415xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 21)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0415xxxx または 0x816f060d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0416xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 22)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0416xxxx または 0x816f060d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0417xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 23)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0417xxxx または 0x816f060d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0418xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 24)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0418xxxx または 0x816f060d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0419xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 25)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0419xxxx または 0x816f060d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041axxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 26)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d041axxxx または 0x816f060d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041bxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 27)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d041bxxxx または 0x816f060d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041cxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 28)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d041cxxxx または 0x816f060d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041dxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 29)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d041dxxxx または 0x816f060d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041exxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 30)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d041exxxx または 0x816f060d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041fxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 31)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d041fxxxx または 0x816f060d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2005xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2005xxxx または 0x816f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2006xxxx または 0x816f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2007xxxx または 0x816f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2008xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2008xxxx または 0x816f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2009xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2009xxxx または 0x816f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200axxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200axxxx または 0x816f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200bxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200bxxxx または 0x816f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200cxxxx または 0x816f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200dxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200dxxxx または 0x816f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200exxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200exxxx または 0x816f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200fxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200fxxxx または 0x816f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2010xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2010xxxx または 0x816f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2011xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 17)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2011xxxx または 0x816f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2012xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2012xxxx または 0x816f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2013xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2013xxxx または 0x816f070c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2014xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2014xxxx または 0x816f070c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2015xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 21)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2015xxxx または 0x816f070c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2016xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 22)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2016xxxx または 0x816f070c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2017xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 23)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2017xxxx または 0x816f070c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2018xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 24)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2018xxxx または 0x816f070c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0404xxxx または 0x816f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0405xxxx または 0x816f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0406xxxx または 0x816f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0407xxxx または 0x816f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0408xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0408xxxx または 0x816f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0409xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0409xxxx または 0x816f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040axxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040axxxx または 0x816f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040bxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040bxxxx または 0x816f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040cxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040cxxxx または 0x816f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040dxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040dxxxx または 0x816f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040exxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040exxxx または 0x816f070d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040fxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040fxxxx または 0x816f070d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0410xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 16)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0410xxxx または 0x816f070d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0411xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 17)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0411xxxx または 0x816f070d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0412xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 18)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0412xxxx または 0x816f070d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0413xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 19)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0413xxxx または 0x816f070d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0414xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 20)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0414xxxx または 0x816f070d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0415xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 21)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0415xxxx または 0x816f070d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0416xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 22)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0416xxxx または 0x816f070d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0417xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 23)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0417xxxx または 0x816f070d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0418xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 24)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0418xxxx または 0x816f070d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0419xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 25)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0419xxxx または 0x816f070d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041axxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 26)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d041axxxx または 0x816f070d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041bxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 27)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d041bxxxx または 0x816f070d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041cxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 28)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d041cxxxx または 0x816f070d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041dxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 29)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d041dxxxx または 0x816f070d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041exxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 30)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d041exxxx または 0x816f070d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041fxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d041fxxxx または 0x816f070d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070302xxxx または 0x816f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08072584xxxx または 0x816f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU。

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132584xxxx または 0x816f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2001xxxx または 0x816f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2002xxxx または 0x816f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2003xxxx または 0x816f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2004xxxx または 0x816f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2005xxxx または 0x816f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 6)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2006xxxx または 0x816f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2007xxxx または 0x816f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2008xxxx または 0x816f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 9)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2009xxxx または 0x816f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 10)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200axxxx または 0x816f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 11)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200bxxxx または 0x816f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 12)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200cxxxx または 0x816f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 13)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200dxxxx または 0x816f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 14)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200exxxx or 0x816f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 15)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c200fxxxx または 0x816f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 16)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2010xxxx または 0x816f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 17)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2011xxxx または 0x816f090c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 18)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2012xxxx または 0x816f090c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 19)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2013xxxx または 0x816f090c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 20)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2014xxxx または 0x816f090c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 21)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2015xxxx または 0x816f090c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 22)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2016xxxx または 0x816f090c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f090c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.
(DIMM 23)**

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2017xxxx または 0x816f090c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、メモリーのスロットルが発生しなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f090c2018xxxx または 0x816f090c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070302xxxx または 0x816f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2001xxxx または 0x816f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2002xxxx または 0x816f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2003xxxx または 0x816f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2004xxxx または 0x816f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2005xxxx または 0x816f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2006xxxx または 0x816f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2007xxxx または 0x816f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2008xxxx または 0x816f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2009xxxx または 0x816f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200axxxx または 0x816f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200bxxxx または 0x816f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200cxxxx または 0x816f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200dxxxx または 0x816f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200exxxx または 0x816f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c200fxxxx または 0x816f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2010xxxx または 0x816f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2011xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2011xxxx または 0x816f0a0c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2012xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2012xxxx または 0x816f0a0c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2013xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2013xxxx または 0x816f0a0c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2014xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2014xxxx または 0x816f0a0c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2015xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2015xxxx または 0x816f0a0c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2016xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2016xxxx または 0x816f0a0c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2017xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2017xxxx または 0x816f0a0c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2018xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、メモリーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a0c2018xxxx または 0x816f0a0c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 1 PECl)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130301xxxx または 0x816f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

816f0a13-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 2 PECl)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130302xxxx または 0x816f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード

このセクションでは、UEFI (POST) エラー・コードについて詳しく説明します。

UEFI (POST) 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI (POST) コードは、サーバー内の IMM2 イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)

イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

表 39. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメンテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください

以下に、UEFI (POST) エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

I.11002 [I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.

説明: 1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18005 [I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.

説明: プロセッサのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18006 [I.18006] A mismatch between the maximum allowed QPI link speed has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの QPI 速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサ CPU が、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる RETAIN TipService Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 [I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 [I.18008] Currently, there is no additional information for this event.

説明: プロセッサの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連したプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A • I.1800C

I.1800A [I.1800A] A mismatch has been detected between the speed at which a QPI link has trained between two or more processor packages.

説明: プロセッサのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサを取り外し、Server Proven にリストされているプロセッサを取り付けます。
2. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B [I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用し、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティを使用して構成することができます。
4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報で UEFI リカバリーに関するセクションを参照して、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次のリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは情報提供のみを目的とするものです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.

説明: プロセッサ CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
-

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
 2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。
-

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントは、次のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。元の UEFI 設定は、まだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリポートをトリガーしたのではない場合は、ログに推定原因がないか確認します。
3. 最近行ったシステム変更 (追加した設定やデバイス) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。

S.3060007 • S.3818004

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次リセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.

説明: [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined.

[S.51003] An uncorrectable memory error has been detected during POST.

致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに交換します。別のメモリー・チャンネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。

5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 [S.68005] An error has been detected by the the I/O core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.680B8 [S.680B8] Internal QPI Link Failure Detected.

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.680B9 [S.680B9] External QPI Link Failure Detected.

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

W.11004 [W.11004] A processor within the system has failed the BIST.

説明: プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを再消去します。本製品のサービス情報の『UEFI Recovery』セクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A] An invalid date and time have been detected.

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 セットアップを使用して、日時をリセットします。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. Requires Change Settings From F1.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。 F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「System Settings > Settings > Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見付けます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. アクションは不要です – POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'System Shutdown' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Disconnect Controller Failed. Requires 'Reboot'.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3108002 [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: GPT (GUID パーティション・テーブル) の破損

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup -> 「System Settings」-> 「Recovery」-> 「Disk GPT Recovery」と進んで「Automatic」に設定し、「Save Settings」を選択してから、システムを再始動します。
2. ブートして F1 Setup を表示します。システムは POST 中に自動的に GPT のリカバリーを試みます。システムを再始動します。
3. 問題が続く場合は、LUN またはディスクを再フォーマットし、OS を再インストールします。

W.3808000 [W.3808000] An IMM communication failure has occurred.

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002] An error occurred while saving UEFI settings to the IMM.

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 [W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」
2. OOB 構成更新を再試行します

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクタに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクタのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、ミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスタのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
 3. テストを再実行します。
 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
-

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
 3. テストを再実行します。
 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
-

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
 2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
 3. テストを再実行してください。
 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
 2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
 3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。
-

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
 5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
 6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
 2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
 4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
 5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
 6. テストを再実行してください。
 7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
 8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。

5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が H8S 2117 バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9543 バス (BUS 3) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-905-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が MAX7319 バス (BUS 4) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が LM75 バス (BUS 6) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-908-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9557 バス (BUS 7) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。

5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

以下の情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、IBM システムまたはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先を知ることができます。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の IBM 製品において IBM が保証サービスを実行する必要があると確信する場合は、お客様に連絡前の準備をしていただくことで、IBM サービス技術員がより効果的な支援を行うことができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。IBM 保証条件は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています（追加の保守契約によって保証されていない場合）。お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サポートに提供する次の情報を収集してください。このデータは、IBM サービスがお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供するのに役立ちます。また、このデータによって、お客様が契約したレベルのサービスを確実に受けることができるようになります。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号（該当する場合）
 - マシン・タイプ番号（IBM の 4 桁のマシン識別番号）
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.ibm.com/supportportal>に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <http://www.ibm.com/supportportal> では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> にあります。IBM BladeCenter 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/> にあります。IBM IntelliStation 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml> にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- 標準アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。

IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/> にアクセスしてから、ページの右サイドで「パートナーを探す」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があります、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven[®] に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows[®] などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア（オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど）を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせください。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子（金属片や微粒子を含む）や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 40. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	- 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。 - データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 - 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。 - 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	- 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³ - 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満
¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc. ² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。 ³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.	

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方式での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden:

"Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入
力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers
and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для
снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声 明

此为 A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

アウト・オブ・バンド 197
アダプター, 取り外し 254
アダプターの取り付け 78, 258
安全, 点検 ix
安全と注意 6
安全に関する注意書き vii, xi
安定化脚, 回転 220
イーサネット 9
 コントローラー 191
 システム管理コネクタ 22
 リンク状況 LED 22
イーサネット活動
 LED 20, 22
イーサネット・コネクタ 22
イーサネット・コントローラーの構成 114
イーサネット・サポート 9
一般
 問題 175
イベント, IMM2 387
イベント・ログ 165
 消去 168
 表示 166
イベント・ログ, システム 165
イベント・ログ, 表示の方式 167
イベント・ログ, POST 165
イベント・ログの表示 167
インバンド
 自動ブート・リカバリー方式 197
 手動リカバリー方式 195
インフォメーション・センター 938
エアー・バッフル, 交換 107
エアー・バッフル, 取り外し 45, 221
エアー・バッフル, 取り付け 222
エラー
 書式, DSA コード 172
エラー現象 182
 一般 175
 オプション装置 184
 キーボード 177
 偶発的 177
 シリアル・ポート 188
 ソフトウェア 190

エラー現象 (続き)
 電源 185
 ネットワーク接続 184
 ハード・ディスク 176
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置 176
 マイクロプロセッサ 181
 マウス 177
 メモリー 179
 モニター 182
 DVD ドライブ 174
 GPU/VGA アダプター 175
 RAID/ストレージ・アダプター 187
 ServerGuide 189
 USB デバイス 177
 USB ポート 190
エラー・コードとメッセージ
 IMM2 387
 UEFI (POST) 815
エラー・メッセージ 173
エラー・メッセージ, IMM2 387
汚染, 微粒子およびガス 7
汚染, 粒子およびガス 944
オプション
 取り付け 29
オプション装置の問題 184
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール, 取り外し 267
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール, 取り付け 82, 268
オプションの取り付け, 完了 105
オペレーター情報パネル 18
 アセンブリー, 取り外し 310
 アセンブリー, 取り付け 311
 ケーブル・ルーティング 369
 コントロールおよび LED 20
 LED 20, 156
オペレーティング・システム 3
オペレーティング・システム・イベント・ログ 9, 165, 167
音響放出ノイズ 7
オンライン資料 1, 5

【カ行】

回転
 安定化脚 220
ガイドライン
 オプションの取り付け 38
 システム信頼性 40
 電気機器の保守 x

ガイドライン (続き)
 トレーニングを受けたサービス技術員 ix
外部コネクタ 33
概要 1
拡張
 ベイ 7
ガス汚染 7, 944
カスタム・サポート Web ページ 939
可用性, サーバー 15
環境 7
管理, システム 9
管理者
 パスワード 127
完了
 オプションの取り付け 105
危険の注記 6
機能 7
 ServerGuide 117
機能, リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 9
キャッシュ 7
偶発的
 問題 177
組み込みハイパーバイザー
 使用 134
グリース, 熱伝導 99, 351
ケーブル
 内部配線 368
ケーブル, 接続 109
現行ファームウェアの適用
 ベスト・プラクティスの使用 29
検索
 更新された資料 5
コール・ホーム機能
 IBM Electronic Service Agent 173
コール・ホーム・ツール 173
交換可能なサーバー・コンポーネント 199
更新
 サーバー構成 111
 汎用固有 ID (UUID) 138, 141
 ファームウェア 113
 IBM Systems Director 137
 Systems Director, IBM 137
構成
 ケーブル・ルーティング 373
情報 113
手順 113
Nx 回ブート失敗 198
RAID アレイ 136

構成 (続き)

- ServerGuide Setup and Installation
CD 113
- ServerGuide で 118
- Setup ユーティリティ 113
- 構成プログラム 114
- 構造部品 207
- コネクタ
イーサネット 22
- イーサネット・システム管理 22
- 外部 33
- サーバーの前面 18
- シリアル 22
- 内部 31
- 内部ケーブルのルーティング 368
- 背面 22
- 背面、サーバーの 22
- パワー・サプライ 22
- ビデオ 22
- Light Path 診断パネル 21
- USB 18, 22
- コネクタ、内部、システム・ボード 31
- 個別設定したサポート Web ページの作成 939
- コントローラ
イーサネット 135
- コントロール、LED、および電源 18
- コントロールおよび LED
オペレーター情報パネル 20
- コンポーネント
サーバー 31, 199

[サ行]

- サーバー
提供 9
 - 電源オンのサーバー内部での作業 41
 - 電源機能 25
 - 電源をオフにする 26
 - 電源をオンにする 25
 - サーバー、前面図 18
 - サーバー、バックアップ・ファームウェア
始動 128
 - サーバーが提供する機能 9
 - サーバー構成、更新 111
 - サーバーの構成 113
 - サーバーのコントロール、LED、および電源 18
 - サーバーのシャットダウン 26
 - サーバーの電源をオフにする 26
 - サーバーの背面図 22
 - サーバー・コンポーネント 31, 199
 - サーバー・ファームウェアのリカバリー 195
 - サービスおよびサポート
依頼する前に 937
- サービスおよびサポート (続き)
ソフトウェア 939
 - ハードウェア 940
 - サイズ 7
 - 再取り付け
エア・バッフル 107
 - 構造部品 215
 - コンポーネント 211
 - サーバー・コンポーネント 215
 - 左サイド・カバー 108
 - ファン・ケージ・アセンブリー 106
 - Tier 1 CRU 228
 - Tier 1 CRU、交換 228
 - Tier 2 CRU 333
 - サポート Web ページ、カスタム 939
 - サポート、入手 937
 - 事項、重要 942
 - システム
エラー LED (前面) 20
 - 情報 LED 20
 - ロケータ 20
 - システム管理 9
 - イーサネット・コネクタ 22
 - システム管理ツール
IBM Systems Director 17
 - システムの信頼性に関するガイドライン 40
 - システム・イベント・ログ 165, 166
 - システム・イベント・ログ、Assertion イベント 165
 - システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 165
 - システム・パルス LED 164
 - システム・ボード
外部コネクタ 33
 - 始動パスワード・スイッチ 126
 - スイッチとジャンパー 33
 - 内部コネクタ 31
 - LED 35
 - システム・ボード、取り外し 362
 - システム・ボード、取り付け 365
 - システム・ボードの内部コネクタ 31
 - 次世代テクノロジー 9
 - 室温 7
 - 湿度 7
 - 質量 7
 - 始動
バックアップ・ファームウェア 128
 - Setup ユーティリティ 119
 - 自動ブート・リカバリー (ABR) 197
 - ジャンパー
システム・ボード 33
 - UEFI ブート・リカバリー 195
 - 重要な注 6
 - 重要な注記 6, 942
 - 取得 131, 132

仕様 7

- 使用
組み込みハイパーバイザー 134
- 統合管理モジュール 129
- リモート・プレゼンス機能 131
- Setup ユーティリティ 119
- 使用可能化
Features on Demand
Ethernet ソフトウェア 135
- RAID ソフトウェア 135
- 冗長
イーサネット機能 15
- イーサネット接続 9
- ホット・スワップ電源機構 15
- 冷却 9
- vNIC 9
- 冗長性サポート
パワー・サプライ 9
- 商標 942
- シリアル番号
ロケーション 194
- シリアル・コネクタ 22
- シリアル・ポートの問題 188
- 資料
使用 938
- Documentation Browser 4
- Documentation CD 3
- 資料、更新された
検索 5
- 診断
オンボード・プログラム、開始 171
- ツール、概要 153
- プログラムの概要 169
- 診断プログラム
DSA Preboot 9
- シンプル・スワップ・ドライブ、取り外し 241
- シンプル・スワップ・ドライブ、取り付け 61, 242
- 信頼性、サーバー 15
- スイッチ
システム・ボード 33
- スイッチ・ブロック 33
- スタンバイ・モード 25
- スロット 7
- 寸法 7
- 静電気に弱い装置
取り扱いのガイドライン 41
- 静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 41
- 接続
ケーブル 109
- 前面図
コネクタ 18
- LED の位置 18
- 前面図、サーバーの 18

装置、静電気の影響を受けやすい
 取り扱いのガイドライン 41
ソフトウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 939
ソフトウェアの問題 190
ソフトウェア要件 3

[タ行]

対称多重処理 9
チェックアウト手順 151
 実行 152
注 6
注意の注記 6
注記 6, 941
 電磁波放出 945
 FCC、Class A 945
ツール、コール・ホーム 173
ツール、診断 153
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載
 キット、取り外し 250
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載
 キット、取り付け 251
通信規制の注記 945
粒子汚染 7, 944
データの収集 147
データ収集 147
テープ・ドライブ
 ケーブル・ルーティング 370
テープ・ドライブ、取り外し 247
テープ・ドライブ、取り付け 65, 249
ディスプレイの問題 182
手順、チェックアウト 152
テスト・ログ、表示 172
デバイス
 取り付け 29
デバイス・ドライバ 128
電気機器、保守 x
電気機器の保守 x
電源 128
 ケーブル・ルーティング 368
 電源制御ボタン 18
 要件 7
点検、安全 ix
電源オンのサーバー内部での作業 41
電源オンの状態でのサーバー内部での作業
 41
電源機能
 サーバー 25
電源コード 208
電源遮断スイッチ・アセンブリー、取り外
 し 330
電源遮断スイッチ・アセンブリー、取り付
 け 331
電源制御ボタン 18
電源制御ボタン・シールド 18

電源入力 7
電源の問題 185, 191
電源パドル・カード、取り外し 333
電源パドル・カード、取り付け 335
電源をオフにする、サーバーの
 内蔵ベースボード管理コントローラー
 26
電源をオンにする、サーバーの 25
電子情報技術産業協会表示 948
電磁波放出 Class A の注記 945
電話番号 939, 940
統合管理モジュール
 イベント・ログ 9
 概要 9
 使用 129
統合管理モジュール II
 イベント・ログ 167
統合管理モジュール II (IMM2)
 イベント・ログ 165
 プログラム 114
閉じる
 ベゼルのメディア・ドア 214
ドライブ 7, 11
 取り外し 228
 取り付け 228
ドライブ、取り外し 50
ドライブ、取り付け 50
ドライブ・ベイ、内部 50, 228
トラブルシューティング 147
 現象 173
取り外し
 アダプター 254
 エアー・バッフル 45, 221
 オプションの ServeRAID アダプタ
 ー・メモリー・モジュール 267
 オペレーター情報パネル・アセンブリ
 ー 310
 コンポーネント 211
 サーバー・コンポーネント 215
 システム・ボード 362
 シンプル・スワップ・ドライブ 241
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭
 載キット 250
テープ・ドライブ 247
電源遮断スイッチ・アセンブリー 330
電源パドル・カード 333
ドライブ 50, 228
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
 324
バッテリー 278
ヒートシンク 338
ヒートシンク保持モジュール 360
左サイド・カバー 44, 215
ファン 274
ファン・ケージ・アセンブリー 46,
 326

取り外し (続き)
 フラッシュ電源モジュール 263
 フラッシュ電源モジュール・ホルダー
 224
 ベゼル 217
 ホット・スワップ・ハード・ディスク
 235
 ホット・スワップ・パワー・サプライ
 304
 マイクロプロセッサ 2 拡張ボード
 352
 メモリー・モジュール 313
2 個目のマイクロプロセッサ 338
2.5 型ハード・ディスク・バックプレ
 ー 294
3.5 型ハード・ディスク・バックプレ
 ート・アセンブリー 301
3.5 型ハード・ディスク・バックプレ
 ー 297
3.5 型ホット・スワップ・ハード・デ
 ィスク 238
DVD ドライブ 244
Light Path 診断アセンブリー 286
PCI-X ブラケット 269
PCI-X ブラケットのアダプターの
 256
RAID アダプター・バッテリー・ホル
 ダー 224
RAID アダプター・リモート・バッテ
 リー 263
USB ケーブルと Light Path 診断アセ
 ンブリー 282
USB ケーブル・アセンブリー 290
取り外し、DIMM 313
取り外しと交換
 構造部品 215
 サーバー・コンポーネント 215
 取り外し
 構造部品 215
取り付け 1
 アダプター 78, 258
 エアー・バッフル 222
 オプションの ServeRAID アダプタ
 ー・メモリー・モジュール 82, 268
 オペレーター情報パネル・アセンブリ
 ー 311
 システム・ボード 365
 シンプル・スワップ・ドライブ 61,
 242
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭
 載キット 251
テープ・ドライブ 65, 249
電源遮断スイッチ・アセンブリー 331
電源パドル・カード 335
ドライブ 50, 228

取り付け (続き)

ハイパーバイザー・フラッシュ装置
104, 325
バッテリー 280
ヒートシンク 91, 343
ヒートシンク保持モジュール 361
左サイド・カバー 216
ファン 48, 276
ファン・ケージ・アセンブリー 328
フラッシュ電源モジュール 83, 264
フラッシュ電源モジュール・ホルダー
226
ベゼル 218
ホット・スワップ SAS または SATA
ドライブ 59, 239
ホット・スワップ・ドライブ 59, 239
ホット・スワップ・ハード・ディスク
57, 236
ホット・スワップ・パワー・サプライ
100, 306
マイクロプロセッサ 2 拡張ボード
86, 354
メモリー 66, 314
2 個目のマイクロプロセッサ 91,
343
2.5 型ハード・ディスク・バックプレ
ーン 295
3.5 型ハード・ディスク・バックプレ
ート・アセンブリー 302
3.5 型ハード・ディスク・バックプレ
ーン 299
DIMM 73, 321
dimm 66, 314
DVD ドライブ 62, 245
Light Path 診断アセンブリー 288
PCI-X ブラケット 75, 271
PCI-X ブラケットへのアダプターの
80, 261
RAID アダプター・バッテリー・ホル
ダー 226
RAID アダプター・リモート・バッテ
リー 83, 264
USB ケーブルと Light Path 診断アセ
ンブリー 284
USB ケーブル・アセンブリー 292
取り付け、オプション 29
取り付け順序
dimm 70, 318
取り付けのガイドライン 38
トレーニングを受けたサービス技術員、ガ
イドライン ix

[ナ行]

内蔵機能 7
内蔵ベースボード管理コントローラー 26
内部、システム・ボード・コネクタ 31
内部ケーブルのルーティング 368
内部コネクタ 31
熱伝導グリース 99, 351

[ハ行]

ハードウェア、構成 114
ハードウェアの構成 114
ハードウェアのサービスおよびサポートの
電話番号 940
ハードウェア要件 3
ハード・ディスク
活動 LED 18
コネクタ
ハード・ディスク・バックプレーン
36
バックプレーン・コネクタ 36
状況 LED 18
タイプ 57, 235, 236
バックプレーンの配線 373
バックプレーン・コネクタ 36
ホット・スワップ SAS または
SATA、取り外し 238
ホット・スワップ SAS または
SATA、取り付け 59, 239
問題 176
ハード・ディスク、取り外し 235, 238
ハード・ディスク、取り付け 57, 236
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
問題 176
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイ
ス、取り外し 324
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイ
ス、取り付け 104, 325
背面図 22
サーバー 22
パスワード 125
管理者 125
パワーオン 125
パスワード、始動
スイッチ、システム・ボード上の 126
バックアップ・ファームウェア
始動 128
バッテリー
取り外し 278
取り付け 280
発熱量 (消費電力) 7
パワーオン LED 20, 25
パワーオン・セルフテスト 169
パワー・サプライ 7
冗長性サポート 9

パワー・サプライ (続き)

LED 163
LED と検出される問題 163
パワー・サプライ LED 163
ヒートシンク、取り外し 338
ヒートシンク、取り付け 91, 343
ヒートシンク保持モジュール、取り外し
360
ヒートシンク保持モジュール、取り付け
361
ビジネス・パートナーの手順 29, 30
左サイド・カバー、再取り付け 108
左サイド・カバー、取り外し 44, 215
左サイド・カバー、取り付け 216
ビデオ・コネクタ
背面 22
ビデオ・コントローラー、内蔵
仕様 7
表明イベント、システム・イベント・ログ
165
表明解除イベント、システム・イベント・
ログ 165
開く
ベゼルのメディア・ドア 42, 212
ブート・マネージャー・プログラム 114
ファームウェア、更新 113
ファームウェア、サーバー、リカバリー
195
ファームウェア更新、ベスト・プラクティ
ス 29
ファームウェアの更新 1, 38
ファン 9
シンプル・スワップ 7
ファン、取り外し 274
ファン、取り付け 48, 276
ファン・ケージ電源
ケーブル・ルーティング 385, 386
ファン・ケージ・アセンブリー、再取り付
け 106
ファン・ケージ・アセンブリー、取り外し
46, 326
ファン・ケージ・アセンブリー、取り付け
328
部品、構造 207
部品リスト 199
フラッシュ電源モジュール
取り付け 83, 264
フラッシュ電源モジュール、取り外し
263
フラッシュ電源モジュール・ホルダー、取
り外し 224
フラッシュ電源モジュール・ホルダー、取
り付け 226
ブルー・スクリーン機能 131
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
9

ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
(続き)
概要 9, 131
プレゼンス検出ボタン 20
文書化されていない問題 150
ベイ 7
米国 FCC Class A の注記 945
ベスト・プラクティス
 現行ファームウェアおよびデバイス・
 ドライバー更新を適用するために使
 用 29
ベスト・プラクティスの使用
 ファームウェアおよびデバイス・ドラ
 イバー更新を適用 29
ベゼル、取り外し 217
ベゼル、取り付け 218
ベゼルのメディア・ドア、閉じる 214
ベゼル・メディア・ドア、開く 42, 212
ヘルプ
 ソース 937
 IBM への診断データの送信 939
 WWW から 938
返却
 コンポーネント 211
 装置 211
方式 197
方式、イベント・ログの表示 167
保守容易性、サーバー 15
ボタン、プレゼンス検出 20
ホット・スワップ・ドライブ、SAS また
 は SATA
 取り外し 238
ホット・スワップ・ドライブ、SAS また
 は SATA、取り付け 59, 239
ホット・スワップ・パワー・サプライ
 取り外し 304
ホット・スワップ・パワー・サプライ、取
 り付け 100, 306
ポリシー・オプション 128

[マ行]

マイクロプロセッサ 9
 仕様 7
 問題 181
マイクロプロセッサ 2 拡張ボード、取
 り外し 352
マイクロプロセッサ 2 拡張ボード、取
 り付け 86, 354
未解決問題 193
ミラーリング 9
メッセージ、エラー
 POST 815
メニュー選択
 Setup ユーティリティ 120
メモリー 7, 9

メモリー (続き)
 取り付け 66, 314
 two-DIMM-per-channel (2DPC) 66,
 314
メモリー・サポート 9
メモリー・スペアリング 9
メモリー・モジュール
 取り外し 313
メモリー・ランク・スペアリング
 説明 72, 320
モデル名
 ロケーション 194
問題 182
 イーサネット・コントローラー 191
 一般 175
 オプション装置 184
 キーボード 177
 偶発的 177
 シリアル・ポート 188
 ソフトウェア 190
 電源 185, 191
 ネットワーク接続 184
 ハード・ディスク 176
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置
 176
 マイクロプロセッサ 181
 マウス 177
 未解決 193
 メモリー 179
 モニター 182
 DVD ドライブ 174
 GPU/VGA アダプター 175
 RAID/ストレージ・アダプター 187
 ServerGuide 189
 USB ポート 190

[ヤ行]

ユーティリティ、セットアップ 114
ユーティリティ、Setup
 始動 119
 使用 119
ユーティリティ・プログラム
 IBM Advanced Settings 136
要件

 ソフトウェア 3
 ハードウェア 3

[ラ行]

ランク・スペアリング
 DIMM 取り付け順序 72, 320
ランク・スペアリング・モード 72, 320
リセット・ボタン 18
リマインド・ボタン 18

リモート・プレゼンス機能
 使用 131
冷却 9
レガシー・オペレーティング・システム
 要件 118
レガシー・オペレーティング・システムを
 インストールする前に 118
ローカル・エリア・ネットワーク
 (LAN) 9
ロギング 133

[数字]

2 個目のマイクロプロセッサ、取り外し
 338
2 個目のマイクロプロセッサ、取り付け
 91, 343
2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン
 取り外し 294
 取り付け 295
3.5 型ハード・ディスク・バックプレー
 ト・アセンブリー
 取り外し 301
 取り付け 302
3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン
 取り外し 297
 取り付け 299

A

ABR、自動ブート・リカバリー 197
AC 電源 LED 22
Active Energy Manager プラグイン 9
ASM イベント・ログ 9, 167
Australia Class A statement 946

B

Boot Manager 127

C

Canada Class A electronic emission
 statement 946
China Class A electronic emission
 statement 949
Class A 電磁波放出の注記 945

D

DC 電源 LED 22
DIMM
 取り外し 313

DIMM (続き)

メモリー・ミラーリング・チャンネル・
モード 71, 319

dimm

取り付け 66, 314
取り付け順序 70, 318

DIMM 取り付け順序

メモリー・ミラーリング・チャンネル・
モード 71, 319

DIMM の取り付け順序

ランク・スペアリング 72, 320

DIMM、取り付け 73, 321

Documentation CD 3

DSA 30

エディション 170
テキスト・メッセージ書式 172
テスト・ログ、表示 172
プログラム、概要 169

DSA Portable 153, 170

DSA Preboot 153, 170

DSA Preboot 診断プログラム 9

DSA データ

IBM への送信方法 30

DSA データの送信

IBM への 30

DSA ログ 9, 165, 167

DSA、IBM へのデータの送信 939

DVD

イジェクト・ボタン 18
ケーブル・ルーティング 372
ドライブ活動 LED 18
DVD ドライブ LED 18

DVD ドライブ

問題 174

DVD ドライブ、取り外し 244

DVD ドライブ、取り付け 62, 245

Dynamic System Analysis 30

Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 9

E

European Union EMC Directive
conformance statement 946

F

FCC Class A notice 945

G

Germany Class A statement 947

GPU/VGA アダプター
問題 175

I

IBM Advanced Settings ユーティリティ
ー・プログラム

概要 136

IBM Electronic Service Agent 173

IBM Systems Director 9

更新 137

システム管理ツール 17

IBM ビジネス・パートナー用の手順 29, 30

IBM への DSA データの送信方法 30

IBM への診断データの送信 939

IBM、次世代テクノロジー 9

IMM2 114

IMM2 Web インターフェース 133

IMM2 イベント 387

IMM2 のエラー・メッセージ 387

IMM2 ハートビート

LED 164

IMM2 ホスト名 131

IMM2 用の IP アドレス 132

IPMI イベント・ログ 9, 165, 167

IPMItool 167

J

JEITA 表示 948

K

Korea Class A electronic emission
statement 948

L

LED

イーサネット活動 20, 22
イーサネット・リンク状況 22
オペレーター情報パネル 20, 156
サーバーの前面 18
システム情報 20
システム・エラー 20
システム・パルス 164
システム・ボード 35
システム・ロケーター 20
ハード・ディスク活動 18
ハード・ディスク状況 18
パワーオン 20
パワー・サブライ 163
パワー・サブライで検出される問題
163
パワー・サブライ・エラー 22
AC 電源 22
DC 電源 22

LED (続き)

DVD ドライブ活動 18

IMM2 ハートビート 164

Light Path 診断 156

パワー・サブライ 163

Light Path 診断パネル 21

RTMM ハートビート 164

Light Path 診断 9, 156

ケーブル・ルーティング 369

パネル 156

パネル、LED およびコネクタ 21

LED 158

Light Path 診断 LED 158

Light Path 診断、電源なしでの表示 156

Light Path 診断アセンブリー

取り外し 286

取り付け 288

Light Path 診断パネル 18

N

New Zealand Class A statement 946

NMI ボタン 22

NOS インストール

ServerGuide で 118

ServerGuide を使用しないで 119

Nx 回ブート失敗 198

P

PCI

スロット 1 22
スロット 2 22
スロット 3 22
スロット 4 22
スロット 5 22
スロット 6 22
スロット 7 22
スロット 8 22

PCI 拡張

スロット 7

PCI-X ブラケット、取り外し 269

PCI-X ブラケット、取り付け 75, 271

PCI-X ブラケットのアダプター、取り外
し 256

PCI-X ブラケットへのアダプター、取り
付け 80, 261

People's Republic of China Class A
electronic emission statement 949

POST

イベント・ログ 166

エラー・コード 815

POST イベント・ログ 165

POST、概要 169

Preboot、DSA 診断プログラム 9

R

RAID アダプターのバッテリー・ホルダー、取り外し 224
RAID アダプターのバッテリー・ホルダー、取り付け 226
RAID アダプターのリモート・バッテリー、取り外し 263
RAID アダプター・リモート・バッテリー 取り付け 83, 264
RAID アレイ
構成 136
RAID/ストレージ・アダプターの問題 187
RAS 機能、サーバー 15
RTMM ハートビート
LED 164
Russia Class A electronic emission statement 948

S

safety vii
Safety Information 6
SAS 電源ケーブルのルーティング 373
SAS または SATA ホット・スワップ・ドライブ、取り付け 59, 239
ServeRAID サポート 9
ServerGuide
機能 117
使用 117
セットアップ 118
NOS インストール 118
Setup and Installation CD 113
ServerGuide CD 9
ServerProven 38
Service Bulletin 150
Setup ユーティリティ 113, 114
始動 119
使用 119
メニュー選択 120
SMP 9
SW4 スイッチ・ブロックの説明 33
Systems Director, IBM
システム管理ツール 17

T

Taiwan Class A electronic emission statement 949
Tier 2 CRU、交換 333
ToolsCenter for System x and BladeCenter 38
two-DIMM-per-channel (2DPC)
要件 66, 314

U

UEFI
エラー・コード 815
ブート・リカバリー・ジャンパー 195
Universal Serial Bus (USB) の問題 190
UpdateXpress 113, 128
USB
コネクタ 18, 22
USB ケーブルと Light Path 診断アセンブリ
取り外し 282
取り付け 284
USB ケーブル・アセンブリ
取り外し 290
取り付け 292

V

VCCI クラス A 情報技術装置 948
VMware ハイパーバイザーのサポート 114

W

Wake on LAN 機能 25

X

x3500
概要 1



部品番号: 00D3091

Printed in Japan

(1P) P/N: 00D3091



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21